

総合分析実験センター 自己点検評価報告書

平成28年度

目次

1. 部局等の目的・目標	2
2. 部局等の概要	3
3. 領域別の自己点検評価	5
(1) 教育支援の領域	5
(2) 研究支援の領域	7
(3) 国際交流・社会貢献の領域	9
(4) 組織運営の領域	11
(5) 施設の領域	12
4. 外部評価	13
5. 明らかとなった課題および課題に対する改善の状況・方策	14
6. 総括	17
7. 業務等集計データ	18
8. センター利用実績	22
(1) 平成28年度利用実績の概要	22
(2) センター利用実績の動向	22
(3) センター施設、設備・機器利用数および利用機器	27
(4) センター利用者の業績および外部資金	32
▪ 著書	32
▪ 受賞	33
▪ 症例報告	34
▪ 原著論文	37
▪ 総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文	57
▪ 一般講演・招待講演・特別講演	60
▪ 外部資金	116
(5) センター教職員による業績および外部資金	121
9. 学外評価委員による評価結果・意見	124

1. 部局等の目的・目標

佐賀大学総合分析実験センターは本学における教育研究の総合的支援を目的とした全学共同施設である。本庄地区と鍋島地区それぞれに「生物資源開発部門」、「機器分析部門」、「放射性同位元素利用部門」および「環境安全部門」の4部門を設置しており、これらの4部門が機能的に連携して学内の研究教育を総合的に支援することで、本学における生命、環境、材料等の研究およびこれらの複合領域研究に対応できる人材の育成を目指している。

総合分析実験センターの目標は、本学の第3期中期目標・中期計画として、以下の項目が定められている。

■教育環境の整備に関する目標

中期目標:学内共同利用施設として、学部教育ならびに大学院教育に対する支援を行う

中期計画:センター専任教員が学部・研究科および全学教養機構での講義の一部を支援ができるようにする、または、これまで行ってきた講義に加えて、新たに講義を受け持つ

■研究成果の地域・社会への還元に関する目標

中期目標:地域・社会に対する機器・設備開放と技術支援

中期計画:学部、産学・地域連携との共同作業による研究技術拠点化。共同研究提案の核となる

■研究の質の向上にシステムに関する目標

中期目標:部門再編と人員再配置（新規配置ならびに職位見直しを含む）によるセンター研究体制の増強

中期計画:具体的な部門再編と人員再配置を検討する。検討項目の中には、①支援内容とその分担の見直し、②専任教員が配置されていないため業務に支障を来している環境安全部門業務への対応、③本学の教育・研究レベル強化・上昇へこれまで以上に積極的な形で貢献できる新たなプロジェクト部門の設置、④前項と関連して、トップジャーナルに論文が発表でき、大型予算が確保できる可能性の高い人材の確保（例えば特任教員の採用など）、などが含まれる。検討の後、現在の部門体制を時代にマッチしたものに再編し、それに見合う教職員配置（担当）を見直す。特に技術系職員の再配置により、教員と職員の職務分担の見直しを行い、教員はより研究に、職員はより支援に特化して業務を行うことにより、センターの研究能力を強化する。また、新たな教職員配置ならびに職位見直しを行い、より一層の研究能力増強を行う

■研究環境の整備に関する目標

中期目標:より高度かつ先進的な研究支援体制の構築

中期計画:老朽化・陳腐化機器の更新ならびに新規機器の獲得等による研究支援環境の整備。新規研究手法の獲得と発信による研究支援能力向上。必要性が高いサービスへの集中と必要性が低いサービスの廃止による支援業務の効率化（外部委託との調和を含む）。本学に必須の研究環境の維持・改善（RI実験）。RI実験施設利用者減少への対応（老朽化した機器・設備の更新、新規機器導入による利用の呼び起こし、新たなRI実験手法の紹介・提案と、共同・受託研究の実施によるサービス向上など）

■地域を志向した教育・研究に関する目標

中期目標:地域・社会への機器・設備開放と技術支援による地域の学術拠点としての、また技術習得拠点としての確立

中期計画:研究技術拠点としての産学官包括連携協定への参画、協力。地域（企業、NPO、他大学等を含む）向け公開技術講座の開催

■教育研究組織編成の見直しに関する目標

中期目標:部門再編と人員再配置（新規配置ならびに職位見直しを含む）によるセンター研究体制の増強

中期計画:現在の部門体制を時代にマッチしたものに再編し、それに見合う教職員配置（担当）を見直す。特に技術系職員の再配置により、教員と職員の職務分担の見直しを行い、教員はより研究に、職員はよ

り支援に特化して業務を行うことにより、センターの研究能力を強化する。また、新たな教職員配置ならびに職位見直しを行い、より一層の研究能力増強を行う

■財務内容の改善に関する目標

中期目標:大型研究機器設備のセンター集中管理の推進による財務改善(予算最適化)

中期計画:業務運営の改善及び効率化(1.組織運営改善):施設整備関連経費の重点的集中による学内資産(研究機器・設備関連)の重複・冗長化見直しによる財務改善(予算最適化)。具体的には、大型研究機器設備予算申請のセンター集中化、既存学部等管理機器・設備の情報収集と、センターへの管理運営権限委譲

■情報公開や情報発信等の推進に関する目標

中期目標:国民への説明責任を果たす情報公開

中期計画:情報公開の必要な項目について調査を行う。学内の関連委員会等と連携し、情報公開項目の項目・内容等について見直し、多様な手段で学外への情報発信を行う。また、特に動物実験については、第三者による検証を受ける

■法令遵守に関する目標

中期目標:法令を遵守した遺伝子組換え実験、動物実験、RI実験、化学実験等に対する適切な支援の実施

中期計画:法令遵守の推進。教育訓練体制の充実。教職員への啓蒙活動。関連業務への専任教職員の配置ならびにセンター業務体制の見直し

2. 部局等の概要

佐賀大学総合分析実験センターは、社会的な要請度の高い生命、環境、材料等の研究やこれらの複合領域研究に対応できる人材の育成を総合的かつ効果的に支援する体制を構築するために、平成14年4月1日に、「機器分析センター」、「放射性同位元素実験室」を、それぞれ「機器分析分野」、「放射性同位元素利用分野」に改組し、さらに、新設の「ライフサイエンス分野」を加えて学内共同教育研究支援施設として設立された。平成15年10月1日の佐賀医科大学との統合にあたり、同医科大学の動物実験施設、実験実習機器センター、RI実験施設を加え、「生物資源開発部門」、「機器分析部門」および「放射性同位元素利用部門」の3部門からなる全学的な研究教育支援施設となった。さらに、平成18年度に「環境安全部門」を新設し、これらの4部門が連携して学内の理工、農、医、文化教育学分野の研究教育を総合的に支援している。各部門は、佐賀大学の本庄地区と鍋島地区にそれぞれに配置されており、平成28年度はセンター長(併任)、副センター長(併任)、准教授4名、助教2名、教務員2名、技術専門職員2名、技術員5名(うち1名は再雇用)、非常勤職員4名、研究支援推進員1名から構成されている(次ページ図:平成28年度総合分析実験センターの構成および人員配置を参照)。

総合分析実験センター4 部門が担当する支援業務を以下に列挙した。また、各部門において最も深く関与する学部について示した

生物資源開発部門

遺伝子組換え実験と動物実験に関する教育、研究、講習、教育訓練および安全管理ならびに動物福祉に配慮した実験動物の飼育管理
 本庄地区:農学部、 鍋島地区:医学部

機器分析部門

大型高性能分析機器類の維持管理、総合的な分析・測定に関する教育と研究、分析機器の使用講習会および教育訓練
 本庄地区:理工学部、 鍋島地区:医学部

放射性同位元素利用部門

放射性同位元素等の利用に関する教育と研究、放射性同位元素等安全取扱講習会および安全管理
 本庄地区:農学部、 鍋島地区:医学部

環境安全部門

環境分析機器の安全管理と教育講習、環境整備および環境分析に関する研究の支援、環境問題に関する共同研究の受入れおよび相談窓口、環境問題についての教育および情報提供、および学内環境安全業務
 本庄・鍋島地区(両地区):全学部(リサイクルファシリティ、作業環境測定(有機溶剤))

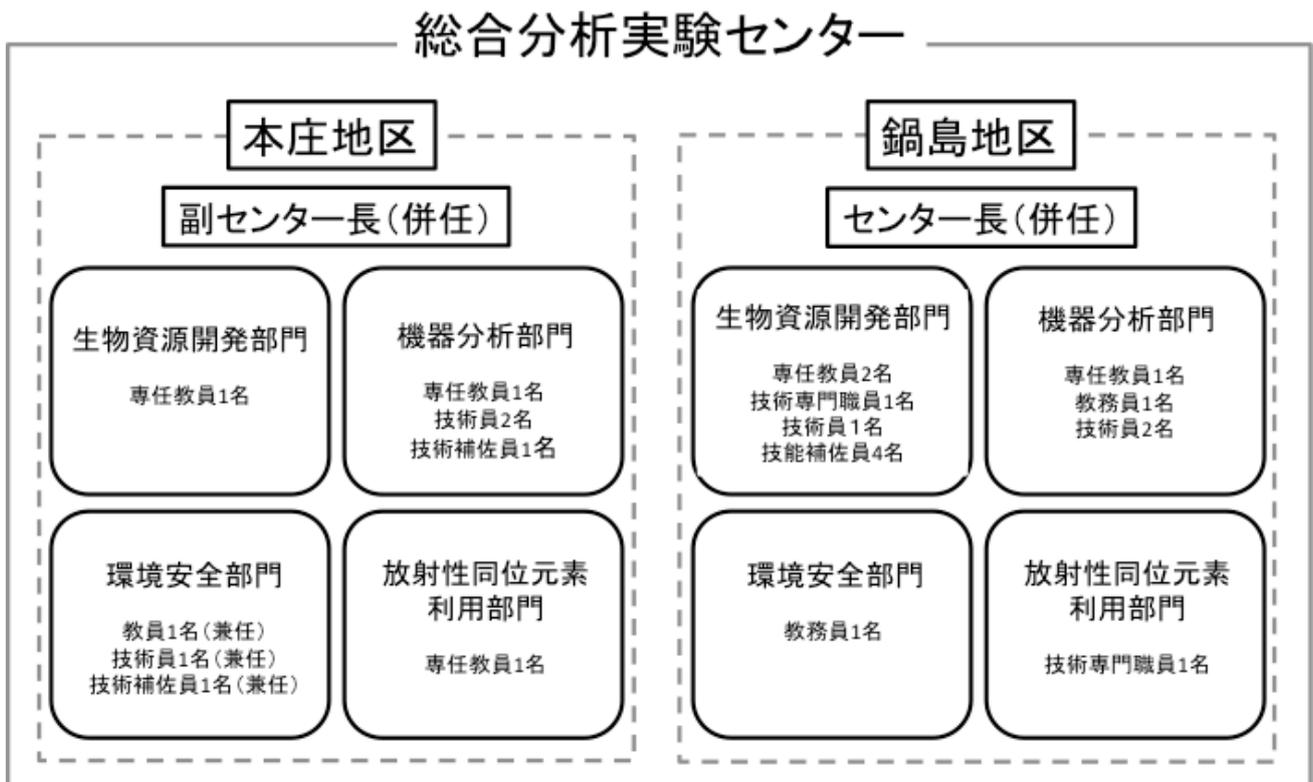


図:平成 28 年度総合分析実験センターの構成および人員配置

3. 領域別の自己点検評価

(1) 教育支援の領域

ア 教育支援環境に関する事項

総合分析実験センターを基盤として、実験機器類および生物資源の維持・開発と放射性同位元素利用に関する設備の整備拡充と全学的有効利用システムの構築を図り、学生教育並びに社会的ニーズに応じた教育訓練環境を整備するため、以下の事項を中心に取り組んだ。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 共同利用可能機器に関する情報をウェブページに公開し、共同利用機器の予約申込み、予約状況ならびに運用状況の確認をオンラインでできる体制を整えている。また、機器分析部門鍋島地区においては利用者メーリングリストを構築し、機器運用に関して迅速な情報提供を行う体制を整えている。機器分析部門本庄地区においても、平成 28 年度から利用者メーリングリストを構築し運用を開始している。
- 2) 学外研究機関に所属する教職員等が総合分析実験センターを利用できるよう、平成 19 年度より本庄地区において「受託試験」(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)を開始している。また、平成 22 年度からは鍋島地区の機器分析ならびに放射性同位元素利用両部門においても「受託試験」を開始した。今後も情報の周知と、受託可能な機器の拡充を図っていく予定である。
- 3) 機器利用システムのさらなる改善および共同利用機器数の増加を図るため、共同利用可能機器の調査依頼を全学に対して行い、共同利用可能機器の増加に努めるとともに、老朽化等により利用できなくなった機器については整理を行っている。平成 28 年度末現在の共同利用可能機器は全 141 台であり、そのうち本庄地区に 46 台、鍋島地区(鍋島機器部門と鍋島放射性同位元素利用部門)に 95 台が設置されている(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)。
- 4) センター機器および施設を利用する教員、学生等の研究成果、外部資金獲得状況に関する情報収集を毎年度行っている(8 センター利用実績を参照)。
- 5) センター利用状況を毎年度集計し、その集計結果をもとにセンターにおける教育訓練環境の整備、改善を図っている。

イ センターが行う教育に関する事項(使用法、安全、規則等に関する教育)

総合分析実験センターが関わる施設・機器の使用法や法令・規則等の教育に関して、教職員や学生及び関係者に対して必要な教育活動を行い、その教育訓練体制の整備・改善を図るため、以下の事項に取り組んだ。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 放射線および放射性同位元素の取扱に必要な放射線業務従事者講習会は、本庄地区と鍋島地区でそれぞれ行っている。受講者への便宜を図るため、どちらの地区でも受講できるようにしている。
- 2) 放射線業務従事者登録の便宜を図るため、本庄地区では、新規登録申込者に対する教育訓練は年 2 回行っており、さらに 5 名以上の希望者がいる場合には随時教育訓練を実施している。更新者用の教育訓練は、12 月から 3 月にかけて年 4 回開催している。鍋島地区では 4、5、8、9 月にそれぞれ新規および更新教育訓練を行うことに加え、要請に応じて随時、教育訓練を実施している。
- 3) 動物実験に関する教育訓練を学内の「動物実験委員会」と連携し、年 2 回、本庄地区と鍋島地区で実施している。これ以外にも、希望者に対しては随時、教育訓練を実施している。また、動物実験の実験計画書の作成の相談、指導、事前審査、受付業務を行っている。
- 4) 本庄地区および鍋島地区における遺伝子組換え実験に関する教育訓練を主導している。平成 21 年度からは新たに、英語による教育訓練も開始している。また、遺伝子組換え実験申請書の提出前の内容確認を行い、申請者への便宜を図っている。
- 5) センターが直接または間接的に関与して行われる教育訓練の際、アンケート調査を行い、利用者のニーズの把握に努めている。

- 6) 機器分析部門鍋島地区では、適宜、利用者ミーティングを開催し、利用者からのニーズを把握するとともに円滑な共同利用環境の醸成を図っている。
- 7) 環境安全部門を統括する本庄地区機器分析部門の専任教員は、本庄地区環境安全衛生委員会メンバーとして安全巡視や簡易作業環境測定業務を実施しており、理工学部循環物質化学科安全衛生委員会メンバーとして同学科の安全衛生管理に貢献している。同部門鍋島地区を担当する教務員は医学部安全衛生委員会メンバーとして鍋島キャンパスの安全衛生管理に貢献している。
- 8) 既に作成済みのマニュアル・手引きについて、更新が必要なものは随時更新を行なっている。
- 9) 機器分析部門鍋島地区では、機器導入機器の説明会や最新研究動向を知るための説明会およびデモンストレーションを8回、設置機器利用の習熟度向上のための機器利用講習会を1回行っている。

(本年度事項)

- 10) 動物実験に関する教育訓練について、定期に実施される教育訓練に加え、利用者の希望に応じて教育訓練を計19回実施し、利用者の便宜を図るとともに、動物実験計画書89件の作成指導・事前審査を実施した。
- 11) 生物資源開発部門本庄地区の教員1名が、今後の教育訓練に活かすために、「第8回遺伝子組換え実験安全研修会」に参加して、遺伝子組換え実験の安全管理に関する情報を収集した。
- 12) 生物資源開発部門本庄地区の教員1名が、今後の教育訓練に活かすため九州大学で開催された「第7回有体物管理センターシンポジウム」に参加して、名古屋議定書の国内措置等の遺伝資源の移動に関する情報を収集した。

ウ センター教職員が行う、学部等における教育活動に関する事項

専任教員および技術職員は、センター利用者に対する教育訓練などの支援だけでなく、教養教育運営機構及び関連学部にも協力し学部および研究科の教育にあたっている。以下に専任教員が担当する講義名を示す。

機器分析部門(本庄) 専任教員1名	全学「佐賀環境フォーラム(インターフェース)」「佐賀環境フォーラムⅠ(インターフェース)」「教員のための環境教育」「地域の環境(前期・後期)」、「環境保全(概論Ⅱ)」、「作業環境測定概論」「環境教育Ⅱ(インターフェース)」「学内活動実習Ⅰ」、「学内活動実習Ⅱ」、「実験化学Ⅰ(分担)」 理工学部「分離化学」「環境化学」「循環物質化学」「大学入門科目(分担)」 「機能物質化学実験Ⅰ(分担)」「循環物質化学特別実習・演習(前後期)」 文化教育学部「環境科学特別講義」 大学院工学系研究科博士前期課程「物質環境化学特論」「融合循環物質化学特論」「基礎反応化学特論(分担)」「循環物質化学セミナー(分担)」「循環物質化学特別演習(分担)」「基礎反応特論(分担)」「Advanced Environment Chemistry of Material」
生物資源開発部門(本庄) 専任教員1名	基本教養科目「生命科学の世界B」 農学部「分子細胞生物学」「生化学実験(分担)」「専門外書講読(分担)」「演習(分担)」 大学院農学研究科「分子細胞生物学特論」「細胞情報学特論」「先端分析科学特論Ⅱ(分担)」「生命機能科学特論(分担)」「生命化学演習(分担)」「農学総合講義(分担)」
放射性同位元素利用部門(本庄) 専任教員1名	農学部「生化学実験(分担)」「専門外書講読(分担)」「演習(分担)」「生命化学概説(分担)」「基礎放射線科学」 大学院農学研究科「先端分析科学特論Ⅱ(分担)」
機器分析部門(鍋島) 専任教員1名	基本教養科目「インターフェース～現代社会と医療Ⅳ」 大学院医学研究科修士課程「生体傷害分析法」「実験検査・機器特論」 大学院医学研究科博士課程「機器分析法」「アイソトープ実験法」 環境キャリア教育プログラム「環境科学Ⅰ」、「環境科学Ⅲ」、「環境対話Ⅱ」、「環境教育Ⅱ」

生物資源開発部門(鍋島) 専任教員 2 名	基本教養科目「生命科学の基礎B(実験動物学)」 医学部「基礎科系実習(分担)」、「基礎系選択科目(発生工学手法を用いた疾患モデル動物の作製)」 大学院医学研究科修士課程「実験動物学特論」、「基礎生命科学研究法」、「基礎生命科学研究実習」 大学院医学研究科博士課程「動物実験法」
--------------------------	---

(2) 研究支援の領域

ア 学術・研究活動に関する事項

センターの活動を通じて本学における学術・研究の推進を図るため、学内外との共同研究の推進、学外研究プロジェクトへの参画、シンポジウム等の開催を中心に取り組んでいる。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 生物資源開発部門鍋島地区では、医学部、および農・理工・文教学部とも連携できる研究テーマの一つとして、生活習慣病の病態モデルとなる遺伝子改変ウサギの開発とそれを用いた分子病理学的研究を行っている。これに関して、総合分析実験センターにおいて開発・維持されている遺伝子改変ウサギを他の研究機関に分与するとともに共同研究を推進している。
- 2) 機器分析部門鍋島地区では、教員 1 名が放射線医学総合研究所(平成 20 年度～)、ならびに京都大学原子炉実験所(平成 21 年度～)で共同利用研究員として活動し、放射線がん治療の基礎研究をテーマに共同研究を行っている。また、学外では広島大学大学院医歯薬学研究科教員ならびに近畿大学工学部教員と、学内では理工学部教員と共同研究を行い、論文発表1件、学会発表 5 件を報告した。また、今年度より、放射線災害・医科学研究拠点事業の共同研究に採択されている(受入機関、広島大学)。
- 3) 生物資源開発部門本庄地区では、開発したプラスミド DNA の分与を行っている。
- 4) センター各部門共同でセミナーを開催し、センター専任教員を中心とした部門間連携を強めるとともに、センターを中心として学内外との連携が可能な研究プロジェクトの検討を行っている。
- 5) 機器分析部門本庄地区専任教員 1 名が長崎県商工連携ファンド事業助成金を受け、長崎大学、京都工芸繊維大学、および一般企業とともに藻場再生に関する共同研究を行なっている。助法人電力中央研究所との共同研究「地下水および表層水に存在する有機物の採取法検討と特性評価」の研究を実施した。

(本年度事項)

- 6) 生物資源開発部門鍋島地区で開発・維持している遺伝子改変ウサギを分与した(国内 1 機関、計 10 匹)。
- 7) 生物資源開発部門本庄地区で開発したプラスミドを国内の研究者(1件)に分与した。なお、これらプラスミドは研究成果有体物として佐賀大学に知的財産登録しており、分与を希望する研究者との交渉は産学・地域連携機構の知財戦略・技術移転部門(TLO)が行った。
- 8) 総合分析実験センターセミナーとして、外部講師を招き 4 回のセミナーを開催した(7.業務等集計データを参照)。

イ 研究支援環境に関する事項

本学全体およびセンターにおける研究環境の改善、また、大学間の連携を高めて情報共有や機器の相互利用を推進のため、次のことに取り組んでいる。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 3. (1)ア-4)に示すように、共同利用可能機器に関する調査結果に基づいて、共同利用可能機器の増加を図っている。また、機器の運用状況がインターネットを通じて確認できるようにするなど、ホームページの改善も図っている。
- 2) 低利用頻度機器および譲渡希望機器の収納スペースを整備し(リサイクルファシリティ)、譲渡を希望する機器について情報を収集しホームページで情報開示するシステムの運用を開始している。ま

た、HP やメールを利用してリサイクルファシリティの周知を図り、年度末などに向けてファシリティの活用を案内している。運用開始から平成 28 年 3 月 31 日までに 53 物品の譲渡を完了している。

- 3) 大学連携研究設備ネットワークに 3 台の機器を登録しネットワーク利用機器の充実を図り、共同利用機器の利用活性化に協力している。
- 4) 動物実験に関して、研究テーマに即した飼育室・実験室の改善を図っている。特に、遺伝子組換えマウスの飼育スペースの不足に対して、設備や飼育器材の充実に向けて可能な限り対応している。
- 5) 生物資源開発部門鍋島地区では、学内研究者への研究支援としてマウス胚の凍結保存、遺伝子改変動物の作成、動物実験手技の技術指導を行っている。
- 6) 学外研究機関等による総合分析実験センター利用のために、本庄・鍋島両地区機器分析部門において「受託試験」を行なっている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)。
- 7) 他大学の共同利用可能機器に関する情報を大学内に発信している。
- 8) 他大学へ総合分析実験センター内の共同利用可能機器に関する情報を発信している。
- 9) 国立大学法人生命科学研究所機器施設協議会に参画し、設備の大学間相互利用をはじめとした活動に協力している。
- 10) 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会に参画し、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律」へ対応するための活動に協力した。
- 11) 「国立大学法人動物実験施設協議会」に参加し、動物実験および実験動物に関連する情報収集、意見交換を行なった。また、協議会の調査等に協力した。
- 12) 平成 21 年度から研究支援推進員 1 名を継続して採用している。

(本年度事項)

- 13) 総合分析実験センター Q&A を改訂し、センターユーザーだけでなく学内に広くセンター業務を周知するとともに、教職員ならびに学生に対する研究情報支援を行った。さらに、Q&A 英語版を作成、発行し (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)、留学生に対するセンター業務の周知および支援を行っている。本 Q&A については、毎年改訂を行い、アップデートな情報提供を行なっている。
- 14) 環境安全部門鍋島地区では、前項 2) に関連して、鍋島地区ユーザーの利便性を高めるため、平成 23 年度より鍋島地区リサイクルファシリティを運用している。平成 28 年度の譲渡実績は 5 物品であった(施設利用実績を参照)。
- 15) 生物資源開発部門鍋島地区で実施している学内研究者向けの研究支援のうち、これまで希望の多かったマウスの生殖工学技術支援サービスを充実させ、H28 年度より有償でのサービスとして開始した。
- 16) 生物資源開発部門鍋島地区の技術員 1 名が、「第 7 回実験動物管理者等研修会」(主催:日本実験動物学会、後援:文部科学省、環境省、厚生労働省、農林水産省)に参加し、実験動物管理者としての研修を受講した。

ウ センター職員による研究活動に関する事項

センターでは、研究支援活動と並行して、教職員がそれぞれ独自の研究テーマを持ち研究を行っている。個々の専門分野で高いレベルの研究に携わり、その研究活動や研究交流を通じて最新の研究成果や情報を入手することにより、センターの教育研究支援の向上と、本学の研究教育の推進に貢献している。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 生物資源開発部門本庄地区では、様々な生物のオミックスをテーマに研究を行っている。鹿児島大学農学部、鹿児島大学理学部、琉球大学農学部、京大大学生態学研究センター、Renewable Natural Resources Research Centre Wengkharr (プータン)、雲南農業大学(中国)、お茶の水女子大学、佐賀県果樹試験場、佐賀大学農学部などと共同研究を行っている。
- 2) 生物資源開発部門鍋島地区では、部門の研究テーマとして、1)ヒト疾患モデルとしての遺伝子改変ウサギの開発と医学研究への応用、2)ウサギ精子および胚の凍結保存に関する研究に取り組んでいる。共同研究先:山梨大学、神戸大学、秋田大学、ミシガン大学(アメリカ)、西安交通大学(中国)。
- 3) 機器分析部門本庄地区では、自然界の土壌や水中に存在する腐植物質の構造特性、機能特性に関する研究を地球科学分野、原子力開発分野、農業分野等の研究者と共同して行っている。
- 4) 佐賀県医療法人「好生館」、佐賀大学、佐賀県、リサイクラー等との協働プロジェクト「医療機器リサイ

クル処理標準化プロジェクト」を立ち上げ、地域創生への取り組みをサポートしている。

- 5) 機器分析部門鍋島地区では、放射線や環境因子によるDNA傷害とその修復機構を生化学的、分子遺伝学的に検討し、生物の遺伝情報維持機構を明らかにするべく、准教授1名、教務員2名、技術員1名が協力して研究を行っている。また同准教授1名は、放射線医学総合研究所ならびに京都大学原子炉実験所の共同研究員として、放射線がん治療に関する基礎研究をテーマに共同研究を行うとともに、学内外の教員と共同研究を行っている(佐賀大学理工学部、広島大学、近畿大学)。また、今年度より、放射線災害・医科学研究拠点事業の共同研究に採択されている(受入機関、広島大学)。
 - 6) 放射性同位元素利用部門本庄地区では、昆虫の味覚・嗅覚機能の解明および摂食行動調節メカニズムに関する研究を行っている。
 - 7) 各部門に配置されている技術系職員(含教務員)の研究への参画を促進しており、一部の技術系職員は独自の研究テーマに取り組んでいる。さらに、共同研究員として分析、調査を担当している。
 - 8) 生物資源開発部門の教員が責任著者となった論文が、2010年から2016年の7年間に佐賀大学の論文(責任著者が佐賀大学教員)の中で、最も引用された。
(https://scholar.google.co.jp/scholar?q=%22Saga+University%22&hl=ja&as_sdt=1%2C5&as_vis=1&as_ylo=2010&as_yhi=)。
- (本年度事項)
- 9) 平成28年度の研究成果は、原著論文5報、総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文0報、学会発表・招待講演など30件、外部資金獲得は7件であった。研究成果の詳細は「8. センター利用実績」に記す。
 - 10) 継続事項(3)において、本年度は新たに状態解析技術を薬物の移動動態に応用した共同研究を実施している。
 - 11) 継続事項(4)において、現在医療機器循環システム協議会の立ち上げ作業を実施している。

(3) 国際交流・社会貢献の領域

ア 教育における社会連携・貢献に関する事項

センターでは各センター教員の専門研究分野および各部門の特色を活かした社会貢献、地域社会との連携、他大学との教育における連携および地域に貢献する教育活動として以下の事項に取り組んでいる。

(継続して取り組んでいる事項)

- 1) センター教員が担当する講義インターフェース課目「佐賀環境フォーラムI,IIの一環として、学内に整備運営したビオトープを用い鈴虫のイベントを実施し、保育園スタッフを含む地域市民と連携して、佐賀環境フォーラムワークショップ“環境教育”グループによる紙芝居を通じた地域の幼稚園児や小学生への環境教育を行い、同時に市民への憩いの時間を提供した。学生運営スタッフを指導しながら年2回(春と秋)の大学構内および近隣を流れるクリークの河川清掃を近隣自治会と協力して実施、運営しており毎回60~100名程度の参加者とともに社会へ貢献している。
- 2) センター職員が理事を務めるNPO主催で佐賀の伝統的な農業イベント「ごみくい」を企画し、学生約40名とともに参加した。
- 3) 本庄地区環境安全部門専任職員は学内を流れる河川清掃を近隣自治会(佐賀大学前自治会)とともに、年2回企画実施している。
- 4) 学生活動「チャリさがさいせい(チャリさ)」の顧問として、学内、および周辺アパートの放置自転車の回収・修理・販売・譲渡を行い、学内や近隣地域の放置自転車撲滅運動に貢献している。また同グループは地域のイベント「佐賀城下ひな祭り」「さがバルーンフェスタ」の期間中に再生自転車を用いたレンタサイクルを実施し、一般市民に①放置自転車の撲滅、②循環型社会の推進、③自動車を使わない省資源・健康な観光を提案し環境に関する啓蒙活動に貢献している。
- 5) 平成22年度より、本学文化教育学部附属中学校育友会が行なっている「佐賀大学の先生の授業を受けてみよう」に協力し、センター教員が講義を行なっている。
- 6) 産業環境管理協会が実施する「公害防止管理者等資格認定講習」において「大規模水質特論」を2

回行った。

(本年度事項)

- 7) センター教員は、他大学・研究教育機関などでの講義・実習も担当している。広島大学大学院理学研究科における講義「遺伝子化学Ⅱ」、大川看護福祉専門学校における講義「生化学」、武雄看護リハビリテーション学校における講義「解剖生理学」を担当した。群馬大、実験動物学 非常勤講師
- 8) 本学文化教育学部附属中学校育友会が行っている「佐賀大学の先生の授業を受けてみよう」では、「分析機器の世界をのぞいてみませんか」を開講した。
- 9) 佐賀県教育センターの講座「高校生物Ⅰ講座」に協力して、高校理科教員を対象にして、DNA 配列決定を指導した。
- 10) 「ものづくり技術者育成講座」の講義を担当した。
- 11) 科学研究費における研究成果の社会還元・普及事業「ひらめきときめきサイエンス」に採択され、講義および実験を行った。
- 12) センター教員が共同で公開講座「一緒に研究しませんか～佐賀大学総合分析実験センターの紹介～」を実施した。
- 13) センター教員が佐賀市立鍋島小学校で出前講義を行った。

イ 研究における社会連携・貢献に関する事項

学外の研究者が総合分析実験センター等の分析機器類を活用できるシステムの構築を図るため、また学外の研究者との連携を深めるとともに、地域社会の研究推進や学会活動に貢献するため、以下のことに取り組んだ。

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 平成 19 年度から「受託試験」を開始している (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)。
- 2) 地域に貢献する研究支援活動を行うために、佐賀大学産学連携推進機構を活用し、同機構のホームページからの情報発信に協力している。
- 3) 佐賀県バイオマスエネルギー計画、佐賀市バイオマスタウン構想に協力し、民間の研究への相談に対応し、共同研究計画を策定中である。
- 4) 「佐賀環境フォーラム」の活動において、佐賀市と協力し、佐賀市内公立小中学校のシックスクール調査を行っている。
- 5) 産学官連携機構「徐福ラボ」との連携により、地域の民間会社からの技術的相談に対応している。

(本年度事項)

- 6) センター教員(生物資源開発部門鍋島地区の教員)が大会長となり、第 4 回ウサギバイオサイエンス研究会を開催した。

ウ その他国際交流・社会貢献に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) ホームページを通じて、開発したベクター DNA を国内外に分与する活動を行っている (<http://www.iac.saga-u.ac.jp/lifescience/pSU0/>)。
- 2) 日本腐植物質学会評議委員として、学会の運営に貢献している。
- 3) 環境関連の二つの NPO の理事として活動に協力している。
- 4) 毎年開催される韓国・大邱大学校とのジョイントセミナーに協力している。
- 5) 佐賀市環境審議会のメンバーとして佐賀市の環境行政に助言を行っている。

(本年度事項)

- 6) センター教員 1 名が佐賀市の委託を受け、佐賀市空き家等審議会委員として活動した。
- 7) センター教員 1 名が佐賀市の委託を受け、佐賀市環境マネジメントシステムにおける内部環境監査委員として活動した。
- 8) 教員 1 名が The 3rd International Workshop for Conservation Genetics of Mangroves (18-19 Oct 2016, Taketomi-cho, Okinawa, Japan) に参加し、研究発表を行うとともに同学会に参加した研究者と意見交換を行った。Organizer でもあった。
- 9) センター教員 1 名、および大学院生 1 名が 18th International Conference of International Humic

Substances Society (2016 September 11-16, Kanazawa, Japan) に参加し、研究発表を行なうと伴に参加研究者との意見交換を行なった。

- 10) 教員 1 名が The Third Myanmar-Japan Symposium (3-5 Dec 2016 Pathein, Myanmar,)に参加し、研究発表を行うとともに同学会に参加した研究者と意見交換を行った。
- 11) センター教員(生物資源開発部門鍋島地区の教員)が大会長となり、The 3rd Japan China Joint Rabbit Biotechnology Forum を開催した(参加国:日本、中国)。
- 12) センター教員1名が佐賀県立図書館協議会委員として佐賀県立図書館の運営に対し助言を行っている。

(4) 組織運営の領域

ア 教育研究組織の編成

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 本庄地区と鍋島地区のテレビ会議システムを活用して会議を行っている。
- 2) 年間数回のスタッフ会議を開催し(本年度は2回開催)、研究支援、財務、組織運営などに関する方針や問題について討論している。

イ 管理運営に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 自己収入の増加を図ることも一つの目標として、学外研究機関による総合分析実験センター利用のために、「受託試験」を行っている(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/jutaku/>)。
- 2) 平成 19 年度からセンター教員が本庄地区 RI 実験施設の作業環境測定を行っている。
- 3) 環境安全部門本庄地区は理工学部の実験実習、および大学入門課目において安全教育を担当し、安全教育に対する啓蒙をはかっている。
- 4) 環境安全部門鍋島地区は業務委託費の節約を図るため、必要箇所における作業環境測定(有機溶剤)を自ら実施している。

ウ その他組織運営に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) センター教員 2 名が「佐賀大学版環境教育」の実行委員として活動している。
- 2) 環境安全管理に関して、機器分析部門鍋島地区准教授1名が危険物取扱者資格取得および特別管理産業廃棄物主任の資格を取得し、鍋島地区のこれら業務を担当している。
- 3) 化学物質管理システム(CRIS)の全学運用に関して、鍋島地区機器分析部門准教授1名が管理主担当となり、環境安全衛生管理室と協力している。
- 4) 機器分析部門鍋島地区准教授1名は鍋島地区の国際規制物資管理者として関連業務を担当している。
- 5) 鍋島地区 RI 実験施設の作業環境測定を自ら行うため、同施設放射線取扱主任者である機器分析部門鍋島地区教員が資格を取得した。鍋島地区では、教務員1名が同資格(有機溶剤)を取得し、作業環境測定に協力するとともに、衛生工学衛生管理者を取得し、同資格が要求される附属病院衛生管理者を複数名確保することに協力し、同衛生管理者として選任されている。
- 6) その他、大学運営に関わる事項として、センター各教員が、動物実験委員会、遺伝子組換え実験安全委員会、放射性同位元素等安全管理委員会、鍋島キャンパスエネルギー管理協議会、環境安全衛生室会議、医学部安全衛生委員会、エコアクション全学委員会、同医学部委員会委員、医学部エネルギー対策委員会などに参画し、また、様々なワーキンググループに参画するなどして、その専門知識を活かして大学運営に貢献している。

(5) 施設の領域

ア 施設、設備等に関する事項

(継続して取組んでいる事項)

- 1) 総合分析実験センターとしての「災害対策マニュアル」を全学的なマニュアルと整合性をとりながら作成し、ホームページ上で公開している(<http://www.iac.saga-u.ac.jp/>)。なお、放射線施設に関しては、放射線障害予防規程に「地震等の災害時における措置」について定めている。また、動物実験施設においても動物実験における「緊急時対応マニュアル」を作成している。
- 2) 近年の研究方法の進歩により、動物実験施設の利用形態も多様化してきている。また、法令遵守、動物福祉の観点から実験動物の飼育環境の整備・改善も重要な課題となってきた。利用者からのニーズに合わせ先端的研究の効率な推進、法令遵守、動物福祉への対応等を考慮し施設設備の整備・更新等の予算措置を申請している。
- 3) 平成 24 年度鍋島地区放射性同位元素利用部門の改修を行い、管理区域を 2/3 に縮小し、管理区域解除部分を鍋島地区共用スペースとして整備した。
- 4) 放射性同位元素利用部門(本庄地区)では、実験施設の有効活用のため、故障等によって使用できなくなった大型機器を順次廃棄処分している。

(本年度事項)

- 5) 放射性同位元素利用部門(鍋島地区)では、8月に定期検査・定期確認を実施した。

4. 外部評価

本報告書の外部評価を、運営委員会で承認された学外の委員に依頼した。委嘱した委員を以下に示す(順不同、敬称略)。

1. 森本 正敏 (教授) 福岡女学院看護大学
2. 大坪 文隆 (准教授) 九州工業大学 機器分析センター
3. 柳 由貴子 (助教) 山口大学大学院創成科学研究科

本報告書の評価手法、評価基準、評価の妥当性の3項目について、各委員から評価をいただいた。その結果、森本委員から適切および妥当であるとの評価をいただいた。柳委員からは、その他の項目についてご意見をいただいた。また、大坪委員からは全項目において、意見・具体的改善点についてご指摘をいただいた(8:外部評価委員による評価・意見を参照)。

外部評価委員の本報告書に対するご意見および改善すべき点を以下に列挙した(項目1～5は大坪委員、項目6は柳委員のご意見)。

1. 各部門において、どの学部が強く係っているかを示した方が各地区各部門の学部に対する支援体制が分かりやすい
2. 研究業績においては、各論文がどの機器等を利用して成果が出されたかを、明示した方が各部門の寄与が分かりやすい
3. 研究業績においては、トップジャーナルに掲載された論文は、別に枠を設けて記載すると、その部門が権威ある研究に係ったかがわかりやすい
4. 外部資金の獲得件数において、H24、27と28を見ると、H27とH28は業績に大きく反映されていることがわかる。一方、H24は著しく突出しているが、H27、H28と比して業績への反映が小さいところが不明瞭である
5. 各機関において、資金面で苦慮している機関は少なくないが、予算の収支から、各部門の果たした役割を評価、今後のセンター内の整備・予算配分を評価検討することを試みてはどうか
6. センター教職員の教育活動に関する事項において、実際の担当時間数などが不明ではあるので判断しかねるが、教員間における担当講義数の偏りが推察された。これについては各教員の担当分野・職階にも依存すると考えられるが、負担の公平性という観点から、可能ならば何らかの配慮が必要ではないか

これらのご指摘について、本年度報告書にて対応可能な項目については修正を行った(項目1)。研究業績に関するご指摘(項目2,3)については、どちらのご意見も部局ごとの正当な評価を行う上で非常に重要であるが、現在の業績データ収集方法では各業績に関与した機器を把握することは難しい。全ユーザーに確認を取るなどの対策はあるものの、ユーザー負担が増加すると情報収集率の低下が懸念される。また、トップジャーナルに掲載された論文について別セクションを設けることに関しても、現状の報告書作成手順では困難である。その理由としては、本センターは医学・農学・理工学と幅広い分野の研究を支援しているため、ユーザー業績の研究分野も多岐にわたっており、研究分野を超えて正当に評価することは困難だからである。これらのご意見に対応するには、報告書の作成方法・様式の再検討、ユーザー業績を正確に評価できる全センター教員の関与が必須である。項目3について、H24年度の外部資金獲得件数が業績にあまり反映していない理由については不明であり、H27、H28年度においては各ユーザーが盛んに研究成果をアウトプットしたものと推察される。また、H24とH27、H28ではユーザーデータの取得方法および報告書への掲載基準を変更しており、それらが各年度に数値に影響している。本報告書における各データの年次変動の推移を正確に評価するには、後2,3年は必要と考える。項目5,6については、センター職員間で検討を重ね、次年度以降のセンター運営ならびに本報告書に反映させるべく今後も継続的に努力していくことが重要である。なお、各委員からの評価・検証の詳細を末尾に添付した(8:外部評価委員による評価・意見を参照)。評価委員の方々には、本報告書およびセンター運営に関して、様々な視点から検討を加えていただいた。この場をかりて感謝の意を表す。

5. 明らかとなった課題および課題に対する改善の状況・方策

平成 27 年度の自己点検・評価書において「新たな改善すべき点」として記載した項目、およびその改善状況(部局内で対応するべき課題のみを抜粋)

機器分析部門(本庄地区)

課題:機器分析部門(本庄地区)では紫外可視近赤外分光光度計や核磁気共鳴装置等の共同利用汎用機器の老朽化・陳腐化が進んでいる。設備更新の努力を重ねるとともに、実験設備の機能を維持できるようにメンテナンスに配慮が必要である。

改善の状況および対策:共同利用機器の機能維持へのメンテナンスの必要性について、ユーザーへの負担、相互扶助への理解を求めるとともに、概算要求等での機器の更新を図る。

改善状況:理工学部の職員学生の協力の元の管理からセンター事務職員による NMR 管理に移行した。概算要求での機器更新申請を行った。ユーザーミーティングを開催し、ユーザーの理解を求めた。

生物資源開発部門(本庄地区)

課題:DNAシーケンサー(サンガー法によるもの)による研究支援を行っている。この研究手法が陳腐化した。

改善の状況および対策: 新技術・次世代シーケンサーに関する講習会を行った。また、平成27年度連合農学研究科先進的研究推進事業(2,000千円)(代表者:永野)を獲得し、学内研究者の新研究手法への参入を促進した。(2015年6月20-21日 第一回総合分析実験センター実習コース「次世代シーケンサーで得られたデータの解析の実践」を開催。農学系四名、基礎医学二名、臨床一名の参加者。90分×10回。)

(2015年7月12日および26日 第二回総合分析実験センター実習コース「次世代シーケンサーで得られたデータの解析の実践」を開催。農学系七名、臨床一名の参加者。90分×10回。)

改善状況:次世代シーケンサーを活用する研究は拡がりを見せている。新学術領域「先進ゲノム支援」から支援を受ける者も現れた。

環境安全部門(本庄地区)

課題:再活用室を含むリサイクルファシリティの稼働率が悪いこと。自前作業環境測定対応が遅れていること。

改善の状況及び対策:部門運営を鍋島地区と統合し、課題解決に務める。担当職員に資格取得を行わせるために環境安全衛生室と検討を行う。

改善状況:自前作業環境測定については、担当職員に資格取得を行わせ、実施できる態勢を整えた

放射性同位元素利用部門(本庄地区)

課題:実験施設および設備機器の老朽化・陳腐化が顕著であり一部の機器は故障により利用不可能であるため、設備更新を図りユーザーが利用しやすい実験環境を整備する必要がある。特に放射線環境モニタリング装置(水、ガスモニタ)、液体シンチレーションカウンタ、X線照射装置などの機器の更新が必要と考えられる。これらの設備は、施設の管理運営、作業環境測定、並びに放射性同位元素を利用した研究において必須な機器である。改善の状況および対策:放射線を利用した研究に必要な機器について、概算要求を行っている。また施設の老朽化についても、学内営繕により改修を行う予定である。

改善状況:資金獲得はできていないため、機器の更新は出来ていない。しかし、故障等により利用不可となった大型機器(インキュベーター等)を処分し、施設スペースの有効活用を促進させた。なお課題の一部は「その他:法人の支援が必要な部分」に変更したため省略

機器分析部門(鍋島地区)

課題:研究設備の更新が滞っているため、老朽化・陳腐化、または故障して利用不能なものがあり、それらの更新が必要である。また、研究手段の進化により、新たな研究設備の導入も必要である。

改善の状況及び対策:利用料金の見直しによる受益者負担原則の実施と予算要求による設備の更新整備の実現。教職員のトレーニングを行い、自前メンテナンス、自前修理を実施することによる経費節減。利用状況ならびに利用者の要望を把握することによる必要な研究設備への資源投入の集中とその結果としての経費節減。

改善状況:修理費用の軽減については、学外検収への参加ならびに学外講師招聘等により教職員のトレーニングを行い、自前メンテナンス、自前修理を実施できる研究設備を増やすことにより対応することができた

平成 28 年度の自己点検・評価書に「改善すべき点」として記載、および平成 29 年 12 月までの改善状況を暫定として記載(平成 30 年 3 月までの状況は平成 29 年度の自己点検・評価書に記載する)

機器分析部門(本庄地区)

課題:紫外可視近赤外分光光度計や核磁気共鳴装置等化・陳腐化した共同利用汎用機器老朽について、引き続き更新の努力が必要である。

改善の状況および対策:学内措置として、NMR 装置の修理を実施する予定

生物資源開発部門(本庄地区)

課題:これまで生物多様性条約の下のカルタヘナ議定書、及び、それを担保するカルタヘナ法に関する安全管理に携わってきた。来年度中に、日本は、同じく、生物多様性条約の下の名古屋議定書の締結国になる。この問題に対する体制を整えることが課題である。

改善の状況および対策:国内の多くの大学に先駆けて、名古屋議定書およびよれに対応する国内指針に対応する体制を整えた。

環境安全部門(本庄地区)

課題:自前作業環境測定については、担当職員に資格取得を行わせ、実施できる態勢を整えたが、キャンパス全部署を実施するには人員が足りない状況である。

改善の状況及び対策:部門運営を鍋島地区と統合し、鍋島地区担当職員と本庄地区担当職員の 2 名体制で課題解決に務める。尚、前年度の課題であった再活用室を含むリサイクルファシリティ運用については鍋島地区と統合し、鍋島地区担当職員が統括することにより改善された。

放射性同位元素利用部門(本庄地区)

課題:設備更新によるユーザーが利用しやすい実験環境を引き続き整備する必要がある。また、原子力規制委員会が準備している法改正(検討中の内容)に含まれる、近年の多様化した放射線利用に対応可能な教育訓練を行う必要がある。

改善の状況および対策:放射線を利用した研究に必要な機器について、概算要求等の資金獲得を目指す、また汎用的な実験機器の整備を行い、研究環境の整備を引き続き行う。放射線管理に関する会議等に参加し情報の収集を行う。

機器分析部門(鍋島地区)

課題:研究設備の更新が滞っているため、老朽化・陳腐化、または故障して利用不能なものがあり、それらの更新が必要である。また、研究手段の進化により、新たな研究設備の導入も必要である。

改善の状況及び対策:修理費用の軽減については引き続き教職員のトレーニングを行い、自前メンテナンス、自前修理を実施することによる問題回避を推進する。老朽化設備の更新については、利用料金の見直し、学外利用を可能とするシステムの構築、学内余剰設備の調査と共同利用化、大学連携研究設備ネットワークの効率的利用、競争的外部資金等の獲得により目的を果たす。

生物資源開発部門(鍋島地区)

課題(継続):平成 25 年度に受けた動物実験に関する外部評価において、「ウサギの飼養保管状況において、ケージサイズが小さいため、一部のウサギが日常的な動作を行うための空間が十分に確保できていない懸念がある。」との指摘があり、国際基準に対応した大型ケージへの更新が課題となっている。

改善の状況および対策:既存の設備も老朽化しており、大型ケージへの改修転用は不可であり、器材の更新のための予算措置が必要である。しかし、高額な費用が必要なため、センターの運営費からの支出は困難。更新のための費用獲得に向けて予算申請に努めたが、予算獲得に至っていない。引き続き予算獲得に努める。

課題(新規):外部からの動物搬入増加、生殖工学支援サービスの開始に伴い動物の検疫隔離室が不足しており、動物搬入の遅延、支援サービスの順番待ちなどから利用者の研究の速やかな遂行に支障が生じてきている。改善の現状および対策:効率よく検疫隔離が実施できるよう、部屋単位の検疫隔離飼育からビニールアイソレータを使用した器材単位での飼育に変更することを検討している。そのためには、器材の更新が必要となる。設備マスタープランにあげてある導入年度の前倒し、必要器材の再検討等の見直しを行っている。

環境安全部門(鍋島地区)

課題:自前作業環境測定対応が遅れていること。

改善の状況及び対策:前年度の課題であった自前作業環境測定対応については、医学部・附属病院安全衛生委員会と検討を行い、順次導入実施を行った。

放射性同位元素利用部門(鍋島地区)

課題:施設の老朽化、ならびに研究設備の更新が滞っているため、老朽化・陳腐化、または故障して利用不能なものがあり、それらの改修ならびに更新が必要である。

改善の状況及び対策:施設改修については毎年予算要求を行っているが実施されていない。今年度も引き続き予算要求を行う。

6. 総括

平成 28 年度は教員の一般運営費が大幅に削減された初年であり、ユーザーによるセンター利用動向が大きく変動することが予想されたが、各部門により差はあるものの利用数の減少が確認できた。運営費の削減は継続されており、今後も利用者の動向を注意深く確認して行く必要がある。しかし、鍋島地区機器分析部門の機器利用数は昨年から 10,000 件増加している。このことは、業務の見直しや改善等により、利用数や利用率を向上させ、さらなる支援の強化が可能であることを示唆している。また、利用数が減少しているものの、依然としてセンターによる支援が学内の研究活動に恒常的に寄与していることは明らかである。また、センター利用によって得られた業績数は依然として多く、本センターが教育・研究支援組織としての役割を十分に果たしていることがわかる。

本センターに所属する教員はそれぞれ独自の研究テーマを持ち、各教員がそれぞれ研究成果を挙げている。さらに、こうした研究活動や研究交流を通じて、センターの教育研究支援レベルの向上に寄与するとともに、その専門知識・技能・資格あるいは保有設備を活かして講義・実習を担当することにより、教育に直接関わるほか、委員会活動を通じて本学の運営にも貢献している。また、センターでは、学会活動や地域社会の研究推進や環境保全活動などに積極的に参加・協力しており、これらの活動が、地域社会あるいは国内外における本学に対する評価を高めている。

しかしながら、センターの保有機器、あるいは施設の老朽化が顕著であり、教育・研究の支援に支障を来していることは大きな問題となっている。本問題は、概算要求による大型機器の更新および施設の改修によって徐々に改善されているものの、まだ充分とは言えない。従って、施設の改修や新しい機器の導入のための概算要求などを継続して行い、それに加えて、現有の機器の保守・施設の維持管理に関わる学内の予算措置の要求を行っていく必要がある。さらに、機器の保守管理に必要な技術職員が不足しており、施設の大きさおよび保有機器数に見合った人員の確保が重要と考えられるが、昨今の大学環境の状況を鑑みれば、人員増はかなり困難なことであることが予想されることから、業務ならびに設備の現状を的確に把握し、その改善、見直しを図ることにより、人的資源を投入する業務ならびに設備の取捨選択と集中化が必要であり、そのことについて重点的に取り組む事が重要である。また、センターの予算的自立による設備更新費用や修理費用の確保については、利用者数増加の取り組みや学外利用、受託試験の増加計画等により取り組む必要があると考えられる。以上の自助努力を行った上で、佐賀大学における教育・研究支援組織の中核として位置づけられている総合分析実験センターの支援環境整備に、大学全体のご理解とご協力をお願いしたい。

7. 業務等集計データ(センター教職員が実施・開催したもの)

(1) 研修・作業環境測定を集計データ

実施した研修等	開催日	参加人数
研修名		
動物実験に関する教育訓練(定期)	H28. 7. 14、7. 15	27
動物実験に関する教育訓練(不定期)	H28. 4. 7、4. 13、 7. 6、7. 13、 7. 14、7. 19、 7. 22、7. 26、 7. 29、7. 30、 8. 2、8. 10、 H29. 3. 23	18
動物実験に関する教育訓練(学部実習)	H28. 10. 17、 10. 18	107
動物実験に関する教育訓練(大学院講義等)	H28. 8. 1、 H29. 2. 21	8
第1回衛生管理担当者説明会	H28. 7. 25	51
第2回衛生管理担当者説明会	H29. 2. 13	55
第1回CRIS利用講習会	H28. 5. 19	21
第2回CRIS利用講習会	H28. 6. 27	13
第3回CRIS利用講習会	H29. 2. 13	33
化学物質リスクアセスメント講習会	H28. 5. 19	21
化学物質リスクアセスメント講習会	H28. 6. 9	15
化学物質リスクアセスメント講習会	H28. 7. 19	11
放射線障害防止法に基づく教育訓練(鍋島地区)	H28. 4. 12、13	40
放射線障害防止法に基づく教育訓練(不定期)(鍋島地区)	H28. 5. 13、 8. 24、9. 4、9. 22	10
放射線障害防止法に基づく教育訓練(定期)(本庄地区)	H28. 6. 17、 6. 24、12. 15、 12. 20 H29. 1. 19、 1. 27、3. 6、 3. 13、3. 14	80

作業環境測定		
単位作業場所	回数	対象物質
理工学部 9号館 5階 機能物質化学科 有機合成 実験室(3)512	1	クロロホルム
理工学部 9号館 5階 機能物質化学科 有機合成 実験室(4)513	1	ジクロロメタン ノ ルマルヘキサン
農学部 1号館 3階 環境分析化学 環境分析化学 実験室(1)302	1	ノルマルヘキサン
理工学部 1号館 1階 物理科学科 研究実験室 A 107	1	ノルマルヘキサン
理工学部 9号館 4階 機能物質化学科 共同実験 室(8)406	1	アセトン ノルマル ヘキサン ジクロロ メタン クロロホル ム 2-ブロパノール
理工学部 9号館 4階 機能物質化学科 共同実験 室(9)407	1	クロロホルム
理工学部 9号館 5階 機能物質化学科 有機合成 実験室(3)512	1	クロロホルム
理工学部 9号館 5階 機能物質化学科 合成化学 実験室(4)513	1	アセトン ノルマル ヘキサン ジクロロ メタン 酢酸エチル
理工学部 9号館 6階 機能物質化学科 合成化学 実験室(2)611	1	アセトン ノルマル ヘキサン ジクロロ メタン 酢酸エチル クロロホルム テ トラヒドロフラン
理工学部 9号館 6階 機能物質化学科 合成化学 実験室(2)611	1	メタノール
理工学部 9号館 6階 機能物質化学科 合成化学 実験室(2)611	1	N,N-ジメチルホルム アミド
理工学部 9号館 7階 機能物質化学科 無機化学 実験室(1)710	1	アセトン ジクロロ メタン
理工学部 9号館 7階 機能物質化学科 無機化学 実験室(1)710	1	メタノール
理工学部 9号館 7階 機能物質化学科 分析化学 実験室(1)711	1	アセトン
理工学部 9号館 7階 機能物質化学科 分析化学 実験室(2)712	1	メタノール
理工学部 9号館 8階 機能物質化学科 無機化学 実験室(2)810	1	メタノール
理工学部 9号館 8階 機能物質化学科 無機化学 実験室(3)811	1	アセトン ノルマル ヘキサン
理工学部 9号館 8階 機能物質化学科 無機化学 実験室(3)811	1	N,N-ジメチルホルム アミド
農学部 1号館 2階 機能高分子化学 機能高分子 化学実験室 1S-219	1	ジエチルエーテル
農学部 1号館 3階 環境分析科学 環境分析化学 実験室 1P-302	1	アセトン ノルマル ヘキサン ジクロロ メタン
本庄地区合計	20	
附属病院 中央診療棟 1階 材料部 オートクレ ーブ室	2	エチレンオキシド
附属病院 中央診療棟 2階 検査部血液生化学検 査室	2	キシレン

附属病院 中央診療棟 2階 検査部血液生化学検査室	2	ホルムアルデヒド
附属病院 中央診療棟 2階 検査部血液生化学検査室	1	メタノール
附属病院 中央診療棟 3階 病理検査室内（検体処置室）	2	キシレン
附属病院 中央診療棟 3階 病理検査室内（検体処置室）	2	ホルムアルデヒド
附属病院 中央診療棟 3階 病理検査室内（迅速・手術臓器処置室）	2	キシレン
附属病院 中央診療棟 3階 病理検査室内（迅速・手術臓器処置室）	2	ホルムアルデヒド
附属病院 中央診療棟 3階 病理検査室内（迅速・手術臓器処置室）（再）	1	ホルムアルデヒド
附属病院 中央診療棟 3階 病理検査室内（固定臓器切出し室）	2	ホルムアルデヒド
附属病院 中央診療棟 3階 病理検査室内（特定化学物質廃液類保管庫）	1	キシレン
附属病院 中央診療棟 3階 病理検査室内（特定化学物質廃液類保管庫）	1	ホルムアルデヒド
附属病院 東病棟 1階病理解剖部 解剖室	2	ホルムアルデヒド
附属病院 東病棟 1階病理解剖部 固定室	2	ホルムアルデヒド
附属病院 東病棟 1階病理解剖部 切出し室	2	ホルムアルデヒド
附属病院 東病棟 1階病理解剖部 材料保存室 3	2	ホルムアルデヒド
医学部基礎研究棟 1階 病因病態科学病理学 標本作製室 2126	2	ホルムアルデヒド
医学部基礎研究棟 1階 病因病態科学病理学 標本作製室 2126	2	キシレン
医学部院生研究棟 4階 内科学 内科共同第2研究室 2454	2	ホルムアルデヒド
医学部基礎実習棟 1階 生態構造機能学（解剖学・人類学）処置室	2	ホルムアルデヒド
医学部基礎実習棟 1階 生態構造機能学（解剖学・人類学）処置室（再）	1	ホルムアルデヒド
基礎実習棟 1階 生態構造機能学（解剖学・人類学）系統解剖実習室	1	ホルムアルデヒド
医学部院生研究棟 1階 内科学 循環器内科 第1実験室 2153	1	ホルムアルデヒド
医学部院生研究棟 1階 内科学 循環器内科 第1実験室 2153	1	メタノール
医学部基礎研究棟 1階 神経解剖学 2124 2125	1	キシレン
医学部基礎研究棟 3階 分子医化学 大実験室 2335	1	メタノール
医学部基礎研究棟 3階 分子医化学 小実験室 2351	1	キシレン
医学部基礎研究棟 2階 環境医学 質量分析室1 総合分析実験センター機器分析部門 2235	1	メタノール
鍋島地区合計	44	

(2)開催セミナー・機器利用説明会・取扱説明会・デモ機設置の実績

総合分析実験センター開催セミナー

開催番号	演者	演題	場所	日時
第1回	大阪大学大学院生命機能研究科 小川英和 特任教授 メルク株式会社ライフサイエンス バイオサイエンス営業部 シグマアルドリッチ	メルク 技術セミナー siRNA の 基礎と応用/Mission siRNA のご 紹介	医学部院生研究 棟 2 階 2287 室 セミナー室	H28. 6. 7
第2回	トミーデジタルバイオロジー(株)パ シフィックバイオサイエンス事業 部 橋本和明	ロングリードー分子リアルタイム シーケンサー「第三世代シーク エンサーが霧飛躍新時代のバイオ ロジー」	医学部院生研究 棟 2 階 2287 室 セミナー室	H28. 6. 21
第3回	Lee ChangWoo Department of Biomedical Science, Daegu University, Korea	The Role of a Conserved Active Site Wall Tryptophan or Tyrosine Residue in Temperature Adaptation of Enzymes	佐賀大学農学部 1号館1階第二 講義室	H28. 11. 1
第4回	渡邊高志 熊本大学薬学部附属薬 用資源エコフロンティアセンター	世界の伝承・伝統医学の礎・役割 を果たして来た植物資源戦略	農学部大学院多 目的講義室	H29. 1. 30

機器利用講習会（学内限定）

題目	品名	場所	日時
共焦点レーザー蛍光顕微鏡 利 用講習会	共焦点走査型レーザー蛍光顕微 鏡 LSM 5 PASCAL G/B	医学部基礎研究棟 2 階 2234 室	H28. 4. 26 H28. 5. 12

デモ機設置（学内限定）

機器名	メーカー	場所	日時
クライオスタット	サクラファインテック	医学部院生研究棟 2 階 2282 室	H28. 5. 10～ 5. 27
クライオスタット	サーモフィッシャーサイ エンティフィック	医学部院生研究棟 2 階 2282 室	H28. 6. 1～ 6. 16
共焦点イメージサイトメーター CQ1	横河電機	医学部臨床研究棟 4 階 2432 室	H28. 7. 4～ 7. 15
オールインワン蛍光顕微鏡	キーエンス	医学部基礎研究棟 2 階 2234 室	H28. 9. 1～ 9. 14
光学セクションシステム ApoTome. 2	カールツァイス	医学部基礎研究棟 2 階 2234 室	H28. 9. 26～ 9. 30
1細胞・組織ピッキング装置 Unipick	ネッパジーン	医学部基礎研究棟 2 階 2287 室	H28. 12. 15
共焦点レーザー走査型顕微鏡 NEW FV3000	オリンパス	医学部基礎研究棟 2 階 2234 室	H29. 2. 22～ 2. 24
共焦点レーザー走査型顕微鏡 SP8	ライカマイクロシステム ズ	医学部基礎研究棟 2 階 2234 室	H. 29. 3. 7～ 3. 10

8. センター利用実績

(1) 平成28年度利用実績の概要

平成28年度のセンター施設利用者は、延人数55,362名であり、センターに設置している設備・機器利用回数は、延36,359回であった。また、センター利用者の業績は、著書30報、原著論文315報、総説、解説、資料など63報、受賞8件、症例報告43報、学会発表、招待講演など1,209件、外部資金獲得は、116件で総額201,966,000円である(知的財産等の出願は0件)。センター専任の教職員の業績は、原著論文5報、総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文0報、学会発表・招待講演など30件、外部資金獲得は7件で総額9,100,000円であった。

(2) センター利用実績の動向

センター利用実績およびユーザー業績の集計値および年次変動を表および図にまとめた。

まず、センターの利用実績について、今年度の施設利用数(のべ人数)は、55,362人であり多くのユーザーに利用されていることがわかる(表1)。平成25年度から鍋島地区機器分析部門ののべ人数を集計値に加えたため、当年度以降に大幅にユーザー数が増加した(表1、図1)。本庄地区機器分析部門および本庄地区生物資源利用部門においては出入管理システムを所有していないため、のべ人数を把握することは困難であるが、本庄地区の機器利用数は5,317件(のべ使用回数)であることから、多数のユーザーによって利用されていることは明らかである(表1)。本庄地区の機器利用数(のべ回数)は例年と比較し大きく減少しているが、これは平成27年度から生物資源開発部門におけるDNAシーケンサーの利用回数の算出方法を総シーケンス数からのべ利用回数に変更したためである。しかし、平成27年度と比較し、機器利用数(のべ回数)および生物資源開発部門における総シーケンス数は減少傾向(約2000サンプルほど減少)にあるといえる。RI実験施設は本庄・鍋島の両地区とも他部門と比較しユーザーのべ利用回数は少ないが、年次変動を見る限り、常に一定の研究活動を支援していることがわかる(表1、図2)。近年、学外の放射線施設を利用するユーザーが増加し、それらユーザーの放射線業務従事者登録に必要な教育訓練を両地区RI施設ともに実施している。よって、数字としては表示されにくいものの、本学の放射線利用研究に貢献していると言える。学内で唯一の実験動物飼育施設を有する鍋島地区生物資源開発部門における飼育頭数は、ウサギを除き減少しているものの、昨年同様に多数の実験動物の使用保管がなされており、本学の研究教育に大きく貢献していることがわかる(図7、8)。鍋島地区機器分析部門は大幅にユーザー数を増加させている。業務の見直しや改善等により、利用数や利用率を向上させ、さらなる支援の強化が進んでいるといえる。ユーザー利用実績の年次変動は大きいものの、常に一定の業績が維持されていることから、センターが本学の教育・研究において恒常的に支援センターとしての役割を果たしていると考えられる(表1、図1、図2、図3)。

昨年度から新たに鍋島地区環境安全部門が担当するリサイクルファシリティ、再活用室の集計値を加えた(表1)。リサイクルファシリティおよび再活用室が利用されることで、各教員・研究室が所有する設備・機器の有効利用が促進されており、学内の資産運用に大きく貢献している。

次に、ユーザー業績について、外部資金の総額を除きユーザー業績は昨年度から大きく増加している(表2、図4、図5、図6)。このことについて、センター利用実績は例年とほぼ変動がないため、その理由の詳細については把握が困難である。主として各ユーザーの努力の賜物と考えられるが(表1、表2、図1、図4、図5、図6)、センターはそれらユーザーの研究・教育を支援していることから、学内の研究活動に貢献し、ユーザーの研究資金獲得に間接的に寄与していると言える。また、学会発表などの研究業績に多くの学生(博士・修士課程、および学部学生)が関与しているため、センターの支援業務は本学の研究教育に貢献していることが分かる(データ未記載)。しかしながら、平成28年度は教員の一般運営費(研究費)が大きく削減された初年であり、一部のユーザー利用においては明らかな減少が確認できる。現在も運営費削減が継続されているため、今後も注意深くユーザー利用状況を確認し、支援センターとして本学の研究教育に貢献する方策を検討することが最重要課題といえる。

表 1. センター利用実績の集計値

1) 利用実績の動向

		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
施設利用	動物実験施設	10,559	11,491	12,862	10,855	12,922	12,165	12,865	10,949	のべ人数
	RI実験施設(鍋島)	1,064	1,407	1,066	937	1,071	847	911	538	のべ人数
	RI実験施設(本庄)	800	750	487	452	475	489	494	830	のべ人数
	鍋島地区機器分析部門					37,662	33,412	26,952	43,045	のべ人数
	合計	12,423	13,648	14,415	12,244	52,130	1,336	41,222	55,362	のべ人数

機器利用	鍋島	24,289	13,261	14,759	14,981	19,446	11,818	21,070	31,042	のべ回数
	本庄	11,418	18,597	21,736	21,327	21,001	17,995	6,979	5,317	のべ回数
	合計	35,707	31,858	36,495	36,308	40,447	29,813	28,049	36,359	のべ回数

リサイクルファシリティ	環境安全部門	23	3	9	26	16	1	6	5	件数
再活用室	環境安全部門					1	17	36	7	件数

動物実験飼育頭数	マウス	2,711,530	2,587,800	2,592,215	2,838,345	2,840,095	2,543,299	2,143,610	1,344,255	のべ頭数
	ラット	38,887	40,860	50,004	56,592	64,628	71,823	79,095	49,567	のべ頭数
	ハムスター	0	0	0	0	5,129	2,667	2,674	1,609	のべ頭数
	ウサギ	65,358	73,454	75,239	61,240	59,300	46,958	21,654	24,567	のべ頭数
	イヌ	5,736	5,388	229	5	0	0	0	0	のべ頭数
	ブタ	0	0	0	0	0	0	0	0	のべ頭数
	モルモット	30	101	366	180	273	0	0	0	のべ頭数

表 2 ユーザー業績の集計値

		H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	備考
業績	著書	7	19	42	23	38	16	63	30	のべ件数
	学術論文	119	161	268	211	215	109	273	315	のべ件数
	総説・解説・その他	25	45	97	62	56	22	112	63	のべ件数
	学会発表など	452	462	637	599	622	381	1,282	1,209	のべ件数
	受賞							11	8	のべ件数
	症例報告							41	43	のべ件数
外部資金	件数	88	67	89	149	109	65	135	116	のべ件数
	総額	179,250	140,780	213,555	382,782	243,433	126,009	235,904	201,966	千円

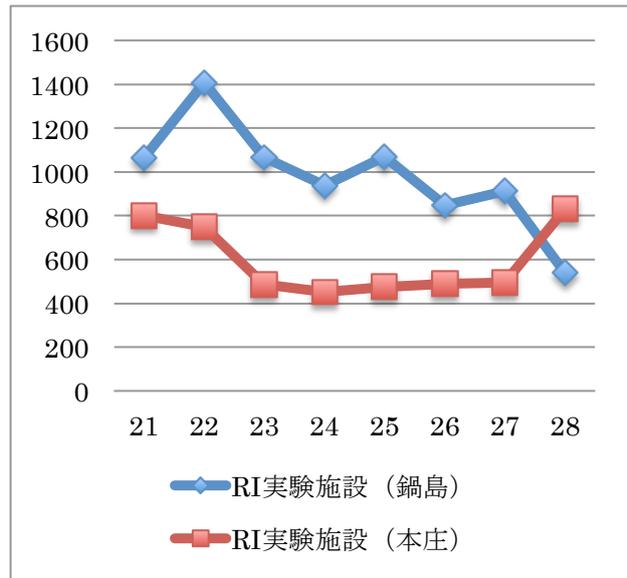
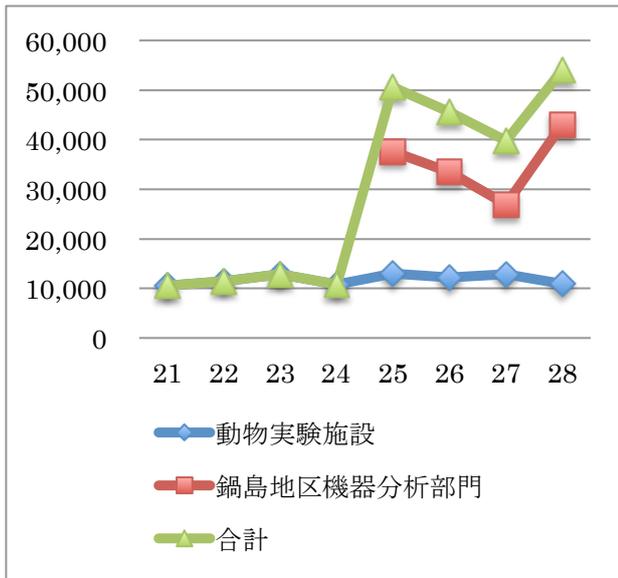


図1 施設利用者数の年次変化

図2 施設利用者数の年次変化(RIのみ)

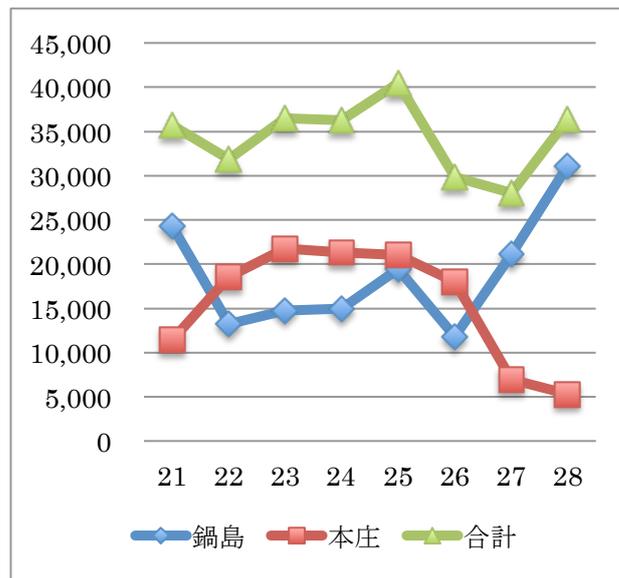


図3 機器利用数(のべ回数)の年次変化

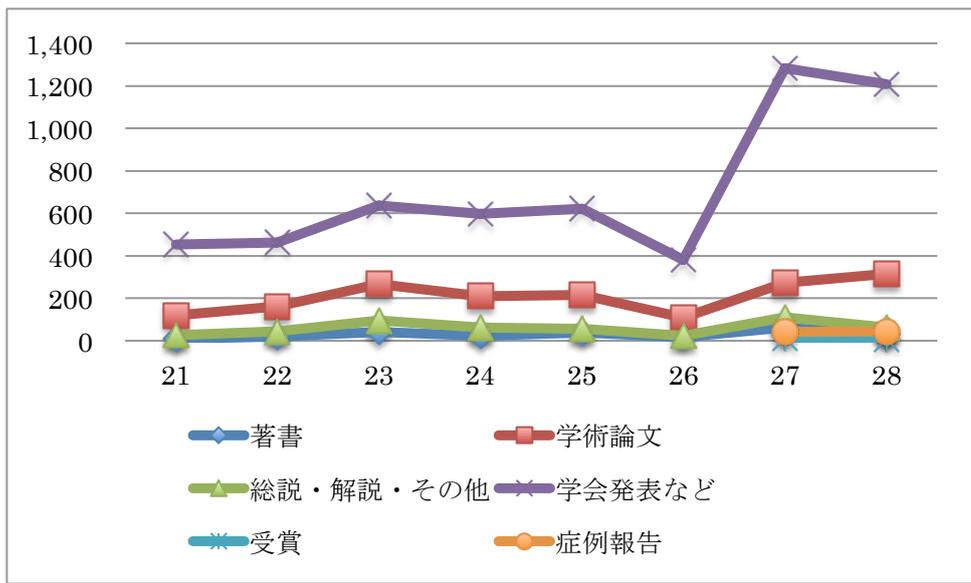


図4 ユーザー業績の年次変化

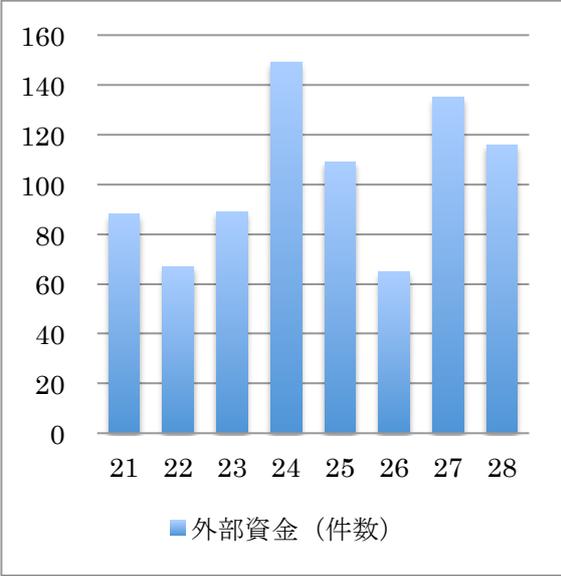


図5 ユーザー業績の年次変化(外部資金の件数)

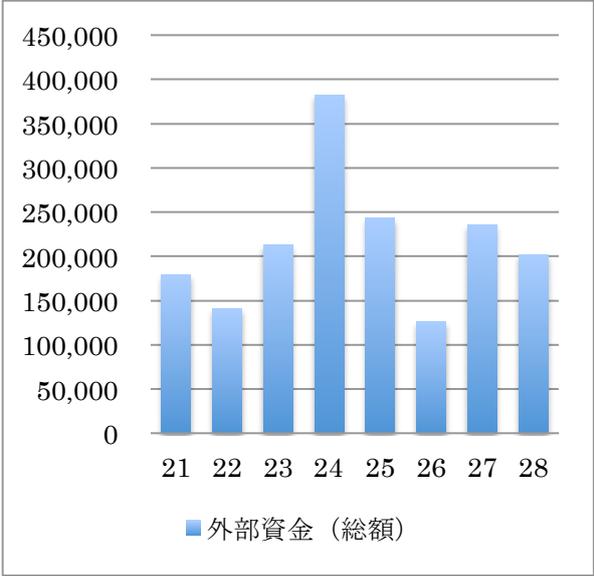


図6 ユーザー業績の年次変化(外部資金の総額)

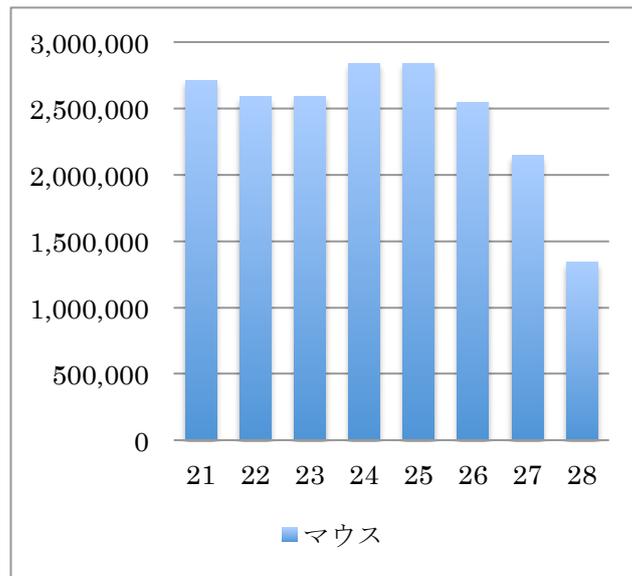


図7 飼育頭数の年次変化(マウスのみ)

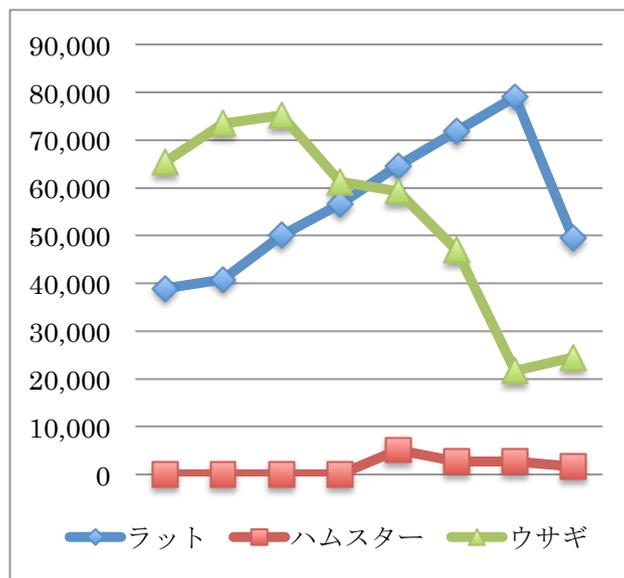


図8 飼育頭数の年次変化(ラット・ハムスター・ウサギ)

(3)センター施設、設備・機器利用数および利用機器

施設利用実績		
施設	のべ利用者数	備考
動物実験施設	10,949	登録者数 教職員 116、学生 62
鍋島地区 RI 実験施設	538	登録者数 教職員 34、学生 11
鍋島地区機器分析部門	43,045	登録者数 教職員 161、学生 58
本庄地区 RI 実験室	830	登録者数 教職員 35、学生 41
機器利用数		
鍋島地区 機器分析部門		
機器	のべ利用回数	備考
院 1F 低温室	-	H27 年 8 月～利用簿なし
基 2F 製氷機・低温室	1,294	入室回数
院 2F 製氷機・低温室	4,407	入室回数
基 3F 製氷機・低温室	2,064	入室回数
基 4F 製氷機・低温室	219	入室回数 H28 年 9 月製氷機廃棄
GeneChip	0	アレイ数
PCR GeneAmp 9700	0	利用回数
MassArray	0	チップ数
透過型電子顕微鏡 JEM-1400	42	利用回数
透過型電子顕微鏡 JEM-2100	53	利用回数 H28 年 12 月～鍋島へ移設・運用
走査型電子顕微鏡 JSM-6510	55	利用回数
薄切室	461	入室回数
パラフィン溶融器	65	利用回数
真空恒温器 DP-41	19	利用回数 H28 年 7 月使用簿設置
培養室	1,301	入室回数
オートクレーブ MLS-3751	20	利用回数
細胞自動解析装置 Z1S	38	利用回数
低温貯蔵室	1,641	入室回数
エレクトロマシショップ	166	入室回数
セミナー室	331	入室回数
細胞自動解析装置 FACSVerse	425	利用時間
細胞自動解析装置 FACSCalibur	410	利用時間
細胞自動解析装置 MACSQuant	182	利用時間
4800 Plus MALDI TOF/TOF Analyzer	18	利用回数 H28 年 5 月～9 月故障・停止
オートインジェクタースポットシステム DiNa	12	利用回数
ProteinPilot	0	利用回数
共同利用実験室	2,707	入室回数
自記分光光度計 UV-2100PC	1	利用回数
pH メーター F-55S	50	利用回数
超音波洗浄機	16	利用回数
超音波破砕機 UD200	8	利用回数
電子天秤 TXB6201L	25	利用回数
電子天秤 R200D	52	利用回数
ブロックインキュベーター BI-516H	21	利用回数 H28 年 11 月から使用簿を設置

微量高速遠心機 MX-305	14	利用回数
液体クロマトグラフ質量分析計 LCMS-8030	46	利用回数
高速液体クロマトグラフ Prominence	21	利用回数
共焦点レーザー蛍光顕微鏡 LSM PASCAL 5	164	利用回数
一体型蛍光顕微鏡 FSX-100	117	利用回数
デジタル蛍光顕微鏡 AxioPlan2	3	利用回数
自動現像機 CEPROS Q	174	利用枚数
トランスイルミネーター	11	利用回数
ゲル撮影装置 AE-6933FXCF	15	利用回数
オートクレーブ LSX-500 ①②③	159	利用回数(3台合計) H28年1月～11月改修工事の為 一部利用停止 H28年11月3台稼働開始
乾熱滅菌機 SG-62 ①②	61	利用回数(2台合計) H28年1月～11月改修工事の為 一部利用停止 H28年11月2台稼働開始
蒸留水製造装置 GlassStill8	6,542	採水量(リットル)
超純水製造装置 NANOpure DIamond	1,500	採水量(リットル)
ゲル乾燥処理装置 AE-3750	0	利用回数 H28年1月～11月改修工事の為 利用停止
DNA シーケンサー3130 ①②	1,152	RUN数(2台合計)
リアルタイム PCR StepOnePlus ①②	889	利用回数(2台合計)
リアルタイム PCR LightCycler 480	8	利用回数 H29年1月から共同利用機器に 登録
デジタル PCR システム PyroMarkQ24	294	ウェル数
PyroMarkQ24	120	利用回数
ナノ・ドロップ	637	利用回数
ゲル撮影装置 STAGE1000	167	利用回数
サーモサイクラー T-GRADIENT	21	利用回数
紫外線架橋機 ストラータリンカー	6	利用回数
恒温振盪器 G-25	6	利用回数
振盪培養器 E25R	28	利用回数
遠心式濃縮機 VC-36R	52	利用回数
高速冷却遠心機 HP-25	39	利用回数
卓上破砕機 シェイクマスター ネオ	7	利用回数
多本架冷却遠心機 LX-141	227	利用回数
卓上型分離用超遠心機 Optima-TLX	2	利用回数
分離用超遠心機 Optima L-70	0	利用回数
凍結乾燥機 FDU-2100	15	利用回数
ルミノ・イメージアナライザー LAS3000	875	利用回数
フルオロ・イメージアナライザー FLA7000	41	利用回数
紫外可視分光解析システム DU-650	1	利用回数
マルチラベルプレートカウンター ARVO	517	利用回数

サーマルサイクラー PCR 2720	6	利用回数
バイオアナライザー	36	利用回数
炭酸ガス細胞培養装置 9100E	365	利用回数 H28年4月～RIより貸与 H29年 RIに返却
全自動アミノ酸分析システム Pico-Tag	-	利用回数 H27年1月より休止・H28年廃棄
エレクトロポレーションシステム GenePulser	0	利用回数
ガスクロマトグラフ GC-2014AF	27	利用回数
ガスクロマトグラフ質量分析計 QP2010	6	利用回数
原子吸光分光光度計 AA-7000	0	利用回数
IVIS Lumina III	18	利用回数
解析用 PC	7	利用回数
FlowJo	265	利用回数
遺伝情報処理ソフト GENETYX	135	利用回数
ロータリーエバポレーター	休止中	利用回数 H27年7月～休止中
精製クロマトグラフィー ÄKTA purifier	休止中	利用回数 H27年1月より休止中
二次元電気泳動装置 Multiphor II	休止中	利用回数 H27年4月～休止
二次元電気泳動装置 プロティアンII スラブセル	休止中	利用回数 H27年4月～休止
BIAcore T100	休止中	利用回数 H27年1月～休止
自動パルスフィールド電気泳動	休止中	利用回数 H27年7月～休止
鍋島地区 RI 部門		
機器	のべ利用回数	備考
ガンマセル40	50	利用回数
液体シンチレーションカウンタ	11	利用回数
ベータプレート	22	利用回数
オートガンマカウンタ	3	利用回数
バイオイメージアナライザー	5	利用回数
X線照射装置	53	利用回数
遺伝子増幅装置 T1	0	利用回数
本庄地区機器分析部門・生物資源開発部門		
紫外可視近赤外分光光度計(Lambda 19)	50	利用時間
紫外可視近赤外分光光度計(Lambda 900)	8	利用時間
電子スピン共鳴装置	52	利用時間
フーリエ変換赤外分光光度計 (VERTEX70-S)	138	利用時間
フーリエ変換赤外分光光度計 (FT/IR-4200)	15	利用時間
ガスクロマトグラフ質量分析計 (7890/5975C)	363	利用日数
ガスクロマトグラフ質量分析計 (JMS-GCmateII)	4	利用時間

ガスクロマトグラフ(GC-2014)	88	利用時間
ガスクロマトグラフ質量分析計 (GC-17A,GCMS QP5050A)	0	利用時間
超伝導高分解能フーリエ変換核磁気 共鳴装置(JNM-AL300)	283	利用時間
円偏光二色性分散計(J-820)	291	利用時間
燐光蛍光光度計	0	利用時間
蛍光光度計(FP-750)	10	利用時間
蛍光光度計(FP-6200)	182	利用時間
旋光計	13	利用時間
ゼータ電位・粒径測定システム	273	利用時間
フーリエ変換核磁気共鳴装置(Agilent 400MHz NMR system)	918	利用時間
CCD 単結晶自動 X 線構造解析装置	17	利用日数
水平型 X 線構造解析装置	497	利用時間
エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置	277	利用時間
走査型電子顕微鏡	249	利用時間
透過電子顕微鏡	17	利用日数
パッチクランプイオンチャンネル計	455	利用時間
蛍光寿命測定装置	17	利用時間
紫外可視分光光度計	45	利用時間
発光量子収率測定装置	0	利用時間
キャピラリー電気泳動装置	0	利用時間
DSC 熱量計	248	利用時間
振動式デジタル密度音速計	16	利用時間
原子間力顕微鏡	17	利用時間
SQUID磁束計	28	利用日数
DNAシーケンサー(Type3130)	1,472	のべ利用回数(5888 サンプル)
ルミノイメージアナライザー	5	のべ利用回数(5 サンプル)
DNA・RNA 定量装置	553	のべ利用回数(553 サンプル)
本庄地区 RI 部門		
液体シンチレーションカウンタ	26	利用回数(利用時間:30 h)
バイオイメージングアナライザ	0	利用回数
焼却炉	0	利用回数
分光光度計	0	利用回数(利用時間:0 h)
ガンマカウンタ	0	利用回数
空気捕集装置	12	利用回数
H/C サンプラー	12	利用回数
高温振とう器	0	利用回数(利用時間:0 h)
NaI シンチレーションカウンター	24	利用回数(利用時間:24 h)
GM 計数管	24	利用回数(利用時間:24 h)
イオン交換水製造機	18	利用回数
人工気象器	-	利用回数(利用時間:2160 h)

リサイクルファシリティ

機器名	台数	年月日
遠心機	1	H28.4.28
SCANNING MICROSCOPE	1	H28.5.27
電子描画装置	1	H28.5.27
HPLC・アミノ酸分析装置	1	H28.9.15

机、椅子、実験台、ファイリングキャビネット、マガジンラック、テーブル、食器棚	1	H28.9.22
--	---	----------

再活用室

物品名	台数	利用期間
機器、書籍、アングルパーツ等	1	H28.4.1～H29.3.31
大型トランス、真空容器、実験器具(段ボール入り)他、多数	1	H28.8.1～H29.3.31
NEDO 受託研究に関する資料・書籍等	1	H28.4.1～H29.3.31
乾燥機 (DO-450)	1	H28.4.1～H29.3.31
Hitachi (PO-0.4L, Bebicon)	1	H28.4.1～H29.3.31
フラクションコレクター (DC-1200)	1	H28.4.1～H29.3.31
フッ素回収用作成装置 (一式)	1	H28.4.1～H29.3.31

(4)平成28年度利用者の業績及び外部資金

著書

著者名	題目	著書名, 巻, 号, 頁
Hiura A, Nakagawa H, Kumamoto E, Liu T, Fujita T, Jiang C-Y	Peripheral and central inflammation caused by neurogenic and immune systems and anti-inflammatory drugs.	Frontiers in Clinical Drug Research - Anti Allergy Agents:Atta-ur-Rahman, 2: 149-206, DOI: 10.2174/97816810815951160201
Izuhara K, Matsumoto H, Nagasaki T, Ohta S, Ono J	Serum periostin is a biomarker reflecting tissue remodeling in bronchial asthma	Allergies: Current challenges and solutions, 133-136
Ohgidani M, Kato TA, Mizoguchi Y, Horikawa H, Monji A, Kanba S	Antidepressants Modulate Microglia Beyond the Neurotransmitters Doctrine of Mood Disorders.	Melatonin, Neuroprotective Agents and Antidepressant Therapy 611-620
相島慎一、山地康太郎	総論 転移性肝腫瘍の病理	臨床外科 2016年11月号 特集 転移性肝腫瘍のいまなぜ・どこが原発臓器ごとに違うのか, 1331-1337
安西一正、石原晋、石原武司、一柳保、井上潤一、大友康裕、大貫隆広、小澤和弘、加藤宏、加藤正哉、金子直之、金丸勝弘、清住哲郎、小林國男、今明秀、坂本哲也、阪本雄一郎、篠崎正博、清水彰一郎、管谷由紀夫、須田志優、関根和弘、高山隼人、瀧野昌也、竹内秀夫、田尻浩明、田勢長一郎、田中秀治、鶴岡信、徳永尊彦、根本学、畑中哲生、早川達也、張替喜世一、本間正人、松岡哲也、松田潔、松田繁、松本尚、間瀬則文、六車崇、森保彦、森出智晴、森村尚登、山崎元靖、横田順一郎、横山正巳 (50音順)	第7章 JPTEC を取り巻く環境 第1節 ドクターヘリ・ドクターカー 解説	改訂第2版 JPTEC ガイドブック p.p.214-215
井上 聡	5部 診断治療技術 17章 外傷における超音波検査	DSTC 外傷外科手術マニュアル [Web 動画付]
小野 伸之	4章 難治性病態へのアプローチ 6. 膠原病に合併した TMA の病態と治療	リウマチ・膠原病診療ハイグレード リウマチ・膠原病の合併症や諸問題を解く
中尾佳史	D. 婦人科腫瘍 7) 外陰の腫瘍	産婦人科研修の必修知識 2016-2018, 617-623
中尾佳史	卵巣がん Q48 治療が終わってから、どのくらい病院に通わないといけませんか？また、治療後にはどのような検査がありますか？	患者さんとご家族のための子宮頸がん子宮体がん卵巣がん治療ガイドライン第2版 189-191
中尾佳史、横山正俊	第II章 性成熟期 2. Office Gynecology における婦人科腫瘍・類腫瘍・その他 1. 外陰、膣の良性腫瘍・類腫瘍 外陰や膣でよく遭遇する腫瘍・類腫瘍とその対処法は？	女性医学ガイドブック 思春期・性成熟期編 2016年度版 120-124
伊藤 学、古川浩二郎	II. 血管治療医が行う 2章 バイパス治療の役割	WOC Nursing 16年7月号 57-63
浦上 宗治	31. ポリコナゾール中毒を疑い TDM を実施した症例	臨床現場で役立つ！実例から学ぶ TDM のエッセンス, 143-150
浦上 宗治	44. ポリコナゾール開始後に肝胆道系酵素の上昇を認めた症例	臨床現場で役立つ！実例から学ぶ TDM のエッセンス, 200-203
浦上 宗治、青木 洋介	VI もう一步踏み込んで知っておきたい抗菌薬の知識 3. 薬剤熱への対応	調剤と情報 2016年8月増刊号 (Vol. 22 No. 11) 薬局・薬剤師のための抗菌薬攻略ガイド
垣内俊彦	特集ピロリ菌について	すくらむ佐賀 vol.7 2016夏号
垣内俊彦	未来の胃がんを予防するために知っておきたい5つのこと	未来の胃がんを予防するために知っておきたい5つのこと

垣内俊彦、岩根紳治、江口有一郎、吉原大介	B型肝炎の認知とワクチン接種行動の向上の取り組み	佐賀県肝がん死亡率全国ワースト1の打開をめざして
垣内俊彦、江口有一郎、松尾宗明	B型肝炎母子感染予防処置引き継ぎ紹介状/B型肝炎母子感染予防について ~家族説明用紙~/C型肝炎母子感染について ~家族説明用紙~/母親の肝臓内科への紹介状ほか	小児B型・C型肝炎診療マニュアル(第1版)
柿原奈保子、内橋和芳、山本美保子、青木茂久、杉原甫、戸田修二	3章 マウスモデルおよび細胞培養と実験的粥状動脈硬化症 II.細胞培養 2.メタボリックシンドロームを理解するための脂肪組織の基礎、血管周囲脂肪組織の特性と病態解析モデル	粥状動脈硬化症
錦戸利幸、野出孝一	9.合併症(4)大血管症 血圧	「別冊プラクティス」糖尿病を診る ポケット検査事典 121
祖川 倫太郎、藤戸 博	1.精神・神経系の病気とくすり B中枢系疾患 うつ病、躁うつ病(双極性障害)治療薬の薬理と薬学管理上の注意点	薬局 2016年増刊号 病気とくすり 2016 特集 病気とくすり 2016 基礎と実践 Expert's Guide
草場 耕二	2.シーケンス解析 16S rRNA シークエンス解析による微生物の同定	臨床と微生物 43巻 2016年10月増刊号 微生物検査における技術革新 109-113
田中敦史、野出孝一	1 糖尿病の病態をどう捉える Q13 高インスリン血症は心血管事故のリスクであるといわれています。その機序を教えてください。	心血管事故を予防するための糖尿病治療戦略 実践のためのQ&A 45-48
K. Inoue, M. Gurung, H. Kawakita, K. Ohto, D. Parajuli, B. Pangen, S. Alam	Chapter 5 Development of Novel Biosorbents for Gold and Their Application for the Recovery of Gold from Spent Mobile Phones	The recovery of gold from secondary sources, 143-171, 201610
K. Ohto, Y. Ueda, R. R. Sathuluri, H. Kawakita, S. Morisada, K. Inoue	Silver Extraction and Recovery with Macrocyclic and Tripodal Compounds	Silver Recovery from Assorted Spent Sources: Toxicology of Silver Ion, , 201803
高椋利幸	材料表面の親水・親油の評価と制御設計	, , 201607
Mitsunori Yada	Syntheses and Applications of Titanium Compound Nanofiber Thin Films	Nanofiber Research - Reaching New Heights, , 201610
穴井豊昭	有用作物の作成	植物の知恵とわたしたち 大学教育出版 224-236
永尾晃治、柳田晃良	食環境を利用したメタボリックシンドロームの予防・改善の可能性	粥状動脈硬化症, 戸田隆義編 134-142
徳田 誠	植物をたくみに操る虫たち 虫こぶ形成昆虫の魅力	植物をたくみに操る虫たち 虫こぶ形成昆虫の魅力 1-277

受賞

受賞者氏名	学術(学会)賞名	受賞課題
上野雅也	第30回独創性を拓く 先端技術大賞	抗菌性人工関節の開発
野田岩男	平成28年度 日本人工臓器学会 技術賞	抗菌性人工関節の開発
松本明子	日本衛生学会奨励賞	疾病予防に資するバイオマーカーの研究
三宅靖延	第81回日本インターフェロン・サイトカイン学会奨励賞	結核菌に対する宿主免疫応答を担う2つのレクチン受容体の協調的相互作用の解明
宮本比呂志	平成28年度 日本人工臓器学会 技術賞	抗菌性人工関節の開発
西田有毅	福岡県すこやか健康事業団 がん研究助成金奨励賞	患者由来白血病マウスモデルにおける新規BMI-1阻害剤PTC596のAML幹細胞抑制効果の検討
田代宏樹	第77回日本呼吸器学会九州支部学術奨励賞	IL-33 from inflammatory monocytes recruited to lung contributes to HDM-Induced airway inflammation
脇山幸大	優秀ポスター発表賞 第4回がんと代謝研究会 in 鹿児島	P-1223 HIF-1 α 阻害剤YC-1+GI併用療法は、ワールブルグ効果をターゲットとした胃癌の新規薬物療法となりうる プログラム・発表抄録収録 73

症例報告

著者名	題目	雑誌名, 巻, 号, 頁
D Matsumura, A Tanaka, T Nakamura, E Sato, K Node.	Coexistence of atypical hemolytic uremic syndrome and crescentic IgA nephropathy treated with eculizumab: a case report	Clinical Nephrology_ Case Studies. 4:24-28, doi:10.5414/CNCS108889
Furukawa K, Ohtsubo S, Itoh T.	Aortic root endoscopy for aortic valve-sparing operations.	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery. 152(2):638-9. doi: 10.1016/j.jtcvs.2016.03.033
Ito H, Nakahara Y, Kawashima M, Masuoka J, Abe T, Matsushima T	Typical Symptoms of Normal-Pressure Hydrocephalus Caused by Choroid Plexus Papilloma in the Cerebellopontine Angle.	World Neurosurg. 98:875.e13-875.e17. doi: 10.1016/j.wneu.2016.11.106
Kawano H, Inoue K, Matsumoto Y, Sato O, Arakawa S, Nakatomi D, Yamasa T, Aoki S, Maemura K.	Calcification around the Struts of a Sirolimus-eluting Stent Approximately 16 Months after Implantation in an Autopsy Case.	Intern Med. 55(4):353-8. doi: 10.2169/internalmedicine.55.4799
Kitamura H, Kubota Y, Fukushima N, Ichinohe T, Hayasaka D, Kamachi K, Yoshihara M, Itamura H, Hisatomi T, Wakayama K, Sueoka E, Kimura S.	Famotidine-induced reactive plasmacytosis and generalized lymphadenopathy: a case report and review of the literature.	Int J Clin Exp Pathol 9(7):7680-7685
Kitamura H, Shindo T, Yakushiji Y, Yoshihara M, Eriguchi M, Kubota Y, Noguchi T, Kimura S.	Domino-style cerebral bleeding in immune thrombocytopenic purpura.	JAMA Neurol. 73(4):474-5. doi: 10.1001/jamaneurol.2015.4508
Kubota Y, Ichinohe T, Yoshimura M, Itamura H, Hisatomi T, Fukushima N, Sueoka E, Kimura S.	Acute myeloid leukemia with t(3:8)(q26;q24) complicated by diabetes insipidus.	Ann Hematol. 95(4):653-5. doi: 10.1007/s00277-016-2595-0
Kusaba K, Kojima K, Naito S, Taba M, Kai K, Ureshino H, Nishida Y, Kimura S	Paraneoplastic sarcoidosis in multiple myeloma	Intern Med., in press
Nagai K, Suyama Y, Koga D, Nishi M, Iida C, Tashiro K, Danjo A, Kai K, Matsuo M	Anaplastic Lymphoma Kinase-Positive Anaplastic Large Cell Lymphoma with Cardiac Metastasis and Arterial Tumor Embolisms during First-Course Chemotherapy.	Case Rep Oncol. 9(2):440-446, doi: 10.1159/000447999
Nagai K, Suyama Y, Koga D, Nishi M, Iida C, Tashiro K, Danjo A, Kai K, Matsuo M	Anaplastic Lymphoma Kinase-Positive Anaplastic Large Cell Lymphoma with Cardiac Metastasis and Arterial Tumor Embolisms during First-Course Chemotherapy	Case Rep Oncol. 9(2): 440-446, doi: 10.1159/000447999
Nakamura J, Okuyama K, Sato H, Yoda Y, Kai K, Noshiro H.	Repeated changes of the molecular subtype in gastric metastasis from breast cancer: A case report.	Mol Clin Oncol. 4(5):695-698.
Nishioka A, Kubota Y, Sueoka E, Kimura S.	Reversible Liver Steatosis Induced by Chemotherapy of Mixed-phenotype Acute Leukemia	Intern Med 55: 1025-1026, DOI: 10.2169/internalmedicine.55.5685
Omura T, Watanabe E, Otsuka Y, Yoshida Y, Kato H, Nangaku M, Miyata T, Oda S.	Complete remission of thrombotic microangiopathy after treatment with eculizumab in a patient with non-Shiga toxin-associated bacterial enteritis: A case report.	Medicine (Baltimore). 95(27):e4104. doi: 10.1097/MD.0000000000004104
Sadamatsu H, Takahashi K, Tashiro H, Komiya K, Nakamura T, Sueoka-Aragane N.	Successful treatment of pulmonary nocardiosis with Fluoroquinolone in bronchial asthma and bronchiectasis	Respirol Case Rep. 5(3):e00229. doi: 10.1002/rcr2.229
Sato H, Yoshikai M, Ikeda K, Mukae Y.	Surgical treatment of valvular and supra-valvular aortic stenosis in homozygous familial hypercholesterolemia.	General Thoracic and Cardiovascular Surgery. 64(2):98-100. doi: 10.1007/s11748-014-0378-x
Suematsu R, Tashiro S, Ono N, Koarada S, Ohta A and Tada Y.	Successful golimumab therapy in four patients with refractory Takayasu's arteritis	Mod Rheumatol, http://dx.doi.org/10.3109/14397595.2015.1134393

Tanaka A, Nakamura T, Sato E, Node K.	Aquaporin-2 is a potential biomarker for tolvaptan efficacy in decompensated heart failure complicated by diabetic nephrotic syndrome.	Int J Cardiol. 210:1-3. doi: 10.1016/j.ijcard.2016.02.106
Tanaka A, Nakamura T, Sato E, Node K.	Impact of low-density lipoprotein apheresis for nephrotic syndrome in a patient with immunoglobulin M nephropathy.	Nephrology (Carlton). 21(12):1073-1074. doi: 10.1111/nep.12711
Tanaka A, Nakamura T, Sato E, Ueda Y, Node K.	Progressive idiopathic nodular glomerulosclerosis mimicking diabetic nephropathy without abnormal glycaemic metabolism.	Nephrology (Carlton). 21(12):1074-1075. doi: 10.1111/nep.12784
Tashiro H, Takahashi K, Nakamura T, Komiya K, Kimura S, Sueoka-Aragane N.	Coexistence of lung cancer and immunoglobulin G4-related lung disease in a nodule: a case report.	J Med Case Rep. 10(1):113. doi: 10.1186/s13256-016-0898-3
Tashiro H, Takahashi K, Sadamatsu H, Uchida M, Kimura S, Sueoka-Aragane N	Chronic and Asymptomatic Diffuse Alveolar Haemorrhage with Microscopic Polyangiitis: A Case Report and Review of the Literature.	Case Rep Rheumatol. Vol.2016:1658126. doi: 10.1155/2016/1658126
Ureshino H, Kizuka H, Kusaba K, Sano H, Nishioka A, Shindo T, Kubota Y, Ando T, Kojima K, Kimura S	5q- syndrome-like features as the first manifestation of myelodysplastic syndrome in a patient with an unbalanced whole-arm translocation der(5:19)(p10;q10)	International Journal of Hematology pp 1-5 DOI: 10.1007/s12185-016-2160-6
Ureshino H, Miyahara M	Spontaneous regression of adult T cell leukemia/lymphoma following development of immune thrombocytopenia	Ann Hematol. 95(5):841-3. doi: 10.1007/s00277-016-2624-z
Ureshino H, Miyahara M	Unusual co-occurrence of Evans syndrome and pure red cell aplasia in elderly patient with prostate cancer	Ann Hematol. 95(10):1743-4. doi: 10.1007/s00277-016-2750-7
Ureshino H, Nishioka A, Kojima K, Kizuka H, Sano H, Shindo T, Kubota Y, Ando T, Kimura S.	Subdural hematoma associated with dasatinib and intrathecal methotrexate treatment in Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia.	Intern Med. 55(18):2703-6. doi: 10.2169/internalmedicine.55.6966
Ureshino H, Nishioka A, Kojima K, Suzuki M, Kizuka H, Sano H, Shindo T, Kubota Y, Ando T, Kimura S.	Rituximab-induced Acute Thrombocytopenia in High Tumor Burden Follicular Lymphoma	Intern Med. 55(15):2061-4. doi: 10.2169/internalmedicine.55.6140
Ureshino H, Tanabe M, Kurogi K, Miyahara M, Kimura S	Acute Megakaryoblastic Leukemia with Myelodysplasia-related Changes Associated with ATM Gene Deletion.	Intern Med. 55(12):1625-9. doi: 10.2169/internalmedicine.55.5890
Yamanouchi K, Sakata Y, Tsuruoka N, Shimoda R, Uchida M, Akutagawa T, Shirai S, Fujimoto K, Iwakiri R.	Cronkhite-Canada syndrome complicated by triple primary cancers	Intern Med. 55(12):1569-73 doi: 10.2169/internalmedicine.55.6594
Yasuda S, Yamamoto M, Fukuda T, Ohtsuka Y, Miura O.	Postoperative Atypical Hemolytic Uremic Syndrome Treated Successfully with Eculizumab.	Intern Med. 55(9):1171-5. doi: 10.2169/internalmedicine.55.5955
Yoshikai M, Ikeda K, Itoh M, Ueno Y.	Type IV dual left anterior descending coronary artery.	Eur J Cardiothorac Surg. 49(4):1289. doi: 10.1093/ejcts/ezv188
芥川剛至、山内康平、下田良	今月の症例 大腸化膿性肉芽腫(pyogenic granuloma)の1例	胃と腸 51巻6号 Page735-738, DOI: http://dx.doi.org/10.11477/mf.1403200637
小野行秀、上床希久、中尾嘉修、徳田悠希子、田代知子、丸山暁人、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	遺伝性CIインヒビター欠損症に合併した全身性エリトマトーデスの1例	九州リウマチ 36 : 40-44
堺真梨子、貞永裕梨、小野伸之、内藤優香、徳田悠希子、小野行秀、田代知子、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	小腸病変によるイレウスを呈したりウマトイド血管炎の一例	九州リウマチ 36 : 94-100

野口光代、西山 哲、橋口真理子、山崎文朗、内橋和芳、内山倫子、安永牧生、中尾佳史、横山正俊	子宮頸部細胞診を契機に発見された atypical polypoid adenomyoma (APAM) の 1 例	日臨細胞九州会誌第 47 号 P107-111
原口 祥典、松永 高政、井上 素仁、吉本 静志、溝口 義人、門司 晃	症例報告 抗精神病薬による治療後も BPSD が残存するアルツハイマー病患者 10 症例におけるメマンチン投与後の変化	老年精神医学雑誌 27(5) 547-553
山下佳雄	Dd 診断力ですと「上顎歯肉の腫脹、出血」	DENTAL DIAMOND 2016 年 6 月号 Vol.41 No.602 17-18
桑代麻希、井上卓也、木村裕美、三砂範幸、成澤寛	向精神薬大量内服による横紋筋融解症をともなった Coma Blister の 1 例	西日本皮膚科. 78(2): 140-144 http://doi.org/10.2336/nishinonhifu.78.140
佐藤 博文、井手 貴雄、甲斐 敬太、北原 賢二、上田 純二、能城 浩和	手術単独で治療した胆管原発小細胞癌の 1 例	日本臨床外科学会雑誌, 76 (9) 2293-2298
大津正和、永瀬浩太郎、木村裕美、白井礼子、古場慎一、井上卓也、成澤寛	手指に生じた脂腺癌の 1 例	西日本皮膚科. 78(5): 512-515 http://doi.org/10.2336/nishinonhifu.78.512
田代克弥、飯田千晶、牛ノ濱大也	Fontan 術後に発症した低蛋白血症に spironolactone の追加投与が奏功した一例.	日本小児循環器学会雑誌 32(1): 43-47, doi:10.9794/jspccs.32.43
土井和子、嬉野博志、宮原正晴、古江増隆	Kaposi 肉腫の 2 例	西日本皮膚科 78(1):44-49
北村 捷、甲斐 敬太、佐藤 慎太郎、中村 光男、次富 久之、山崎 真希子、増田 正憲、高瀬 ゆかり、倉富 勇一郎、相島 慎一	上咽頭に発生した滑膜肉腫の 1 例	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 47: 59-63
野中俊宏、薬師寺祐介、井手俊宏、伊藤寛、河本和裕、原英夫	発症前に多彩な脳アミロイドアンギオパチー関連 MRI 所見が描出されていたアルツハイマー病合併脳葉型出血の 1 例.	臨床神経学 56(5), 338-343

原著論文

著者名	題目	雜誌名, 卷, 号, 頁
Aoki S, Sakata Y, Shimoda R, Takezawa T, Oshikata-Miyazaki A, Kimura H, Yamamoto M, Iwakiri R, Fujimoto K, Toda S.	High-density collagen patch prevents stricture after endoscopic circumferential submucosal dissection of the esophagus: a porcine model.	Gastrointest Endosc. doi: 10.1016/j.gie.2016.10.012
Araki K, Hara M, Sakanishi Y, Shimanoe C, Nishida Y, Matsuo M, Tanaka K	Estimating rotavirus vaccine effectiveness in Japan using a screening method.	Hum. Vacc. Immunother. 12(5):1244-9. doi: 10.1080/21645515.2015.1121337
Bae Y, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Hong GU, Ro JY, Park GH, Choi JH.	Periostin and Interleukin-13 Are Independently Related to Chronic Spontaneous Urticaria.	Allergy, Asthma & Immunol. Res. 8(5):457-460. doi: 10.4168/aair.2016.8.5.457
Chen Y, Singh S, Matsumoto A, Manna SK, Abdelmegeed MA, Golla S, Murphy RC, Dong H, Song BJ, Gonzalez FJ, Thompson DC, Vasiliou V.	Chronic Glutathione Depletion Confers Protection against Alcohol-induced Steatosis: Implication for Redox Activation of AMP-activated Protein Kinase Pathway.	Sci Rep. 6:29743. doi: 10.1038/srep29743
Eto S, Kawano S, Someya S, Miyamoto H, Sonohata M, Mawatari M.	First clinical experience with thermal sprayed silver oxide-containing hydroxyapatite coating implant.	J Arthroplasty. 31(7):1498-503. doi: 10.1016/j.arth.2015.12.034
Fujishima H, Okada N, Matsumoto K, Fukagawa K, Igarashi A, Matsuda A, Ono J, Ohta S, Mukai H, Yoshikawa M, Izuhara K	The usefulness of measuring tear periostin for the diagnosis and management of ocular allergic diseases.	J. Allergy Clin. Immunol. 138(2):459-467.e2. doi: 10.1016/j.jaci.2015.11.039
Fujishiro M, Iguchi M, Kakushima N, Kato M, Sakata Y, Hoteya S, Kataoka M, Shimaoka S, Yahagi N, Fujimoto K.	Guidelines for endoscopic managements of non-variceal upper gastrointestinal bleeding.	Dig Endosc. 28(4):363-78. doi: 10.1111/den.12639
Furusawa J, Mizoguchi I, Chiba Y, Hisada M, Kobayashi F, Yoshida H, Nakae S, Tsuchida A, Matsumoto T, Ema H, Mizuguchi J, Yoshimoto T.	Promotion of Expansion and Differentiation of Hematopoietic Stem Cells by Interleukin-27 into Myeloid Progenitors to Control Infection in Emergency Myelopoiesis.	PLoS Pathogens. 12(3):e1005507. doi: 10.1371/journal.ppat.1005507
Hara M, Nishida Y, Shimanoe C, Otsuka Y, Nanri H, Yasukata J, Miyoshi N, Yamada Y, Horita M, Kawai K, Li YS, Kasai J, Kasai H, Higaki Y, Tanaka K.	Intensity-specific effect of physical activity on urinary levels of 8-hydroxydeoxyguanosine in middle-aged Japanese	Cancer Sci. 107(11):1653-1659. doi: 10.1111/cas.13070
Haraguchi Y, Mizoguchi Y, Noguchi T, Arai T, Fukuyama J, Kato TA, Kawashima T, Monji A.	A patient with Alzheimer's disease complicated by elderly-onset Cushing's syndrome who had undergone surgical treatment for adrenocorticotrophic hormone-independent macronodular adrenal hyperplasia.	Psychogeriatrics. 16(4):274-276. doi: 10.1111/psyg.12146
Hinks TSC, Brown T, Lau LCK, Rupani H, Barber C, Elliott S, Ward JA, Ono J, Ohta S, Izuhara K, Djukanovic R, Kurukulaaratchy RJ, Chauhan A, Howarth PH	Multidimensional endotyping in patients with severe asthma reveals inflammatory heterogeneity in matrix metalloproteinases and chitinase 3-like protein 1.	J. Allergy Clin. Immunol. 138(1):61-75. doi: 10.1016/j.jaci.2015.11.020
Hosoya K, Matsusaka S, Kashiwada T, Suzuki K, Ureshino N, Sato A, Miki Y, Kitera K, Hirai M, Hatake K, Kimura S, Sueoka-Aragane N	Detection of KRAS Mutations in plasma DNA using a fully automated rapid detection system in colorectal cancer patients	Pathol Oncol Res. doi: 10.1007/s12253-016-0175-1
Ide M, Koba K, Sueoka-Aragane N, Sato A, Nagano Y, Inoue T, Misago N, Narisawa Y, Kimura S, Sueoka E	Mutation profile of B-raf gene analyzed by fully automated system and clinical features in Japanese melanoma patients	Pathol Oncol Res. 23(1):181-188. doi: 10.1007/s12253-016-0121-2
Inoue T, Akashi K, Watanabe M, Ikeda Y, Ashizuka S, Motoki T, Suzuki R, Sagara N, Yanagida N, Sato S, Ebisawa M, Ohta S, Ono J, Izuhara K, Katunuma T	Periostin as a biomarker for the diagnosis of pediatric asthma.	Pediatr. Allergy Immunol. 27(5):521-526. doi: 10.1111/pai.12575
Ishizaki N., Sogawa K., Inoue H., Agata K., Edagawa A., Miyamoto H., Fukuyama M., Furuhashi K.	<i>Legionella thermalis</i> sp. nov., isolated from hot spring water in Tokyo, Japan	Microbiol Immunol. 60(3):203-8. doi: 10.1111/1348-0421.12366

Itamura H, Shindo T, Tawara I, Kubota Y, Kariya R, Okada S, Komanduri KV, Kimura S.	The MEK Inhibitor Trametinib Separates Murine Graft-versus-Host Disease from Graft-versus-Tumor Effects.	JCI Insight. 1(10): e86331 doi: 10.1172/jci.insight.86331
Ito Y, Maehara K, Kaneki E, Matsuoka K, Sugahara N, Miyata T, Kamura H, Yamaguchi Y, Kono A, Nakabayashi K, Migita O, Higashimoto K, Soejima H, Okamoto A, Nakamura H, Kimura T, Wake N, Taniguchi T, Hata K.	Novel Nonsense Mutation in the NLRP7 Gene Associated with Recurrent Hydatidiform Mole..	Gynecol. Obstet. Invest. 81(4):353-358, doi: 10.1159/000441780
Izawa S, Nakamura-Taira N, Yamada CK	Stress Underestimation and Mental Health Outcomes in Male Japanese Workers:a 1-Year Prospective Study	Int J Behav Med. 23(6):664-669, DOI: 10.1007/s12529-016-9557-8
Izuhara K, Ohta S, Ono J	Using Periostin as a Biomarker in the Treatment of Asthma.	Allergy, Asthma and Immunol. Res. 8(6):491-8. doi: 10.4168/aaair.2016.8.6.491
James AJ, Reinius LE, Verhoek M, Gomes A, Kupczyk M, Hammar U, Ono J, Ohta S, Izuhara K, Bel E, Kere J, Söderhäll C, Dahlén B, Boot RG, Dahlén S	Increased YKL-40 and Chitotriosidase in Asthma and Chronic Obstructive Pulmonary Disease.	Am. J. Respir. Crit. Care Med. 193(2):131-42. doi: 10.1164/rccm.201504-07600C
Jiang C-Y, Fujita T, Kumamoto E	Developmental change and sexual difference in synaptic modulation produced by oxytocin in rat substantia gelatinosa neurons.	Biochem. Biophys. Rep. 7: 206-213, http://dx.doi.org/10.1016/j.bbrep.2016.06.011
Jiang C-Y, Fujita T, Wang C, Yu T, Hirao R, Kumamoto E	Sexual and developmental change in synaptic modulation by oxytocin in rat spinal dorsal horn neurons.	Peptide Science 2015: 239-242
Jiang C-Y, Wang C, Xu N-X, Fujita T, Murata Y, Kumamoto E	1,8- and 1,4-cineole enhance spontaneous excitatory transmission by activating different types of TRP channels in the rat spinal substantia gelatinosa.	J. Neurochem. 136: 764-777, doi: 10.1111/jnc.13433
Kai K, Aishima S, Aoki S, Takase Y, Uchihashi K, Masuda M, Nishijima-Matsunobu A, Yamamoto M, Ide K, Nakayama A, Yamasaki M, Toda S.	Cytokeratin immunohistochemistry improves interobserver variability between unskilled pathologists in the evaluation of tumor budding in T1 colorectal cancer.	Pathol Int. 66(2):75-82. doi: 10.1111/pin.12374
Kai K, Miyosh A, Aishima S, Wakiyama K, Nakashita S, Iwane S, Azama S, Irie H, Noshiro H.	Granulomatous reaction in hepatic inflammatory angiomyolipoma after chemoembolization and spontaneous rupture.	World J Gastroenterol. 21(32):9675-82. doi: 10.3748/wjg.v21.i32.9675
Kamijo S, Nunomura S, Chisei Ra, Kanaguchi Y, Suzuki Y, Ogawa H, Okumura K, Takai T	Innate basophil IL-4 responses against allergens, endotoxin, and cytokines require the Fc receptor γ -chain.	J Allergy Clin. Immunol. 137(5):1613-1615. e2. doi: 10.1016/j.jaci.2015.10.037
Kawakubo K, Tanaka Y, Tsuruoka N, Hara M, Yamamoto K, Hidaka H, Sakata Y, Shimoda R, Iwakiri R, Kusano M, Fujimoto K.	Upper gastrointestinal symptoms are more frequent in female than male young healthy Japanese volunteers as evaluated by questionnaire.	J Neurogastroenterol Motil. 22(2):248-53. doi: 10.5056/jnm15140
Kawasaki-Nanri M, Aoki S, Uchihashi K, Yamamoto M, Udo K, Nishijima-Matsunobu A, Kakahihara N, Uozumi J, Toda S	Factors Related to Japanese Nurses' Tolerance Toward Indonesian Nurse Trainees.	Asian Journal of HUMAN SERVICES. 11: 1-17, DOI: http://doi.org/10.14391/ajhs.11.1
Kawasaki-Nanri M, Aoki S, Uchihashi K, Yamamoto M, Udo K, Nishijima-Matsunobu A, Kakihara N, Noguchi M, Uozumi J, Toda S.	Differential effects of adipose tissue stromal cells on the apoptosis, growth and invasion of bladder urothelial carcinoma between the superficial and invasive types.	Int J Urol. 23(6):510-9. doi: 10.1111/iju.13086
Keisuke Mori, Yoshio Yamashita, Noriyoshi Teramoto	Effects of ZD0947, a novel and potent ATP-sensitive K ⁺ channel opener, on smooth muscle-type ATP-sensitive K ⁺ channels	Eur J Pharmacol. 791:773-779. doi: 10.1016/j.ejphar.2016.09.038
Kim M, Yoon MK, Lee Y-S, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Kim J-H, Ban GY, Ye Y-M, Park H-S	Clinical implication of the serum periostin level for differentiating phenotypes of NSAID hypersensitivity.	Allergol. Int. 65(4):492-494. doi: 10.1016/j.alit.2016.04.013

Kimura D, Miyakoda M, Kimura K, Honma K, Hara H, Yoshida H, Yui K	Interleukin-27-Producing CD4(+) T Cells Regulate Protective Immunity during Malaria Parasite Infection.	Immunity. 44(3):672-82. doi: 10.1016/j.immuni.2016.02.011
Koami H, Sakamoto Y, Sakurai R, Ohta M, Goto A, Imahase H, Yahata M, Umeka M, Miike T, Nagashima F, Iwamura T, Yamada CK, Inoue S	Utility of Measurement of Serum Lactate in Diagnosis of Coagulopathy Associated with Peripheral Circulatory Insufficiency: Retrospective Evaluation Using Thromboelastometry from a Single Center in Japan	J Nippon Med Sch. 83(4):150-7. doi: 10.1272/jnms.83.150
Koami H, Sakamoto Y, Furukawa T, Imahase H, Iwamura T, Inoue S	Utility of Rotational thromboelastometry (ROTEM) for the diagnosis of asymptomatic hyperfibrinolysis secondary to anaphylaxis.	Blood Coagul Fibrinolysis. 27(4):450-3. doi: 10.1097/MBC.0000000000000441
Koami H, Sakamoto Y, Sakurai R, Ohta M, Imahase H, Yahata M, Umeka M, Miike T, Nagashima F, Iwamura T, Yamada KC, Inoue S	The thromboelastometric discrepancy between septic and trauma induced disseminated intravascular coagulation diagnosed by the scoring system from the Japanese Association for Acute Medicine.	Medicine (Baltimore). 95(31):e4514. doi: 10.1097/MD.00000000000004514
Kodera H, Ohba C, Kato M, Maeda T, Araki K, Tajima D, Matsuo M, Hino-Fukuyo N, Kohashi K, Ishiyama A, Takeshita S, Motoi H, Kitamura T, Kikuchi A, Tsurusaki Y, Nakashima M, Miyake N, Sasaki M, Kure S, Hagino Y, Saito H, Matsumoto N	De novo GABRA1 mutations in Ohtahara and West syndromes.	Epilepsia. 57(4):566-73. doi: 10.1111/epi.13344
Koganebuchi K, Haneji K, Toma T, Joh K, Soejima H, Fujimoto K, Ishida H, Ogawa M, Hanihara T, Harada S, Kawamura S, Oota H.	The allele frequency of ALDH2*Glu504Lys and ADH1B*Arg47His for the Ryukyu islanders and their history of expansion among East Asians.	Am J Hum Biol. 29(2). doi: 10.1002/ajhb.22933
Kojima K, Maeda A, Yohimura M, Nishida Y, Kimura S	The pathophysiological significance of PPM1D and therapeutic targeting of PPM1D-mediated signaling by GSK2830371 in mantle cell lymphoma.	Oncotarget. 7(43):69625-69637. doi: 10.18632/oncotarget.11904
Komiya K, Nakamura T, Nakashima C, Takahashi K, Umeguchi H, Watanabe N, Sato A, Takeda Y, Kimura S, Sueoka-Aragane N.	SPARC is a possible predictive marker for albumin-bound paclitaxel in non-small-cell lung cancer.	Onco Targets Ther. Volume 2016:9 p. p. 6663-6668, https://doi.org/10.2147/OTT.S114492
Komiya K, Sueoka-Aragane N, Sato A, Hisatomi T, Sakuragi T, Mitsuoka M, Sato T, Hayashi S, Izumi H, Tsuneoka M, Sueoka E.	Erratum to "Expression of Mina53, a novel c-Myc target gene, is a favorable prognostic marker in early stage lung cancer" [Lung Cancer 69/2 (2010) 232-238].	Lung Cancer. 101:148. doi: 10.1016/j.lungcan.2016.05.005
Kondo, Y, Tokumatsu, H, Ishitsuka, Y, Matsumoto, T, Taguchi, M, Motoyama, K, Higashi, T, Arima, H, Matsuo, M, Higaki, K, Ohono, K, Irie, T	In vitro evaluation of 2-hydroxyalkylated β -cyclodextrins as potential therapeutic agents for Niemann-pick type C disease.	Mol Genet Metab. 118(3):214-9. doi: 10.1016/j.ymgme.2016.04.014
Kubo H, Kitajima Y, Kai K, Nakamura J, Miyake S, Yanagihara K, Morito K, Tanaka T, Shida M, Noshiro H.	Regulation and clinical significance of the hypoxia-induced expression of ANGPTL4 in gastric cancer.	Oncol Lett. 11(2):1026-1034
Kubota Y, Ichinohe T, Yoshimura M, Itamura H, Hisatomi T, Fukushima N, Sueoka E, Kimura S	Acute myeloid leukemia with t(3;8)(q26;q24) complicated by diabetes insipidus.	Ann Hematol. 95(4):653-5. doi: 10.1007/s00277-016-2595-0
Li YJ, Kukita A, Kyumoto-Nakamura Y, Kukita T.	Extremely high expression of antisense RNA for Wilms' Tumor 1 in active osteoclasts: Suppression of Wilms' Tumor 1 protein expression during osteoclastogenesis	Am J Pathol. 186(9):2317-25. doi: 10.1016/j.ajpath.2016.05.005
Maruhashi T, Higashi Y, Kihara Y, Yamada H, Sata M, Ueda S, Odawara M, Terauchi Y, Dai K, Ohno J, Iida M, Sano H, Tomiyama H, Inoue T, Tanaka A, Murohara T, Node K; PROLOGUE Study Investigators..	Long-term effect of sitagliptin on endothelial function in type 2 diabetes: a sub-analysis of the PROLOGUE study.	Cardiovasc Diabetol. 15(1):134. doi: 10.1186/s12933-016-0438-x
Maruki H, Sato M, Takezawa T, Tani Y, Yokoyama M, Takahashi T, Toyoda E, Okada E, Aoki S, Mochida J, Kato Y.	Effects of a cell-free method using collagen vitrigel incorporating TGF- β 1 on articular cartilage repair in a rabbit osteochondral defect model.	J Biomed Mater Res B Appl Biomater. doi: 10.1002/jbm.b.33792

Maruo J, Haraguchi Y, Tateishi H, Noguchi T, Mizoguchi Y, Kato TA, Kawashima T, Monji A.	Abnormal behaviours during pramipexole treatment for Cotard' s syndrome: a case report.	Psychogeriatrics. 16(4):283-286. doi: 10.1111/psyg.12148
Masuoka J, Matsushima T, Nakahara Y, Inoue K, Yoshioka F, Kawashima M, Abe T	Outcome of microvascular decompression for hemifacial spasm associated with the vertebral artery.	Neurosurg Rev. 40(2):267-273. doi: 10.1007/s10143-016-0759-y
Matsumoto A, Thompson DC, Chen Y, Vasiliou V, Kawamoto T, Ichiba M	Heme oxygenase 1 protects ethanol-administered liver tissue in Aldh2 knockout mice.	Alcohol 52:49-54. doi: 10.1016/j.alcohol.2016.02.004
Matsuo, M, Tasaki, R, Iwanaga, M, Takayanagi, T	Neonatal screening for Menkes disease using urine HVA/VMA ratio.	Brain Dev. 38(8):781. doi: 10.1016/j.braindev.2016.03.012
Matsushita A, Fujita T, Ohtsubo S, Kumamoto E	Traditional Japanese medicines inhibit compound action potentials in the frog sciatic nerve.	J. Ethnopharmacol. 178: 272-280, doi: 10.1016/j.jep.2015.12.018
Miike T, Sakamoto Y, Sakurai R, Ohta M, Goto A, Imahase H, Yahata M, Umeka M, Koami H, Yamada KC, Fujita R, Nagashima F, Iwamura T, Inoue S.	Effects of hyperbaric exposure on thrombus formation.	Undersea Hyperb Med. 43(3):233-8
Miyazono M, Kishi T, Takashima T, Fukuda M, Matsumoto K, Yamasaki M, Sanematsu M, Nonaka Y, Awanami Y, Ikeda Y	Characteristics of Minimal Change Nephrotic Syndrome in the Elderly Patients.	Enliven: Nephrol Renal Stud 3(1): 1-4
Murata Y, Yasaka T, Takano M, Ishihara K	Neuronal and glial expression of inward rectifier potassium channel subunits Kir2.x in rat dorsal root ganglion and spinal cord	Neuroscience Letters. 617:59-65. doi: 10.1016/j.neulet.2016.02.007
Nagase K, Kimura H, Ogawa S, Tara-Hashimoto A, Koba S, Inoue T, Narisawa Y.	Merkel cell carcinoma associated with stable chronic hemodialysis: A report of two cases.	J Dermatol. 43(11):1336-1339. doi: 10.1111/1346-8138.13494
Nagase K, Kimura H, Yonekura N, Koba S, Inoue T, Narisawa Y.	Large-cell neuroendocrine carcinoma of the skin: ultrastructural and immunohistochemical findings.	J Cutan Pathol. 43(11):1067-1073. doi: 10.1111/cup.12794
Nakayama A, Aoki S, Uchihashi K, Nishijima-Matsunobu A, Yamamoto M, Kakihara N, Iwakiri R, Fujimoto K, Toda S	Differential effects of adipose tissue stromal cells On the spotosis growth and invasion of bladder urothelial cartinoma between the superficial and invasive types.	International Journal of Urology. 23(6): 510-519, doi: 10.1111/iju.13086
Nakayama A, Aoki S, Uchihashi K, Nishijima-Matsunobu A, Yamamoto M, Kakihara N, Iwakiri R, Fujimoto K, Toda S.	Interaction between Esophageal Squamous Cell Carcinoma and Adipose Tissue in Vitro.	Am J Pathol. 186(5):1180-94. doi: 10.1016/j.ajpath.2016.01.003
Nanri H, Nishida Y, Nakamura K, Tanaka K, Naito M, Yin G, Hamajima N, Takashima N, Suzuki S, Nindita Y, Kohno M, Uemura H, Kyoyama T, Hosono S, Mikami H, Kubo M, Tanaka H	Associations between dietary patterns, ADR β 2 Gln27Glu and ADR β 3 Trp64Arg with regard to serum triglyceride levels: J-MICC Study.	Nutrients 8(9)E545. doi: 10.3390/nu8090545
Nemoto A, Saida D, Kato I, Kikuchi J, Furukawa Y, Maeda Y, Akahane K, Honna-Oshiro H, Goi K, Kagami K, Kimura S, SatoY, Okabe S, Niwa A, Watanabe K, Nakahata T, Heike T, Sugita K, Inukai T.	Specific Antileukemic Activity of PD0332991, a CDK4/6 Inhibitor, against Philadelphia Chromosome-Positive Lymphoid Leukemia.	Mol Cancer Ther. 15(1):94-105. doi: 10.1158/1535-7163.MCT-14-1065
Nishida Y, Hara M, Sakamoto T, Shinchi K, Kawai S, Naito M, Hamajima N, Kadota A, Suzuki S, Ibusuki R, Hirata A, Yamaguchi M, Kuriyama N, Oze I, Mikami H, Kubo M, Tanaka H	Influence of cigarette smoking and inflammatory gene polymorphisms on glycated hemoglobin in the Japanese general population.	Prev. Med. Rep. 3:288-95. doi: 10.1016/j.pmedr.2016.03.010. eCollection 2016
Nishida Y, Ide Y, Okada M, Otsuka T, Eguchi Y, Ozaki I, Tanaka K, Mizuta T	Effects of home-based exercise and branched-chain amino acids administration on the aerobic capacity and glycemic control in patients with cirrhosis.	Hepato Res. 47(3):E193-E200. doi: 10.1111/hepr.12748
Nishikido T, Oyama J, Keida T, Ohira H, Node K.	High-dose statin therapy with rosuvastatin reduces small dense LDL and MDA-LDL: The Standard versus high-dose therApy with Rosuvastatin for lipid lowering (SARD) trial.	J Cardiol. 67(4):340-6. doi: 10.1016/j.jjcc.2015.05.017

Nishikido T, Oyama J, Shiraki A, Komoda H, Node K.	Deletion of Apoptosis Inhibitor of Macrophage (AIM)/CD5L Attenuates the Inflammatory Response and Infarct Size in Acute Myocardial Infarction.	J Am Heart Assoc. 5(4):e002863. doi: 10.1161/JAHA.115.002863
Nishioka A, Kubota Y, Sueoka E, Kimura S	Reversible Liver Steatosis Induced by Chemotherapy of Mixed-phenotype Acute Leukemia.	Intern Med. 55(8):1025-6. doi: 10.2169/internalmedicine.55.5685
Noguchi N, Inoue S, Shimanoe C, Shibayama K, Matsunaga H, Tanaka S, Ishibashi A, Shinchi K.	What Kinds of Skills Are Necessary for Physicians Involved in International Disaster Response?	Prehosp Disaster Med. 31(4):397-406. doi: 10.1017/S1049023X16000418
Noguchi N, Inoue S, Shimanoe C, Shibayama K, Shinchi K.	Factors Associated with Nursing Activities in Humanitarian Aid and Disaster Relief	PLoS ONE 11(3):e0151170. doi: 10.1371/journal.pone.0151170. eCollection 2016
Noguchi N, Inoue S, Shimanoe C, Shinchi K.	Development and validation of the Humanitarian Aid Difficulty Scale for Japanese healthcare workers.	Nursing & Health Sciences 18(4):442-449. doi: 10.1111/nhs.12290
Noguchi R, Nakayama K, Itoh M, Kamohara K, Furukawa K, Oyama J, Node K, Morita S.	Development of a three-dimensional pre-vascularized scaffold-free contractile cardiac patch for treating heart disease.	J Heart Lung Transplant. 35(1):137-45. doi: 10.1016/j.healun.2015.06.001
Noguchi R, Nakayama K, Itoh M, Kamohara K, Furukawa K, Oyama J, Node K, Morita S.	Development of a Three-Dimensional Prevascularized Scaffold-Free Contractile Cardiac Patch for Treating Heart Disease.	J Heart Lung Transplant. 35(1):137-45. doi: 10.1016/j.healun.2015.06.001
Noguchi, T, Yakushiji, Y, Nishihara, M, Togao, O, Yamashita, K, Kikuchi, K, Matsuo, M, Azama, S, Irie, H	Arterial Spin-labeling in Central Nervous System Infection.	Magn Reson Med Sci. 15(4):386-394
Noshiro H, Kai K, Yoda Y, Kono H, Uchiyama A	Palsy of the recurrent laryngeal nerves in association with an ultrasonic activated device during thoracoscopic esophagectomy with three-field lymphadenectomy.	Esophagus 13(4)351-360, DOI: 10.1007/s10388-016-0543-7
Ogata A, Kawashima M, Wakamiya T, Nishihara M, Masuoka J, Nakahara Y, Ebashi R, Inoue K, Takase Y, Irie H, Abe T	Carotid Artery Stenosis With a High-Intensity Signal Plaque on Time-Of-Flight Magnetic Resonance Angiography and Association With Evidence of Intraplaque Hypoxia	J Neurosurg. 126(6):1873-1878. doi: 10.3171/2016.4.JNS16349
Ohtsuka Y, Higashimoto K, Oka T, Yatsuki H, Jozaki K, Maeda T, Kawahara K, Hamasaki Y, Matsuo M, Nishioka K, Joh K, Mukai T, Soejima H.	Identification of consensus motifs associated with mitotic recombination and clinical characteristics in patients with paternal uniparental isodisomy of chromosome 11.	Hum Mol Genet. 25(7):1406-19. doi: 10.1093/hmg/ddw023
Okada T, Kimura A, Kanki K, Nakatani S, Nagahara Y, Hiraga M, Watanabe Y	Liver resident macrophages (Kupffer cells) share several functional antigens in common with endothelial cells.	Scandinavian Journal of Immunology 83(2):139-50. doi: 10.1111/sji.12402
Ono R, Ohtsubo T, Hayashi N, Aijima R, Yamashita Y, Goto M	Inactivation of oral cancer cell using active species generated by atmospheric plasma.	J Photopolym Sci. Technol. Vol. 29 (3) 443-445. http://doi.org/10.2494/photopolym.29.443
Ota Y., Niino H., Ota S., Ueki N., Tsuzuki H., Nakayama T., Mishima K., Higashioka K., Jabbarzadeh-Tabrizi S., Mitoma H., Akahoshi M., Arinobu Y., Kukita A., Yamada H., Tsukamoto H., Akashi K.	Generation mechanism of RANKL+ effector memory B cells: its relevance to the pathogenesis of rheumatoid arthritis.	Arthritis Reseach & Therapy, 18:67. doi: 10.1186/s13075-016-0957-6
Oyama J, Murohara T, Kitakaze M, Ishizu T, Sato Y, Kitagawa K, Kamiya H, Ajioka M, Ishihara M, Dai K, Nanasato M, Sata M, Maemura K, Tomiyama H, Higashi Y, Kaku K, Yamada H, Matsuhisa M, Yamashita K, Bando YK, Kashihara N, Ueda S, Inoue T, Tanaka A, Node K; PROLOGUE Study Investigators. .	The Effect of Sitagliptin on Carotid Artery Atherosclerosis in Type 2 Diabetes: The PROLOGUE Randomized Controlled Trial.	PLoS Med. 13(6):e1002051. doi: 10.1371/journal.pmed.1002051
Oyama J, Nagatomo D, Yoshioka G, Yamasaki A, Kodama K, Sato M, Komoda H, Nishikido T, Shiraki A, Node K.	The relationship between neutrophil to lymphocyte ratio, endothelial function, and severity in patients with obstructive sleep apnea.	J Cardiol. 67(3):295-302. doi: 10.1016/j.jjcc.2015.06.005

Oyama J, Tanaka A, Sato Y, Tomiyama H, Sata M, Ishizu T, Taguchi I, Kuroyanagi T, Teragawa H, Ishizaka N, Kanzaki Y, Ohishi M, Eguchi K, Higashi Y, Yamada H, Maemura K, Ako J, Bando YK, Ueda S, Inoue T, Murohara T, Node K: PRIZE Study Investigators. .	Rationale and design of a multicenter randomized study for evaluating vascular function under uric acid control using the xanthine oxidase inhibitor, febuxostat: the PRIZE study.	Cardiovasc Diabetol. Vol.15:87. doi: 10.1186/s12933-016-0409-2
Rumbajan JM, Yamaguchi Y, Nakabayashi K, Higashimoto K, Yastuki H, Nishioka K, Matsuoka K, Aoki S, Toda S, Takeda S, Seki H, Hatada I, Hata K, Soejima H, Joh K.	The HUS1B promoter is hypomethylated in the placentas of low-birth-weight infants.	Gene, 583(2):141-146, doi: 10.1016/j.gene.2016.02.025
Sai K, Kajinami K, Akao H, Iwadare M, Sato-Ishida R, Kawai Y, Takeda K, Tanimoto T, Yamano T, Akasaka T, Ishida T, Hirata KI, Saku K, Yagi S, Soeki T, Sata M, Ueno M, Miyazaki S, Shiraki A, Oyama JI, Node K, Sugamura K, Ogawa H, Kurose K, Maekawa K, Matsuzawa Y, Imatoh T, Hasegawa R: Japanese Pharmacogenomics Data Science Consortium. , Saito Y.	A possible role for HLA-DRB1*04:06 in statin-related myopathy in Japanese patients.	Drug Metab Pharmacokinet. 31(6):467-470. doi: 10.1016/j.dmpk.2016.09.002
Sakaguchi M, Fujisaka S, Cai W, Winnay JN, Konishi M, O'Neill BT, Li M, García-Martín R, Takahashi H, Hu J, Kulkarni RN, Kahn CR.	Adipocyte Dynamics and Reversible Metabolic Syndrome in Mice with an Inducible Adipocyte-Specific Deletion of the Insulin Receptor.	Cell Metab. 25(2):448-462. doi: 10.1016/j.cmet.2016.12.008
Santos HJ, Imai K, Hanadate Y, Fukasawa Y, Oda T, Mi-ichi F, Nozaki T.	Screening and discovery of lineage-specific mitochondrial membrane proteins in Entamoeba histolytica.	Mol Biochem Parasitol. 209(1-2):10-17. doi: 10.1016/j.molbiopara.2016.01.001
Sato E, Tanaka A, Oyama J, Yamasaki A, Shimomura M, Hiwataishi A, Ueda Y, Amaha M, Nomura M, Matsumura D, Nakamura T, Node K.	Long-term effects of AST-120 on the progression and prognosis of pre-dialysis chronic kidney disease: a 5-year retrospective study.	Heart Vessels. 31(10):1625-32. doi: 10.1007/s00380-015-0785-7
Sato-Kasai M, Kato TA, Ohgidani M, Mizoguchi Y, Sagata N, Inamine S, Horikawa H, Hayakawa K, Shimokawa N, Kyuragi S, Seki Y, Monji A, Kanba S.	Aripiprazole inhibits polyI:C-induced microglial activation possibly via TRPM7.	Schizophr Res. 178(1-3):35-43. doi: 10.1016/j.schres.2016.08.022
Shida M, Kitajima Y, Nakamura J, Yanagihara K, Baba K, Wakiyama K, Noshiro H.	Impaired mitophagy activates mtROS/HIF-1 α interplay and increases cancer aggressiveness in gastric cancer cells under hypoxia	Int J Oncol. 48(4):1379-90. doi: 10.3892/ijo.2016.3359
Shimomura M, Oyama J, Takeuchi M, Shibata Y, Yamamoto Y, Kawasaki T, Komoda H, Kodama K, Sakuma M, Toyoda S, Inoue Y, Mine D, Natsuaki M, Komatsu A, Hikichi Y, Yamagishi S, Inoue T, Node K.	Acute effects of statin on reduction of angiotensin-like 2 and glyceraldehyde-derived advanced glycation end-products levels in patients with acute myocardial infarction: a message from SAMIT (Statin for Acute Myocardial Infarction Trial).	Heart Vessels. 31(10):1583-9. doi: 10.1007/s00380-015-0773-y
Sogawa R, Shimomura Y, Minami C, Maruo J, Kunitake Y, Mizoguchi Y, Kawashima T, Monji A, Hara H.	Aripiprazole-Associated Hypoprolactinemia in the Clinical Setting.	J Clinical Psychopharmacol 36(4):385-7. doi: 10.1097/JCP.0000000000000527
Sogawa R, Mochinaga S, Inaba T, Matsushima J, Mizoguchi Y, Kawashima T, Fujito H, Monji A.	Safety of Long-term Use of Lamotrigine for the Treatment of Psychiatric Disorders.	Clin Neuropharmacol. 39(6):295-298. DOI: 10.1097/WNF.0000000000000174
Sonoda S, Yamaza H, Ma L, Tanaka Y, Tomoda E, Aijima R, Nonaka K, Kukita T, Shi S, Nishimura F, Yamaza T	Interferon-gamma improves impaired dentinogenic and immunosuppressive functions of irreversible pulpitis-derived human dental pulp stem cells	Sci. Rep. 18:6:19286. doi:10.1038/srep19286
Sugiyama A, Kanno K, Nishimichi N, Ohta S, Ono J, Conway SJ, Izuhara K, Yokosaki Y, Tazuma S	Periostin promotes hepatic fibrosis in mice by modulating hepatic stellate cell activation via α v integrin interaction	J. Gastroenterol.51(12):1161-1174

Sumida, K, Inoue, K, Takanashi, J, Sasaki, M, Watanabe, K, Suzuki, H, Kurahashi, M, Omata, T, Tanaka, M, Yokochi, K, Iio, J, Iyoda, K, Kurokawa, T, Matsuo, M, Sato, T, Iwaki, A, Osaka, H, Kurosawa, K, Yamamoto, T, Matsumoto, N, Maikusa, N, Mastuda, H, Sato, N	The magnetic resonance imaging spectrum of Pelizaeus-Merzbacher disease: A multicenter study of 19 patients.	Brain Dev. 38(6):571-80. doi: 10.1016/j.braindev.2015.12.007
Suzuki S, Ogawa M, Ohta S, Arima K, Nunomura S, Nanri Y, Mitamura Y, Yoshihara T, Nakamura Y, Yamauchi K, Chibana K, Ishii Y, Lee JJ, Aratani Y, Kakuta S, Kubo S, Iwakura Y, Yoshida H, Izuhara K	The potential for repositioning anti-thyroid agents as anti-asthma drugs	J. Allergy Clin. Immunol. 138(5):1458-1461.e8
Suzuki S, Ogawa M, Ohta S, Nunomura S, Nanri Y, Shiraiishi H, Mitamura Y, Yoshihara T, James J. Lee, Izuhara K	Induction of Airway Allergic Inflammation by Hypothiocyanite via Epithelial Cells.	J. Biol. Chem. 291(53):27219-27227, doi: 10.1074/jbc.M116.746909
Tada Y, Washio M, Horiuchi T, Kiyohara C, Takahashi H, Kobashi G, Ide Y, Atsumi T, Asami T, the Kyusyu Sapporo SLE(KYSS) Study Group	Influence of Medical History in Parents or Siblings on the Development of Systemic Lupus Erythematosus among Japanese Females	International Medical Journal 23(5):466-469
Tada Y, Ono N, Suematsu R, Sadanaga Y, Tokuda Y, Ono Y, Nakao Y, Maruyama A, Ohta A and Koarada S	The balance between Foxp3 and Ror- γ t expression in peripheral blood is altered by tocilizumab and abatacept in patients with rheumatoid arthritis	BMC Musculoskelet Disord 17:290, doi: 10.1186/s12891-016-1137-1
Tajiri T, Matsumoto H, Gon Y, Ito R, Hashimoto S, Izuhara K, Suzukawa M, Ohta K, Ono J, Ohta S, Ito I, Oguma T, Inoue H, Iwata T, Kanemitsu Y, Nagasaki T, Niimi A, Mishima M.	Utility of serum periostin and free IgE levels in evaluating responsiveness to omalizumab in patients with severe asthma.	Allergy:71(10):1472-9. doi: 10.1111/all.12922
Takaki H, Sato H, Kurata R, Hikono H, Hiono T, Kida H, Matsumoto M, Saito T, Seya T.	Cytokine responses to eye spray adjuvants for enhancing vaccine-induced immunity in chickens.	Microbiol Immunol. 60(7):511-5. doi: 10.1111/1348-0421.12391
Takashima T, Tsukano M, Kawano H	無侵襲的出生前遺伝学的検査結果が陰性であった妊婦の不安と心理・社会的側面の適応状態	日本遺伝カウンセリング学会誌 37(4): 187-195
Tanaka A, Inoue T, Kitakaze M, Oyama J, Sata M, Taguchi I, Shimizu W, Watada H, Tomiyama H, Aki J, Sakata Y, Anzai T, Uematsu M, Suzuki M, Eguchi K, Yamashina A, Saito Y, Sato Y, Ueda S, Murohara T, Node K.	Rationale and design of a randomized trial to test the safety and non-inferiority of canagliflozin in patients with diabetes with chronic heart failure: the CANDLE trial.	Cardiovasc Diabetol. Vol.15:57. doi: 10.1186/s12933-016-0381-x
Tanaka A, Murohara T, Taguchi I, Eguchi K, Suzuki M, Kitakaze M, Sato Y, Ishizu T, Higashi Y, Yamada H, Nanasato M, Shimabukuro M, Teragawa H, Ueda S, Kodera S, Matsuhisa M, Kadokami T, Kario K, Nishio Y, Inoue T, Maemura K, Oyama J, Ohishi M, Sata M, Tomiyama H, Node K; PROTECT Study Investigators.	Rationale and design of a multicenter randomized controlled study to evaluate the preventive effect of ipragliflozin on carotid atherosclerosis: the PROTECT study.	Cardiovasc Diabetol. 15(1):133. doi: 10.1186/s12933-016-0449-7
Tanaka A, Nakamura T, Sato E, Node K.	Aquaporin-2 is a potential biomarker for tolvaptan efficacy in decompensated heart failure complicated by diabetic nephrotic syndrome.	Int J Cardiol. Vol.210:1-3. doi: 10.1016/j.ijcard.2016.02.106
Tanaka A, Node K.	Novel insights into renovascular hypertension and cardio-renal protection by iron restriction.	Hypertens Res. 39(12):829-831. doi: 10.1038/hr.2016.121
Tanaka S, Matsunaga H, Noguchi N, Ishibashi A, Akinaga K, Kakhana N, Fukuyama Y, Shinchi K	Factors Related to Japanese Nurses' Tolerance Toward Indonesian Nurse Trainees.	Asian Journal of HUMAN SERVICES.11: 1-17, DOI: http://doi.org/10.14391/ajhs.11.1
Tashiro H, Takahashi K, Hayashi S, Kato G, Kurata K, Kimura S, Sueoka-Aragane N.	Interleukin-33 from monocytes recruited to the lung contributes to house dust mite-induced airway inflammation in a mouse model.	PLoS One. 11(6):e0157571. doi: http://dx.doi.org/10.1371/journal.pone.0157571

Tashiro H, Takahashi K, Tanaka M, Komiya K, Nakamura T, Kimura S, Tada Y, Sueoka-Aragane N	Characteristics and prognosis of microscopic polyangiitis with bronchiectasis, Journal of Thoracic Disease	J Thorac Dis. 9(2):303-309. doi: 10.21037/jtd.2017.02.15
Tateishi H, Hirachi T, Maruo J, Haraguchi Y, Noguchi T, Mizoguchi Y, Kato TA, Kawashima T, Monji A	Neurocognitive Disorders in Chronic Kidney Disease: A Case Report and Literature Review.	Psychosomatics. 57(1):107-12. doi: 10.1016/j.psych.2015.07.007
The Committee for Recommendation of Occupational Exposure Limits, Japan Society for Occupational Health, Kenichi Azuma, Ginji Endo, Yoko Endo, Kunio Hara, Koji Harada, Hajime Hori, Seichi Horie, Hyogo Horiguchi, Masayoshi Ichiba, Gaku Ichihara, Masayuki Ikeda, Tatsuya Ishitake, Akiyoshi Ito, Satoko Iwasawa, Michihiro Kamijima, Kanae Karita, Toshio Kawai, Toshihiro Kawamoto, Akio Koizumi, Shinji Kumagai, Yukinori Kusaka, Muneyuki Miyagawa, Yasuo Morimoto, Kasuke Nagano, Tamie Nasu, Tetsuo Nomiyama, Kazuyuki Omae, Kazuhiro Sato, Hirokazu Okuda, Haruhiko Sakurai, Tomotaka Sobue, Yasushi Suwazono, Toru Takebayashi, Tatsuya Takeshita, Akito Takeuchi, Masatoshi Tanaka, Shigeru Tanaka, Teruomi Tsukahara, Masashi Tsunoda, Susumu Ueno, Yuko Yamano, Takenori Yamauchi, Eiji Yano	Occupational Exposure Limits of lead, dimethylamine, n-butyl-2,3-epoxypropyl ether, and 2-ethyl-1-hexanol and carcinogenicity and occupational sensitizer classification	J Occ H 58(4 Spec No):385-7. doi: 10.1539/joh.16-0155-0P
Tomiyama H, Miwa T, Kan K, Matsuhisa M, Kamiya H, Nanasato M, Kitano T, Sano H, Ohno J, Iida M, Sata M, Yamada H, Maemura K, Tanaka A, Murohara T, Node K.	Impact of glycemic control with sitagliptin on the 2-year progression of arterial stiffness: a sub-analysis of the PROLOGUE study.	Cardiovasc Diabetol. 15(1):150. DOI: 10.1186/s12933-016-0472-8
Ueno M, Miyamoto H, Tsukamoto M, Eto S, Noda I, Shobuie T, Kobatake T, Sonohata M, Mawatari M.	Silver-Containing Hydroxyapatite Coating Reduces Biofilm Formation by Methicillin-Resistant <i>Staphylococcus aureus</i> In Vitro and In Vivo.	Biomed Res Int. 2016, 8070597. doi: 10.1155/2016/8070597
Ureshino H, Shindo T, Nishikawa H, Watanabe N, Watanabe E, Satoh N, Kitaura K, Kitamura H, Doi K, Nagase K, Kimura H, Sakurai R, Baba R, Kurogi K, Samukawa M, Kusunoki S, Miyahara M, Suzuki R, Sakaguchi S, Kimura S.	Effector Regulatory T Cells Reflect the Equilibrium between Antitumor Immunity and Autoimmunity in Adult T-cell Leukemia.	Cancer Immunol Res. 4(8):644-9. doi: 10.1158/2326-6066.CIR-15-0303
Watanabe T, Sato A, Kobayashi-Watanabe N, Sueoka-Aragane N, Kimura S, Sueoka E.	Torin2 potentiates anti-cancer effects for adult T-cell leukemia/lymphoma by inhibiting mammalian target of rapamycin.	Anticancer Res 36 (1) 95-102 https://www.ncbi.nlm.nih.gov/labs/articles/26722032/
Watanabe Y, Yamaguchi Y, Komitsu N, Ohta S, Azuma Y, Izuhara K, Aihara M	Elevation of serum squamous cell carcinoma antigen 2 in patients with psoriasis: associations with disease severity and response to the treatment.	Br. J. Dermatol. 174(6):1327-36. doi: 10.1111/bjd.14426
Y Nishida, A Maeda, MJ Kim, L Cao, Y Kubota, J Ishizawa, A AlRawi, Y Kato, A Iwama, M Fujisawa, K Matsue, M Weetall, M Dumble, M Andreeff, TW Davis, A Branstrom, S Kimura, K Kojima	The novel BMI-1 inhibitor PTC596 downregulates MCL-1 and induces p53-independent mitochondrial apoptosis in acute myeloid leukemia progenitor cells	Blood Cancer J. 7(2):e527. doi: 10.1038/bcj.2017.8
Yamaguchi S, Sakata Y, Iwakiri R, Hara M, Akutagawa K, Shimoda R, Yamaguchi D, Hidaka H, Sakata H, Fujimoto K, Mizuguchi M, Shimoda Y, Irie H, Noshiro H.	Increase in Endoscopic and Laparoscopic Surgery Regarding the Therapeutic Approach of Gastric Cancer Detected by Cancer Screening in Saga Prefecture, Japan.	Intern Med. 55(10):1247-53. doi: 10.2169/internalmedicine.55.5339
Yamamoto M, Uchihashi K, Aoki S, Koike E, Kakiyama N, Toda S	Interaction between Esophageal Squamous Cell Carcinoma and Adipose tissue in vitro.	The American Journal of Pathology. 186(5): 1180-1194, doi: 10.1016/j.ajpath.2016.01.003

Yamamoto M, Uchihashi K, Aoki S, Koike E, Kakahara N, Toda S.	Interaction between thyrocytes and adipose tissue in vitro.	Pathol Int. doi: 10.1111/pin.12387
Yamanouchi K, Ogata S, Sakata Y, Tsuruoka N, Shimoda R, Nakayama A, Akutagawa T, Shirai S, Takeshita E, Yamamoto K, Fujimoto K, Iwakiri R.	Effect of additional surgery after noncurative endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer.	Endosc Int Open. 4(1):E24-9. doi: 10.1055/s-0034-1393124
Yamasaki R, Fujii T, Wang B, Masaki K, Kido MA, Yoshida M, Matsushita T, Kira J.	Allergic inflammation leads to neuropathic pain via glial cell activation.	J Neurosci. 36 (47) 11929-11945
Yamashita Y, Inoue M, Aijima R, Danjo A, Goto M	Three-dimensional evaluation of healing joint morphology after closed treatment of condylar fractures.	Int J Oral Maxillofac Surg. 45(3):292-6. doi: 10.1016/j.ijom.2015.09.019
Zhu L, Fujita T, Jiang C-Y, Kumamoto E	Enhancement by citral of glutamatergic spontaneous excitatory transmission in adult rat substantia gelatinosa neurons.	NeuroReport 27(3):166-71. doi: 10.1097/WNR.0000000000000518
上野雅也、田中里紀、江頭秀一、塚本正紹、河野俊介、北島将、園畑素樹、馬渡正明	両側変形性股関節症患者の三次元歩行解析	Hip Joint 42:835-838
小野原貴之、阪本雄一郎、小網博之、岩永幸子、成田佳祐	佐賀県内離島における佐賀ドクターヘリ活用の現状と評価	日本航空医療学会雑誌 17(1), 11-18
金森修一、平岡真寛、福原 昇、大泉幸雄、檀上 敦、他	放射線照射による白血球減少症に対するセファランチンの臨床効果および有害事象の多施設後方視的共同研究	癌と化学療法 第43巻9号 1075-1079
田中里紀、北島将、上野雅也、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明	THA術後療法 片側転子下骨切り併用人工股関節全置換術後の歩行状態の経時的変化	日本人工関節学会誌 Vol. 46 : 573-574
田中里紀、北島将、上野雅也、塚本正紹、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明、堀川悦夫	三次元動作解析を用いた寛骨臼移動術後の歩行状態の評価	Hip Joint42:1044-1049
檀上 敦、山下佳雄、山口能正、合島怜央奈、野口信宏、井原功一郎、後藤昌昭	レーザー溶接型エピテックシステムを使用した眼下欠損症例の長期経過	顎顔面補綴, 39巻, 2号, 68-73頁
鶴安浩、平木将紹、奥山桂一郎、三宅修輔、河野博、井手貴雄、上田純二、入江裕之、能城浩和	臨牀指針 癌との鑑別を要した造影効果を伴う胆嚢頸部の限局性壁肥厚病変	臨牀と研究 93 (1) 90-92
溝口 義人、鍋田 紘美、今村 義臣、原口 祥典、門司 晃	免疫系と精神疾患 : BDNF, proBDNF と細胞内 Ca ²⁺ シグナリングの関与 (特集 神経炎症・酸化ストレスをキーワードにした精神疾患の理解)	日本生物学的精神医学会誌. 27(1):15-21
溝口 義人、門司 晃	レビー小体型認知症と他の精神疾患の鑑別 (特集 レビー小体型認知症の臨床)	精神科 29(1) 28-31
山下佳雄	抜歯後の消炎鎮痛剤としてのセレコキシブ (セレコックス) の有用性	佐賀市歯科医師会誌 Vol. 82 28-29
山下佳雄	咀嚼機能回復を目指した咬合再建治療	頭頸部癌 Vol. 42(3) 284-289, http://doi.org/10.5981/jjhnc.42.284
山田尚友、山田麻里江、中尾真実、久保田寧、末岡榮三朗	輸血とHLA (human leukocyte antigen) 検査について	日本検査血液学会雑誌, 第17巻第3号 p. p. 434-440
伊藤 学、中山功一、五條理志、野出孝一、森田茂樹	バイオ 3D プリンティング技術を利用した scaffold free 小口径細胞人工血管の開発	血管医学 17(1):63-68
垣内俊彦、大枝敏、岩根紳治、泉夏美、江口有一郎、松尾宗明	妊婦健診における肝炎ウイルス検査に対する意識調査の検討	肝臓 57(8) 376-381
山本 忍	有害化学物質の測定・分析法【36】オルトトルイジン	作業環境 Vol. 38 No. 2
市場 正良、森 浩司、金村 茂、濱野 和可子、竹嶋 淳、錦織 千賀、高橋 紀博、木戸誠二郎、関 顯、杉山 浩貴、渡辺雅春、廣瀬 隆穂、川澄 八重子、園藤 陽子、小川 孝司	労働衛生検査精度向上研究会活動報告 生物学的モニタリングに関する検査実績調査報告	労働衛生管理 27(3) 47-51
市場正良	労働衛生検査精度向上研究会活動報告 微量金属の施設間クロスチェック(3)	労働衛生管理 27(2) 37-41
市場正良	論壇 化学物質管理の取組	産業医学ジャーナル 39(3) 80-81

市場正良, 濱野和可子, 森浩司	労働衛生検査精度向上研究会活動報告 尿中N-メチルホルムアミド及び尿中N-メチルアセトアミドのクロスチェック集計結果について(4)	労働衛生管理 27(1) 38-41
枝川亜希子, 木村明生, 足立伸一, 松島加代, 宮本比呂志	アメーバ共培養-LAMP法を用いた水景施設におけるレジオネラ属菌生息調査	防菌防黴学会誌 44 (11) 585-589
朱 蘭, 藤田亜美, 王 翀, 余 婷, 平尾峻, 鈴木里佳, 熊本栄一	シトラールは TRPA1 を活性化してラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達を促進する。	脊髄機能診断学 37: 19-29
蔣 昌宇, 藤田亜美, 王 翀, 余 婷, 平尾峻, 鈴木里佳, 熊本栄一	オキシトシンによるラット脊髄膠様質ニューロンのシナプス伝達の修飾の性差と生後発達。	脊髄機能診断学 37: 30-38
陣内寛, 陣内謙一, 中村晃子, 岸和哉, 宮園素明, 池田裕次	糖尿病血液透析患者に対するレバグリニドの安全性・有効性の検討	Therapeutic Research 37(1): 45-48
石川慎一郎, 江内田寛	ブリンゾラミド1%, チモロール0.5%配合点眼薬の導入による効果	眼科臨床紀要 9(6) 518-521
大隈良一, 西山 哲, 大隈恵美, 福田亜紗子, 加藤麻衣子, 中尾佳史, 横山正俊	紹介患者から見た当院婦人科の現状と未来	佐賀産科婦人科学会・佐賀県産婦人科医会誌第27号 P29-31
田代克弥	中等症細菌性下気道感染症に対する tebipenem pivoxil の有用性の検討	小児感染免疫 28 (3) : 191-199
J.-Y. Kim, Y. Priastomo, S. Morisada, H. Kawakita, K. Ohto, Y. Kim,	"Synthesis of a Novel Dibenzylamide Derivative of p-tert-Octylcalix[4]arene and its Extraction Properties Towards Noble Metal Ions"	Aust. J. Chem., 201704
Shinji Fukuda · Keiichiro Ishimoto · Shusei Sato · Shingo Terakami · Naofumi Hiehata · Toshiya Yamamoto	A high-density genetic linkage map of bronze loquat based on SSR and RAPD markers	Tree Genetics & Genomes, In press, Shinji Fukuda · Keiichiro Ishimoto · Shusei Sato · Shingo Terakami · Naofumi Hiehata · Toshiya Yamamoto, 201607
Baird, Liam; Tsujita, Tadayuki; Kobayashi, Eri H.; Funayama, Ryo; Nagashima, Takeshi; Nakayama, Keiko; Yamamoto, Masayuki; Yamamoto, Masayuki	A homeostatic shift facilitates endoplasmic reticulum proteostasis through transcriptional integration of proteostatic stress response pathways	Molecular and Cellular Biology, 37, 4, Baird, Liam; Tsujita, Tadayuki; Kobayashi, Eri H.; Funayama, Ryo; Nagashima, Takeshi; Nakayama, Keiko; Yamamoto, Masayuki; Yamamoto, Masayuki, 201701
M.-Q. Ran, J.-Y. Yuan, Y.-H. Zhao, L. Mu, X. Zeng, C. Redshaw, L. Jiang and T. Yamato	A multichannel thiacalix[4]arene-based fluorescent chemosensor for Zn ²⁺ , F ⁻ ions	Supramolecular Chemistry, 201603
Z. Kowser, C.-C. Jin, M. Fukuda, X.-K. Jiang, X.-L. Ni, X. Zeng, C. Redshaw and T. Yamato	A new pyrene based Schiff base derivative: a highly selective fluorescence turn on sensor toward Cu ²⁺	Tetrahedron, 201605
C. Wu, J.-L. Zhao, X.-K. Jiang, C.-Z. Wang, X.-L. Ni, X. Zeng, C. Redshaw and T. Yamato	A novel fluorescence "on-off-on" chemosensor for Hg ²⁺ via a water-assistant blocking heavy atom effect	Dalton Transactions, 201610
Masaya Okamura, Mio Kondo, Reiko Kuga, Yuki Kurashige, Takeshi Yanai, Shinya Hayami, Vijayendran K. K. Praneeth, Masaki Yoshida, Ko Yoneda, Satoshi Kawata, Shigeyuki Masaoka	A pentanuclear iron catalyst designed for water oxidation	Nature 530, 465-468, 2016
S. Rahman, H. Tomiyasu, H. Kawazoe, J.-L. Zhao, H. Cong, X.-L. Ni, X. Zeng, M. R. J. Elsegood, T. G. Warwick, S. J. Teat, C. Redshaw, P. E. Georghiou and T. Yamato	A study of anion binding behaviour of 1,3-alternate thiacalix[4]arene-based receptors bearing urea moieties	New J. Chem., 201609
Ito, Ryo; Sato, Ikuko; Tsujita, Tadayuki; Yokoyama, Atsushi; Sugawara, Akira	A ubiquitin-proteasome inhibitor bortezomib suppresses the expression of CYP11B2, a key enzyme of aldosterone synthesis	Biochemical and Biophysical Research Communications, 489, 1, Ito, Ryo; Sato, Ikuko; Tsujita, Tadayuki; Yokoyama, Atsushi; Sugawara, Akira, 20170715

D. M. D. Rasika, Toshihisa Ueda, L. N. Jayakody, L. D. B. Suriyagoda, K. F. S. T. Silva ¹ , S. Ando and J. K. Vidanarachchi	ACE-inhibitory activity of milk fermented with <i>Saccharomyces cerevisiae</i> K7 and <i>Lactococcus lactis</i> subsp. <i>lactis</i> NBRC 12007	J. Natn. Sci. Foundation Sri Lanka, 43, 2, D. M. D. Rasika, Toshihisa Ueda, L. N. Jayakody, L. D. B. Suriyagoda, K. F. S. T. Silva ¹ , S. Ando and J. K. Vidanarachchi, 2015
Izumi Nakashima, Akari Kishida, Yuji Takaoka, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Wataru Iwasaki, Ramachandra Rao Sathuluri, and Masaya Miyazaki	Adsorption and Elution of Glucuronic Acid and Chondroitin Sulfate Using Amino-Group-Containing Spherical Gel	J. Appl. Glycosci., 201607
Izumi Nakashima ^B , Akari Kishida ^B , Yuji Takaoka ^D , Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Wataru Iwasaki, Ramachandra Rao Sathuluri, Masaya Miyazaki	Adsorption and elution of glucuronic acid and chondroitin sulfate using amino-group-containing spherical gel	Journal of Applied Glycoscience, 2016
J.-L. Zhao, X.-K. Jiang, C. Wu, C.-Z. Wang, X. Zeng, C. Redshaw and T. Yamato	An Unprecedented Photochemical Reaction in Anthracene-Containing Derivatives	ChemPhyChem, 201608
B. A. Marekha, K. Sonoda, T. Uchida, T. Tokuda, A. Idrissi, T. Takamuku	ATR-IR Spectroscopic Observation on Intermolecular Interactions in Mixtures of Imidazolium-based Ionic Liquids CmimTFSA (n = 2-12) with DMSO	J. Mol. Liquids, 201704
廣瀧謙亮、山口浩平、花本猛士	Base-Free Synthesis of CF ₃ -containing β -Tryptamine Derivatives from N-Nosyl-2-cf ₃ -Aziridine and Indoles	Synlett, 201612
Masato Tominaga, Aiko Sasaki, Makoto Togami	Bioelectrocatalytic Oxygen Reaction and Chloride Inhibition Resistance of Laccase Immobilized on Single-walled Carbon Nanotube and Carbon Paper Electrodes	, 201605
Masato Tominaga, Aiko Sasaki, Masayuki Tsushida, Makoto Togami	Biosurfactants Functionalized Single-walled Carbon Nanotubes to Promote Laccase Bioelectrocatalysis	, 201701
Aya Shimomura, Susumu Arima, Makoto Hayashi, Maskit Maymon, Ann M. Hirsch, Akihiro Suzuki	Blue light does not inhibit nodulation in <i>Sesbania rostrata</i>	Plant Signaling & Behavior, in press, Aya Shimomura, Susumu Arima, Makoto Hayashi, Maskit Maymon, Ann M. Hirsch, Akihiro Suzuki, 201612
Aya Shimomura, Ayumi Naka, Nobuyuki Miyazaki, Sayaka Moriuchi, Susumu Arima, Shusei Sato, Hideki Hirakawa, Makoto Hayashi, Maskit Maymon, Ann M. Hirsch, Akihiro Suzuki	Blue light perception by both roots and rhizobia inhibits nodule formation in <i>Lotus japonicus</i>	Molecular Plant-Microbe Interactions, 29, 10, Aya Shimomura, Ayumi Naka, Nobuyuki Miyazaki, Sayaka Moriuchi, Susumu Arima, Shusei Sato, Hideki Hirakawa, Makoto Hayashi, Maskit Maymon, Ann M. Hirsch, Akihiro Suzuki, 201610
H. Kuramochi, T. Fujisawa, S. Takeuchi, T. Tahara	Broadband Stimulated Raman Spectroscopy in the Deep Ultraviolet Region	Chemical Physics Letters, in press, 201702
Furihata, S., Matsumura, T., Hirata, M., Mizutani, T., Nagata, N., Kataoka, M., Katayama, Y., Omatsu, T., Matsumoto, H., Hayakawa, Y.	Characterization of venom and oviduct components of parasitoid wasp <i>Asobara Japonica</i> .	Plus One, 11, 7, Furihata, S., Matsumura, T., Hirata, M., Mizutani, T., Nagata, N., Kataoka, M., Katayama, Y., Omatsu, T., Matsumoto, H., Hayakawa, Y., 201607
M. Kadowaki, Y. Fujimaru, S. Taguchi, J. Ferdouse, K. Sawada, Y. Kimura, Y. Terasawa, G. Agrimi, T. Anai, H. Noguchi, A. Toyoda, A. Fujiyama, T. Akao, H. Kitagaki	Chromosomal aneuploidy improves brewing characteristics of sake yeast	Applied and Environmental Microbiology (in press), M. Kadowaki, Y. Fujimaru, S. Taguchi, J. Ferdouse, K. Sawada, Y. Kimura, Y. Terasawa, G. Agrimi, T. Anai, H. Noguchi, A. Toyoda, A. Fujiyama, T. Akao, H. Kitagaki, 201711

C. Wu, Y. Ikejiri, X. Zeng, M. R. J. Elsegood, C. Redshaw and T. Yamato	Click-modified hexahomotrioxacalix[3]arenes as fluorometric and colorimetric dual-modal chemosensors for 2,4,6-trinitrophenol	Anal. Chim. Acta., 201609
T. Makino, T. Umecky, M. Kanakubo	CO ₂ Absorption Properties and Mechanisms for 1-Ethyl-3-methylimidazolium Ether-functionalized Carboxylates	Industrial & Engineering Chemistry Research, 201611
M. Kanakubo, T. Makino, T. Umecky	CO ₂ Solubility in and Physical Properties for Ionic Liquid Mixtures of 1-Butyl-3-methylimidazolium Acetate and 1-Butyl-3-methylimidazolium Bis(trifluoromethanesulfonyl)amide	Journal of Molecular Liquids, 201605
大石裕司、下田雅彦、成田貴行、坂口幸一、江良正直	Color-tunable Langmuir film with layered perovskite structure by controlling the composition ratio of halogen species	Chemistry Letters, 201612
Y. Oishi, M. Shimoda, T. Narita, K. Sakaguchi, M. Era	Color-tunable Langmuir film with layered perovskite structure by controlling the composition ratio of halogen species	Chem. Lett. 2016, 45, 1418., 201612
K. Nagao, K. Yoshinaga, T. Nagai, H. Mizobe, A. Yoshida, F. Beppu, N. Gotoh	Comparison of the effect on apolipoprotein A1 and B secretion among trans fatty acid isomers using HepG2 cell.	J. Oleo Sci., 66, 10, K. Nagao, K. Yoshinaga, T. Nagai, H. Mizobe, A. Yoshida, F. Beppu, N. Gotoh, 201710
B. A. Marekha, O. N. Kalugin, M. Bria, T. Takamuku, S. Gadžurić, A. Idrissi	Competition between Cation-Solvent and Cation-Anion Interactions in Imidazolium Ionic Liquids with Polar Aprotic Solvents	ChemPhysChem, 201701
Ryuji Ohura, Hajime Omura, Yasuhisa Sakata, Teruya Minamoto	Computer-aided diagnosis method for detecting early esophageal cancer from endoscopic image by using dyadic wavelet transform and fractal dimension	Advances in Intelligent Systems and Computing, 201604
Takashi Sayama, Takanari Tanabata, Masayasu Saruta, Testsuya Yamada, Toyoaki Anai, Akito Kaga, Masao Ishimoto	Confirmation of the pleiotropic control of leaflet shape and number of seeds per pod by the Ln gene in induced soybean mutants	Breeding Science, 67, Takashi Sayama, Takanari Tanabata, Masayasu Saruta, Testsuya Yamada, Toyoaki Anai, Akito Kaga, Masao Ishimoto, 201707
Y. Horikawa, T. Tokushima, O. Takahashi, H. Hoke, T. Takamuku	Correlation between Soft X-ray Absorption and Emission Spectra of the Nitrogen Atoms within Imidazolium-based Ionic Liquids	J. Phys. Chem. B, 201607
X.-L. Xu, D.-D. Meng, X.-G. Zheng, I. Yamauchi, I. Watanabe, Q.-X. Guo	Critical slowing of quantum atomic deuterium/hydrogen with features of multiferroicity in the geometrically frustrated system Co ₂ (OD) ₃ Cl/Co ₂ (OH) ₃ Cl	Physical Review B, 201701
Xing-Liang Xu, Dong-Dong Meng, Xu-Guang Zheng, Ichihiro Yamauchi, Isao Watanabe, and Qi-Xin Guo	Critical slowing of quantum atomic deuterium/hydrogen with features of multiferroicity in the geometrically frustrated system Co ₂ (OD) ₃ Cl/Co ₂ (OH) ₃ Cl	Phys. Rev. B, 201701
C.-Z. Wang, J.-H. Do, T. Akther, X. Feng, L. Horsburgh, M. R. J. Elsegood, C. Redshaw and T. Yamato	D-pai-D chromophores based on dithieno[3,2-b:2',3'-d]thiophene (DTT): Potential application in the fabrication of solar cell	Tetrahedron, 201701
Hiroki Matsunaga, Hajime Omura, Ryuji Ohura, Teruya Minamoto	Daubechies wavelet-based method for early esophageal cancer detection from flexible spectral imaging color enhancement image	Advances in Intelligent Systems and Computing, 201604
N. Shin, K. Hanaoka, W. Piao, T. Miyakawa, T. Fujisawa, S. Takeuchi, S. Takahashi, T. Komatsu, T. Ueno, T. Terai, T. Tahara, M. Tanokura, T. Nagano, Y. Urano	Development of an Azoreductase-based Reporter System with Synthetic Fluorogenic Substrates	ACS Chemical Biology, in press, 201612
榎田祐也、霧野雄介、大久保魁馬、山岡禎久、高橋英嗣	Directional migration of MDA-MB-231 cells under O ₂ /pH gradients	Advances in Experimental Medicine and Biology, 201707

Enokida Y, Tsuruno Y, Okubo K, Yamaoka Y, Takahashi E	Directional migration of MDA-MB-231 cells under O ₂ /pH gradients.	Adv Exp Med Biol, 201707
Yahara D, Yoshida T, Enokida Y, Takahashi E	Directional migration of MDA-MB-231 cells under oxygen concentration gradients.	Adv Exp Med Biol, 201608
R. R. Sathuluri, Y. S. Kurniawan, J.-Y. Kim, M. Maeki, W. Iwasaki, S. Morisada, H. Kawakita, M. Miyazaki, K. Ohto	Droplet-based microreactor system for stepwise recovery of precious metal ions from real metal waste with calix[4]arene derivatives ⁵	Sep. Sci. Technol., 201708
Hoshino, Y., Eiraku, N., Ohata, Y., Komai, F.	Dynamics of nuclear phase changes during pollen tube growth by using in vitro culture in <i>Petunia</i>	Scientia Horticulturae, 210, Hoshino, Y., Eiraku, N., Ohata, Y., Komai, F., 201607
M. Takeshita, T. Hirowatari, A. Takedomi	E/Z isomerization of a thermally bistable photochromic dithienylethene	, 201604
M. Kanakubo, T. Makino, T. Umecky, M. Sakurai	Effect of Partial Pressure on CO ₂ Solubility in Ionic Liquid Mixtures of 1-Butyl-3-methylimidazolium Acetate and 1-Butyl-3-methylimidazolium Bis(trifluoromethanesulfonyl)amide	Fluid Phase Equilibria, 201607
H. Shiota, S. Kakinuma, Y. Itoyama, T. Umecky, T. Takamuku	Effects of Tetrafluoroborate and Bis(trifluoromethylsulfonyl)amide Anions on the Microscopic Structures of 1-Methyl-3-octylimidazolium-based Ionic Liquids and Benzene Mixtures: A Multiple Approach by ATR-IR, NMR, and Femtosecond Raman-Induced Kerr Effect Spectroscopy	J. Phys. Chem. B, 201601
Satoshi Suehiro, Keisuke Horita, Azzah Dyah Pramata, Masayoshi Yuasa, Yoichi Ishiwata, Kengo Shimano, Tetsuya Kida	Efficient solution route to transparent ZnO semiconductor films using colloidal nanocrystals	Journal of Asian Ceramic Societies 4 (2016) 319-323, 201606
Maki Nagata, Naoya Yamamoto, Taro Miyamoto, Aya Shimomura, Susumu Arima, Ann M. Hirsch, and Akihiro Suzuki	Enhanced hyphal growth of arbuscular mycorrhizae by root exudates derived from high R/FR treated <i>Lotus japonicus</i> .	PLANT SIGNALING & BEHAVIOR, 11, Maki Nagata, Naoya Yamamoto, Taro Miyamoto, Aya Shimomura, Susumu Arima, Ann M. Hirsch, and Akihiro Suzuki, 201606
Haiqiang Liu, Shoichi Kojima	Evaluation on the Energy Consumption and Thermal Environment in Different Residential Building Types During Mid-season in Hot-summer and Cold-winter Zone in China	, 201611
Ohshima K, Nomiya R, Mitoma S, Honda Y, Yasaka R, Tomimura K.	Evolutionary rates and genetic diversities of mixed potyviruses in <i>Narcissus</i> .	Infection, Genetics and Evolution, 45, Ohshima K, Nomiya R, Mitoma S, Honda Y, Yasaka R, Tomimura K., 201609
X. Feng, N. Seto, C.-Z. Wang, T. Matsumoto, J. Tanaka, M. R. J. Elsegood, L. Horsburgh, C. Redshaw and T. Yamato	Extended π -conjugated pyrene derivatives: structural, photophysical and electrochemical properties	ChemistrySelect, 201605
N. S. K. Gowthaman, Abraham John, Masato Tominaga	Fast Growth of Au-Pt Bimetallic Nanoparticles on SWCNTs: Composition Dependent Electrocatalytic Activity Towards Glucose and Hydrogen Peroxide	Journal of Electroanalytical Chemistry, 201708
Chi-Do Wee, Masatsugu Hashiguchi, Toyoaki Anai, Akihiro Suzuki and Ryo Akashi	Fatty Acid Composition and Distribution in Wild Soybean (<i>Glycine soja</i>) Seeds Collected in Japan	Asian Journal of Plant Sciences DOI: 10.3923/ajps.2017..., Chi-Do Wee, Masatsugu Hashiguchi, Toyoaki Anai, Akihiro Suzuki and Ryo Akashi, 201702
C. D. Wee, M. Hashiguchi, T. Anai, A. Suzuki and R. Akashii	Fatty Acid Composition and Distribution in Wild Soybean (<i>Glycine soja</i>) Seeds Collected in Japan.	Asian Journal of Plant Sciences, 52-64, C. D. Wee, M. Hashiguchi, T. Anai, A. Suzuki and R. Akashii, 201705
Usui A, Matsuo Y, Tanaka T, Ohshima K, Fukuda S, Mine T, Yakashiro I, Ishimaru K.	Ferulic acid esters of glucosylglucose from <i>Allium macrostemon</i> Bunge	Journal of Asian Natural Products Research, DOI: 10.1080/10286020.2016.1213722, Usui A, Matsuo Y, Tanaka T, Ohshima K, Fukuda S, Mine T,

		Yakashiro I, Ishimaru K., 201609
Ayaka Usui, Yosuke Matsuo, Takashi Tanaka, Kazusato Ohshima, Shinji Fukuda, Takara Mine, Ichiro Yakashiro, Kanji Ishimaru	Ferulic acid esters of glucosylglucose from <i>Allium macrostemon</i> Bunge	Journal of Asian Natural Products Research, In press., Ayaka Usui, Yosuke Matsuo, Takashi Tanaka, Kazusato Ohshima, Shinji Fukuda, Takara Mine, Ichiro Yakashiro, Kanji Ishimaru, 201607
Usui A., Y. Matsuo, T. Tanaka, K. Ohshima, S. Fukuda, T. Mine, H. Nakayama, K. Ishimaru	Ferulic acid esters of oligo-glucose from <i>Allium macrostemon</i> .	Natural Product Communications, 12., Usui A., Y. Matsuo, T. Tanaka, K. Ohshima, S. Fukuda, T. Mine, H. Nakayama, K. Ishimaru, 201701
Parinee Srisuwan, Shoichi Kojima	Field investigation on indoor thermal environment of a high-rise condominium in hot-humid climate of Bangkok, Thailand	, 201611
H. Tanaka ^M , Y. Uno ^M , S. Morisada, K. Ohto, H. Kawakita	Filtration and recovery of starch granules using assembled magnetite filter	Chemical Engineering Processing: Process Intensification, 2016
Haruki Tanaka, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, and Hidetaka Kawakita	Filtration and Recovery of Starch Granules Using Assembled Magnetite Filter	Chem. Eng. Process., 201612
Kazusato Ohshima, Kouta Okamura, Ryosuke Yasaka, Shinji Fukuda, Kanji Ishimaru, Yasuhiro Tomitaka, Kazuo Yamashita	First Genome Sequence of Shallot Latent Carlavirus from <i>Allium macrostemon</i> Bunge	genome announcements, 5, 33, Kazusato Ohshima, Kouta Okamura, Ryosuke Yasaka, Shinji Fukuda, Kanji Ishimaru, Yasuhiro Tomitaka, Kazuo Yamashita, 201708
Ohshima K, Okamura K, Yasaka R, Fukuda S, Ishimaru K, Tomitaka Y, Yamashita K.	First genome sequence of shallot latent carlavirus from <i>Allium macrostemon</i> Bunge.	Genome Announcements, in press., Ohshima K, Okamura K, Yasaka R, Fukuda S, Ishimaru K, Tomitaka Y, Yamashita K., 201706
Ohshima K, Korkmaz S, Mitoma S, Nomiya R, Honda Y.	First genome sequence of wild onion symptomless virus, a novel member of potyvirus in the turnip mosaic virus phylogenetic group.	Genome Announcements, 4, (4), Ohshima K, Korkmaz S, Mitoma S, Nomiya R, Honda Y., 201607
Keisuke Ohto, Yuuki Hashimoto ^B , Yuki Ueda ^D , Ayahiro Yamashita ^M , Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita	Formaldehyde removal by using solid phase extraction with an imination reaction on an amine type trident molecule-impregnated resin	Solvent Extraction Research and Development, Japan, 2016
Keisuke Ohto, Yuuki Hashimoto, Yuki Ueda, Ayahiro Yamashita, Shintaro Morisada, and Hidetaka Kawakita	Formaldehyde Removal by Using Solid Phase Extraction with an Imination Reaction on an Amine Type Trident Molecule-Impregnated Resin	Solvent Extr. Res. Dev., Jpn., 201605
K. Ohto, Y. Hashimoto, Y. Ueda, A. Yamashita, S. Morisada, H. Kawakita,	Formaldehyde Removal by Using Solid Phase Extraction with an Imination Reaction on an Amine Type Trident Molecule-Impregnated Resin	Solvent Extr. Res. Dev., Jpn., 201605
X. Feng, J.-Y. Hu, C. Redshaw and T. Yamato	Functionalization of Pyrene to Advanced Luminescence Materials – A review of Methodolog	Chem.-Eur. J., 201605
Ken-Ichi Osuki, Shun Hashimoto, Akihiro Suzuki, Masato Araragi, Akihito Takahara, Makiko Kurosawa, Ken-Ichi Kucho, Shiro Higashi, Mikiko Abe, Toshiki Uchiumi	Gene expression and localization of a β -1,3-glucanase of <i>Lotus japonicus</i>	J Plant Res, 129., Ken-Ichi Osuki, Shun Hashimoto, Akihiro Suzuki, Masato Araragi, Akihito Takahara, Makiko Kurosawa, Ken-Ichi Kucho, Shiro Higashi, Mikiko Abe, Toshiki Uchiumi, 201607
R. Takahashi*, F. Yan, S. Di, Y. Murai, T. Iwashina, T. Anai	Genetic and chemical analysis of deep purple flower in soybean	Crop science, 57, 4, R. Takahashi*, F. Yan, S. Di, Y. Murai, T. Iwashina, T. Anai, 201705
Shinji Fukuda, Keiichiro Ishimoto, Shingo Terakami, Toshiya Yamamoto, Naofumi Hiehata	Genetic mapping of the loquat canker resistance gene <i>pse-c</i> in loquat (<i>Eriobotrya japonica</i>)	Scientia Horticulturae, 200., Shinji Fukuda, Keiichiro Ishimoto, Shingo Terakami, Toshiya Yamamoto, Naofumi Hiehata, 201601

Yukawa, J., Nakagawa, K., Kohno, A., Tokuda, M., Kiritani, K., Matsuo, K., Mitsui, H. and Fujii, T.	Geographical and annual variations in the proportion of extended diapausing individuals of <i>Illiciomyia yukawai</i> (Diptera: Cecidomyiidae), with reference to an adaptive significance of its bimodal emergence patterns	Entomol. Sci., 19, 3, Yukawa, J., Nakagawa, K., Kohno, A., Tokuda, M., Kiritani, K., Matsuo, K., Mitsui, H. and Fujii, T., 201607
Nobuhiro Kotoda*, Satoshi Matsuo, Ichiro Honda, Kanako Yano, Tokurou Shimizu	Gibberellin 2-oxidase genes from Satsuma mandarin (<i>Citrus unshiu</i> Marc.) caused late flowering and dwarfism in transgenic Arabidopsis	The Horticulture J., 85, 2, Nobuhiro Kotoda*, Satoshi Matsuo, Ichiro Honda, Kanako Yano, Tokurou Shimizu, 201704
Naoko Ohkama-Ohtsu, Haruna Honma, Mariko Nakagome, Maki Nagata, Hiroko Yamaya-Ito, Yoshiaki Sano, Norina Hiraoka, Takaaki Ikemi, Akihiro Suzuki, Shin Okazaki, Kiwamu Minamisawa and Tadashi Yokoyama	Growth rate and gene expression in <i>Bradyrhizobium diazoefficiens</i> USDA110 due to a mutation in <i>blr7984</i> , a TetR family transcriptional regulator gene	Microbes and Environments, in press, Naoko Ohkama-Ohtsu, Haruna Honma, Mariko Nakagome, Maki Nagata, Hiroko Yamaya-Ito, Yoshiaki Sano, Norina Hiraoka, Takaaki Ikemi, Akihiro Suzuki, Shin Okazaki, Kiwamu Minamisawa and Tadashi Yokoyama, 201606
Tsuchida, Kouhei; Tsujita, Tadayuki; Tsujita, Tadayuki; Hayashi, Makiko; Ojima, Asaka; Keleku-Lukwete, Nadine; Katsuoka, Fumiki; Otsuki, Akihito; Kikuchi, Haruhisa; Oshima, Yoshiteru; Suzuki, Mikiko; Yamamoto, Masayuki; Yamamoto, Masayuki	Halofuginone enhances the chemo-sensitivity of cancer cells by suppressing NRF2 accumulation	Free Radical Biology and Medicine, 103, Tsuchida, Kouhei; Tsujita, Tadayuki; Tsujita, Tadayuki; Hayashi, Makiko; Ojima, Asaka; Keleku-Lukwete, Nadine; Katsuoka, Fumiki; Otsuki, Akihito; Kikuchi, Haruhisa; Oshima, Yoshiteru; Suzuki, Mikiko; Yamamoto, Masayuki; Yamamoto, Masayuki, 20170201
Matsumura, T., Matsumoto, H., Hayakawa, Y	Heat stress hardening of oriental armyworms is induced by a transient elevation of reactive oxygen species during sublethal stress.	Archive of Insect Biochemistry and Physiology, in press, in press, Matsumura, T., Matsumoto, H., Hayakawa, Y, 2017
Yuki Ueda, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, and Keisuke Ohto	High Extraction Ability and Selectivity of a Tripodal Pivalamide Derivative for Pt(IV) from Hydrochloric Acid Solutions	Sep. Sci. Technol., 201608
Y. Ueda, S. Morisada, H. Kawakita, K. Ohto	High extraction ability and selectivity of a tripodal pivalamide derivative for Pt(IV) from hydrochloric acid solutions	Sep. Sci. Technol., 201605
Yoichi Miyagawa, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita	Hydrodynamic chromatography using flow of a highly concentrated dextran solution through a coiled tube	Carbohydrate Polymers, 2016
Yoichi Miyagawa, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, and Hidetaka Kawakita	Hydrodynamic Chromatography Using Flow of a Highly Concentrated Dextran Solution through a Coiled Tube	Carbohydr. Polym., 201608
M. Matsugami, R. Yamamoto, T. Kumai, M. Tanaka, T. Umecky, T. Takamuku,	Hydrogen Bonding in Ethanol-Water and Trifluoroethanol-Water Mixtures Studied by NMR and Molecular Dynamics Simulation	J. Mol. Liquids, 201607
M. Matsugami, R. Yamamoto, T. Kumai, M. Tanaka, T. Umecky, T. Takamuku	Hydrogen Bonding in Ethanol-Water and Trifluoroethanol-Water Mixtures Studied by NMR and Molecular Dynamics Simulation	Journal of Molecular Liquids, 201605
K. Fujii, M. Yoshitake, H. Watanabe, T. Takamuku, Y. Umebayashi	Hydrogen Bonding in Protic and Aprotic Amide Mixtures: Low-frequency Raman Spectroscopy, Small-angle Neutron Scattering, and Molecular Dynamics Simulations	J. Mol. Liquids, 201705
Wylie SJ, Adams M, Chalam C, Kreuze J, López-Moya J, Ohshima K, Praveen S, Rabenstein F, Stenger D, Wang A, Zerbini FM, ICTV Consortium	ICTV Virus Taxonomy Profile: Potyviridae.	Journal of General Virology, 98, Wylie SJ, Adams M, Chalam C, Kreuze J, López-Moya J, Ohshima K, Praveen S, Rabenstein F, Stenger D, Wang A, Zerbini FM, ICTV Consortium, 201703

S. Watanabe, C. Tsukamoto, T. Oshita, T. Yamada, T. Anai, A. Kaga	Identification of quantitative trait loci for flowering time by a combination of restriction site-associated DNA sequencing and bulked segregant analysis in soybean	Breeding Science, 67, 3, S. Watanabe, C. Tsukamoto, T. Oshita, T. Yamada, T. Anai, A. Kaga, 201707
HAJIME OMURA, TERUYA MINAMOTO	IMAGE QUALITY DEGRADATION ASSESSMENT BASED ON THE DUAL-TREE COMPLEX DISCRETE WAVELET TRANSFORM FOR EVALUATING DIGITAL IMAGEWATERMARKING	Proceedings of the 2016 International Conference on Wavelet Analysis and Pattern Recognition, 201607
S. Takakura, I. Yamamoto, E. Tanaka, J. Azuma, M. Maki	Interlayer coupling and electronic structure of misfit-layered bismuth-based cobaltites	Phys. Rev. B, 201705
Kazuki Sato, Toyoshi Yoshiga and Koichi Hasegawa	Involvement of Vitamin B6 Biosynthesis Pathways in the Insecticidal Activity of Photorhabdus luminescens	Applied and Environmental Microbiology, 82, Kazuki Sato, Toyoshi Yoshiga and Koichi Hasegawa, 201606
H. Hamajima, H. Matsunaga, A. Fujikawa, T. Sato, S. Mitsutake, T. Yanagita, K. Nagao, J. Nakayama, H. Kitagaki	Japanese Traditional Dietary Fungus Koji <i>Aspergillus Oryzae</i> Functions as a Prebiotic for <i>Blautia Coccoides</i> through Glycosylceramide.	SpringerPlus, 5, 1321, H. Hamajima, H. Matsunaga, A. Fujikawa, T. Sato, S. Mitsutake, T. Yanagita, K. Nagao, J. Nakayama, H. Kitagaki, 201608
	Japanese traditional dietary fungus Koji <i>Aspergillus oryzae</i> functions as a prebiotic for <i>Blautia coccoides</i> through glycosylceramide	Springerplus, 5, 1, 201608
Dong Tu, Chao-Nan Xu, Akihito Yoshida, Masayoshi Fujihala, Jou Hirotsu, and Xu-Guang Zheng	LiNbO ₃ :Pr ³⁺ : A Multipiezo Material with Simultaneous Piezoelectricity and Sensitive Piezoluminescence	Adv. Mater., 201704
B. A. Marekha, V. Koverga, E. Chesneau, O. Kalugin, T. Takamuku, P. Jedlovszky, A. Idrissi	Local Structure in Terms of Nearest Neighbor Approach in C ₄ mim ⁺ -based Ionic Liquids: MD Simulations	J. Phys. Chem. B, 201605
A. Idrissi, B. Marekha, M. Barj, F. A. Miannay, T. Takamuku, V. Raptis, J. Samios, P. Jedlovszky	Local Structure of Dilute Aqueous DMSO Solutions, as Seen from Molecular Dynamics Simulations	J. Chem. Phys., 201706
R. Yano, K. Takagi, Y. Takada, K. Mukaiyama, C. Tsukamoto, T. Sayama, A. Kaga, T. Anai, S. Sawai, K. Ohya, K. Saito and M. Ishimoto	Metabolic switching of astringent and beneficial triterpenoid saponins in soybean is achieved by a loss-of-function mutation in Cytochrome P450 72A69	Plant Journal, 89, R. Yano, K. Takagi, Y. Takada, K. Mukaiyama, C. Tsukamoto, T. Sayama, A. Kaga, T. Anai, S. Sawai, K. Ohya, K. Saito and M. Ishimoto, 201702
Kimura, Y., Naeshiro, M., Tominaga, Y., Anai, T., Komai, F.	Metabolite composition of grapefruit (<i>Citrus paradisi</i>) grown in Japan depends on the growing environment and harvest period	The Horticulture Journal, in press, Kimura, Y., Naeshiro, M., Tominaga, Y., Anai, T., Komai, F., 201701
Y. Kimura, M. Naeshiro, Y. Tominaga, T. Anai and F. Komai	Metabolite Composition of Grapefruit (<i>Citrus paradisi</i>) Grown in Japan Depends on the Growing Environment and Harvest Period.	The Horticulture Journal (in press), Y. Kimura, M. Naeshiro, Y. Tominaga, T. Anai and F. Komai, 201701
Naeshiro, M., Kimura, Y., Anai, T., Komai, F.	Metabolome analysis reveals catecholamines induce somatic embryogenesis of spinach	American Journal of Plant Sciences, in press, Naeshiro, M., Kimura, Y., Anai, T., Komai, F., 201702
Md. Harun-Ur-Rashid, H. Iwasaki, S. Oogai, M. Fukuta, S. Parveen, Md. A. Hossain, T. Anai, H. Oku	Molecular characterization of cytosolic cysteine synthase in <i>Mimosa pudica</i>	J. Plant Res. (in press), Md. Harun-Ur-Rashid, H. Iwasaki, S. Oogai, M. Fukuta, S. Parveen, Md. A. Hossain, T. Anai, H. Oku, 201711
Mitsunori Yada, Takashi Miyaguchi, Daiki Watanabe, Yukako Hayashi, Tatsuya Ayabe, Toshio Torikai and Takanori Watari	Morphological control and upconversion luminescence of hollow CeO ₂ and Er ³⁺ -Yb ³⁺ codoped CeO ₂ particles	CrystEngComm, 201611
Kohzuma K, Chiba M, Nagano S, Anai T, Ueda MU, Oguchi R, Shirai K, Hanada K, Hikosaka K, Fujii N.	Mutant selection in the self-incompatible plant, radish (<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>sativus</i>), using two-step TILLING.	Breeding Science, 67, 3, Kohzuma K, Chiba M, Nagano S, Anai T, Ueda MU, Oguchi R, Shirai K, Hanada K, Hikosaka K, Fujii N., 201707

F. Yan, S. Di, Y. Murai, T. Iwashina, T. Anai and R. Takahashi	New Allelic Variant Discovered at Soybean Flower Color Locus W1 Encoding Flavonoid 3' 5'-hydroxylase	Crop Science, 56, F. Yan, S. Di, Y. Murai, T. Iwashina, T. Anai and R. Takahashi, 201606
K. Abe*, J. Soejima, H. Bessho, N. Kotoda, H. Iwanami, T. Masuda, S. Komori, Y. Yoshida, Y. Ito, S. Tsuchiya, S. Takahashi, S. Moriya, T. Haniuda, H. Kato, M. Ishiguro, Y. Kashimura, T. Sanada.	New Apple Cultivar 'Morinokagayaki'	Bull. NARO Institute of Fruit Tree Sci., 21, K. Abe*, J. Soejima, H. Bessho, N. Kotoda, H. Iwanami, T. Masuda, S. Komori, Y. Yoshida, Y. Ito, S. Tsuchiya, S. Takahashi, S. Moriya, T. Haniuda, H. Kato, M. Ishiguro, Y. Kashimura, T. Sanada., 2016
I. Hamdi, G. Buntinx, A. Perrier, O. Devos, N. Jaïdane, S. Delbaere, A. K. Tiwari, J. Dubois, M. Takeshita, Y. Wada, S. Aloïse	New insights into the photoswitching mechanisms of normal dithienylethenes	, 201609
Takeo Minamikawa, Takashi Ogura, Takashi Masuoka, Eiji Hase, Yoshiaki Nakajima, Yoshihisa Yamaoka, Kaoru Minoshima and Takeshi Yasui	Optical-frequency-comb based ultrasound sensor	Proc. SPIE, 201703
Guoyoung Song, Gen Luo, Juzo Oyamada, Yi Luo, Zhaomin Hou	ortho-Selective C-H addition of N,N-dimethyl anilines to alkenes by a yttrium catalyst	Chemical Science, 201604
Kumashiro, S., Matsukura, K., Adachi, S., Matsumura, M. and Tokuda, M.	Oviposition site preference and developmental performance of a gall-inducing leafhopper on galling and non-galling host plants	Entomol. Exp. Appl., 160, 1, Kumashiro, S., Matsukura, K., Adachi, S., Matsumura, M. and Tokuda, M., 201607
Michinori Fuchi, Masaya Ono, Eizo Kondo, and Toyoshi Yoshiga	Pathogenicity of the axenic entomopathogenic nematode <i>Steinernema carpocapsae</i> against <i>Galleria mellonella</i> and <i>Spodoptera litura</i> larvae	Nematological Research, Michinori Fuchi, Masaya Ono, Eizo Kondo, and Toyoshi Yoshiga, 201612
Ayaka Usui, Yosuke Matsuo, Takashi Tanaka, Kazusato Ohshima, Shinji Fukuda, Kanji Ishimaru	Phenolic constituents from <i>Allium macrostemon</i> Bunge	Journal of Natural Medicines, In press, Ayaka Usui, Yosuke Matsuo, Takashi Tanaka, Kazusato Ohshima, Shinji Fukuda, Kanji Ishimaru, 201607
Usui A, Matsuo Y, Tanaka T, Ohshima K, Fukuda S, Ishimaru K.	Phenolic constituents from <i>Allium macrostemon</i> Bunge.	The Japanese Journal of Pharmacognosy, Usui A, Matsuo Y, Tanaka T, Ohshima K, Fukuda S, Ishimaru K., 201700
Sakamoto H., Yoshida T., Sanaki T., Morita H., Oyama M., Mitsui M., Tanaka Y., Nakano T., Mitsutake S., Igarashi Y., Takemoto H.	Possible roles of long-chain sphingomyelins and sphingomyelin synthase 2 in mouse macrophage inflammatory response	Biochemical and Biophysical Research Communications, 482, 2, Sakamoto H., Yoshida T., Sanaki T., Morita H., Oyama M., Mitsui M., Tanaka Y., Nakano T., Mitsutake S., Igarashi Y., Takemoto H., 201701
Keisuke Ohto, Hiroaki Furugou, Takuyou Yoshinaga, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, and Katsutoshi Inoue	Precious Metal Extraction with Thiol and Dithioether Derivatives of a Trident Molecule	Solvent Extr. Res. Dev., Jpn., 201706
K. Ohto, H. Furugou, T. Yoshinaga, S. Morisada, H. Kawakita, K. Inoue	Precious Metal Extraction with Thiol and Dithioether Derivatives of Trident Molecule	Solvent Extr. Res. Dev., Jpn., 201705
Komai, F., Watanabe, Y., Kanno, A., Masuda, K.	Precocious in-vitro flowering of perennial asparagus (<i>Asparagus officinalis</i> L.) regenerants with a chemical inducer	American Journal of Plant Sciences, 7, Komai, F., Watanabe, Y., Kanno, A., Masuda, K., 201609
B. Shirouchi, K. Nagao, M. Umegatani, A. Shiraishi, Y. Morita, S. Kai, T. Yanagita, A. Ogawa, Y. Kadooka, M. Sato	Probiotic <i>Lactobacillus gasseri</i> SBT2055 improves glucose tolerance and reduces body weight gain in rats by stimulating energy expenditure.	British Journal of Nutrition, 116, 3, B. Shirouchi, K. Nagao, M. Umegatani, A. Shiraishi, Y. Morita, S. Kai, T. Yanagita, A. Ogawa, Y. Kadooka, M. Sato, 201607
K. Nagao, T. Jinnouchi, S. Kai, T. Yanagita	Pterostilbene, a dimethylated analog of resveratrol, promotes energy metabolism in obese rats.	J. Nutr. Biochem., 43, 5, K. Nagao, T. Jinnouchi, S. Kai, T. Yanagita, 201705

Masanori Miyazaki, Ichihiro Yamauchi, Ryosuke Kadono	Quest for the origin of heavy fermion behavior in d-electron systems	Journal of the Physical Society of Japan, 201604
Tshering Penjor, Takashi Mimura, Nobuhiro Kotoda, Ryoji Matsumoto, Atsushi J. Nagano, Mie N. Honjo, Hiroshi Kudoh, Masashi Yamamoto* and Yukio Nagano	RAD-Seq analysis of typical and minor Citrus accessions, including Bhutanese varieties	, 66., Tshering Penjor, Takashi Mimura, Nobuhiro Kotoda, Ryoji Matsumoto, Atsushi J. Nagano, Mie N. Honjo, Hiroshi Kudoh, Masashi Yamamoto* and Yukio Nagano, 201612
M. Furuta, T. Fujisawa, H. Urago, T. Eguchi, T. Shingae, S. Takahashi, E. W. Blanch, M. Unno	Raman Optical Activity of Tetra-alanine in the Poly(L-proline) II Type Peptide Conformation	Physical Chemistry Chemical Physics, 19, 2078-2086 (2016).., 201612
Furuta, M., Fujisawa, T., Urago, H., Eguchi, T., Shingae, T., Takahashi, S., Blanch, E. W., Unno, M.	Raman Optical Activity of Tetra-alanine in the Poly(L-proline) II Type Peptide Conformation	Phys. Chem. Chem. Phys., 201701
U. Rayhan, Z. Kowser, C. Redshaw and T. Yamato	Reduction of diphenylacetylene using Al powder in the presence of noble metal catalysts in water	Tetrahedron, 201607
T. Fujisawa, H. Kuramochi, H. Hosoi, S. Takeuchi, T. Tahara	Role of Coherent Low-Frequency Motion in Excited-State Proton Transfer of Green Fluorescent Protein Studied by Time-resolved Impulsive Stimulated Raman Spectroscopy	Journal of the American Chemical Society, 201603
Adi E. Nako, Juzo Oyamada, Masayoshi Nishiura, Zhaomin Hou	Scandium-catalysed intermolecular hydroaminoalkylation of olefins with aliphatic tertiary amines	Chemical Science, 201607
Tanaka, K. and Tokuda, M.	Seed dispersal distances by ant partners reflect preferential recruitment patterns in two ant-dispersed sedges	Evol. Ecol., 30, 5, Tanaka, K. and Tokuda, M., 201610
Takahashi E, Yamaoka Y	Simple and inexpensive technique for measuring oxygen consumption rate in adherent cultured cells	J Physiol Sci, 201708
高橋英嗣、山岡禎久	Simple and inexpensive technique for measuring oxygen consumption rate in adherent cultured cells	The Journal of Physiological Sciences, 201707
Fredy Kurniawan, Nur Shofwah Al Kiswiyah, Kartika A. Madurani, Masato Tominaga	Single-Walled Carbon Nanotubes-Modified Gold Electrode for Dopamine Detection	ECS Journal of Solid State Science and Technology, 201702
T. To, Y. Hatomoto, T. Umecky, T. Takamuku	Solvation Power of HFIP for the Hydrophilic and the Hydrophobic Moieties of L-leucine Studied by MD, IR, and NMR Techniques	J. Mol. Liquids, 201703
T. To, Y. Hatomoto, T. Umecky, T. Takamuku	Solvation Power of HFIP for the Hydrophilic and the Hydrophobic Moieties of L-leucine Studied by MD, IR, and NMR Techniques	Journal of Molecular Liquids, 201703
T. Takamuku, Y. Higuma, M. Matsugami, T. To, T. Umecky	Solvation Structure of 1,3-Butanediol in Aqueous Binary Solvents with Acetonitrile, 1,4-Dioxane, and Dimethyl Sulfoxide Studied by IR, NMR, and Molecular Dynamics Simulation	J. Phys. Chem. B, 201705
S. Katsube, M. Kinoshita, K. Amano, T. Sato, Y. Katsumoto, T. Umecky, T. Takamuku, T. Kaji, M. Hiramoto, Y. Tsurunaga, K. Nishiyama	Solvent-Dependent Properties and Higher-Order Structures of Aryl Alcohol + Surfactant Molecular Gels	Langmuir, 201604
S. Katsube, M. Kinoshita, K. Amano, T. Sato, Y. Katsumoto, T. Umecky, T. Takamuku, T. Kaji, M. Hiramoto, Y. Tsurunaga, K. Nishiyama	Solvent-Dependent Properties and Higher-Order Structures of Aryl Alcohols + Surfactant Molecular Gels	Langmuir, 201605
K. Nagao, A. Matsumoto, S. Kai, T. Kayashima, T. Yanagita	Soy protein isolate suppresses lipodystrophy-induced hepatic lipid accumulation in model mice.	J. Oleo Sci., 66, 2, K. Nagao, A. Matsumoto, S. Kai, T. Kayashima, T. Yanagita, 201702
Taniguchi M., Tasaki T., Ninomiya H., Ueda Y., Kuremoto KI., Mitsutake S., Igarashi Y., Okazaki T., Takegami T.	Sphingomyelin generated by sphingomyelin synthase 1 is involved in attachment and infection with Japanese encephalitis virus	Scientific Reports, 6., Taniguchi M., Tasaki T., Ninomiya H., Ueda Y., Kuremoto KI., Mitsutake S., Igarashi Y., Okazaki T., Takegami T., 201611

Y. Yamada, D. Koori, Y. Oshikawa, and M. Koikawa	Stereospecific Interaction of Optically Active Sulfur-Bridged Dinuclear Co(III)-Pt(II) Complex with Pseudo-Enantiomeric Co(III)-M(II) (M: Pd or Pt) Complex Involving Unequivalent π Electronic System	Inorg. Chim. Acta, 201608
T. Akther, Md. M. Islam, S. Rahman, P. E. Georghiou, T. Matsumoto, J. Tanaka, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and conformations of [2.n]metacyclophan-1-ene epoxides and their conversion to [n.1]metacyclophanes	Org. Biomol. Chem., 201703
Megumi Yoshitake, Ko Yoneda, Yasunori Yamada, Masayuki Koikawa	Synthesis and crystal structure of a tetranuclear Mn(III)-Ni(II) heterometal complex of N-(2-oxymethylphenyl)salicylideneimine	X-ray Structure Analysis Online 32, 1-2, 2016
X.-K. Jiang, Y. Ikejiri, C.-C. Jin, C. Wu, J.-L. Zhao, X.-L. Ni, X. Zeng, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and evaluation of a novel fluorescent sensors based on hexahomotrioxa-calix[3]arene for Zn(II) and Cu(II)	Tetrahedron, 201605
C.-Z. Wang, J.-H. Do, T. Akther, X. Feng, T. Matsumoto, J. Tanaka, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and fluorescence emission properties of D- π -D monomers based on dithieno[3,2-b:2',3'-d]thiophene	Journal of Luminescence, 201703
Sakiyama, Hiroshi; Kato, Masatoshi; Sasaki, Satoshi; Tasaki, Moriya; Asato, Eiji; Koikawa, Masayuki	Synthesis and magnetic properties of a dinuclear manganese(II) complex with two manganese(II) ions of C ₂ -twisted octahedral geometry	Polyhedron, 201604
T. Akther, Md. M. Islam, T. Matsumoto, J. Tanaka, P. Thuéry, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and Structure of 1,2-Dimethylene[2.10]metacyclophane and Its Conversion to Chiral [10]Benzenometacyclophanes	Eur. J. Org. Chem., 201703
X.-K. Jiang, Y. Ikejiri, X.-L. Ni, X. Zeng, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis and structures of O-anthrilmethyl-substituted hexahomotrioxacalix[3]-arenes	Journal of Molecular Structur., 201606
Jee Young Kim, Yoga Priastomo, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Yang Kim	Synthesis of a Novel Dibenzylamide Derivative of p-tert-Octylcalix[4]arene and its Extraction Properties Towards Noble Metal Ions	Aust. J. Chem., 201705
C. Wu, Y. Ikejiri, X. Zeng, M. R. J. Elsegood, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis of Mono-O-Alkylated Homooxacalix[3]arene and a Protection-Deprotection Strategy for Homooxacalix[3]arene	Org. Lett., 201701
Saito S., Murai Y., Usuki S., Yoshida M., Hammam M., Mitsutake S., Yuyama K., Igarashi Y., Monde K.	Synthesis of nontoxic fluoros sphingolipids as molecular probes of exogenous metabolic studies for rapid enrichment by FSPE	European Journal of Organic Chemistry, 2017., Saito S., Murai Y., Usuki S., Yoshida M., Hammam M., Mitsutake S., Yuyama K., Igarashi Y., Monde K., 201702
T. Akther, Md. M. Islam S. Rahman, P. E. Georghiou, T. Matsumoto, J. Tanaka, P. Thuéry, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis, structural properties, electrophilic substitution reactions and DFT computational studies of 1,2-dimethyl[2.10]metacyclophane-1-enes	ChemistrySelect, 201607
C.-Z. Wang, R. Kihara, X. Feng, P. Thuéry, C. Redshaw and T. Yamato	Synthesis, Structure and Photophysical Properties of Pyrene-based [5]Helicenes: an Experimental and Theoretical Study	ChemistrySelect, 201701
S. Takakura, I. Yamamoto, E. Koga, F. Ichikawa, J. Azuma, M. Maki	Temperature-dependent Fermi surface of the misfit cobaltite [Bi ₂ Sr ₂ O ₄] _{0.51} CoO ₂ : A comparison with [Bi ₂ Ba ₂ O ₄] _{0.50} CoO ₂	Phys. Rev. B, 201604
Sakamoto, Y., Yamazaki, J., Yamada, T., Yokoyama, J., Ogura - Tsujita, Y., & Maki, M.	The diversity of mycorrhizal fungi in Japanese Cephalanthera species.	Plant Species Biology, 32., Sakamoto, Y., Yamazaki, J., Yamada, T., Yokoyama, J., Ogura - Tsujita, Y., & Maki, M., 201701
Gibbs A, Ohshima K, Yasaka R. Mohammadi M, Gibbs M. Jones R.	The phylogenetics of the global population of potato virus Y and its necrogenic recombinants.	Virus Evolution, Mar 2;3(1):vex002. doi: 10.1093/ve/vex002., Gibbs A, Ohshima K, Yasaka R. Mohammadi M, Gibbs M. Jones R., 201702

Yasaka R, Fukagawa H, Ikematsu M, Soda H, Korkmaz S, Golnaraghi A, Katis N, Ho SYW, Gibbs A J, Ohshima K.	The time of emergence and spread of turnip mosaic virus.	Scientific Reports, 7: 4240, Yasaka R, Fukagawa H, Ikematsu M, Soda H, Korkmaz S, Golnaraghi A, Katis N, Ho SYW, Gibbs A J, Ohshima K., 201704
Sakamoto, Y., Ogura-Tsujita, Y., Ito, K., Suetsugu, K., Yokoyama, J., Yamazaki, J., T. Yukawa, Maki, M.	The tiny-leaved orchid <i>Cephalanthera subaphylla</i> obtains most of its carbon via mycoheterotrophy	Journal of Plant Research, 129, Sakamoto, Y., Ogura-Tsujita, Y., Ito, K., Suetsugu, K., Yokoyama, J., Yamazaki, J., T. Yukawa, Maki, M., 201608
Raden Darmawan, Arief Widjaja, Sri Rachmania Juliastuti, Nuniek Hendriani, Chanifah Hidayat, Dessy Rosita Sari, Suwito, Shigeru Morimura, and Masato Tominaga	The Use of Mud as an Alternative Source for Bioelectricity Using Microbial Fuel Cells	AIP Conference Proceedings, 201705
廣瀧謙亮 ^D 、入江晶子 ^M 、中村祐輝 ^M 、花本猛士	Three-component one-pot reactions of 2-trifluoromethyl-N-nosylaziridine, primary amines, and vinylsulfonium salts for convenient access to CF ₃ -containing piperazines	Synthesis, 201706
Taisuke Ekino ^D , Toyoshi Yoshiga, Yuko Takeuchi-Kaneko, Natsumi Kanzaki	Transmission electron microscopic observation of body cuticle structures of phoretic and parasitic stages of Parasitaphelenchinae nematodes	PLOS ONE, Taisuke Ekino ^D , Toyoshi Yoshiga, Yuko Takeuchi-Kaneko, Natsumi Kanzaki, 201706
Hideaki Shirota, Shohei Kakinuma, Kotaro Takahashi, Akito Tago, Hocheon Jeong, and Tomotsumi Fujisawa	Ultrafast Dynamics in Aromatic Cation Based Ionic Liquids: A Femtosecond Raman-Induced Kerr Effect Spectroscopic Study	Bulletin of the Chemical Society of Japan 2016, 89, 1106-1128 (2016), 201606
Xing-Liang Xu, Xu-Guang Zheng & Isao Watanabe	Utilizing muon-spin-relaxation to probe ferroelectric transition in hydroxyl salt Co ₂ (OD) ₃ Cl	Ferroelectrics, 201612
Shunsuke Nakamura, Shohei Onimaru, Yushi Oishi, Takayuki Narita	Volume and temperature change behaviors of photothermal convertible hydrogels	, 201703
Yagame, T., Ogura-Tsujita, Y., Kinoshita, A., Iwase, K., & Yukawa, T.	Yagame, T., Ogura-Tsujita, Y., Kinoshita, A., Iwase, K., & Yukawa, T. (2016). Fungal partner shifts during the evolution of mycoheterotrophy in <i>Neottia</i>	American Journal of Botany, 103, 1-12, Yagame, T., Ogura-Tsujita, Y., Kinoshita, A., Iwase, K., & Yukawa, T., 201609
宮司貴浩 藤田佳克 草場基章	イネいもち病菌の野生 <i>Setaria</i> 属植物に対する病原性	九州病害虫研究会報, 62, 宮司貴浩 藤田佳克 草場基章, 201612
臼井彩夏、一瀬大樹、上田敏久、福田伸二、大島一里、松尾洋介、田中 隆、中山秀幸、石丸幹二	ノビル鱗茎の成分解析	日本食品化学学会誌, Vol. 24, 2, 臼井彩夏、一瀬大樹、上田敏久、福田伸二、大島一里、松尾洋介、田中隆、中山秀幸、石丸幹二, 201708
臼井彩夏、一瀬大樹、上田敏久、福田伸二、大島一里、松尾洋介、田中 隆、中山秀幸、石丸幹二	ノビル鱗茎の成分解析	日本食品化学学会誌 24 巻 2 号 p63-68, 臼井彩夏、一瀬大樹、上田敏久、福田伸二、大島一里、松尾洋介、田中 隆、中山秀幸、石丸幹二, 201708
大渡啓介、井上勝利、グルン・マンジュ	バイオマスを有効活用した使用済み携帯電話からのレアメタル回収技術の開発	ケミカルエンジニアリング, 201702
藤澤知績、海野雅司	ラマン光学活性分光法	分光研究, 第 65 巻、第 4 号、218-231, 201610
吉岡裕哉・明石夏澄・木下智章・副島和則・安田雅俊・徳田 誠	国見岳（佐賀県嬉野市）におけるヤマネの初確認	佐賀自然史研究, 21, 吉岡裕哉・明石夏澄・木下智章・副島和則・安田雅俊・徳田 誠, 201611
徳田 誠・中原正登・山崎 工・上赤博文・山口誠治	佐賀県神埼市日の隈山における佐賀自然史研究会第 63 回観察会「植物を操る昆虫たちの不思議：虫えい探しに出かけよう 2（秋編）」で確認された虫えい	佐賀自然史研究, 21, 徳田 誠・中原正登・山崎 工・上赤博文・山口誠治, 201611
徳田 誠	佐賀大学構内におけるアメリカシロヒトリ（チョウ目：ヒトリガ科）の発生生態と防除	佐賀大学農学部彙報, 102, 徳田 誠, 201701
北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるフッ素化反応：触媒のおよび量論的フッ素化反応の開発	有機合成化学協会誌, 201702

八谷英佑・近藤文義*	排出ロットの異なる JIS フライアッシュを使用した ジオポリマー硬化体の圧縮強度の比較検討	農業農村工学会論文集, 303, 八谷 英佑・近藤文義*, 201612
秀島 好知, 有馬 進, 鈴木 章弘, 牧山 繁生, 森敬 亮, 浅川 将暁, 広田 雄二, 大塚 紀夫, 稲田 稔	米麦二毛作体系における麦わらの処理方法が水田雑 草の発生量と水稻の生育に及ぼす影響	日本作物学会紀事, 85, 秀島 好知, 有馬 進, 鈴木 章弘, 牧山 繁生, 森敬 亮, 浅川 将暁, 広田 雄二, 大塚 紀夫, 稲田 稔, 201604

総説・資料・解説・論説・研究報告・総合雑誌の論文

著者名	題目	雑誌名, 巻, 号, 頁
Aoki S, Takezawa T, Sugihara H, Toda S.	Progress in cell culture systems for pathological research.	Pathol Int. 66(10):554-562. doi: 10.1111/pin.12443
DeLoer S, Nakamura R, Mi-ichi F, Adachi K, Kobayashi S, *Hamano S.	Mouse models of amoebiasis and culture methods of amoeba.	Parasitol Int. 65(5 Pt B):520-525. doi: 10.1016/j.parint.2016.03.012
Kai K	Organ-specific concept and controversy for premalignant lesions and carcinogenesis of gallbladder cancer.	Hepatobiliary Surg Nutr. 5(1):85-7. doi: 10.3978/j.issn.2304-3881.2016.01.03
Kido MA, Yoshimoto R, Aijima R, Cao AL, Gao WQ	Oral mucosal membrane and TRP channels.	J. Oral Sci. <i>in press</i>
Koarada S, Tada Y.	Roles of plasmablasts in IgG4-related disease and various immune-based diseases	World J Rheumatol, 6(1): 16-22, DOI: 10.5499/wjr.v6.i1.16
Kumamoto E, Fujita T	Cellular mechanisms for antinociception produced by neuropeptides in the rat spinal dorsal horn.	Curr. Top. Pept. Protein Res. 16: 19-35
Kumamoto E, Fujita T	Differential activation of TRP channels in the adult rat spinal substantia gelatinosa by stereoisomers of plant-derived chemicals.	Pharmaceuticals 9: 46 (18 ページ), doi: 10.3390/ph9030046
Matsumoto A, Thompson DC, Chen Y, Kitagawa K and Vasiliou V	Roles of defective ALDH2 polymorphism on liver protection and cancer development.	Environ Health Prev Med 21(6):395-402
Mi-ichi F, Yoshida H, Hamano S.	Entamoeba Encystation: New Targets to Prevent the Transmission of Amebiasis.	PLoS Pathogens. 12(10):e1005845. doi: 10.1371/journal.ppat.1005845
Sanders KM*, Kito Y, Hwang SJ, Ward SM	Regulation of Gastrointestinal Smooth Muscle Function by Interstitial Cells.	Physiology (Bethesda). 31(5):316-26. doi: 10.1152/physiol.00006.2016
小荒田秀一、多田芳史	病因・病態 IgG4 関連疾患で出現する Plasmablast の特徴	肝胆臓 73 巻 4 号 (2016 年 10 月号)
阪本雄一郎, 小網博之, 三池徹	連載【Viscoelastic Device】第 5 回 外傷と Viscoelastic Device	Thrombosis Medicine 2016 年 6 月号 (Vol.6 No.2) 143-149
吉田裕樹、木村大輔、由井克之	特集 I. サイトカインによる生体応答制御 IL-27 による免疫抑制	臨床免疫・アレルギー科第 67 巻第 1 号
浦上宗治, 青木洋介	Antibiotic stewardship program の現状と方向性	感染症 46(3) 1-8
嬉野博志、木村晋也	血液疾患領域の新規治療薬 2016「ボナチニブ」	Hematology agora: 11-14
久保田寧	【連載】<One Point Advice> 赤芽球癆と胸腺過形成	Medical Practice 2016 年 11 月号 (33 巻 11 号) 実地医家が診る内分泌疾患 隠れた内分泌疾患を拾い出す 1822
錦戸 利幸、野出 孝一	再診診療と血圧測定 [関連トピックス] 時計生物学と高血圧治療	medicina 53 巻 11 号 特集 主治医として診る高血圧診療 :1732 DOI: http://dx.doi.org/10.11477/mf.1402224402
熊本栄一、藤田亜美	総説 Transient receptor potential チャネル活性化による神経終末からのグルタミン酸自発放出の促進	生物物理 56: 145-148
原口 祥典, 溝口 義人, 平地 徹, 立石 洋, 門司 晃	認知症の周辺症状(主に行動症状)に対する薬物療法について (特集 認知症の薬物療法 : 最新 Update)	臨床精神薬理 19(9) 1319-1324

高井敏朗、上條清嗣、布村聡、羅智靖、小川秀興、奥村康	特集 II. アレルギー性疾患における免疫細胞の新たな役割とその制御機構 好塩基球の自然免疫応答による IL-4 産生の Fc 受容体 γ 鎖依存性	臨床免疫・アレルギー科 66 (4) : 371-374
坂田資尚、岩切龍一	診断講座 症例から学ぶ IBD 鑑別診断のコツ 大腸病変を有した家族性地中海熱の 1 例	IBD Research 2016 年 12 月号 10 巻 4 号 2206-2209
阪本 雄一郎、小網 博之、三池 徹	外傷性凝固障害とビスコエラスティックデバイス	日本血栓止血学会誌 Vol. 27 (2016) No. 4 p. 408-419, http://doi.org/10.2491/jjsth.27.408
三田村康貴、出原賢治	アトピー性皮膚炎とペリオスチン	皮膚アレルギーフロンティア 14 (1) : 54-55
山田尚友、山田麻里江、中尾真実、久保田寧、末岡榮三朗	移植医療における輸血関連検査 輸血と HLA (human leukocyte antigen) 検査について	日本検査血液学会雑誌 Vol.17:434-440
出原賢治、太田昭一郎、布村聡、小川雅弘、南里康弘	喘息研究・医療における新たな潮流 トランスレーショナルリサーチからプレジジョン・メディシンに向けて	実験医学 34 (18) : 2984-2989
松尾宗明	〔神経疾患〕神経線維腫症	小児内科 2016 年 10 月号 特集 慢性疾患児の一生を診る, 48(10) : 1524-1526
太田昭一郎、出原賢治	アトピー性皮膚炎の新しいバイオマーカー (特集 アトピー性皮膚炎の病態に基づいた新たなアプローチ)	アレルギー・免疫 23(2):190-196
田代宏樹、高橋浩一郎	特集 II. TSLP と IL-33 に関する新知見 ダニ抗原による気道炎症マウスモデルにおいて肺に集積する単球は IL-33 のセルソースである	臨床免疫・アレルギー科 第 67 巻第 3 号
田中 敦史、野出 孝一	連載 誌上ディベート Debate テーマ: 心不全における高尿酸血症は是正すべきか 積極的な立場から	Fluid Management Renaissance 2016 年 7 月号 特集 透析患者の体液管理 6(3) : 273-280
田中敦史、野出孝一	DPP-4 阻害薬は心血管イベントを抑制するのか-大規模臨床研究の結果から	呼吸と循環 64(10):101-1021 DOI: http://dx.doi.org/10.11477/mf.1404206050
田中敦史、野出孝一	EMPA-REG OUTCOME	Cardiac Practice 27(2):144-146
田中敦史、野出孝一	コラム: 走り出した SGLT2 阻害薬のこれから	最新医学別冊 診断と治療の ABC116 : 221-222
田中敦史、野出孝一	循環器領域における SGLT2 阻害薬	医学のあゆみ 259(14):1521-1527
田中敦史、野出孝一	I. SGLT2 阻害薬の臨床効果“光の部分” ⑤心血管イベント抑制効果~最近の話題-EMPA-REG OUTCOME 試験をどのように評価するか-	Diabetes Frontier 2016 年 12 月号 特集 SGLT2 阻害薬の光と影 27(6) : 718-723
田中敦史、野出孝一	循環器内科 iPS 細胞による循環器病診断 【患者特異的 iPS 細胞を用いた疾患解析により、培養皿上で病的表現型の再現が可能に】	日本医事新報 No. 4833:50
東武昇平	学会印象記「第 104 回日本泌尿器科学会総会」印象記	臨床泌尿器科 70 (8) pp. 634-635
東武昇平、有働和馬、野口満	特集 90 分で習得できる! 先天性水腎症と膀胱尿管逆流のすべて (先天性水腎症) 高度水腎症に対する診断アプローチと手術適応	臨床泌尿器科 70 (12) 913-917, DOI: http://dx.doi.org/10.11477/mf.1413205810
藤本一眞、坂田資尚、岩切龍一	抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン (診療ガイドライン at a glance)	日本内科学会雑誌 105(11) 2206-2209
布村聡	3. 多様なヘルパー T 細胞サブセット, MULTIPLE SUBSETS OF T HELPER CELLS	アレルギー 65 (2) : 91-95
布村聡、岡山吉道、羅智靖	解説 LXR を介したマスト細胞活性化の制御	臨床免疫・アレルギー科 65 (4) : 394-399
末岡榮三朗	専門医向け臨床血液学 : 基礎と最近の動向 (貧血と凝固) (第 62 回学術集会) - (臨床検査医学 Catch up セミナー : 今・そしてこれからの臨床検査医学・各論)	日本臨床検査医学会誌 64(8)965-971
野出孝一、尾山純一、琴岡憲彦、浅香真知子	循環器病の終末医療の緩和ケアに向けての研究	三井住友海上福祉財団 2014 年度研究結果報告書 20:119-120

有働和馬, 草野脩平, 藏田彩, 東武昇平, 野口満	小児泌尿器科領域におけるロボット支援手術の応用と展望	西日本泌尿器科 78(4): 178-184
穴井 豊昭	ダイズ突然変異体リソースの開発とその活用	作物研究, 201611, 61, , 67-72
光武 進	細胞膜スフィンゴミエリンの代謝制御による新規細胞膜ダイナミズム	生化学, 201702, 89, 1, 86
辻田 忠志	Nrf1(NFE2L1)の転写抑制能による細胞内チオール量および脂肪酸代謝制御	生化学, 201612, 88, 6, 776-781
石渡洋一	V203 ナノ結晶の不純物誘起金属絶縁体転移	九州大学低温センターだより, 201703, 11, , 2-8
Katsutoshi Inoue, Manju Gurung [^] D, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, Durga Parajuli [^] D, Bimala Pangeni [^] D, Shafiq Alam	Development of novel biosorbents for gold and their application for the recovery of gold from spent mobile phones	The Recovery of Gold from Secondary Sources, 2016, , , 143-171
富永昌人	泥の電池」による先進的環境プロセス	ケミカルエンジニアリング, 201606, 61, 6, 418-422
富永昌人	微生物燃料電池による先進的資源循環システムの構築	化学工業, 201705, 68, 5, 358-362
Makoto Maki, Emi Koga, Sho-ichi Takakura, Isamu Yamamoto, Junpei Azuma	Time-resolved photoemission study of charge-density wave in K0.3MoO3	Activity Report, Synchrotron Light Application Center Saga University 2014-2015, 201609, , ,
Makoto Maki, Sho-ichi Takakura, Emi Koga, Isamu Yamamoto, Junpei Azuma	Pseudo-gap formation in misfit-cobaltites studied by photoemission spectroscopy	Activity Report, Synchrotron Light Application Center Saga University 2014-2015, 201609, , ,
真木一、高倉将一	層状ミスフィット型コバルト酸化物の結晶構造解析	九州大学ナノマテリアル開発のための超顕微解析共有拠点 平成27年度成果報告書, 201610, , ,
真木一、高倉将一	層状ミスフィット型コバルト酸化物の不整合性解析	九州大学ナノマテリアル開発のための超顕微解析共有拠点 平成27年度成果報告書, 201610, , ,
尾形剛志, 森貞真太郎	吸着等温線の測定テクニック -液相吸着-	Adsorption News, 201610, 30, 3, 22-26
森貞真太郎	温度応答型界面活性マイクロゲルの開発	ホソカワ粉体工学振興財団年報, 201706, 24, , 119
大渡啓介、川喜田英孝	事例27 貴金属回収を目指したバイオマス(微細藻類など)の有効利用	地域生物資源産業化事例集, 201611, , , 85-87
大渡啓介・武富昭人・川喜田英孝・森貞真太郎・井上勝利	トリメチロール型三脚状分子によるホウ素の抽出挙動	佐賀大学理工学部集報, 201706, 46(), , 1, 1-6
藤澤知績、海野雅司	ラマン光学活性分光法	分光研究, 201608, 65, 1, 218-231
海野雅司	ラマン分光法の有田焼評価への活用	セラミックス, 201609, 51, 1, 550-552
阪本真由子、酒谷真以、Jannatul Ferdouse、浜島浩史、松永陽香、柘植圭介、西向めぐみ、柳田晃良、永尾晃治、光武進、北垣浩志	麴で造られる醸造食品のグリコシルセラミド含量定量手法の検討とそれを用いた定量	日本醸造協会誌, 201709, 112, 9, 655-662
Yoko Ishibashi and Toyoshi Yoshiga	Detection of Meloidogyne species from wild herbaceous plants in non-crop fields in northwest Kyushu, Japan	Nematological Research, 201607, , ,
Michinori Fuchi, Masaya Ono, Eizo Kondo and Toyoshi Yoshiga	Axenic liquid static culture of entomopathogenic nematode Steinernema carpocapsae that was supplemented with a nematode-infected insect cadaver	Nematological Research, 201606, , ,

一般講演・招待講演・特別講演

発表者	題目	学会（会議等）名
Abe T, Nakahara Y, Koguchi M, Ito H, Wakamiya T, Morisaki I, Momii Y, Fudaba H, Fujiki M	Expression of drug resistance genes associated with hypoxia.	21ST ANNUAL SCIENTIFIC MEETING AND EDUCATION DAY OF THE SOCIETY FOR NEURO-ONCOLOGY.
Aoki S, Higashimoto K, Hidaka H, Watanabe H, Ohtsuka Y, Mishima H, Yoshiura KI, Yatsuki H, Nishioka K, Joh K, Ohba T, Katabuchi H, Soejima H.	Aberrant methylation at imprinted DMRs is associated with placental mesenchymal dysplasia.	ICHG2016, The 13th International Congress of Human Genetics.
Aoki S, Kimura H, Takezawa T, Yamamoto M, Tod S.	THE CULTURED SKIN SHEET UTILIZING NOVEL COLLAGEN SCAFFOLD	28TH ANNUAL MEETING OF THE WOUND HEALING SOCIETY SAWC SPRING/WHS JOINT MEETING
Aoki S, Makino J, Noguchi M, Toda S	Peritoneal cellular kinetics is regulated by nitric oxide activity under peritoneal dialysis	ISBP2016 33rd Congress of the International Society of Blood Purification
Aoki Shigehisa	Unique cell culture techniques for in vitro research	Asian Congress 2016 on Alternatives and Animal Use in the Life Science
Asano T, Kanemitsu Y, Takemura M, Yokota M, Fukumitsu K, Takeda N, Ichikawa H, Ohta S, Nakamura Y, Izuhara K, Suzuki M, Niimi A	Serum periostin as a valuable biomarker of comorbid chronic rhinosinusitis in patients with asthma	ERS International Congress 2016
Chiho Nakashima, Akemi Sato, Shinya Kimura, Naoko Aragane	Investigation of mechanism of lymphogenous metastasis using human lung cancer metastatic animal model	The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
Ebashi R, Ogata A, Kawashima M, Wakamiya T, Nishihara M, Masuoka J, Nakahara Y, Inoue K, Takase Y, Irie H, Abe T	Carotid artery stenosis with a high-intensity signal plaque on time-of-flight magnetic resonance angiography and association with evidence of intraplaque hypoxia.	The 14th Young-Honam and Kyushu Neurosurgical Joint Meeting.
Fujita T, Jiang C-Y, Wang C, Suzuki R, Magori N, Hirao R, Kumamoto E	Synaptic modulation by oxytocin in rat spinal dorsal horn neurons exhibits a sexual difference and developmental alteration.	The 13th Japan-Korea Joint Symposium on Brain Science, and Cardiac and Smooth Muscles
Fujita T, Wang C, Jiang C-Y, Yu T, Hirao R, Suzuki R, Kumamoto E	TRP channel activation by stereoisomers of plant-derived chemicals in the rat spinal substantia gelatinosa - actions of carvacrol, thymol, carvone and cineole.	16th World Congress on Pain
Fuku N, Zempo H, Nishida Y, Higaki Y, Naito H, Hara M, Tanaka K	Physical activity reduces the risk of type 2 diabetes associated with m.1382A>C polymorphism encoding 12S rRNA and mitochondria derived MOTS-c	APS Intersociety Meeting Integrative Biology of Exercise VII
Fukuda M, Awanami Y, Nonaka N, Sanematsu M, Takashima T, Miyazono M, Anzai K, Ikeda Y	The changes in the initiation of dialysis due to diabetic nephropathy over 30 years in our hospital	15th Asian Pacific Conference of Nephrology (APCN) & 52nd ANZSN ASM 2016
Guo Jing, 尾崎 岩太, 夏 京合, 桑代 卓也, 小島 基靖, 江口 有一郎, 安西 慶三, 松橋 幸子	腫瘍抑制遺伝子 PDCD4 による肝細胞癌の細胞周期と apoptosis の調整	第 52 回日本肝臓学会総会
H. Sadamatsu, K. Takahashi, H. Tashiro, N. Sueoka-Aragane	An analysis of pulmonary manifestations of IgG4-Related Disease	ATS International Conference 2016
H. Tashiro, K. Takahashi, G. Kato, S. Hayashi, S. Kimura, N. Sueoka-Aragane	IL-33 from inflammatory monocytes recruited to lung contributes to HDM-Induced airway inflammation	ATS International Conference 2016
H. Tashiro, K. Takahashi, G. Kato, S. Hayashi, S. Kimura, N. Sueoka-Aragane	IL-33 from inflammatory monocytes recruited to lung contributes to HDM-Induced airway inflammation	第 26 回国際喘息学会日本・北アジア部会
Hidaka H, Higashimoto K, Aoki S, Watanabe H, Yatsuki H, Nishioka K, Joh K, Maeda T, Koga Y, Iwakiri R,	Comprehensive methylation analysis of imprinting-associated differentially methylated regions in colorectal cancer.	ICHG2016, The 13th International Congress of Human Genetics.

Noshiro H, Fujimoto K, Soejima H.		
Hidaka H, Higashimoto K, Takara Y, Takedomi H, Okamoto N, Kawachi K, Kawakubo H, Yamamoto K, Yamanouchi K, Koga Y, Iwakiri R, Noshiro H, Fujimoto K, Soejima H.	Comprehensive methylation analysis of imprinting-associated differentially methylated regions in colorectal cancer.	UEG Week Vienna 2016, 24th United European Gastroenterology Week.
Hideaki Nakamura, Eisaburo Sueoka, Lorenz Poellinger	Notch3 is regulated by Hypoxia-inducible factor-1a in hypoxia	The 13th Korea-Japan Joint Symposium on Helicobacter infection / The22nd Annual Meeting of the Japanese Society for Helicobacter Research (JSHR2016)
Hideaki Nakamura, Hiroki Sekine, Hiroyuki Kato, Katarina Gradin, Eisaburo Sueoka, Lorenz Poellinger	Non-canonical HIF-1a transcriptional regulatory mechanism of Notch3 in hypoxia	第 14 回がんとハイポキシア研究会
Hikichi Y, Miura Y, Iwasaki K, Node K	Visualization of Unobservable Bioresorbable Scaffolds Using Angiography	第 80 回日本循環器学会学術集会 /The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (JCS2016)
Hirabaru K, Matsuo M	Neurological co-morbidity in children with neurofibromatosis type 1.	ICNC2016
Hirakawa H, Komiya K, Kurihara Y, Sadamatsu H, Nakashima C, Nakamura T, Takahashi K, Kimura K, and Aragane N	A case of rapidly progressive primary mixed-type germ cell tumor of the mediastinum after induction chemotherapy	2016 the Japanese Society of Medical Oncology Annual Meeting
Hirao R, Fujita T, Sakai A, Wang C, Suzuki R, Magori N, Ishimatsu M, Kumamoto E	Compound action potential inhibition by various antidepressants in the frog sciatic nerve.	Society for Neuroscience the 46th Annual Meeting, Neuroscience 2016
Hiroki Tashiro, Koichiro Takahashi, Go Kato, Shinichiro Hayashi, Shinya Kimura, Naoko Sueoka-Aragane	IL-33 from inflammatory monocytes recruited to lung contributes to HDM-Induced airway inflammation	The 65th Annual Meeting of Japanese Society of Allergology (English oral session)
Ishikawa A, Sasaguri T, Hirakawa N	Essential roles of the C-type lectin receptor, Mincle, in induction of neuropathic pain in mice.	Pain Society of Busan · Ulsan · Kyungnam
Ishikawa A, Yasaka T, Miyake Y, Murata Y, Sasaguri T, Yamasaki S, Hara H, Yoshida H, Hirakawa H	Possible contribution of the C-type lectin receptor, Mincle, to induction of neuropathic pain after peripheral nerve injury in mice	第 16 回世界疼痛学会(16th World Congress on Pain)
Ishikawa S, Yoshinaga Y, Nakamura D, Okuda T, Ishibashi T, Enaida H	Development and evaluation of the novel fundus oximetry.	ARVO 2016 Annual Meeting
Ito R, Nunomura S, Katano I, Takahashi T, Ito M	Generation of human asthmatic airway inflammation model by administration of IL-33 into novel humanized IL-3/GM-CSF/IL-5 transgenic NOG mice	IWHM5 - 5th International Workshop on Humanized Mice -
Ito Y, Sakata Y, Ogata S, Tsuruoka N, Yamamoto K, Tanaka Y, Shimoda R, Sakata H, Iwakiri R, Fujimoto K.	Risk factors of delayed bleeding after endoscopic submucosal dissection (ESD) for colorectal tumors.	Asia Pacific Digestive Week (APDW2016)
Izuhara K, Suzuki S, Ogawa M, Ohta S, Nanri Y	The potential for repositioning anti-thyroid agents as anti-asthma drugs	31st Symposium of the Collegium Internationale Allergologicum
James A, Janson C, Malinovschi A, Alving K, Ono J, Ohta S, Forsberg B, Izuhara K, Dahlen SE	Serum periostin in healthy controls and patients with asthma and chronic rhinosinusitis: data from the Swedish GA(2)LEN population study	ERS International Congress 2016
Jing-Qi Zhang, Reiko Yoshimoto, Reona Aijima, Tomoko Kitsuki, Yasuyoshi Ohsaki, Cao Ailin, Mizuho A. Kido.	Hypomaturation of dental enamel in thermosensitive TRP channel deleted mice.	12th International Conference on Tooth Morphogenesis and Differentiation (TMD 2016), Porvoo, Finland

Kai K, Nakamura M, Aishima S	Cytological difference of nuclei between hepatocellular carcinoma and cholangiocellular carcinoma	ICC2016 –19th International Congress of Cytology-
Kawakubo H, Tanaka Y, Hara M, Ito Y, Takeshita E, Tsuruoka N, Shimoda R, Kusano M, Iwakiri R, Fujimoto K.	Dysmotility symptoms examined by questionnaire are more exaggerated in females than males in young Japanese volunteers without endoscopic findings and Helicobacter pylori infection	Asia Pacific Digestive Week: Innovative approaches to gastroenterology
Kawasaki-Nanri M, Aoki S, Yamamoto M, Udo K, Noguchi M, Toda S	Differential effects of adipose tissue stromal cells on the apoptosis, growth and invasion of bladder urothelial carcinoma between the superficial and invasive types.	第20回日本内分泌病理学会学術総会
Kimura D, Miyakoda M, Akbari M, Kimura K, Hara H, Yoshida H, Yui K	Interleukin-27 inhibits the generation of memory CD4+ T cells against malaria infection	The 45th Annual Meeting of the Japanese Society for Immunology
Kito Y	Properties of waxing and waning in the mouse small intestine.	The 68th Annual Meeting of The Korean Physiological Society (Gwangju)
Koami H, Sakamoto Y, Inoue S.	FIBTEM promptly determines massive transfusion of FFP in severe trauma patient.	39th Annual Conference on Shock
Koami H, Sakamoto Y, Inoue S.	Higher concentration of antithrombin administration improve clinical outcome in patients with septic disseminated intravascular coagulation.	Critical Care Canada Forum 2016
Koami H, Sakamoto Y, Yamada KC, Inoue S.	Thromboelastometric analysis on the risk factors of return of spontaneous circulation in adult patients with out-of-hospital cardiac arrest.	The 8th Congress of the International Federation of Shock Societies (IFSS2016) / The 31st Annual Meeting of Japan Shock Society
Koarada S, Ohta A, Tada Y.	The clinical significance of autoantibody-producing CD180-lacking plasmablasts in systemic autoimmune and immune-based inflammatory disorders	The 13th International Workshop on Autoantibodies and Autoimmunity (IWAA 2016)
Komiya K, Nakamura T, Kurihara Y, Hirakawa H, Sadamatsu H, Nakashima C, Umeguchi H, Takeda Y, Kimura S, Sueoka-Aragane N	A retrospective analysis of the efficacy and safety of ALK inhibitors in ALK-positive lung cancer patients	IASLC 17 th WORLD CONFERENCE ON LUNG CANCER
Kubotsu Y, Takahashi H, Kitajima Y, Oeda S, Anzai K, Eguchi Y	Progression of liver fibrosis in NAFLD relates to arteriosclerosis and chronic kidney disease	American Association for The study of Liver Diseases (AASLD) – The Liver Meeting 2016
Kumamoto E, Fujita T, Ohtsubo S, Hirao R, Wang C, Yu T, Suzuki R	Inhibition of action potential conduction in the frog sciatic nerve by various plant-derived chemicals involved in antinociception.	16th World Congress on Pain
Kumamoto E, Fujita T, Wang C, Jiang C-Y, Suzuki R, Magori N, Hirao R	Presynaptic TRPA1 activation by various plant-derived chemicals in the adult rat spinal substantia gelatinosa.	The 13th Japan-Korea Joint Symposium on Brain Science, and Cardiac and Smooth Muscles
Kuroki T, Takashima T, Sakata Y, Tsuruoka N, Ohta A, Fujimoto K, Iwakiri R.	Stress maladjustment of inflammatory bowel disease patients assessed by psychological and physical indexes.	Asia Pacific Digestive Week (APDW2016)
Kuwashiro T, Ozaki I, Iwane S, Matsuhashi S, Isoda H, Koga F, Otsuka T, Eguchi Y, Anzai K	Extracellular matrices impair the IFN- γ signaling via the α 1-integrin-mediated signaling.	APSL2016 in Tokyo
Maeda T, Hirabaru K, Ono N, Tajima D, Matsuo M	Dextromethorphan and cyclosporine A for acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion.	The 18th Annual Meeting of Infantile Seizure Society, International Symposium on Acute Encephalopathy in Infancy and Its Related Disorders 2016
Magori N, Mizuta K, Fujita T, Yamagata H, Suzuki R, Wang C, Hirao R, Kumamoto E	Nerve conduction inhibition by bisphenol A and local anesthetics in the frog sciatic nerve.	The 13th Japan-Korea Joint Symposium on Brain Science, and Cardiac and Smooth Muscles

Magori N, Mizuta K, Fujita T, Yamagata H, Wang C, Hirao R, Suzuki R, Kumamoto E	Bisphenol A inhibits nerve conduction in the frog sciatic nerve with an efficacy comparable to those of local anesthetics.	Society for Neuroscience the 46th Annual Meeting, Neuroscience 2016
Malinovsky A, Janson C, James A, Mogensen I, Forsberg B, Ono J, Ohta S, Alving K, Izuhara K, Dahlen SE	Simultaneously increased serum periostin and urinary EDN relates to reduced lung function in adults with asthma from the Swedish GA2LEN study	ERS International Congress 2016
Matsushashi S, Md. Manirujjaman, Jinghe Xia, Jing Guo, Kojima M, Tanaka K, Takahashi H, Nishioka K, Anzai K, Ozaki I	Control mechanisms of a tumor suppressor PDCD4: Degradation of the protein is controlled in both systems of proteasome and autophagy	第 39 回日本分子生物学会年会
Matsumoto A	Significance of defective polymorphism of aldehyde dehydrogenase 2 gene (ALDH2) in prenatal toxicology	5th Conference on Prenatal Programming and Toxicity (pptoxV)
Maya Ishiguma, Toshiharu Umeki, Ichirou Tanabe, Taemi Akiyoshi, Takanori Higashitani, Eisaburo Sueoka	Detection of left ventricular hypertrophy using electrocardiography in cases preidentified by echocardiography	The 32nd World Congress of Biomedical Laboratory Science (IFBLS 2016)
Megumi Oho, Chinatsu Komatsu, Yusuke Hashimoto, Koji Kusaba, Takanori Higashitani, Zenzo Nagasawa, Hiroshi Miyamoto, Eisaburo Sueoka	Comparison of phage open reading frame typing and rep-PCR method for genetic typing of multi-drug resistant Pseudomonas aeruginosa strains	The 32nd World Congress of Biomedical Laboratory Science (IFBLS 2016)
Mitamura Y, Nanri Y, Ogawa M, Ohta S, Furue M, Izuhara K	Analysis of transcriptional regulation for periostin	31st Symposium of the Collegium Internationale Allergologicum
Miyahara K, Shirai S, Yamamoto K, Tominaga N, Tsuruoka N, Sakata Y, Ogata S, Noda T, Iwakiri R, Fujimoto K.	Clinical characteristics of patients with acute esophageal mucosal lesion in Japan.	The International Society for Diseases of the Esophagus 2016 (ISDE 2016)
Miyake Y	Adjuvant activity of Mycobacterium tuberculosis-derived mycolic acid through activation of the TREM2/CARD9-mediated innate immunity	The 4th ITAM Workshop
Miyake Y	結核菌に対する宿主免疫応答を担う 2 つのレクチン受容体の協調的相互作用の解明	第 81 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
Mori K, Aijima R, Danjo A, Yamashita Y, Teramoto N	ZD0947, a novel and potent ATP-sensitive K ⁺ channel opener, for smooth muscle-type ATP-sensitive K ⁺ channels	第 58 回歯科基礎医学会学術大会
Mukae Y, Itoh M, Furukawa K, Kitsuka T, Arai K, Oyama J, Nakayama K, Node K, Morita S.	Addition of human iPS-derived neural progenitors influences the contractile function of cardiac spheroids.	The International Conference on Biofabrication 2016
Nagase K, Kimura H, Ogawa S, Hashimoto A, Koba S, Inoue T, Narisawa Y.	Merkel cell carcinoma associated with stable chronic hemodialysis: A report of two cases	The 4th Eastern Asia Dermatology Congress
Nagatomo D, Kotooka N, Nishikido T, Hikichi H, Oyama JI, Node K	The Ratio of the Bilateral-filling Pressure (RAP/PCWP) is an Important Prognostic Factor in Congestive Heart Failure	第 80 回日本循環器学会学術集会 /The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (JCS2016)
Nagatomo D, Oyama JI, Node K	Endothelia dysfunction in the obstructive sleep apnea syndrome and effectiveness of continuous positive airway pressure therapy	The 9th International Conference on the Biology, Chemistry, and Therapeutic Applications of Nitric Oxide / The 16th Annual Scientific Meeting of the Nitric Oxide Society of Japan
Nakano R, Ono R, Aijima R, Tashiro K, Hagiwara H, Hayashi N	Mechanism of growth enhancement of plants irradiated by active oxygen species in O ₂ plasma.	6th International Conference on Plasma Medicine (ICPM-6)
Nakashima C, Sato A, Sueoka E, Okada S, Kimura K, Aragane N	Investigation of mechanism of lymphogenous metastasis using human lung cancer metastatic animal model	The 13th Korea-Japan Joint Symposium on Cancer and Ageing Research 2016

Naoko Sueoka-Aragane, Naomi Watanabe, Akemi Sato, Tatsuro Watanabe, Eisaburo Sueoka, Shinya Kimura	Functional analysis of Discoidin domain receptor 2 mutation and expression in squamous cell lung cancer	The 75th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association
Naomi Kobayashi-Watanabe, Akemi Sato, Tatsuro Watanabe, Eisaburo Sueoka, Shinya Kimura, Naoko Sueoka-Aragane	Functional analysis of Discoidin Domain Receptor 2(DDR2) mutation and expression in squamous cell lung cancer	107th Annual Meeting of the American Association of Cancer Research (AACR Annual Meeting 2016)
Nishida Y, Nishijima K, Mi-ichi F, Yamada Y, Tanaka H, Fan J, Kitajima S, Tanaka K	Muscle metabolites potentially involved in enhanced insulin action in lipoprotein lipase transgenic rabbits.	第4回ウサギバイオサイエンス研究会/第3回日中合同ウサギバイオサイエンスフォーラム
Nishida Y, Nishijima K, Mi-ichi F, Yamada Y, Tanaka H, Fan J, Kitajima S, Tanaka K	Skeletal muscle metabolites potentially involved in favorable energy metabolism in anti-obesity lipoprotein lipase transgenic rabbits.	International Conference on Obesity and Chronic Diseases (ICOCD-2016)
Nishikido T, Nagatomo D, Kotooka N, Hikichi Y, Oyama JI, Node K	Decreasing of Body Mass Index is Associated with Repeated Hospitalizations of Patients with Heart Failure	第80回日本循環器学会学術集会 /The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (JCS2016)
Nishikido T, Oyama J, Shiraki A, Komoda H, Node K	「The effects of the vildagliptin for cardiac dysfunction after the acute myocardial infarction」 「Apoptosis inhibitor of macrophage activates inflammatory response after acute myocardial infarction」 「EGCG, a green tea catechin, attenuates the progression of heart failure induced by the heart/muscle-specific deletion of MnSOD in mice」	Hypertension Seoul, the 26th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension
Noda I, Miyamoto H, Ueno M, Eto S, Tsukamoto M, Kawano S, Sonohata M, Mawatari M	Sustainability Evaluation of antibacterial efficacy of Silver-containing Hydroxyapatite Coating	ORS 2016 Annual Meeting
Oeda S, Takahashi H, Kubotsu Y, Eguchi Y, Anzai K	Male and hepatitis B infection are independent factors affecting patient's compliance with surveillance of hepatocellular carcinoma	American Association for The study of Liver Diseases (AASLD) - The Liver Meeting 2016
Ogawa M, Suzuki S, Ohta S, Izuhara K,	Activation of peroxidases causes airway inflammation via production of hypothiocyanite	31st Symposium of the Collegium Internationale Allergologicum
Ogawa M, Suzuki S, Ohta S, Mitamura Y, Yoshihara T, Nakamura Y, Yamauchi K, Izuhara K,	Lactoperoxidase in airway epithelial cells controls airway allergic inflammation	第65回日本アレルギー学会学術大会 /The 65th Annual Meeting of Japanese Society of Allergology
Ohtsuka Y, Oka M, Jinnouchi K, Ohgushi H, Sato T, Matsuo M	An analysis of thrombotic microangiopathy associated with complement factor H antibody in Japanese.	XXVIth International complement workshop
Okamoto N, Miya F, Nishioka K, Soejima H, Tsunoda T, Kato M, Saitoh S, Yamasaki M, Kanemura Y, Kosaki K.	Novel MCA/ID syndrome with ASH1L mutation.	ICHG2016, The 13th International Congress of Human Genetics.
Okamoto N, Sakata Y, Matsuura S, Miyahara K, Tsuruoka N, Noda T, Yamamoto K, Kawakubo H, Yamanouchi K, Iwakiri R, Fujimoto K.	Prognosis of endoscopic hemostasis for the gastrointestinal bleeding ulcer was dependent on the characteristics of the patients, but not on correspondence of the medical staffs in Japan.	24th UEG Week 2016
Ono R, Mine K, Miyamaru Y, Ohtsubo T, Hayashi N, Aijima R, Yamashita Y, Goto M	Inactivation effect of DBD on oral cancer cells inside culture medium film.	6th International Conference on Plasma Medicine (ICPM-6)
Oyama JI, Nagatomo D, Yoshioka G, Yamasaki A, Komoda H, Node K.	Continuous positive airway pressure therapy improves endothelial function and neutrophil-lymphocyte ratio in patients with obstructive sleep apnea syndrome	ACC2016 第65回米国心臓病学会 /American College of Cardiology (ACC.16)

Reiko U. Yoshimoto, Reona Aijima, Yasuyoshi Ohsaki, Jing-Qi Zhang, Ailin Cao, Tamotsu Kiyoshima, Mizuho A. Kido	Temperature changes affect intercellular adhesion of oral epithelial cells.	The 15th International Symposium on Molecular and Neural Mechanisms of Taste and Olfactory Perception (ISMNTOP2016fall: in conjunction with YR Umami Forum 2016, AISCRIB 2016) 第15回国際シンポジウム”味覚嗅覚の分子神経機構”(うま味若手フォーラム2016、アジア国際シンポジウム”化学受容と摂食行動”2016 併催)
Reiko Yoshimoto, Reona Aijima, Yukiko Ohya, Junko Yoshizumi, Tomoko Kitsuki, Atsushi Danjo, Yoshio Yamashita, Tamotsu Kiyoshima, Mizuho A. Kido.	Disorganization of adherens junction of labial epithelia in xerostomia patients.	9th Korea-Japan Conference on Cellular Signaling for Young Scientist Seoul
Ryu K, Ebashi R, Wakamiya T, Yoshioka F, Ogata A, Nakahara Y, Takase Y, Shimokawa S, Masuoka J, Kawashima M, Abe T	Brain metastasis of primary peritoneal carcinoma. The 14th Young-Honam and Kyushu Neurosurgical Joint Meeting.	The 14th Young-Honam and Kyushu Neurosurgical Joint Meeting.
Sakata Y, Shirai S, Tominaga N, Tsuruoka N, Miyahara K, Morisaki T, Iwakiri R, Fujimoto K.	Esophageal lesions of Crohn's disease in Japan.	The International Society for Diseases of the Esophagus 2016 (ISDE 2016)
Sasaguri T, Yasaka T, Ishikawa A, Murata Y, Hara H, Yoshida H, Hirakawa	Constitutive control of pain sensitivity in physical and pathological condition by interleukin-27-in mice.	第16回世界疼痛学会, 16th World Congress on Pain
Shioya T	A simple laborator class on cardiac physiology.	第93回日本生理学会大会/The 93th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan
Shioya T	Calcium holes: a novel PMCA-mediated mechanism for calcium signaling .	The 13th Japan-Korea Joint Symposium on Brain Science, and Cardiac and Smooth Muscles
Shioya T	The optical kymographion: a novel optical device for non-contact recording of muscle contraction.	第93回日本生理学会大会/The 93th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan
Shirai S, Takeshita E, Kawakubo H, Tominaga N, Miyahara K, Morisaki T, Sakata Y, Iwakiri R, Kusano M, Fujimoto K.	Medical health checkups indicated high frequency of reflux and dyspeptic symptoms in females than males regardless of endoscopic esophagitis.	The International Society for Diseases of the Esophagus 2016 (ISDE 2016)
Sunadome H, Matsumoto H, Petrova G, Kanemitsu Y, Izuhara Y, Tohda Y, Horiguchi T, Kita H, Kuwabara K, Tomii K, Otsuka K, Fujimura M, Ohkura N, Tomita K, Yokoyama A, Ohnishi H, Nakano Y, Oguma T, Hozawa S, Nagasaki T, Ito I, Inoue H, Tajiri T, Iwata T, Ono J, Ohta S, Tamari M, Hirota T, Yokoyama T, Niimi A, Izuhara K, Mishima M	Polymorphisms of IL4RA and ADAM33, Risk Variants in Patients with Asthma Exacerbations with Type 2-Predominant Condition	ATS 2016 International Conference
Suzuki R, Mizuta K, Fujita T, Iwasaki T, Magori N, Hirao R, Wang C, Kumamoto E	Effects of nonsteroidal anti-inflammatory drugs on nerve conduction in the frog sciatic nerve.	The 13th Japan-Korea Joint Symposium on Brain Science, and Cardiac and Smooth Muscles
Tajiri T, Matsumoto H, Gon Y, Ito R, Hashimoto S, Izuhara K, Ono J, Ohta S, Ito I, Oguma T, Inoue H, Iwata T, Nagasaki T, Kanemitsu Y, Niimi A, Mishima M	Free serum IL-18 levels and responsiveness to omalizumab in patients with severe asthma	ERS International Congress 2016
Takahashi H, Kitajima Y, Kubotsu Y, Oeda S, Anzai K, Eguchi Y	Exercise training mediates lipid infiltration of skeletal muscle and contributes to improve pathogenesis of NAFLD	American Association for The study of Liver Diseases (AASLD) - The Liver Meeting 2016
Takai M, Ono J, Kamei A, Matsumoto H, Ohta S, Izuhara K	A novel, automated periostin assay: correlation with a commercial ELISA method and usability as an asthma biomarker	ERS International Congress 2016

Takashima T, Hirata S, Yoshizaki M, Matsumoto K, Ohtsuka T, Fukuda M, Miyazono M, Ikeda Y	A case of hemodialysis-related portal-systemic encephalopathy with a portal-iliac shunt: A literature review and proposal of the concise diagnostic criteria	15th Asian Pacific Conference of Nephrology (APCN) & 52nd ANZSN ASM 2016
Takeshita E, Sakata Y, Hara M, Tsuruoka N, Sakata N, Akutagawa K, Matsunaga K, Kusano M, Iwakiri R, Fujimoto K.	Reflux symptoms and acid-related dyspepsia are more common in females than males with or without endoscopic esophagitis: Analysis of 3,505 Japanese healthy subjects undergoing medical health checkups.	Asia Pacific Digestive Week: Innovative approaches to gastroenterology
Tanaka A, Node K	Are there vascular protective effects in newer anti-daiabetic agents?	The 24th Annual Meeting of the Japanese Vascular Biology and Medicine Organization / The 14th Korea-Japan Joint Symposium on Vascular Biology
Tanaka R, Kitajima M, Ueno M, Sakamoto M, Eto S, Kawano S, Sonohata M, Mawatari M	Gait recovery after periacetabular osteotomy in patients with symptomatic adult hip dysplasia	ORS 2016 Annual Meeting
Tominaga T, Sakata Y, Shirai S, Miyahara K, Morisaki T, Tsunada S, Tsuruoka N, Ogata S, Iwakiri R, Fujimoto K.	The endoscopic submucosal dissection with the pocket creation method for esophageal squamous cell carcinoma: a pilot trial in Saga, Japan.	The International Society for Diseases of the Esophagus 2016 (ISDE 2016)
Tsuruoka N, Matsuura S, Yamaguchi D, Sakata Y, Iwakiri R, Fujimoto K.	Antithrombotic therapy was not a risk factor for recurrence in patients with diverticular bleeding.	ACG 2016 Annual Scientific Meeting
Uematsu T, Iizasa E, Kobayashi, Yoshida H, Hara H	Regulation of innate immunity through ITAM-coupled receptors in influenza virus infection	The 45th Annual Meeting of the Japanese Society for Immunology
Uemura Y, Hirakawa N, Ishikawa A, Sasaguri T	Neurography of ultrasound guided continuous interscalene brachial plexus block.	Pain Society of Busan · Ulsan · Kyungnam
Verissimo A. R, Nakamura A, Matsubayashi K, Itoh M, Nakayama K.	Bio 3D printing scaffold-free blood vessels.	2016 Joint Annual Scientific Meeting of The Australian Atherosclerosis Society (AAS)/High Blood Pressure Research Council of Australia (HBPRCA) and Australian Vascular Biology Society (AVBC)
Wang C, Fujita T, Yu T, Hirao R, Magori N, Suzuki R, Kumamoto E	Inward current and spontaneous excitatory transmission enhancement produced by orexin B in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons.	Society for Neuroscience the 46th Annual Meeting, Neuroscience 2016
Watanabe-Kobayashi N, Sato A, Watanabe T, Sueoka E, Kimura S, Sueoka-Aragane N	Functional analysis of Discoidin domain receptor 2 mutation and expression in squamous cell lung cancer	AAGR Annual Meeting 2016
Wenzel S, Swanson B, Ariel Teper, Hamilton J, Izuhara K, Ohta S, Ono J, Zhu H, Zhang B, Staudinger H, Graham NMH, Pirozzi G	Dupilumab suppresses severe exacerbation in periostin-high and periostin-low asthma patients	ERS International Congress 2016
Yamada KC, Sakamoto Y, Fujii S	Impact of diabetes mellitus on hospitalization charges of patients with sepsis: a single-center retrospective study in Japan	41st ANZICS/ACCCN Intensive Care ASM and the 22nd Neonatal Intensive Care Conference
Yamada M, Yamada N, Nakao M, Higashitani T, Kubota Y, Kimura S, Sueoka E	Immunological responses after massive blood transfusions after cardiovascular surgeries.	The 32nd World Congress of Biomedical Laboratory Science (IFBL 2016)
Yamada, k C, Nakamura-Taira, Nanako, Izawa, Syuhei	Association between stress under estimation and information about mental health among Japanese works	ICP2016 / 日本心理学会第80回大会 (ポスター-2)
Yamaguchi D, Matsuura S, Tsuruoka N, Sakata Y, Kusano M, Iwakiri R, Fujimoto K.	Efficacy of endoscopic hemostasis with soft coagulation using hemostatic forceps for the upper gastrointestinal bleeding over a 12-year period.	ACG 2016 Annual Scientific Meeting
Yamamoto T, Teramoto N	Molecular analysis of ATP-sensitive K ⁺ channel subunits expressed in mouse portal vein	第89回 日本薬理学会年会

山崎真希子、中尾嘉修、山地康太郎、橋口真理子、増田正憲、高瀬ゆかり、甲斐敬太、多田芳史、相島慎一	血栓性微小血管症に肺出血を合併し急死した1剖検例	第13回日本病理学会カンファレンス
Yoshida H, Kimura D, Hara H, Yui K	Regulation of Immune Responses by IL-27-producing CD4+ T cells Induced during Malaria Infection	4th Annual Meeting of the International Cytokine and Interferon Society (ICIS)
Yoshioka F, Shimokawa S, Ebashi R, Ryu K, Ogata A, Takase Y, Nakahara Y, Masuoka J, Kawashima M, Abe T, Uemura T	Superior posterior distraction osteogenesis (SuPDO) for craniosynostosis induced the expansion of the infra-tentorial cranial volume.	The 14th Young-Honam and Kyushu Neurosurgical Joint Meeting.
Zempo H, Fuku N, Nishida Y, Higaki Y, Naito H, Hara M, Tanaka K	Relation between type 2 diabetes and m.1382 A>C polymorphism which occurs amino acid replacement (K14Q) of mitochondria-derived MOTS-c	Experimental Biology 2016
Zhu L, Fujita T, Jiang C-Y, Wang C, Yu T, Hirao R, Suzuki R, Magori N, Kumamoto E	Citral enhances spontaneous excitatory transmission in adult rat spinal substantia gelatinosa neurons by activating TRPA1 channels.	Society for Neuroscience the 46th Annual Meeting, Neuroscience 2016
青木茂久	細胞間相互作用と物理的微小環境を再現する in vitro 病態モデル	第46回日本創傷治癒学会
青木茂久	早期から併用療法を施行した長期PD患者の1例	第22回日本腹膜透析医学会学術集会・総会
青木茂久	腹膜透析下の微少環境と組織恒常性破綻：腹膜モデルを用いた基礎的検討	第42回関東腎研究会
青木茂久	腹膜透析患者の微少環境を再現する簡便な培養モデル	第29回日本動物実験代替法学会
青木茂久、竹澤俊明、山本美保子、杉原甫、戸田修二	腹腔内の液体貯留は腹膜線維症の誘因か	第105回日本病理学会総会
浅野貴光、金光禎寛、武村昌也、市川博也、福光研介、武田典久、土方寿聡、太田昭一郎、小野純也、出原賢治、中村善久、鈴木元彦、新実彰男	鼻副鼻腔炎合併喘息における血清ペリオスチンの測定意義	第65回日本アレルギー学会学術大会
合島怜央奈、山下佳雄、霧岡祥子、下平大治、檀上敦、後藤昌昭	プラズマ照射によるヒト口腔癌細胞株に対する抗腫瘍効果の検討	第70回NPO法人日本口腔科学会学術集会
飯笹英一、植松崇之、久保田未央、清原秀泰、中馬康志、松崎吾朗、山崎晶、吉田裕樹、原博満	結核菌のミコール酸含有脂質を認識する2つの受容体 IgSFR2 と Mincle による免疫制御	第81回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
池田貯、松藤祥平、堀田千恵子、奥山佳一郎、古賀浩木、姉川剛、三好篤、隅健次、田中聡也、北原賢二、佐藤清治	腹腔鏡下胃全摘術における食道空腸機能的端々吻合の工夫～自動縫合器を用いた安全で確実な共通孔閉鎖術	第88回日本胃癌学会総会
伊崎聡志、布村聡、藤澤大輔、畠田優子、葉山惟大、藤田英樹、羅智靖、照井正、岡山吉道	慢性蕁麻疹 (CSU) 患者における FcεRI α鎖 (α鎖) 自己抗体の臨床的意義	第65回日本アレルギー学会学術大会
石川亜佐子、八坂敏一、笹栗智子、平川奈緒美、村田祐造、三宅靖延、山崎晶、原博満、吉田裕樹	脊髄の疼痛誘導性サイトカインにはC型レクチン受容体が必要である。	第81回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
市場正良 徳永剛 石竹達也 高倉敏行 濱 英海 彌富 美奈子	佐賀県内事業場における化学物質リスクアセスメントの現状と課題	平成28年日本産業衛生学会九州地方会学会
伊藤亮治、片野いくみ、高橋武司、伊藤守、丸岡秀一郎、曾田香織、権寧博、橋本修、太田昭一郎、出原賢治、布村聡	ヒト免疫系マウスを用いたIL-33誘導型ヒト喘息モデルの開発	アレルギー・好酸球研究会2016
井上 聡	instructor	Advanced Surgical Skills for Exposure in Trauma American College of Surgeons
井上 聡	インストラクター	外傷外科手術コース ATOM
井上 聡	インストラクター、コースコーディネーター	外傷外科手術戦略コース SSTT
井上 聡	外傷救急医療最前線	福岡市救急病院協会
井上 聡	国際ファカルティ、インストラクター	Definitive Surgical Trauma Care

井上 聡	委員	日本外傷学会国際委員会
井上 聡	座長	第 8 回日本 Acute Care Sugery 学会 学術集会
井上 聡	佐賀大学病院における外傷外科診療の立ち上げ～チームビルディングの重要性～	第 26 回佐賀大学医学部麻醉蘇生学 教室同門会総会 特別講演(演者)
井上 聡、永嶋 太、岩村高志	当院における自己完結型外傷外科チームの発足による新たな重症外傷診療体制	第 8 回日本 Acute Care Surgery 学 会学術集会 (シンポジウム 1)
井上聡、永嶋太、小網博之、岩村高志、阪本雄一郎	当院における外傷外科チームの発足と治療成績	第 116 回日本外科学会定期学術集会 (ポスターセッション 187 救急 外傷)
井上聡、永嶋太、櫻井良太、太田美穂、小網博之、岩村高志、阪本雄一郎	当院における重症外傷患者診療の改革	第 44 回日本救急医学会総会・学術 集会 (ポスター27: 外傷診療体)
井上隆志、赤司賢一、渡辺雅子、池田勇一、芦塚修一、本木隆則、鈴木亮平、相良長俊、柳田紀之、佐藤さくら、海老澤元宏、小野純也、太田昭一郎、出原賢治	小児喘息バイオマーカーとしてのペリオスチンの有用性	第 65 回日本アレルギー学会学術大 会
今長谷尚史、松尾照美、阪本雄一郎、阪本典子、片岡典子、太田美穂、小網博之、三池徹、櫻井良太、八幡真由子、梅香満、岩村高志、永嶋太、井上聡、山田クリス孝介	当院救急 IC 開設におけるチーム医療推進についての紹介	第 26 回日本集中治療医学会九州地 方会 (一般演題「患者管理・その他」 B-46)
岩崎寛智、與田幸恵、松藤祥平、伊藤孝太郎、江川紀幸、江戸都、田中智和、三宅修輔、中村淳、井手貴雄、古賀靖大、池田貯、野村明成、上田純二、能城浩和	腹腔鏡手術後食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下修復術	第 26 回九州内視鏡下外科手術研究 会
岩村高志、櫻井良太、太田美穂、小網博之、永嶋太、井上聡、阪本雄一郎	enteroatmosperie fistula の管理に難渋した多発外傷 1 例	第 30 回日本外傷学会総会・学術集 会 (一般演題 28 0-28-4)
梅木 駿、小野行秀、小野伸之、中尾嘉修、徳田悠希子、田代知子、丸山暁人、小荒田秀一、多田芳史、大田明英	再発性脳梗塞を契機に発症した顕微鏡的多発血管炎の 1 例	第 5 1 回九州リウマチ学会
上田純二、藤井昌志、江川紀幸、河野博、井手貴雄、能城浩和	要望演題 (ポスター) 01 臍頭十二指腸切除術における術前抗凝固療法の影響	第 28 回日本肝胆膵外科学会・学術 集会
上野雅也、田中里紀、江頭秀一、河野俊介、北島将、園畑素樹、堀川悦夫、馬渡正明	両側変形性子関節症患者の人工股関節置換術前後の歩行変化	第 89 回日本整形外科学会学術総会
上野雅也、田中里紀、古畑友基、河野俊介、北島将、園畑素樹、堀川悦夫、馬渡正明	両側変形性股関節症患者の人工股関節置換術前後での歩行時下肢動態	第 43 回日本股関節学会学術集会
梅香満、櫻井良太、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、三池徹、小網博之、永嶋太、岩村高志、井上聡、阪本雄一郎	受傷前における胸水の存在が早期診断を困難にした外傷性血胸の 1 例	第 44 回日本救急医学会総会・学術 集会 (ポスター69: 胸部外傷 2)
浦上 宗治	チーム医療で実践する, Antibiotic Stewardship (抗菌薬適正使用支援)	第 21 回いわき感染対策フォーラム
浦上 宗治	感染制御部薬剤師は感染症診療のどこまでコミットできるか	第 86 回日本感染症学会西日本地方 会学術集会/第 59 回日本感染症学会 中日本地方会学術集会/第 64 回日本 化学療法学会西日本支部総会
浦上 宗治	大学病院では AMS にどう取り組むべきかー感染制御部専従薬剤師としての活動ー	第 90 回日本感染症学会総会・学術 講演会
江川紀幸	TAPP 術後の再発鼠径ヘルニアに対する TAPP のポイント	第 10 回九州ヘルニア研究会学術集 会
江川紀幸、河野博、平木将紹、與田幸恵、上田純二、能城浩和	高齢者胃癌症例に対する腹腔下幽門側胃切除における Billroth II 法再建についての検討	第 41 回九州代謝・栄養研究会
枝川垂希子、木村明生、足立伸一、宮本比呂志	アメーバ共培養-LAMP 法を用いた水景施設レジオネラ属菌生息調査	日本防菌防黴学会第 43 回年次大会

太田昭一郎	ペリオスチンのアレルギー疾患における役割	第 81 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
太田昭一郎	ペリオスチンリオスチン-アレルギー疾患における新しいバイオマーカー	第 34 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会
緒方健二、木村早希子、古野龍也、祖川倫太郎、田崎正信、與田幸恵、柏田知美、荒金尚子、上田純二、木村晋也、成澤寛	パロノセトロン便秘への影響	第 26 回日本医療薬学会年会
奥山佳一郎、北島吉彦、志田雅明、中村淳、脇山幸大、	P-3007 低酸素環境下でマイトファジーは胃癌細胞の細胞増殖と浸潤能に寄与する	第 75 回日本癌学会学術総会
小野 伸之	RA に対する Bio 治療について ~当院における治療経験を含めて~	第 5 回佐賀リウマチ治療セミナー
小野大帝、大坪哲哉、林 信哉、合島怜央奈、山下佳雄、後藤昌昭	誘導体バリア放電によって生成された活性種による口腔がん細胞の不活化効果	第 63 回応用物理学会春季学術講演会
小野伸之、押領司健介、上田尚靖、大田俊一郎、木本泰孝、宮村知也、井上靖、澤部琢哉、多田芳史	ANCA 関連血管炎に対するリツキシマブ治療の有効性及び安全性の検討	第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会
小野伸之、中尾嘉修、徳田悠希子、小野行秀、田代知子、丸山暁人、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	呼吸器疾患合併リウマチ患者に対するアバセプトの有効性についての検討	第 51 回九州リウマチ学会
小野伸之、井上靖、上田尚靖、押領司健介、大田俊一郎、木本泰孝、永野修司、澤部琢哉、三宅勝久、宮村知也、吉澤誠司、多田芳史	高齢者 ANCA 関連血管炎患者に対する治療及び転帰についての検討	第 52 回九州リウマチ学会
小野行秀、小野伸之、中尾嘉修、徳田悠希子、田代知子、丸山暁人、小荒田秀一、大田明英、多田芳史、貞永裕梨	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の合併が疑われた Mikulicz 病の一例	第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会
柿原奈保子	創傷治癒回復過程における精油の効果の検討	第 4 回看護理工学会学術集会
柿原奈保子	熱傷皮膚モデルに対する上皮再生過程に影響する因子の検討	第 19 回 日本アロマセラピー学会学術総会
金井亨輔、朴昌美、角田郁生、吉田裕樹、義江修	IL-35 は気道における好酸球浸潤を抑制する	第 81 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
上條清嗣、布村聡、羅智靖、金口康彦、鈴木祐介、小川秀興、奥村康、高井俊朗	アレルギー、LPS およびサイトカイン刺激による好塩基球の IL-4 産生は Fc 受容体 γ 鎖に依存する	第 65 回日本アレルギー学会学術大会
北島将、田中里紀、上野雅也、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明	片側強直股関節患者の単脚指示期の 3 次元歩行解析	第 131 回西日本整形・災害外科学会学術集会
木村孔一、今野哲、中丸勇爾、牧田比呂仁、田口奈津子、清水薫子、木村裕樹、鈴木雅、小野純也、太田昭一郎、出原賢治、西村正治	喘息患者における副鼻腔 CT 所見とバイオマーカーの検討-喫煙が及ぼす影響-	第 65 回日本アレルギー学会学術大会
木村大輔、都田真奈、Masoud Akbari、木村一美、原博満、吉田裕樹、由井克之	マラリア原虫治癒後における IL-27 依存的免疫記憶の消失	第 69 回日本寄生虫学会南日本支部大会 第 66 回日本衛生動物学会南日本支部大会合同大会 (2016)
木村大輔、都田真奈、Akbari Masoud、井出宏二、木村一美、原博満、吉田裕樹、由井克之	マラリア原虫感染後における IL-27 依存的な免疫記憶の抑制	第 81 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
桐野洋平、川口鎮司、多田芳史、塚本浩、岩本雅弘、大田俊行、長澤浩平、武井修治、堀内孝彦、市田久恵、高橋裕樹、蓑田清次、上田敦久、大田明英、石ヶ坪良明	成人スティル病における血清フェリチンとヘムオキシゲナーゼ 1 の診断への有効性：多施設共同の第 2 報	第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会
國武 裕、今村 義臣、溝口 義人、鍋田 紘美、松島 淳、小島 直樹、山田 茂人、門司 晃	女性の経度認知機能障害とアルツハイマー型認知症では健常高齢者に比べて末梢オキシトシン濃度が低い	第 112 回日本精神神経学会学術総会
黒川允、小屋俊之、吉澤和孝、上野浩志、竹内寛之、青木亜美、木村夕夏、林正周、渡辺伸、坂上拓郎、長谷川隆志、鈴木栄一、奥村仁、石岡孝二郎、堀井新、太田昭一郎、出原賢治、権寧博、菊池利明	気管支喘息患者におけるオマリズマブ使用前後での上・下気道炎症の影響	第 56 回日本呼吸器学会学術講演会

久木由香里、上原範久、久木田明子、山座孝義、久木田敏夫	Galectin-9による破骨細胞分化抑制と転写因子 MafB の発現制御	第 58 回歯科基礎医学会学術大会
小網博之、阪本雄一郎	Over 3-year clinical experience of thromboelastometry in emergency department.	TEM 社製 ROTEM 製品情報交換会(演者)
小網博之、阪本雄一郎、伊佐勉	門脈ガス血症を伴う腸管壊死症例を予測する診断基準の作成ならびに有効性の検証	第 9 回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会(一般演題 8)
小網博之、阪本雄一郎、井上聡	Impact of haptoglobin on the association between inflammation and coagulation in a rat burn model.	第 38 回日本血栓止血学会学術集会(SPG シンポジウム)
小網博之、阪本雄一郎、今長谷尚史、八幡真由子、梅香満、三池徹、永嶋太、岩村高志、山田クリス孝介、井上聡	Thromboelastometry (ROTEM) を用いた院外心停止症例の来院後自己心拍再開を規定する因子の検討	第 43 回日本集中治療医学会学術集会(シンポジウム 15 心肺蘇生・体温管理)
小網博之、阪本雄一郎、櫻井良太、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、梅香満、三池徹、永嶋太、岩村高志、山田クリス孝介、井上聡	腹腔内感染源別における凝固障害の機能解析	第 52 回日本腹部救急医学会総会(一般演題 5-02)
小網博之、阪本雄一郎、櫻井良太、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、梅香満、三池徹、永嶋太、岩村高志、井上聡	線溶亢進は院外心停止症例の蘇生と関連する可能性がある	第 44 回日本救急医学会総会・学術集会(口演 13: 心肺蘇生)
小網博之、阪本雄一郎、山田クリス孝介、宮庄拓、井上聡	塩酸誤嚥ラットモデルにおけるリコモジュリンの抗炎症効果について	第 23 回外科侵襲とサイトカイン研究会
小荒田秀一	エコー寛解時の Bio フリーの可能性について	佐賀 RA Expert Meeting
小荒田秀一	関節エコーを使った関節リウマチの実診療	明日の関節リウマチ治療を考える会
小荒田秀一、塚真梨子、貞永裕梨、丸山暁人、小野伸之、多田芳史	IgG4 関連疾患および近縁疾患における形質芽細胞を標的とした新規治療の開発	第 44 回日本臨床免疫学会総会
小荒田秀一、坪井雅彦、小峯光徳、尾形善康、中尾嘉修、徳田悠希子、小野行秀、田代知子、丸山暁人、小野伸之、大田明英、多田芳史	関節リウマチにおける生物製剤投与後の残存単・小関節炎に対するセルトリズマブ・ペゴルの治療効果	第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会
古賀浩木、甲斐敬太、相島慎一、山地康太郎、井手貴雄、上田純二、能城浩和	一般演題(67) 肝臓 肝細胞癌-3 喫煙は非 B 非 C 肝細胞癌の独立した術後予後不良因子である: オカルト HBV 感染を含めた発癌リスクファクターの分析	第 116 回日本外科学会定期学術集会
古賀浩木、三好篤、北原賢二	発熱を契機に発見された肝未分化癌の一例	第 28 回日本肝胆膵外科学会・学術集会
小嶋 亮平、藤田 知哲、溝口 義人、川島 敏郎、門司 晃	双極 II 型障害が疑われたレビー小体病の一例	第 69 回九州精神神経学会 第 62 回九州精神医療学会
小部 亜紗美、祖川 倫太郎、山口美紗子、古賀 大介、西 眞範、松尾 宗明、成澤 寛	乳児血管腫に対する長期的なプロプラノロール使用の安全性	第 26 回日本医療薬学会年会
小屋松純司、大島まゆみ、梅木俊晴、秋吉妙美、秋吉重康、坂本佳子、小松愛子、野上英次郎、東谷孝徳、森田茂樹、野出孝一、末岡榮三朗	感染性心内膜炎による AR に僧帽弁瘤および弁穿孔を伴う MR を合併した 1 症例	平成 28 年度日臨技九州支部医学検査学会(第 51 回)
坂井 絢、久米 修二、中村 光男、檜崎 さやか、次富 久之、東谷 孝徳、末岡 榮三朗	病理検査室移転に伴う作業環境の改善	平成 28 年度日臨技九州支部医学検査学会(第 51 回)
坂口理菜、西順也、竹森幸子、木村早希子、田崎正信、成澤寛	入院を契機としたベンゾジアゼピン系薬剤長期処方の実態調査	第 26 回日本医療薬学会年会
櫻井良太、岩村高志、中山賢人、西純平、松田知也、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、三池徹、小網博之、永嶋太、井上聡、阪本雄一郎	高度肥満患者の呼吸不全に対し V-V ECMO を導入し、救命した一例	第 31 回日本救命医療学会・学術集会(一般演題 06-4)
笹栗智子、八坂敏一、石川亜佐子、村田祐造、原博満、平川奈緒美、吉田裕樹	痛み行動における IL-27 の役割	第 81 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
貞永裕梨、塚真梨子、丸山暁人、小野伸之、徳田悠希子、小野行秀、中尾嘉修、小荒田秀一、多田芳史	原発性シェーグレン症候群における胸部病変合併例の検討	第 52 回九州リウマチ学会

佐藤博文、中村淳、前田佐知子、江戸都、山本美保子、山口健、内橋和芳、甲斐敬太、能城浩和	高度の腋窩リンパ節転移を認めた Paget 病の経験	第 13 回日本乳癌学会九州地方会
佐藤博文、中村淳、前田佐知子、江戸都、山口建、内橋和芳、能城浩和	高度の腋窩リンパ節転移を認めた Paget 病の経験	第 24 回日本乳癌学会学術総会
佐藤博文、平木将紹、馬場耕一、能城浩和	P-2057 小分子化合物による Heat Shock protein 70 を介した変異型 p53 タンパク分解の可能性	第 75 回日本癌学会学術総会
佐藤博文、平木将紹、馬場耕一、能城浩和	ポスターセッション (109) 基礎 癌・その他 変異型 p53 タンパクを制御する薬剤の探索とメカニズムの解明	第 116 回日本外科学会定期学術集会
志田雅明、北島吉彦、中村淳、馬場耕一、脇山幸大	Young Investigator's Award & Travel Grant (7) 低酸素誘導性マイトファジーの破綻介したスキルス胃癌細胞の高悪性性度獲得機序についての新知見	第 116 回日本外科学会定期学術集会
島津倫太郎	胃酸逆流と気道・食道アレルギー	第 23 回佐賀県アレルギー講習会
下西智徳、江川紀幸、浅井雅子、川嶋裕資、田中雅之、桧垣賢作、廣橋喜美	デジタルポスター48 膵臓 1 当院における腹腔鏡下 (補助下) 膵体尾部切除術の検討	第 29 回日本内視鏡外科学会総会
下平大治、合島怜央奈、森啓輔、霧岡祥子、檀上敦、山下佳雄	佐賀大学医学部歯科外科における 25 年間のインプラント症例の臨床統計	第 20 回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会
陣内 唯、徳田悠希子、中尾嘉修、小野行秀、丸山暁人、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、須山ゆかり、尾形善康、多田芳史	Henoch-Schönlein 紫斑病による腸炎との鑑別を要したループス腸間膜血管炎の一例	第 51 回九州リウマチ学会
新納宏昭、塚本浩、有信洋二郎、赤星光輝、三苦弘喜、押領司健介、井上靖、澤部琢哉、永野修司、西坂浩明、吉澤誠司、多田芳史、吉澤滋、大塚 毅、上田章、中島衛、堀内孝彦、赤司浩一	トリズマブ治療による関節リウマチ患者の酸化ストレスマーカーの変化—52 週解析—	第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会
末永敦彦、丸山暁人、大場陽介、陣内唯、内藤優香、大石透、堺真梨子、徳田悠希子、貞永裕梨、小野伸之、小荒田秀一、多田芳史	高齢発症の成人 Still 病 (AOSD) の 2 例	第 52 回九州リウマチ学会
末次宏晃、上野雅也、園畑素樹、馬渡正明	滑車溝に一過性の成長障害をきたした骨折の 1 例	第 132 回西日本整形・災害外科学会学術集会
鈴木智恵子	看護学生によるアトピー性皮膚炎予防のためのスキンケア教育	第 63 回佐賀小児保健協会学術集会
多田芳史	Second Biologics としてのゴリムマブの検討	RA セミナー in 広島
多田芳史	関節リウマチにおける生物学的製剤投与後の残存関節炎に対するセルトリズマブベゴルの効果	関節エコーセミナー in Fukuoka
多田芳史	血管ペーチェット病と抗 TNF α 製剤療法について	第 10 回福岡膠原病研究会
多田芳史	膠原病・リウマチ性疾患の発見及び診断のポイント	福岡市博多区内科医会
多田 芳史	最新の関節リウマチにおける診断と治療について	諫早東部地区セミナー
多田 芳史	小児シェーグレン症候群は成人シェーグレン症候群とどう違うのか	第 20 回ワイル研集談会
多田 芳史	成人 Still 病の病態と治療について	第 17 回 TAK1 研究会
多田 芳史	トシリズマブの新たな作用機序 T 細胞分化誘導による炎症制御	佐賀県 IL-6 研究会
多田芳史、長澤浩平	SLE 患者におけるワルファリンとスタチンによるステロイド性大腿骨頭壊死症の予防の試み	第 43 回日本股関節学会学術集会
多田芳史	小児および成人におけるシェーグレン症候群の臨床像	第 25 回日本シェーグレン症候群学会学術集会
多田芳史、末松梨絵、小野伸之、澤部琢哉、丸山暁人、田代知子、貞永裕梨、徳田悠希子、小野行秀、中尾嘉修、小荒田秀一、大田明英	活動期成人発症スティル病患者末梢血における Toll-like receptor の発現	第 60 回日本リウマチ学会総会・学術集会

立石 洋、平地 徹、藤田知哲、松島 淳、丸尾 謙二、稲葉 隆緒、西原 正志、大塚 貴輝、今村 義臣、鍋田 紘美、前川 敏彦、溝口 義人、浅見 豊子、川島 敏郎、門司 晃	r TMSによるうつ病性障害治療中のバイオマーカー群の変化について	第112回日本精神神経学会学術総会
田中里紀、北島将、上野雅也、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明	片側転子下骨切り併用人工股関節全置換術後の歩行状態の経時的変化	第46回日本人工関節学会
田中里紀、北島将、上野雅也、塚本正紹、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明	三次元歩行解析を用いた寛骨臼移動術前後の歩行状態の評価	第89回日本整形外科学会学術総会
田中里紀、北島将、上野雅也、古畑友基、河野俊介、園畑素樹、堀川悦夫、馬渡正明	片側転子下骨切り併用人工股関節全置換術後の歩行状態の経時的変化	第43回日本股関節学会学術集会
田中淳、小熊剛、原田一樹、友松克允、松坂雅子、加畑宏樹、福永興彦、別役智子、小野純也、太田昭一郎、出原賢治、浅野浩一郎	アレルギー性気管支肺アスペルギルス症症例における血清ペリオスチン濃度の検討	第65回日本アレルギー学会学術大会
田中淳、子熊剛、原田一樹、友松克允、松坂雅子、加畑宏樹、福永興彦、別役智子、小野純也、蛇澤晶、太田昭一郎、出原賢治、浅野浩一郎	アレルギー性気管支肺アスペルギルス症症例における血清ペリオスチン濃度の検討	アレルギー・好酸球研究会2016
檀上 敦、合島怜央奈、森 啓輔、霧岡祥子、下平大治、山下佳雄	超音波骨切削器具を用いて切削したラット頭蓋骨のX線学的評価	第61回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会
檀上 敦、山下佳雄、後藤昌昭	口蓋形成術後に抜管困難と判断し人工呼吸管理を要した2例	第40回日本口蓋裂学会総会・学術集会
檀上敦、合島怜央奈、森啓輔、霧岡祥子、下平大治、山下佳雄	超音波骨切削器具を用いて切削したラット頭蓋骨のエックス線学的評価	第61回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会
霧岡祥子、合島怜央奈、森 啓輔、下平大治、檀上 敦、山下佳雄	口腔粘膜病変に対する臨床的診断の妥当性についての検討	第61回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会
霧岡祥子、森 啓輔、合島怜央奈、下平大治、檀上 敦、山下佳雄	当科における口腔顔面痛患者に対する治療法の検討	第84回公益社団法人日本口腔外科学会九州支部学術集会
霧岡祥子、森啓輔、合島怜央奈、下平大治、檀上敦、山下佳雄	口腔粘膜病変に対する臨床的診断の妥当性についての検討	第61回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会
徳田悠希子、小野伸之、中尾嘉修、小野行秀、貞永裕梨、田代知子、丸山暁人、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	初診時に関節症状を呈したANCA関連血管炎の検討	第51回九州リウマチ学会
徳田悠希子、小野伸之、中尾嘉修、小野行秀、貞永裕梨、田代知子、丸山暁人、末松梨絵、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	初診時に関節症状を呈したANCA関連血管炎に関する検討	第60回日本リウマチ学会総会・学術集会
中尾嘉修、丸山暁人、小野伸之、小荒田秀一、田代知子、徳田悠希子、小野行秀、大田明英、多田芳史	四肢末梢に急性の黒色壊死を呈した膠原病症例	第12回佐賀循環障害研究会
中尾嘉修、徳田悠希子、小野行秀、田代知子、丸山暁人、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	血栓性微小血管障害と肺出血を併発し急速な経過をとった多発性筋炎・筋膜炎の1例	第60回日本リウマチ学会総会・学術集会
夏目貴子、大田明英、服部めぐみ、岡本栄美子、小荒田秀一、小野伸之、末松梨絵、田代知子、貞永裕梨、小野行秀、徳田悠希子、丸山暁人、中尾嘉修、多田芳史	膠原病患者のQOLの向上を目指した社会支援について(第2報)	第51回九州リウマチ学会
中尾真実、山田麻里江、山田尚友、東谷孝徳、久保田寧、太田昭一郎、末岡榮三朗	当院で経験した抗Cobを保有する症例	第61回日本臨床検査医学会九州地方会(第27回日本臨床化学会九州支部総会 合同学会)
中尾真実、山田尚友、山田麻里江、東谷孝徳、久保田寧、木村晋也、末岡榮三朗	血液製剤搬送用保冷バックにおける赤血球製剤の温度変化についての検討	日本輸血・細胞治療学会九州支部会第63回総会・第84回例会
中尾真実、山田麻里江、山田尚友、東谷孝徳、久保田寧、太田昭一郎、末岡榮三朗	当院で経験した抗Co ^b を保有する症例	第61回日本臨床検査医学会九州地方会(第27回日本臨床化学会九州支部総会 合同学会)

永嶋太、井上聡、岩村高志、阪本雄一郎、小網博之	DSI 後腹壁閉鎖困難症例に対する OAM: チュラロンコン大学での方法を学んで	第 30 回日本外傷学会総会・学術集会 (一般演題 28 0-28-1)
永嶋太、小網博之、岩村高志、阪本雄一郎、井上聡	重症外傷診療における off the job training course 受講とシミュレーション教育の重要性	第 9 回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 (一般演題 7)
永嶋太、小網博之、岩村高志、阪本雄一郎、井上聡	当院におけるフレイル Chest に対する治療戦略	第 8 回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会 (一般演題 6)
永嶋太、阪本雄一郎、井上聡、小網博之	当施設における外傷に特化した Acute care surgeon 育成プログラム	第 52 回日本腹部救急医学会総会 (パネルディスカッション 1-06)
長友大輔、琴岡憲彦、尾山純一、野出孝一	CRT 早期の左室収縮末期径の縮小率は、1 年後の左室収縮率改善率と関連する	第 64 回日本心臓病学会学術集会
中村淳、前田佐知子、江戸都、佐藤博文、上田純二、能城浩和	ポスター討議 20 局所制御と整容性を両立するための内視鏡補助下乳房部分切除術における工夫	第 24 回日本乳癌学会学術総会
中村浩章、赤司賢一、渡辺雅子、太田昭一郎、小野純也、東義則、関根孝司、出原賢治、勝沼俊雄	乳幼児 RS ウイルス下気道感染時における periostin, SCCA の動態	第 65 回日本アレルギー学会学術大会
中山紫季、小網博之、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、三池徹、永嶋太、岩村高志、井上聡、阪本雄一郎、小野南月	血栓予防としてのヘパリンの濃度調整に Thrombelastograph (TEG) 6s を使用した 2 症例	第 44 回日本救急医学会総会・学術集会 (ポスター104: 集中治療 2)
鍋田 紘美、今村 義臣、溝口 義人、原口 祥典、松島 淳、小島 直樹、山田 茂人、門司 晃	高齢者のうつ症状と生理学的指標との関連についての検討	第 31 回日本老年精神医学会
奈良崎小百合、塚真梨子、小野伸之、貞永裕梨、丸山暁人、小荒田秀一、多田芳史	重篤な心・腎・神経病変を伴った好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例	第 52 回九州リウマチ学会
西岡憲一	ポリコームサイレンシングを制御する新規メカニズムの発見	さががけ第 1 回終了領域会議
西田裕一郎	運動効果と炎症、核内受容体遺伝子の遺伝子型、肝臓の脂肪蓄積、そして運動誘発性未知 RNA	第 68 回健康とスポーツを科学する談話会
布村聡、羅智靖、照井正、岡山吉道	FcεRI を介したマスト細胞活性化における FcεRy 鎖 S-S 結合の役割	アレルギー・好酸球研究会 2016
野上 耕二郎、國武 裕、溝口 義人、川島 敏郎、門司 晃	出産に伴う甲状腺機能亢進症により増悪した非定型うつ病の症例	第 69 回九州精神神経学会 第 62 回九州精神医療学会
野田岩男、宮本比呂志、上野雅也、江頭秀一、塚本正紹、河野俊介、園畑素樹、馬渡正明	銀含有 HA コーティングによる血行性感染の予防効果に対する予備的検討	第 31 回日本整形外科学会基礎学術集会
畠山純子、木附智子、合島怜央奈、村田直久、畠山雄次、城戸瑞穂、阿南壽	口腔粘膜上皮における機械刺激センサー Piezo の発現解析	第 23 回日本歯科医学会総会
馬場耕一、北島吉彦、三宅修輔、平木将紹、柳原五吉、能城浩和	J-3048 スキルス胃癌細胞における低酸素誘導性アンギオポチエン様タンパク 4 の役割	第 75 回日本癌学会学術総会
馬場耕一、北島吉彦、三宅修輔、柳原五吉、平木将紹、池田貯、能城浩和	一般演題 (45) 胃-基礎-3 ANGPTL4 はスキルス胃癌における腹膜播種転移にかかわる遺伝子の可能性がある	第 116 回日本外科学会定期学術集会
濱田洋平、山口浩樹、浦上宗治、曲淵裕樹、於保恵、永田正喜、草場耕二、福岡麻美、永沢善三、青木洋介	感染症と教育卒後初期研修における感染症教育が病院全体の感染症診療の質に与える良い影響	第 90 回日本感染症学会総会・学術講演会
福田 亜紗子、橋口 真理子、甲斐敬太、西山 哲、大隈 恵美、野口光代、内山 倫子、中尾 佳史、相島慎一、横山 正俊	捺印細胞診を行った Atypical polypoid adenomyoma (APAM) の 1 例	第 32 回日本臨床細胞学会九州連合会学会
藤田 知哲、野上 耕二郎、村川徹、松島 淳、稲葉 隆緒、立石 洋、石井 博修、堤 あき子、國武 裕、溝口 義人、川島 敏郎、門司 晃	佐賀大学医学部附属病院において自殺企図後入院となった患者の統計及び考察	第 69 回九州精神神経学会 第 62 回九州精神医療学会
藤田 知哲、諸隈 暢、平地 徹、稲葉 隆緒、松島 淳、丸尾 讓二、立石 洋、堤 あき子、國武 裕、溝口 義人、川島 敏郎、門司 晃	クエテアピン使用により食後高インスリン血症を起し低血糖を来たした双極性障害の一例	第 21 回向精神薬フォーラム in SAGA

藤田亮、阪本雄一郎、後藤明子、今長谷尚史、八幡真由子、小網博之、三池徹、永嶋太、岩村高志、井上聡	Septic shock を契機に発見された急性骨髄性白血病の一例	第 43 回日本集中治療医学会学術集会（一般演題 ポスターF P）
古畑勝則、井上浩章、枝川亜希子、曾川一幸、懸 邦雄、宮本比呂志	都内の温泉水から分離されたレジオネラ属菌の新種 <i>Legionella thermalis</i>	日本防菌防黴学会第 43 回年次大会
古畑友基、田中里紀、上野雅也、河野俊介、北島将、園畑素樹、堀川悦夫、馬渡正明	片側 THA 後の脚長差と歩行との相関の検討（三次元歩行解析を用いて）	第 43 回日本股関節学会学術集会
前田佐知子、中村淳、江戸都、森川綾、菊池守、佐藤博文、能城浩和	豊胸術後乳癌に対する根治性と整容性の両立を追求した治療戦略	第 24 回日本乳癌学会学術総会
松田知也、梅香満、今長谷尚史、八幡真由子、三池徹、小網博之、永嶋太、岩村高志、井上聡、阪本雄一郎	パイ貝の摂取によりテトロドキシン中毒を発症し、経時的なテトロドキシンの血中濃度の測定を行うことができた一例	第 38 回 日本中毒学会総会・学術集会（一般演題 4）
松藤祥平、堀田 千恵子、久保 洋、古賀 浩木、姉川 剛、池田 貯、三好 篤、隅 健次、田中 聡也、北原 賢二、佐藤 清治	示唆に富んだ穿孔性腹膜炎の一例	第 6 回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会
松本明子、島ノ江千里、原俊哉、吉森智香子、武藤岳夫、遠藤光一、原めぐみ、市場正良、杠岳文	欠損型 ALDH2 遺伝子の新規表現型：飲酒誘導性の皮膚色素沈着	第 27 回日本色素細胞学会学術大会
松本文雄、井上聡、吉田研一	挿管チューブのカフ過注入によって気管損傷をきたした症例	第 44 回日本救急医学会総会・学術集会（学生・研修医セッション ポスター4:外傷）
丸山暁人、小野伸之、中尾嘉修、小野行秀、徳田悠希子、貞永裕梨、田代知子、小荒田秀一、河野徳明、大田明英、多田芳史	膠原病・リウマチ内科で経験した血管内リンパ腫（IVL）の 3 例	第 5 1 回九州リウマチ学会
丸山暁人、中尾嘉修、小野行秀、徳田悠希子、貞永裕梨、田代知子、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	抗セントロメア抗体陽性関節炎患者の臨床的特徴	第 6 0 回日本リウマチ学会総会・学術集会
三嶋耕司、新納宏昭、大田俊一郎、井上靖、吉澤誠司、吉澤滋、永野修司、西坂浩明、澤部琢哉、押領司健介、多田芳史、小山芳伸、三苦弘喜、赤星光輝、有信洋二郎、大塚毅、上田章、大田俊行、中島衡、塚本浩、堀内孝彦、赤司浩一	関節リウマチの免疫学的異常に対するアバタセプトの経時的効果	第 6 0 回日本リウマチ学会総会・学術集会
溝口 義人、鍋田 紘美、今村 義臣、原口 祥典、門司 晃	ドネペジルのミクログリアに対する作用について	第 38 回日本生物学的精神医学会・第 59 回日本神経化学学会大会 合同年会
溝口 義人、鍋田 紘美、今村 義臣、原口 祥典、門司 晃	ドネペジルのミクログリアへの作用から認知症治療を考える	第 3 回サイゴグリア研究会～グリアと炎症から精神疾患を考える～
溝口義人	精神科の立場からみた認知症の診療について	県民公開講座 みんなで知ろう認知症
三田村康貴、吉原智仁、南里康弘、小川雅弘、布村聡、太田昭一郎、古江増隆、出原賢治	IL-13 によるペリオスチン転写調節機能の解析	第 65 回日本アレルギー学会学術大会
皆川和輝、時田郷、押野沙紀、村瀬裕子、山田クリス孝介、吉武良治	バーチャルミュージアムプロジェクトのプロセスと手法	日本人間工学会第 57 回大会（シンポジウム 2S5-2）
三好篤、古賀浩木、北原賢二、堀田千恵子、松藤祥平、奥山佳一郎、姉川剛、池田貯、隅健次、田中聡也、能城浩和	ポスターセッション(177) 肝臓 鏡視下手術 合併症ゼロを目指した腹腔鏡下肝切除術	第 116 回日本外科学会定期学術集会
三好篤、古賀浩木、松藤祥平、堀田千恵子、久保洋、池田貯、田中聡也、北原賢二	一般ポスター演題 43 膝広範囲切除後の脂肪肝症例の検討	第 28 回日本肝胆膵外科学会・学術集会
門司 晃、溝口義人	炎症仮説よりみた精神神経疾患と生活習慣病の関連	第 112 回日本精神神経学会学術総会
山元美季、中尾嘉修、徳田悠希子、小野行秀、田代知子、丸山暁人、小野伸之、小荒田秀一、大田明英、多田芳史	急性発症の結節性多発動脈炎によって四肢末梢に広範な黒色壊死を呈した 1 例	第 5 1 回九州リウマチ学会

八幡真由子、櫻井良太、太田美穂、今長谷尚史、三池徹、小網博之、永嶋太、岩村高志、井上聡、阪本雄一郎	熊本地震での佐賀 SCU を活用した佐賀県の広域搬送受け入れ体制の工夫と活動報告	第 44 回日本救急医学会総会・学術集会（特別セッション「平成 28 年熊本地震」ポスター6）
山口 美紗子、祖川 倫太郎、小部 亜紗美、高橋 浩一郎、成澤 寛	肝機能障害が出現したニンテタニブを再投与した 1 例	第 26 回日本医療薬学会年会
山地 康太郎、甲斐 敬太	乳腺腫瘍	第 349 回日本病理学会九州・沖縄支部スライドコンファレンス
山下 佳雄	インプラントの基礎知識・過誤事例の紹介	佐賀地方裁判所民事部主催勉強会
山下 佳雄	インプラント手術における合併症対策	Nobel Guide コンセプト ベーシックコース
山下 佳雄	がん患者の口腔ケア	第 4 回佐賀がんリハビリテーション研修会
山下 佳雄	口腔がんに対するチーム医療 -再建後の咀嚼機能回復-	第 40 回日本頭頸部癌学会
山下 佳雄	口腔癌の診断と治療 -上顎歯肉癌を中心に-	第 45 回教育研修会(2016 年口腔四学会合同研修会)
山下 佳雄	口腔癌の診断と治療 -上顎歯肉癌を中心に-	第 46 回教育研修会(2016 年口腔四学会合同研修会)
山下 佳雄	骨吸収抑制薬関連連骨壊死の病態と管理 ポジショナルペーパー2016 を中心に	佐賀市歯科医師会学術講演会
山田尚友、山田麻里江、中尾真実、久保田寧、末岡榮三朗	輸血と HLA 検査について	第 17 回日本検査血液学会学術集会
山田クリス孝介	看護における医美工連携プロジェクト	第 39 回佐賀救急医学会（ワークショップ⑧）
山田クリス孝介	座長	日本人間工学会第 57 回大会（一般演題 2D3 高齢者・福祉）
山田クリス孝介、藤井 進	佐賀 MIRCA サービス	第 39 回佐賀救急医学会（パネルディスカッション）
山田クリス孝介、吉武良治、松田文子、大内啓子、齋藤佑太、泉博之、八木佳子、松岡敏生、榎原毅	日本人間工学会バーチャルミュージアム構想と学生プロジェクトの概要	日本人間工学会第 57 回大会（シンポジウム 2S5-1）
湯川 潤輝、祖川 倫太郎、山口 美紗子、角 真太郎、谷川 義則、成澤 寛	持続的腎代替療法における遺伝子組換え型トロンボモジュリン製剤の投与量設定の検討	第 26 回日本医療薬学会年会
吉岡優里、細矢和久、中村淳、中山広美、竹内耕治、木村早希子、田崎正信、成澤寛	乳癌術後 FEC 療法におけるペグフィルグラスチムの費用対効果の検討	第 26 回日本医療薬学会年会
吉武憲子、檀上 敦、西村賢二、隅康二、後藤昌昭、山下佳雄	両側臼歯部咬合支持を喪失した骨格性下顎前突症に対して外科矯正とインプラント補綴で咬合改善を行った 1 例	第 26 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会
吉田裕樹	IL-27 受容体シグナルを欠損する活性化樹状細胞による腫瘍免疫増強	第 26 回日本サイトメトリー学会
吉田裕樹	感染における IL-27 の 2 つの役割: Th1 誘導と免疫制御	第 89 回日本細菌学会総会
善本隆之、古澤純一、千葉祐規乃、大橋美緒、長谷川英哲、徐明利、中江進、小林富美恵、吉田裕樹、溝口出	IL-27 による造血幹細胞の分化増殖の誘導と感染防御における役割	第 81 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
脇山幸大、北島吉彦、田中智和、柳原五吉、平木将紹、上田純二、能城浩和	一般演題 (16) 胃 基礎-2 YC-1+GI 療法は低酸素環境下の胃癌に対する理想的薬物療法となりうる	第 116 回日本外科学会定期学術集会
阿部幸一郎、布村聡、三木智代、羅智靖、堀家慎一、田嶋敦	自己炎症性症候群モデルマウスにおけるマスト細胞 活性化経路の包括的遺伝子発現解析	第 63 回日本実験動物学会総会
安部友範、中島千穂、渡邊直美、佐藤明美、木村晋也、荒金尚子	肺扁平上皮癌における Discoidin Domain Receptor 2 の機能解析	第 57 回日本肺癌学会学術集会
伊東陽一郎、鶴岡ななえ、坂田資尚、岩切龍一、藤本一真	緊急上部消化管内視鏡検査においても抗血栓薬の休薬期間は短縮されている: 抗血栓薬服用者における消化器内視鏡診療のガイドライン前後の比較検討	第 108 回日本消化器病学会九州支部例会/第 102 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会

伊藤 学, 迎 洋輔, 古川浩二郎, 松林久美香, 高岡勇輝, 上 大介, 五條理志, 中山功一, 野出孝一, 森田茂樹	血管外科領域におけるバイオ3Dプリンタで造形した血管組織の有用性	第15回日本再生医療学会総会
伊藤亮治, 布村聡, 片野いくみ, 川井健司, 高橋武司, 後藤元人, 小倉智幸, 高橋利一, 伊藤守	NOG hIL-3/GM-CSF/IL-5 Tg マウスを用いたヒト喘息モデルの開発	第63回日本実験動物学会総会
井上卓也, 木村裕美, 永瀬浩太郎, 成澤寛	下腹部皮下の Extrapleural solitary fibrous tumor と右前腕の Schwannoma を同時に合併した1例	第43回皮膚かたち研究学会学術大会
一ノ瀬文男, 松尾宗明, 小杉雅史, 樋口理, 奥野達矢, 大野欽司	先天性ミオパチーとして長期フォローされていた先天性筋無力症候群の兄弟例.	第58回日本小児神経学会学術集会
一ノ瀬文男, 川口淳, 松尾宗明	P2X7 受容体遺伝子多型と熱性けいれんおよび IL-1 β 産生能との関連について.	第50回 日本てんかん学会学術集会 (静岡)
一ノ瀬文男, 平原恵子, 前田寿幸, 松尾宗明	先天性ミオパチーとして長期間フォローされていた先天性筋無力症候群.	第81回日本小児神経学会九州地方会
一番ヶ瀬優佳, 柿木寛明, 有働和馬, 東武昇平, 野口満	異時性両側性精巣腫瘍の1例.	第54回日本癌治療学会学術集会
一番ヶ瀬優佳, 柿木寛明, 藏田彩, 有働和馬, 東武昇平, 野口満	緊急尿路ドレナージに至らなかった結石性腎盂腎炎の臨床的検討.	第68回西日本泌尿器科学会総会
一番ヶ瀬優佳, 有働和馬, 東武昇平, 野口満, 魚住二郎	当院で手術を施行した後腹膜脂肪肉腫についての検討.	第104回日本泌尿器科学会総会
一番ヶ瀬優佳, 藏田彩, 柿木寛明, 有働和馬, 東武昇平, 野口満	鏡視下腎部分切除後の患側腎機能低下に関与する因子の検討.	第30回日本泌尿器内視鏡学会総会
浦上 宗治	HIV/AIDSにおける服薬支援	平成28年度 HIV 検査相談支援研修会
浦上 宗治	HIV 治療中に労作時の息切れと下腿浮腫を認めた51歳・男性	第13回九州抗 HIV 薬勉強会
浦上 宗治	薬剤学的特徴からみたダプトマイシンの適応と実際	佐賀院内感染症研究会.
浦上 宗治	薬剤師による感染症コンサルテーションの進め方	明治薬科大学 病院薬学コース特別講演会
浦上 宗治, 青木 洋介 (司会)	わが国の MRSA 感染症の治療ガイドライン (抗 MRSA 薬の使い分け) を再考する	第64回日本化学療法学会総会
浦上 宗治, 濱田 洋平, 曲渕 裕樹, 青木 洋介	ミノサイクリンによる広範囲な色素沈着を呈した2例	第64回日本化学療法学会総会
浦上宗治, 濱田洋平, 於保恵, 草場耕二, 青木洋介	MALDI-TOF MS を用いたコアグラウゼ陰性ブドウ球菌の血液培養検出症例に対する薬剤師の介入効果	第86回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第59回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第64回日本化学療法学会西日本支部総会
永瀬圭, 一番ヶ瀬優佳, 藏田彩, 柿木寛明, 有働和馬, 東武昇平, 野口満	腎動脈瘤に対し自家腎移植を行った2例.	第74回佐賀県泌尿器科懇話会
永瀬圭, 高原光平, 一番ヶ瀬優佳, 藏田彩, 柿木寛明, 南里麻己, 有働和馬, 東武昇平, 野口満	佐賀大学医学部泌尿器科2015年の臨床統計.	日本泌尿器科学会第81回佐賀地方会
永瀬圭, 東武昇平, 一番ヶ瀬優佳, 藏田彩, 柿木寛明, 南里麻己, 有働和馬, 野口満	進行性腎癌に対する分子標的薬を用いた術前補助療法の試み.	第73回佐賀県泌尿器科懇話会
永瀬圭, 東武昇平, 高原光平, 藏田彩, 南里麻己, 有働和馬, 吉岡史隆, 下川尚子, 野口満	二分脊椎患者における膀胱変形と secondary VUR の検討.	第68回西日本泌尿器科学会総会
永瀬浩太郎, 木村裕美, 古場慎一, 井上卓也, 成澤寛	上眼瞼部の皮下腫瘍	第33回日本皮膚病理組織学会総会・学術大会
永嶋太, 井上聡, 阪本雄一郎, 岩村高志, 太田美穂, 櫻井良太, 松田知也	外科的固定術を施行したフレイルチェスト6例の検討	第44回日本救急医学会総会・学術集会 (口演39:胸部外傷)
永嶋太, 阪本雄一郎, 岩村高志, 小網博之, 三池徹, 梅香満, 八幡真由子, 今長谷尚史, 太田美穂, 櫻井良太	二次性血小板増多症患者に対する Point of care testing の可能性	第44回日本救急医学会総会・学術集会 (口演69:血液凝固異常線溶異常)
遠藤広貴 高良吉典 田中賢一 中野 良 柳田公彦, 千布 裕	当院でのポロプラザンを用いた Helicobacter Pylori 除菌治療の成績	第107回日本消化器病学会九州支部例会/第101回日本消化器内視鏡学会九州支部例会

塩谷 孝夫	RaspberryPi マイコンを用いた生理学実習支援システムの開発	第 67 回西日本生理学会
塩谷孝夫	遺伝子改変マウスのための 3 分インスタント gDNA 標本	2016 年筋生理の集い
王翀、藤田亜美、馬郡信弥、鈴木里佳、平尾峻、熊本栄一	オレキシンBによるオレキシン-2受容体の活性化を介した成熟ラット脊髄膠様質ニューロンのシナプス伝達の修飾.	第 53 回ペプチド討論会
王翀、藤田亜美、平尾峻、鈴木里佳、馬郡信弥、熊本栄一	ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすオレキシンBの作用.	第 67 回西日本生理学会
王翀、藤田亜美、余婷、平尾峻、鈴木里佳、熊本栄一	オレキシンBにより誘起される成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達の促進と内向き膜電流.	第 39 回日本神経科学大会
王翀、藤田亜美、余婷、平尾峻、鈴木里佳、熊本栄一	成熟ラット脊髄膠様質ニューロンにおけるグルタミン酸作動性の自発性興奮性シナプス伝達に及ぼすオレキシンBの作用.	第 93 回日本生理学会大会
岡 祐介、劉 軒、江橋 諒、若宮 富浩、吉岡 史隆、緒方 敦之、高瀬 幸徳、中原 由紀子、増岡 淳、下川 尚子、河島 雅到、阿部 竜也	後大脳動脈P2部紡錘状動脈瘤に対しOA-PCAバイパス術を施行し、血管内治療を行った1例.	第 123 回一般社団法人日本脳神経外科学会九州支部会.
岡 祐介、河島 雅到、若宮 富浩、江橋 諒、劉 軒、吉岡 史隆、緒方 敦之、高瀬 幸徳、中原 由紀子、下川 尚子、増岡 淳、阿部 竜也	Suction-decompression法で治療したNF1合併巨大内頸動脈瘤の1例.	第 47 回佐賀脳神経外科懇話会
岡 祐介、河島 雅到、若宮 富浩、江橋 諒、劉 軒、吉岡 史隆、緒方 敦之、高瀬 幸徳、中原 由紀子、下川 尚子、増岡 淳、阿部 竜也	Suction-decompression法を用いて治療したNF1合併内頸動脈瘤の1例.	第 122 回一般社団法人日本脳神経外科学会九州支部会
岡村誠司、山内康平、松浦聡子、川久保洋晴、鶴岡ななえ、坂田資尚、下田 良、岩切龍一、藤本一真	動脈塞栓術および超音波内視鏡下経胃のドレナージ術が奏功した仮性動脈瘤の隣仮性膿疱内破裂の1例	第 107 回日本消化器病学会九州支部例会/第 101 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
岡祐介、濱田洋平、浦上宗治、於保恵、草場耕二、青木洋介	髄膜刺激症状と錐体路障害を伴った肺炎の1例	第 86 回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第 59 回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第 64 回日本化学療法学会西日本支部総会
下川 尚子、阿部 竜也、河島 雅到、増岡 淳、中原 由紀子、高瀬 幸徳、緒方 敦之、吉岡 史隆、若宮 富浩、劉 軒、江橋 諒、上村 哲司	二分脊椎患者の足を守る～フットリスクスコアの有用性と足底圧検査の重要性について.	一般社団法人 日本脳神経外科学会 第 75 回学術総会
下川 尚子、阿部 竜也、河島 雅到、増岡 淳、中原 由紀子、高瀬 幸徳、緒方 敦之、吉岡 史隆、若宮 富浩、劉 軒、江橋 諒、上村 哲司、上口 茂徳	二分脊椎における足底圧検査.	第 34 回日本こども病院神経外科医会
下川 尚子、吉岡 史隆、中原 由紀子、増岡 淳、河島 雅到、阿部 竜也、松尾 宗明、前田 寿幸、田島 大輔、平原 恵子	痙性麻痺に対する ITB 療法の経験.	第 58 回日本小児神経学会学術集会
下平大治、合島怜央奈、森 啓輔、霧岡祥子、檀上 敦、山下佳雄	佐賀大学医学部歯科口腔外科における25年間のインプラント症例の臨床経過	第 20 回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会
下平大治、霧岡祥子、森 啓輔、合島怜央奈、檀上 敦、山下佳雄	歯ブラシによって口腔内裂傷を引き起こした小児の一例	第 84 回公益社団法人日本口腔外科学会九州支部学術集会
夏京合 尾崎岩太 Jing Guo Md.manirujjaman 田中賢一 小島基靖 桑代卓也 江口有一郎 安西慶三 松橋幸子	肝癌細胞においてBCAAはPKCsを介してYAPを抑制する	第 39 回日本分子生物学会年会
河田望美 井上瑛 中尾仁美 松尾有菜 森仁恵 小島基靖 井上佳奈子 山内寛子 松田やよい 岩根紳治 江口有一郎 安西慶三	NASHから肝がんを発症したと考えられる7例についての検討	第 54 回日本糖尿病学会九州地方会

河田望美 中村紗耶嘉 松尾有菜 山崎孝太 小島基靖 寺坂喜子 松田やよい 山口美幸 岩根紳治 江口有一郎 安西慶三	非アルコール性脂肪肝診断システムの構築と現状	第 59 回日本糖尿病学会年次学術集会
河島 雅到, 吉岡 史隆, 中原 由紀子, 江橋 諒, 劉 軒, 若宮 富浩, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 下川 尚子, 増岡 淳, 阿部 竜也, 松島 俊夫	後頭蓋窩延髄外側病変に対する手術アプローチと微小外科解剖.	第 21 回日本脳腫瘍の外科学会
河野俊介, 馬渡正明, 宮本比呂志, 佛淵孝夫, 野田岩男	抗菌性人工股関節の開発	第 54 回日本人工臓器学会大会
花島克幸、西山 哲、福田亜紗子、大隈恵美、橋口真理子、相原聡美、中尾佳史、横山正俊	原発不明のがん性腹膜炎として試験開腹し、結核性腹膜炎が判明した一例	第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会
花島克幸、西山 哲、福田亜紗子、大隈恵美、中尾佳史、横山正俊	子宮頸部絨毛腺管状粘液性腺癌の一例	第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会
花島克幸、福田亜紗子、西山 哲、大隈恵美、中尾佳史、横山正俊	HPVワクチン接種後 3 年で多彩な神経症状や腹痛を呈した 1 症例	佐賀産婦第 215 回学術研修会
垣内俊彦、遠藤広貴	佐賀県下全中学 3 年生 H. pylori 検診「未来へ向けた胃がん対策推進事業」の立ち上げ-佐賀モデルの確立-	第 43 回日本小児栄養消化器肝臓学会
垣内俊彦、遠藤広貴、吉原大介、江口有一郎、藤本一真、古川次男、後藤田卓志、浅香正博、松尾宗明	佐賀県下中学 3 年生ピロリ菌検診「未来へ向けた胃がん対策推進事業」の概要	第 74 回佐賀小児科地方会
垣内俊彦、江口有一郎、松尾宗明	佐賀県小児科勤務医における小児 B 型/C 型肝炎に対する意識・診療実態調査	第 52 回日本肝臓学会総会
垣内俊彦、荒木薫、松尾宗明、江口有一郎、岩根紳治、大枝敏、上通一泰、谷口一登	B 型肝炎ワクチン接種全額助成地区における B 型肝炎ワクチンに関する意識調査	第 119 回日本小児科学会学術集会
垣内俊彦、小林育子、久保和泰、戸川貴夫、杉浦時雄、松尾宗明	成人発症 II 型シトルリン血症にみる日本の肝移植医療の問題点	第 13 回九州先天代謝異常研究会
垣内俊彦、大枝敏、岩根紳治、江口有一郎	B 型肝炎ワクチン接種全額助成地区における B 型肝炎ワクチンに関する意識調査	第 102 回日本消化器病学会総会
柿木寛明、草野脩平、永瀬圭、高原光平、一番ヶ瀬優佳、藏田彩、有働和馬、東武昇平、野口満	PNL における穿刺腎杯と合併症についての検討	第 30 回日本泌尿器内視鏡学会総会
角 真太郎、山口 美紗子、湯川潤輝、祖川 倫太郎、田崎 正信、成澤 寛	アンチロビン活性値別における遺伝子組換えヒトアンチロビン製剤の有効性と安全性に関する検討	第 26 回日本医療薬学会年会
関 顯、杉山 浩貴、森 浩司、市場 正良	生物学的モニタリングに関する検査の現状と課題	第 44 回産業中毒・生物学的モニタリング研究会
岸知哉、淡浪由希、泉枝理子、岸智慧、山口彩絵、松本圭一郎、実松麻衣、福田誠、宮園素明、池田裕次	腎疾患における腎周囲腔 CT 値上昇の意義	第 59 回日本腎臓学会学術総会
岩永学、森田駿、中山愛子、松尾宗明	先天性乳び胸の早産児に合併していた硬膜動静脈瘻の 1 例	第 75 回佐賀小児科地方会・第 199 回日本小児科学会長崎地方会合同地方会
岩下 英紀、吉岡 史隆、上床 希久、鈴山 耕平、中原 由紀子、増岡 淳、下川 尚子、河島 雅到、青木 洋介、阿部 竜也、原 英夫	cART 療法中に HIV 関連 CD8+脳炎をきたした 1 例	第 124 回一般社団法人日本脳神経外科学会九州支部会
嬉野 博志、木塚 遥菜、佐野 晴彦、西岡 敦二郎、進藤 岳郎、久保田 寧、安藤 寿彦、尾崎 司、惣宇利 正善、片山 義雄、小島 研介、一瀬 白帝、木村 晋也	広範な皮下血腫と高度の貧血を呈した真性多血症と第 XIII/13 因子 (F13) 欠乏症の合併症例	第 78 回日本血液学会学術集会
鬼頭 佳彦	マウス小腸における waxing and waning の発生機序	第 18 回 日本神経消化器病学会(札幌)
吉岡 航、大枝 敏、窪津 祥仁、高橋 宏和、小野 尚文、江口 有一郎、末岡 榮三郎、安西 慶三	FibroScan 測定困難例における SWE (Shear Wave Elastography) の有用性	日本超音波医学会第 26 回九州地方学術集会

吉岡 史隆, 下川 尚子, 江橋 諒, 劉 軒, 若宮 富浩, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 中原 由紀子, 増岡 淳, 河島 雅到, 阿部 竜也, 松尾 宗明	当院における重度痙性麻痺に対する ITB 療法の経験	一般社団法人 日本脳神経外科学会 第 75 回学術総会
吉岡 史隆, 下川 尚子, 江橋 諒, 高瀬 幸徳, 中原 由紀子, 増岡 淳, 河島 雅到, 阿部 竜也, 上村 哲司, 松尾 宗明	頭蓋骨早期癒合症に対する後頭延長拡大術は, テント下 bone remodeling を誘導する—volumetric analysis による評価—	第 58 回日本小児神経学会学術集会
吉岡 史隆, 下川 尚子, 江橋 諒, 劉 軒, 若宮 富浩, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 中原 由紀子, 増岡 淳, 河島 雅到, 阿部 竜也, 上村 哲司	頭蓋縫合早期癒合症に対して, テント上後頭延長拡大術 (SupDO: Supratentorial Posterior Distraction Osteogenesis) はテント下も拡大する	第 34 回日本こども病院神経外科医学会
吉住茉莉子, 白井慎平, 伊東陽一郎, 田中雄一郎, 山本甲二, 鶴岡ななえ, 坂田資尚, 下田 良, 岩切龍一, 藤本一真	原発不明の AA アミロイドーシスにおいて DMSO が著効した 1 例	第 108 回日本消化器病学会九州支部例会/第 102 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
吉本怜子, 合島怜央奈, 大崎康吉, 曹愛琳, 張旌旗, 清島保, 城戸瑞穂	TRPV4 チャネルを介した温度変化による口腔上皮細胞調節	第 58 回歯科基礎医学会学術大会
久本由香里, 上原範久, 久木田明子, 久木田敏夫	Galectin-9 による破骨細胞分化抑制と転写因子 MafB の発現制御メカニズムの解明	第 34 回日本骨代謝学会学術集会 第 3 回アジア太平洋骨代謝学会議
宮崎 俊一, 斎藤 真貴子, 鈴木 久美子, 門司 幹男, 佐藤 慎太郎, 島津 倫太郎, 倉富 勇一郎	当科における上咽頭癌症例の検討	第 117 回日本耳鼻咽喉科学会通常総会・学術講演会
宮崎博喜, 味志綾子, 松本明子, 市場正良	ストレスチェック制度における医師面接指導の自験例について	平成 28 年日本産業衛生学会九州地方会学術会
魚住 二郎, 野口満, 東武昇平, 藏田彩	NPO 法人みんなの排泄ケアネット設立のお知らせ	第 73 回佐賀県泌尿器科懇話会
橋口真理子, 西山哲, 福田亜紗子, 大隈恵美, 野口光代, 内山倫子, 甲斐敬太, 中尾佳史, 相島慎一, 横山正俊	粘膜下腫瘍の形態を示した子宮頸部の明細胞腺癌の 1 例	第 57 回日本臨床細胞学会総会 (春秋大会) 第 19 回国際細胞学会議
橋本康平, 淡浪由希, 山崎政虎, 野中康徳, 實松麻衣, 東部昇平, 野口満, 宮園素明, 池田裕次	クレアチニンとシスタチン C の乖離から示唆された膀胱破裂の一例	第 46 回日本腎臓学会西部学術大会
錦戸 利幸, 尾山 純一, 白木 綾, 薦田 洋, 野出 孝一	Apoptosis inhibitor of macrophage (AIM) の欠損は急性心筋梗塞における炎症反応と梗塞サイズを減少する	第 39 回日本高血圧学会総会
錦戸利幸, 尾山純一, 慶田毅彦, 大平洋, 野出孝一	心筋梗塞後の心機能障害に対するビルダグリプチンの効果と安全性	第 39 回日本高血圧学会総会
錦戸利幸, 尾山純一, 慶田毅彦, 大平洋, 野出孝一	大動脈解離における慢性期血圧管理についての検討	第 39 回日本高血圧学会総会
錦戸利幸, 尾山純一, 長友大輔, 琴岡憲彦, 挽地裕, 野出 孝一	BMI の減少は心不全増悪による再入院の頻度と予後に関連する	第 64 回日本心臓病学会学術集会
錦戸利幸, 尾山純一, 白木綾, 薦田洋, 野出孝一	緑茶カテキンの MsSOD 欠損マウスにおける心不全振興の抑制効果	第 39 回日本高血圧学会総会
窪津 祥仁, 高橋宏和, 北島陽一郎, 江口有一郎, 安西慶三	NAFLD の線維化進展と糖尿病合併による慢性腎臓病への影響	第 3 回肝臓と糖尿病・代謝研究会
窪津 祥仁, 高橋 宏和, 北島 陽一郎, 田中 賢一, 江口 有一郎, 安西 慶三	NAFLD の病態進展, 糖・脂質代謝の動脈硬化, 慢性腎臓病への影響	第 24 回日本消化器関連学会週間 (JDDW) 2016
窪津祥仁, 安西慶三, 高橋宏和, 濱岡和宏, 北島陽一郎, 小野尚文, 江口尚久, 江口有一郎	NAFLD における線維化伸展と動脈硬化, 慢性腎臓病の関連	第 24 回肝病態生理研究会
窪津祥仁, 高橋宏和, 江口有一郎	GLP-1 アナログ製剤リラグルチドは非アルコール性脂肪性肝疾患の病態改善に寄与する	第 102 回日本消化器病学会総会
窪津祥仁, 高橋宏和, 江口有一郎	NAFLD・NASH の進展は動脈硬化, 慢性腎臓病の進展と関連する	第 52 回日本肝臓学会総会
熊本 崇, 田代克弥, 江口敬意, 飯田千晶, 前田寿幸, 松尾宗明	二度の冠動脈攣縮により心筋虚血を呈した Becker 型筋ジストロフィーの一例	第 25 回日本小児心筋疾患学会
熊本 崇, 田代克弥, 松尾宗明, 平川奈緒美, 中村公秀	手掌多汗症状に対し胸腔鏡下両側胸部交感神経遮断術を施行した先天性 QT 延長症候群の一症	第 21 回日本小児心電学会学術集会

熊本愛子、松尾宗明、石井清久	四肢の痛みにより発症した片頭痛の1例	第76回佐賀小児科地方会
熊本栄一、朱蘭、藤田亜美、王翀、余婷、平尾峻、鈴木里佳	シトラーンによる TRPA1 活性化を介したラット脊髄膠様質ニューロンのグルタミン酸作動性の自発性興奮性シナプス伝達の促進.	第38回日本疼痛学会
熊本栄一、蔣昌宇、王翀、余婷、平尾峻、鈴木里佳、藤田亜美	オキシトシンを介したラット脊髄膠様質ニューロンのシナプス伝達の修飾は生後発達と性差により変わる.	第39回日本神経科学大会
栗原有紀、高橋浩一郎、辻百々子、平川治樹、田代宏樹、安部友範、中島千穂、小宮一利、中村朝美、田中将英、木村晋也、荒金尚子	骨形成を伴った原発性肺がんの1例	第77回日本呼吸器学会・日本結核病学会/日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会九州支部 夏季学術講演会
桑野彰人、七條正英、木塚貴浩、野上英次郎、古舘 晃、高松正憲、柚木純二、田中厚寿、古川浩二郎、森田茂樹	交連部断裂による急性大動脈弁閉鎖不全症の1例	第49回日本胸部外科学会九州地方会総会
見市文香、野澤彰、吉田裕樹、戸澤謙、野崎智義.	赤痢アメーバ“マイトソーム”の PAPS 輸送体の同定	第85回日本寄生虫学会大会
見市文香、濱野真二郎、吉田裕樹	赤痢アメーバ“シスト形成”分子機構の解明	第69回日本寄生虫学会南日本支部大会 第66回日本衛生動物学会南日本支部大会合同大会(2016)
原めぐみ、西田裕一郎、島ノ江千里、堀田美加子、田中恵太郎	加齢と hOGG1 遺伝子プロモーター領域のメチル化の関連	第26回日本疫学会学術総会
古賀 ちひろ、西岡 敦二郎、嬉野 博志、佐野 晴彦、木塚 遥菜、進藤 岳郎、久保田 寧、安藤 寿彦、小島 研介、木村 晋也	ダサチニブ内服およびメソトレキサート髄注施行後硬膜下血腫を来したフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ球性白血病(Ph 陽性 ALL)	第6回日本血液学会九州地方会
古賀 浩木、甲斐 敬太、相島 慎一、山地 康太郎、井手 貴雄、上田 純二、能城 浩和	喫煙は非 B 非 C 肝細胞癌の独立した術後予後不良因子である オカルト HBV 感染を含めた発癌リスクファクターの解析	第116回日本外科学会定期学術集会
古賀浩木、三好篤、堀田千恵子、松藤祥平、久保洋、姉川剛、池田貯、隅健次、田中聡也、北原賢二、佐藤清治	一般演題 膵3 長期生存が得られている腹膜播種の進行膵癌の一例	第107回日本消化器病学会九州支部例会第101回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
古賀大介、西 真範、飯田千晶、田代克弥、野口 亮、古川浩二郎、松尾宗明	多量の心嚢液貯留を契機に診断された右心房原発血管肉腫の1例.	第74回佐賀小児科地方会
江橋 諒、高瀬 幸徳、下川 尚子、緒方 敦之、吉岡 史隆、中原 由紀子、増岡 淳、河島 雅到、阿部 竜也	短期間に出血を繰り返した小児 pial AVF の一例.	第7回佐賀脳血管内治療懇話会
江口啓意、古賀大介、西真範、松尾宗明	頭蓋内腫瘍を合併した急性巨核芽球性白血病の一例.	第76回佐賀小児科地方会
江口啓意、田代克弥、山元芽衣、七条正英、熊本崇、小野晋康、松尾宗明	急性心筋炎を2回発症したBecker型筋ジストロフィーの男児例.	第75回佐賀小児科地方会・第199回日本小児科学会長崎地方会合同地方会
江口有一郎 高橋宏和、兵庫秀幸 小野正文、安西慶三、江口有一郎	肥満診療に潜む NASH と NASH 診療に潜む肥満症	第38回日本肥満学会
江川紀幸、河野博、岩崎寛智、平木将紹、與田幸恵、能城浩和	一般演題 胃・十二指腸1 腹腔鏡下胃全摘術後の挙上空腸食道裂孔部狭窄	第107回日本消化器病学会九州支部例会第101回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
江川紀幸、下西智徳、浅井雅子、川嶋裕資、田中雅之、檜垣賢作、廣橋喜美	一般演題 34 大腸悪性(体腔内吻合)手術手技 結腸悪性腫瘍に対する結腸腹腔内吻合術後の短中期成績	第29回日本内視鏡外科学会総会
江川紀幸、河野博、平木将紹、與田幸恵、能城浩和	一般演題(ポスター) 胃:鏡視下手術5(胃全摘)	第71回日本消化器外科学会総会
江頭宗宏、有働由樹、柚木純二、吉田恭平、浅香真知子、挽地裕、野出孝一、森田茂樹	TAVI 患者への術前後およびアプローチ別での Frailty 評価	第80回日本循環器学会学術集会 /The 80th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society (JCS2016)

溝口 義人, 祖川 倫太郎, 下村 由貴, 南 智香子, 丸尾 讓二, 國武 裕, 川島 敏郎, 門司 晃, 原 英夫	アリピプラゾール単剤投与による低プロラクチン血症への懸念	第112回日本精神神経学会学術総会
溝口達弘, 岩永晃, 荻原俊, 小野晋康, 田島大輔, 佐藤忠司, 山本修一, 高柳俊光, 松尾宗明, 在津正文	エンテロウイルス D68 流行期における佐賀県の喘息入院例の動向について.	第74回佐賀小児科地方会
溝口達弘, 岩永晃, 荻原俊, 中村拓自, 小野晋康, 西川小百合, 佐藤忠司, 在津正文, 辻功介, 西村真二, 山本修一, 高柳俊光, 松尾宗明, 馬場常嘉	2013-2015年度佐賀市休日夜間こども診療所における吸入実施例の検討.	第75回佐賀小児科地方会・第199回日本小児科学会長崎地方会合同地方会
甲斐 敬太	頬粘膜腫瘍	第351回日本病理学会九州・沖縄支部スライドコンファレンス
甲斐 敬太	著明な肝脾腫を呈し、急激な転帰を辿った剖検例	第89回九州病理集談会
甲斐 敬太, 増田 正憲, 相島 慎一	Tissue microarray および 画像解析ソフトを用いた胆嚢癌浸潤部の炎症細胞浸潤と腫瘍細胞における E-cadherin 発現に関する解析	第27回日本消化器癌発生学会総会
甲斐 敬太, 中村 光男, 次富 久之, 山崎 真希子, 橋口 真理子, 増田 正憲, 高瀬 ゆかり, 相島 慎一	細胞診による良悪性判定が困難であった頬粘膜発生 MASC の一例	第55回 日本臨床細胞学会秋期大会
甲斐 敬太, 與田 幸恵, 能城 浩和, 相島 慎一	胃癌外科切除標本における HER-2 発現とホルマリン固定時間の関連性の検討	第105回日本病理学会総会
甲斐敬太, 古賀浩木, 相島慎一, 山地康太郎, 井手貴雄, 上田純二, 能城浩和	非 B 非 C 肝細胞癌と喫煙習慣：手術例における検討	第107回日本消化器病学会九州支部例会第101回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
荒金 尚子, 佐藤 明美, 渡邊 達郎, 末岡 栄三朗, 木村 晋也	肺扁平上皮がんにおける Discoidin domain receptor 2 の機能 解析	第75回日本癌学会学術総会
荒木薫, 原めぐみ, 松尾宗明	Case Population Study (スクリーニング法) によるロタウイルスワクチンの有効性評価.	第26回日本外来小児科学会年次集会
荒木薫, 原めぐみ, 松尾宗明	症例対照研究によるロタウイルスワクチンの有効性評価.	第20回日本ワクチン学会学術集会
荒木薫, 原めぐみ, 松尾宗明	症例対照研究によるロタウイルスワクチンの有効性評価.	第69回九州小児科学会
高橋 宏和, 北島 陽一郎, 安西 慶三, 江口 有一郎.	NAFLD に対する食事運動療法では骨格筋の肥大よりも脂肪化の改善を目指すことが重要である	第38回日本肥満学会
高橋 宏和, 北島陽一郎, 安西慶三, 江口有一郎	NAFLD に対する食事運動療法の効果に骨格筋量と脂肪量が与える影響	第108回日本消化器病学会九州支部例会/第102回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
高橋 宏和, 北島陽一郎, 江口有一郎	非アルコール性脂肪肝に対する食事運動療法における骨格筋量と脂肪沈着の変化	第41回肝臓学会東部会
高橋宏和	運動で脂肪を“鍛える”ことができるのか？-運動惹起性アディポカインの探索・創薬研究	FUIPA セミナー (福岡大学研究推進部主催研究会)
高橋宏和	運動療法に学ぶ新たな糖尿病・肥満・脂肪肝の治療	佐賀県医師会学術講演会
高橋宏和	肝臓代謝疾患と建築にかかわること	リフォームドクター講習会
高橋宏和	肥満における運動療法の問題点と運動惹起性アディポカインの探索・創薬研究	第5回 Kyushu Diabetes Research Conference
高橋宏和, 江口有一郎, Laurie J Goodyear, 安西慶三	脂肪組織における運動効果と運動惹起性アディポカインの探索	第38回日本肥満学会
高橋宏和, 片桐さやか, 江口有一郎	歯周病原細菌が NAFLD/NASH に及ぼす影響	第41回肝臓学会東部会
高原光平, 有働和馬, 東武昇平, 野口 満	Urinary tract dilation classification system は無症候性水腎症の外科的治療介入予測に有用か？	第25回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会
高口 素史, 中原 由紀子, 伊藤 寛, 若宮 富浩, 森崎 郁子, 萩井 泰朋, 札場 博貴, 藤木 稔, 阿部 竜也	低酸素状態における薬剤耐性遺伝子発現の検討.	第34回日本脳腫瘍学会学術集会

高瀬 幸徳, 河島 雅到, 増岡 淳, 下川 尚子, 中原 由紀子, 緒方 敦之, 吉岡 史隆, 若宮 富浩, 劉 軒, 江橋 諒, 阿部 竜也	内頸動脈-後交通動脈部分岐部動脈瘤による動眼神経麻痺に対する瘤内コイル塞栓術の機能的予後.	一般社団法人 日本脳神経外科学会 第 75 回学術総会
高島 毅, 佐藤 早恵, 吉崎 真衣, 大塚 伸, 岸知哉, 宮園素明, 池田裕次	ネフローゼ症候群 (NS) における 99mTc-HSAD scintigraphy の意義	第 59 回日本腎臓学会学術総会
高島 利, 塚野美和, 河野 史	食物摂取が下部食道括約筋に及ぼす影響と看護ケアに関するラットを用いた基礎研究—食後の誤嚥防止のために必要な上体挙上時間に関する考察—	第 6 回国際医療福祉大学学会学術大会
高島毅, 佐藤早恵, 吉崎真衣, 大塚伸, 蒲池紗央里, 岸知哉, 宮園素明, 池田裕次	左外腸骨静脈への門脈大循環シャントによる hemodialysis-related portal-systemic encephalopathy (HRPSE) の 1 例	第 61 回日本透析医学会学術集会・総会
高島毅, 平田早恵, 吉崎真衣, 松本圭一郎, 桂資泰, 福田誠, 宮園素明, 池田裕次	咽後膿瘍を合併した溶連菌感染後糸球体腎炎 (PSAGN) の 1 例	第 46 回日本腎臓学会西部学術大会
高良吉迪 田中賢一 中野 良 遠藤 広貴 千布 裕	多重感染症の既往がアメーバ腸炎の診断の一助となった一例	第 107 回日本消化器病学会九州支部例会/第 101 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
合島怜央奈, 吉本怜子, 曹愛琳, 森啓輔, 張旌旗, 大崎康吉, 檀上敦, 山下佳雄, 清島保, 城戸瑞穂	ヒト口腔癌細胞株における TRP チャネルの機能解析	第 58 回歯科基礎医学会学術大会
今村 義臣、溝口 義人、鍋田 紘美、原口 祥典、松島 淳、川島 敏郎、小島直 樹、山田 茂人、門司 晃	高齢者における宗教性と生化学的指標との関連	第 31 回日本老年精神医学会
今村秀明、此元隆雄、阪口嘉美、織田真悠子、大塚泰史、吉田瑤子、加藤秀樹、南学臣、宮田敏行、布井博幸	エクリズマブが著効した抗 H 因子抗体陽性非典型溶血性尿毒症症候群 (DEAP-HUS) の 1 例.	第 59 回日本腎臓学会学術総会
今村秀明、山元綾子、阪口嘉美、織田真悠子、此元隆雄、南学正臣、宮田敏行、大塚泰史、布井博幸	非典型溶血性尿毒症症候群を合併した NEMO 遺伝子異常症の 1 例.	第 119 回日本小児科学会学術集会
今長谷尚史、阪本雄一郎、小網博之、三池徹、八幡真由子、太田美穂、梅香満、永嶋太、岩村高志、井上聡、山田クリス孝介	敗血症患者の SOFA 分析から考える重症度評価について	第 44 回日本救急医学会総会・学術集会 (口演 33: 敗血症, 重症度評価と予後判定 1)
今長谷尚史、阪本雄一郎、永嶋太、櫻井良太、太田美穂、八幡真由子、三池徹、小網博之、岩村高志、井上聡	敗血症患者の初期治療における優先事項は循環管理である	第 31 回日本救命医療学会・学術集会 (一般演題 07-6)
佐藤ゆき, 加藤忠明, 鈴木智恵子, 願 艶紅	4 歳児の母親の心の状態と子どもへの関わり方との関連	第 63 回日本小児保健協会学術集会
佐藤ゆき, 鈴木智恵子, 鳴原美智子	学童の食生活習慣とその関連要因に関する疫学研究—パイロット調査の進捗結果—	第 63 回日本小児保健協会学術集会
佐野 晴彦, 安藤 寿彦, 久保田 寧, 西岡 敦二郎, 木塚 遥菜, 嬉野 博志, 進藤 岳郎, 小島 研介, 大島 孝一, 木村 晋也	脾摘後に自然寛解し 2 年後に再発した CD5 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	第 78 回日本血液学会学術集会
佐野 晴彦, 久保田 寧, 北村 浩 晃, 嬉野 博志	少量リバビリン経口投与により軽快した臍帯血移植後播種性アデノウイルス感染症 —末梢血リンパ球数と治療効果の関連—	第 90 回日本感染症学会総会・学術講演会
斎藤 真貴子, 鈴木 久美子, 門司 幹男, 島津 倫太郎, 佐藤 慎太郎, 倉富 勇一郎	当科における中咽頭癌症例の検討	第 117 回日本耳鼻咽喉科学会通常総会・学術講演会
在津正文, 溝口達弘, 松尾宗明	レストランでの外食や対面販売用惣菜で除去食品を摂取し発症したアナフィラキシー症例.	第 119 回日本小児科学会学術集会
坂井 絢, 甲斐 敬太, 山崎 真希子, 檜崎 さやか, 中村 光男, 川久保 洋晴, 坂田 資尚, 河野 博, 野村 明成, 相島 慎一	肉腫あるいは癌肉腫との鑑別を要した大腸低分化腺癌の一例	第 32 回佐賀県臨床細胞学会地方会

坂田資尚、下田 良、岩切龍一	次世代に向けた消化器内視鏡とその周辺機器の開発の現状：Wavelet 変換による画像処理に基づいたコンピュータ支援診断システムの開発	第 91 回日本消化器内視鏡学会総会
坂田資尚、下田 良、岩切龍一	早期癌の拾い上げ診断におけるコンピュータ支援画像診断システムの有用性	第 24 回 日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016)
坂田資尚、下田良、岩切龍一	コンピュータ支援画像診断による癌の検出に関する検討	第 107 回日本消化器病学会九州支部例会/第 101 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
坂本佳子、柚木順二、秋吉妙美、秋吉重康、梅木俊春、大島まゆみ、挽地裕、下村光洋、井上洋平、小松愛子、琴岡紀彦、森田茂樹、野出孝一	重症大動脈弁狭窄症患者における TAVI 術前の大動脈弁輪計測：CT と心エコー図検査の比較検討	一般社団法人日本心エコー図学会 第 27 回学術集会
笹栗智子、八坂敏一、石川亜佐子、村田祐造、原 博満、平川奈緒美、吉田裕樹	痛み行動における IL-27 の役割	第 81 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
三根圭介、小野大帝、林 信哉、合島怜央奈、山下佳雄、後藤 昌昭	誘電体バリア放電により生成した活性種による口腔内がん細胞の不活化効果	第 77 回応用物理学会秋季学術講演会
三池徹、阪本雄一郎、岩村高志、永嶋太、小網博之、山田クリス孝介、八幡真由子、今長谷尚史、太田美穂、櫻井良太、井上聡	感染症患者における血小板機能の変化 (T-TAS® の解析から)	第 44 回日本救急医学会総会・学術集会 (口演 34：敗血症、重症度評価と予後判定 2)
三池徹、阪本雄一郎、岩村高志、永嶋太、小網博之、山田クリス孝介、八幡真由子、今長谷尚史、太田美穂、櫻井良太、井上聡	高気圧酸素治療が一酸化炭素中毒患者の凝固系に及ぼす影響 (TEG6s を用いて)	第 44 回日本救急医学会総会・学術集会 (口演 30：中毒)
山下佳雄、合島怜央奈、森 啓輔、霧岡祥子、下平大治、檀上 敦	ヒト口腔癌細胞株に対するプラズマの抗腫瘍効果の検討	第 61 回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会
山口彩絵、野中康徳、松本圭一郎、實松麻衣、福田誠、岸知哉、宮園素明、池田裕次	透析患者における結核菌特異的インターフェロン γ 遊離試験 (IGRA) の有用性	第 61 回日本透析医学会学術集会・総会
山崎 真希子、甲斐 敬太、坂井 絢、檜崎 さやか、中村 光男、川久保洋晴、坂田 資尚、河野 博、野村明成、相島 慎一	経胃的 EUS-FNA が診断に有用であった大腸低分化腺癌の一例	第 57 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会) / 第 19 回国際細胞学会議 (ICC2016)
山崎孝太 松田やよい 山口美幸 中村紗耶嘉 松尾有菜 安西慶三 河田望美 寺坂喜子 小島基靖	入院患者に対し、カナグリフロジンをを用い、インスリン減量、離脱を測った 4 症例の検討	第 59 回日本糖尿病学会年次学術集会
山崎政虎、力武修一、中村恵、松本圭一郎、福田誠、岸知哉、宮園素明、池田裕次	溶連菌感染後に急性糸球体腎炎を呈した IgA 腎症の 1 例	第 314 回日本内科学会九州地方会
山地康太郎、甲斐敬太、相島慎一、古賀浩木、井手貴雄、上田純二、能城浩和	非 B 非 C 肝細胞癌に外科切除例におけるオカルト HBV 感染の状況	第 107 回日本消化器病学会九州支部例会第 101 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
山田クリス孝介、小網博之、永嶋太、岩村高志、三池徹、八幡真由子、今長谷尚史、太田美穂、櫻井良太、井上聡、阪本雄一郎	佐賀県における救急医療への ICT の応用	第 44 回日本救急医学会総会 (パネルディスカッション 1)
山田麻里江、山田尚友、中尾真実、東谷孝徳、久保田寧、木村晋也、末岡榮三朗	抗 D 自己抗体を保有した患者への輸血の対応について	日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第 63 回総会・第 84 回例会
山田麻里江、山田尚友、中尾真実、東谷孝徳、久保田寧、木村晋也、末岡榮三朗	同種血輸血における免疫担当細胞の動態に関する解析	第 64 回日本輸血・細胞治療学会総会
山内康平、下田 良、川久保洋晴、松浦聡子、鶴岡ななえ、坂田資尚、坂田祐之、岩切龍一、藤本一真	高齢者 (80 歳以上) の早期胃癌に対する endoscopic submucosal dissection の安全性、および非治癒切除症例の長期予後	第 91 回日本消化器内視鏡学会総会
山本 忍、松本 明子、宮崎 博喜、市場 正良、保利 一	N,N-ジメチルアセトアミド尿中代謝物測定法の開発～液体クロマトグラフを用いた分析条件の検討～	第 89 回日本産業衛生学会
山本忍、松本 明子、由井 夕湖、宮崎 将太、重黒木 明、宮崎 博喜、市場 正良、保利 一	液体クロマトグラフ法による N,N-ジメチルアセトアミドの尿中代謝物測定法の開発	平成 28 年日本産業衛生学会九州地方会学会
山本美保子、青木茂久、小池英介、米満伸久、杉原甫、戸田修二	3 次元培養における濾胞細胞の濾胞構築に与える脂肪組織の影響	久留米佐賀甲状腺研究会

山野優子、長野嘉介、祖父江友孝、市場正良、原 邦夫、山内武紀、武林亨	化学物質の発がん性分類比較の枠組みの検討	第 89 回日本産業衛生学会
山崎 真希子、中尾 嘉修、山地 康太郎、橋口 真理子、増田 正憲、高瀬 ゆかり、甲斐 敬太、多田 芳史、相島 慎一	血栓性微小血管症に肺胞出血を合併し急死した 1 剖検例	第 13 回日本病理学会カンファレンス
実松麻衣、泉 枝理子、淡浪由希、山崎 政虎、山口彩絵、松本圭一郎、福田誠、岸知哉、宮園素明、池田裕次	当院における過去 20 年間の ANCA 関連血管炎の前後 10 年間における比較検討	第 59 回日本腎臓学会学術総会
柴宮夏子、山内盛泰、島津倫太郎、倉富勇一郎	嚥下困難症に対して手術を行った Forestier 病の 1 例	第 111 回日本耳鼻咽喉科学会佐賀県地方部会学術講演会
柴宮夏子、門司幹男、嶋崎絵里子、峯崎晃充、島津倫太郎、倉富勇一郎	当科における喉頭垂全摘症例の検討	第 31 回日本耳鼻咽喉科学会九州連合地方部会学術講演会
若宮 富浩	鞍関節部髄膜腫と内頸動脈—前脈絡叢動脈分岐部動静脈瘤の一例。	第 31 回筑後・佐賀脳神経外科懇話会ビデオカンファランス
朱蘭、藤田亜美、王翀、余婷、平尾峻、鈴木里佳、熊本栄一	シトラールは TRPA1 を活性化してラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達を促進する。	第 37 回脊髄機能診断研究会
重松正仁、中野 稔也、檀上敦、山下佳雄、後藤昌昭	インプラント埋入部位に近接して副オトガイ孔が認められた 2 症例	公益社団法人日本口腔インプラント学会 第 33 回九州支部学術大会
重松正仁、西 智子、小峰隆一、埴原恒彦、山下佳雄	現代日本人の下顎骨形態について	第 56 回全国国保地域医療学会
緒方 敦之、田中 達也、溝上 泰一朗、河島 雅到、若宮 富浩、増岡 淳、中原 由紀子、下川 尚子、高瀬 幸徳、吉岡 史隆、劉 軒、江橋 諒、桃崎 宣明、坂田 修治、阿部 竜也	頸動脈狭窄症のプラーク内出血におけるペリサイト関与の可能性。	一般社団法人 日本脳神経外科学会 第 75 回学術総会
緒方 敦之、田中 達也、溝上 泰一朗、河島 雅到、若宮 富浩、増岡 淳、中原 由紀子、下川尚子、高瀬 幸徳、吉岡 史隆、劉 軒、江橋 諒、桃崎 宣明、坂田 修治、阿部 竜也	頸動脈狭窄症のプラーク内出血におけるペリサイト関与の可能性	第 17 回日本分子脳神経外科学会
徐祥赫、白木誠、蒲原麻菜、菖蒲池健夫、久木田敏夫、久木田明子	zBTB タンパク質 LRF/OCZF の破骨細胞分化における機能と骨吸収中の破骨細胞における発現の解析	第 34 回日本骨代謝学会学術集会・第 3 回アジア太平洋骨代謝学会議
小宮一利、中村朝美、栗原有紀、平川治樹、貞松宏典、中島千穂、高橋浩一郎、木村晋也、荒金尚子	ALK 陽性肺癌に対する ALK 阻害剤の有効性と安全性の後方視的研究。	第 56 回日本呼吸器学会学術講演会
小島 基靖	「1 型糖尿病と患者会活動について」	平成 28 年 DM ユース佐賀患者・家族交流会
小島 基靖	「小児 1 型糖尿病について ～学校生活が不安なく過ごせるように～」	第 22 回 DM ユース佐賀 学校連絡会
小島 基靖	「病診連携で週 1 回 GLP-1 受容体作動薬を開始し、血糖改善を認めた 1 例」	第 45 回唐津糖尿病臨床カンファレンス
小島 基靖	1 型糖尿病	佐賀県糖尿病療養指導公開講座
小島 基靖	SGLT2 阻害薬の肝、腎機能に与える影響に関する検討	多久・小城地区医師会学術講演会
小島 基靖	肝硬変のある糖尿病患者の血糖管理	鳥栖地区肝炎コーディネーター糖尿病療養指導士共同研究会
小島 基靖	先進デバイスによるインスリン療法	日本 IDDM ネットワークサイエンスフォーラム
小部亜紗美、祖川倫太郎、山口美紗子、古賀大介、西 眞範、松尾宗明、成澤 寛	乳児血管腫に対する長期的なプロプラノロール使用の安全性。	第 26 回日本医療薬学会年会
小網博之、阪本雄一郎、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、梅香満、三池徹、永嶋太、岩村高志、山田クリス孝介、井上聡	重症外傷患者に対する MTP を補完するために Thromboelastometry をいかに活用すべきか？	第 44 回日本救急医学会総会・学術集会（パネルディスカッション 6）
小網博之、阪本雄一郎、櫻井良太、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、梅香満、三池徹、永嶋太、岩村高志、井上聡	当院集中治療室での遺伝子組み換えアンチトロンビン製剤の使用状況ならびにその効果	第 44 回日本救急医学会総会・学術集会（口演 35：敗血症，治療 1）

小網博之、阪本雄一郎	全血凝固能検査で解析した遺伝子組み換えトロンボモジュリン製剤の抗凝固作用について.	第10回日本血栓止血学会学術標準化委員会(Scientific Standardization Committee: SSC) 2016 シンポジウム
小網博之、阪本雄一郎、櫻井良太、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、梅香満、三池徹、永嶋太、岩村高志、井上聡	Thrombelastograph (TEG®6s) と Thromboelastometry (ROTEM® delta) は相関するか?	第44回日本救急医学会総会・学術集会 (口演47: ME・医療機器)
小網博之、阪本雄一郎、櫻井良太、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、梅香満、三池徹、永嶋太、岩村高志、井上聡	Thrombelastograph (TEG®6s) の線溶亢進の診断能について	第44回日本救急医学会総会・学術集会 (口演69: 血液凝固異常線溶異常)
小野 大帝、大坪 哲也、林 信哉、合島 怜央奈、山下 佳雄、後藤 昌昭	大気圧プラズマによって生成される活性種を用いた口腔がん細胞の不活化	The 33rd International Conference of Photopolymer Science and Technology
小野尚文 五反田 香 濱岡和宏 江口尚久 大枝 敏 江口有一郎 高橋宏和 安西慶三	肝疾患(腫瘍性病変)に対する Strain Imaging	日本超音波医学会第26回九州地方学術集会
小林 孝臣、野下 祥太郎、窪津 祥仁、吉岡 航、村山 賢一郎、秋山 巧、高橋 宏和、安西 慶三、江口 有一郎	肝硬変患者において猫咬傷を契機に Pasteurella 感染症をきたした2例	第41回肝臓学会東部会
小林孝臣、藏田彩、有働和馬、東武昇平、野口満	当院におけるカバジタキセルの初期投与経験.	日本泌尿器科学会第81回佐賀地方会
松永純子、山口直子、溝口直晃、大川内美樹、岩橋好子、福田由里絵、鈴木智恵子	混合病棟における看護ケア向上のためのカンファレンスの改善—システム改善と教育的効果—	日本小児看護学会第26回学術集会
松永拓也、竹下枝里、松浦聡子、白井慎平、川久保洋晴、山内康平、鶴岡ななえ、坂田資尚、下田 良、坂田祐之、岩切龍一、藤本一真	保存的加療で軽快した腸間膜脂肪織炎の1例.	第107回日本消化器病学会九州支部例会/第101回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
松倉史朗、北川浩、中城博見	一般演題 その他 当院にて高気圧酸素療法を行ったイレウスの治療戦略	第107回日本消化器病学会九州支部例会第101回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
松田知也、岩村高志、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、梅香満、三池徹、小網博之、永嶋太、井上聡、阪本雄一郎	Damage Control 戦略を用いることで、救命できた広範大腸虚血の1例	第44回日本救急医学会総会・学術集会 (ポスター13: 消化器感染症)
松尾 和紀、相島 慎一、青木 茂久、増田 正憲、高瀬 ゆかり、甲斐 敬太	大唾液腺に発生した扁平上皮癌の2例	第105回日本病理学会総会
蔣昌宇、藤田亜美、王翀、平尾峻、鈴木里佳、馬郡信弥、熊本栄一	ラット脊髄膠様質におけるオキシトシンの鎮痛作用機序の性差と生後発達.	第67回西日本生理学会
蔣昌宇、藤田亜美、王翀、余婷、平尾峻、鈴木里佳、熊本栄一	オキシトシンによるラット脊髄膠様質ニューロンのシナプス伝達の修飾の性差と生後発達.	第37回脊髄機能診断研究会
蔣昌宇、藤田亜美、王翀、余婷、平尾峻、鈴木里佳、熊本栄一	ラット脊髄膠様質ニューロンにおけるシナプス伝達のオキシトシンによる修飾は性差と生後発達を示す.	第93回日本生理学会大会
上原範久、久本由香里、久木田明子、久木田敏夫	骨転移性乳癌細胞由来エクソソームは破骨細胞分化を促進する	第34回日本骨代謝学会学術集会 第3回アジア太平洋骨代謝学会議
上原範久、久本由香里、久木田明子、久木田敏夫	分泌型 miRNA を介した骨転移性癌細胞-破骨細胞コミュニケーション	第121回日本解剖学会総会全国学術集会
城戸瑞穂	温度感受性イオンチャネルによる口腔粘膜上皮の維持	日本解剖学会第72回九州支部学術集会
城戸瑞穂	顎顔面の痛みとイオンチャネル	第58回日本顕微鏡学会九州支部学術講演会
城戸瑞穂、吉住潤子、高尾知佳、吉本怜子、大山順子、合島怜央奈、高岡裕、豊福明	口腔粘膜の痛みと TRPV1 チャネル	第58回歯科基礎医学会学術大会
城戸瑞穂、木附智子、合島 怜央奈、吉本怜子、張旌旗、大崎康吉	口腔粘膜バリアに関わる温度感受性 TRPV4 チャネル	第121回日本解剖学会総会全国学術集会

森 啓輔, 霧岡祥子, 下平大治, 檀上 敦, 山下佳雄	顎関節円板障害 (Ⅲ型) 患者に対する 顎間牽引療法の効果検討	第 29 回 一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会
森 仁恵	肝硬変のある糖尿病患者の血糖管理	佐賀地区肝炎コーディネーター糖尿病療養指導士共同研究会
森啓輔, 合島怜央奈, 檀上敦, 山下佳雄	新規 KATP チャネル開口薬 ZD0947 の平滑筋型 KATP チャネルに対する効果	第 58 回歯科基礎医学会学術大会
森田 駿, 陣内久美子, 岩永 学, 田代克弥, 松尾宗明	同時期に経験した 13 トリソミー-2 例比較 (家族の心情の変化なども含めて).	第 119 回日本小児科学会学術集会
森田 駿, 大塚泰史, 大串栄彦, 陣内久美子, 岡 政史, 佐藤忠司, 青木茂久, 久野 敏	Tip Variant を呈した巣状分節性系球硬化症の 1 例.	第 74 回佐賀小児科地方会
水田敏彦, 井手康史, 西田裕一郎	肝硬変における有酸素運動が運動耐用能, 糖脂質代謝に与える影響	第 35 回日本臨床運動療法学会学術集会
星野 有紀, 吉岡航, 野下 祥太郎, 窪津 祥仁, 村山 賢一郎, 秋山 巧, 高橋 宏和, 江口有一郎, 芥川 剛至, 青木 茂久, 戸田修二, 江口 有一郎	ステロイド減量中に自己免疫性膵炎の増悪, IgG4 関連硬化性胆管炎を発症した IgG4 関連疾患の 1 例	第 108 回日本消化器病学会九州支部例会/第 102 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
西 眞範, 古賀大介, 辻 百々子, 七條正英, 尾形善康, 森田 駿, 辻 功介, 松尾宗明	不明熱に対して特徴的な FDG-PET/CT 所見が診断に有用であった全身型若年性特発性関節炎 (sJIA) の 1 例.	第 75 回佐賀小児科地方会
西山 哲, 橋口 真理子, 福田 亜紗子, 大隈 恵美, 花島 克幸, 野口 光代, 内山 倫子, 山崎 文朗, 山崎 真希子, 甲斐 敬太, 中尾 佳史, 横山 正俊	卵巣小細胞癌の一例	第 55 回 日本臨床細胞学会秋期大会
西山 哲, 福田 亜紗子, 大隈 恵美, 橋口 真理子, 野口 光代, 内山 倫子, 甲斐 敬太, 中尾 佳史, 横山 正俊	非定型的な経過をたどった子宮頸癌の一例	第 32 回佐賀県臨床細胞学会地方会
西山 哲, 橋口真理子, 福田亜紗子, 大隈恵美, 花島克幸, 野口光代, 内山倫子, 山崎文朗, 山崎真希子, 甲斐敬太, 中尾佳史, 横山正俊	卵巣小細胞癌の一例.	第 55 回日本臨床細胞学会秋期大会
西山 哲, 相原聡美, 福田亜紗子, 花島克幸, 大隈恵美, 野口光代, 中尾佳史, 横山正俊	再発部位による化学療法の効果が異なった子宮平滑筋肉腫の 1 例.	第 54 回日本癌治療学会学術集会.
西山 哲, 津村圭介, 福田亜紗子, 大隈恵美, 山本徒子, 橋口真理子, 中橋弘顕, 中尾佳史, 横山正俊	入局員確保に関する当科の現状と課題〜継続的な地域医療を担う拠点病院として〜 (ワークショップ).	第 73 回九州連合産科婦人科学会/第 67 回九州ブロック産婦人科医会
西山 哲, 福田亜紗子, 大隈恵美, 橋口真理子, 相原聡美, 野口光代, 中尾佳史, 横山正俊	最近経験した子宮頸部小細胞癌の 2 例.	第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会
西山 哲, 福田亜紗子, 大隈恵美, 橋口真理子, 野口光代, 内山倫子, 甲斐啓太, 中尾佳史, 横山正俊	非典型的な経過を辿った子宮頸癌の一例.	第 32 回佐賀県臨床細胞学会地方会
西純平, 小網博之, 阪本雄一郎, 太田美穂, 今長谷尚史, 八幡真由子, 梅香満, 三池徹, 永嶋太, 岩村高志, 井上聡	早期からの集学的治療により救命し得たマイコプラズマ肺炎による重症 ARDS の 1 例	第 44 回日本救急医学会総会・学術集会 (ポスター90: 呼吸器感染症)
西田有毅, 前田綾, 久保田寧, 木村晋也, 小島研介	The novel BMI-1 inhibitor PTC596 induces apoptosis in a p53-independent manner and targets immature AML cells	第 20 回日本がん分子標的治療学会学術集会
西田有毅, 前田綾, 久保田寧, 木村晋也, 小島研介	The novel BMI-1 inhibitor PTC596 induces p53-independent apoptosis in AML progenitor cells	第 78 回日本血液学会学術集会
西田裕一郎	スロージョギングとはーその理論と効果ー	運動療法講座プログラム「第 2 回ランニングで糖を制す」
西田裕一郎	抗肥満・抗糖尿病に関与する骨格筋代謝物質の探索ーリポ蛋白リパーゼトランスジェニックウサギを用いた検討ー	第 8 回分子骨格筋代謝研究会

西田裕一郎, 彌富美奈子, 富永広貴, 檢垣靖樹, 田中宏暁, 堀田美加子, 大坪広実, 原めぐみ, 田中恵太郎	PPARD 遺伝子多型が身体活動・食事指導による減量効果に及ぼす影響	第 26 回日本疫学会学術総会
青木 洋介, 浦上 宗治	行動変容につながる Antimicrobial Stewardship	シオノギ Web カンファレンス
青木早織, 東元 健, 樋高秀憲, 大塚泰史, 渡邊英孝, 三嶋博之, 吉浦孝一郎, 大場 隆, 片淵秀隆, 副島英伸	間葉性異形成胎盤のゲノム・エピゲノム解析.	第 10 回日本エピジェネティクス研究会年会
青木早織, 東元健, 樋高秀憲, 大塚泰史, 渡邊英孝, 三嶋博之, 吉浦孝一郎, 八木ひとみ, 西岡憲一, 城圭一郎, 大場 隆, 片淵秀隆, 副島英伸	間葉性異形成胎盤のゲノム・エピゲノム解析.	三大学次世代コンソーシアム
石川亜佐子, 八坂敏一, 笹栗智子, 平川奈緒美, 村田祐造, 三宅靖延, 山崎 晶, 原 博満, 吉田裕樹	脊髄の疼痛誘導性サイトカインには C 型レクチン受容体が必要である.	第 81 回日本インターフェロン・サイトカイン学会学術集会
石川亜佐子, 八坂敏一, 平川奈緒美, 村田祐造, 原 博満, 吉田裕樹	Mincle(macrophage inducible C-type lectin)ノックアウトマウスの疼痛行動解析	日本麻酔科学会 第 63 回学術集会
石川慎一郎	ピカピカリンク活用事例 ケース 3 遠距離通院患者の眼科検査情報を連携先病院で参照	国際モダンホスピタルショー 2016 (第 43 回)
石川慎一郎	眼科における PACS サーバーを介した地域医療連携システムについての検討	第 1 回ピカピカリンク研究会
石川慎一郎	眼科医からみる糖尿病	伊万里・有田地区三師学術講演会, 佐賀
石川慎一郎	教育セミナー②電子クリティカルパスの現状と課題 佐賀大学眼科におけるクリティカルパスの運用	日本医療マネジメント学会 第 15 回九州・山口連合大会
石川慎一郎	佐賀大学の病診連携システムについて	鳥栖三養基眼科勉強会
石川慎一郎	電子カルテの功罪	第 86 回九州眼科学会/第 32 回九州緑内障カンファレンス/第 29 回九州眼科医会従業員教育講座
石川慎一郎	糖尿病～眼科医からの視点～	第 2 回糖尿病勉強会, 伊万里
石川慎一郎	糖尿病～限科医からの視点～	第 94 回佐賀大学医学部附属病院糖尿病療養指導公開講座(佐賀県糖尿病療養指導士認定講座)
石川慎一郎	糖尿病網膜症	第 3 回佐賀糖尿病療養指導士認定研修会
石川慎一郎	落屑緑内障のアップデート	長崎緑内障セミナー
石川慎一郎	緑内障アップデート	三水会
石川慎一郎	緑内障治療オーダーメイド時代に向けて	第 15 回福岡緑内障カンファレンス
石川慎一郎	緑内障治療を究める	第 86 回九州眼科学会/第 32 回九州緑内障カンファレンス/第 29 回九州眼科医会従業員教育講座
石川慎一郎	緑内障診断の分岐点～こんな時、あなたならどうする～	うちなー緑内障道場 沖縄
石川慎一郎	緑内障薬物治療のアップデート 2016	第 170 回宮崎県眼科医会講習会
石川慎一郎	緑内障薬物療法 of アップデート	別府市眼科セミナー
石川慎一郎, 江内田寛	当院におけるリバズジル点眼液の中期使用成績	第 27 回日本緑内障学会
石川慎一郎, 吉永幸靖, 三根正, 中村大輔, 岡田龍雄, 石橋達朗, 江内田寛	ODR 値の変化による, 眼底酸素飽和度の定量的解析法の確立	第 70 回日本臨床眼科学会
石川慎一郎, 江内田寛	当院におけるリバズジル点眼液の中期使用成績	第 86 回九州眼科学会/第 32 回九州緑内障カンファレンス/第 29 回九州眼科医会従業員教育講座
川久保洋晴, 山内康平, 鶴岡ななえ, 坂田資尚, 下田 良, 坂田祐之, 岩切龍一	食道アカラシアの治療戦略: 食道アカラシアにおけるボツリヌス菌毒素局注療法の治療効果とその位置付け	第 12 回日本消化管学会総会学術集会
川村紗奈江, 柚木純二, 麓 英征, 古川浩二郎, 田中厚寿, 木塚貴浩, 野上英次郎, 野口 亮, 森田茂樹	慢性 B 型解離の TEVAR 後, リークが残存し偽腔が拡大した一例	第 53 回九州外科学会/第 53 回九州小児外科学会/第 52 回九州内分泌外科学会

川崎佳奈子、島津倫太郎、倉富勇一郎	喉頭全摘術に際し頤下部筋皮弁再建術を施行した一例	第31回日本耳鼻咽喉科学会九州連合地方部会学術講演会
泉枝理子、松本圭一郎、淡浪由希、山口彩絵、實松麻衣、福田誠、岸知哉、宮園素明、池田裕次	急速進行性糸球体腎炎にて透析導入となった15例の検討	第61回日本透析医学会学術集会・総会
泉枝理子、力武修一、中村恵、室雅巳、福田誠、宮園素明、池田裕次	妊娠を契機に発症した fullhouse nephropathy の1例	第46回日本腎臓学会西部学術大会
前田寿幸、富野広通、平原恵子、田島大輔、松尾宗明、小杉雅史、中根俊成、樋口理	自己免疫性自律神経節障害 (Autoimmune autonomic ganglionopathy : AAG) の2症例.	第58回日本小児神経学会学術集会
前田寿幸、平原恵子、松尾宗明	出生時より腰部に dimple を認め、脊髄脂肪腫より脊髄係留症候群を呈した1例.	第360回福岡小児神経研究会
前田寿幸、米良智子、平原恵子、田島大輔、松尾宗明	重症心身障害児における腕頭動脈気管瘻の発症予測.	第75回佐賀小児科地方会・第199回日本小児科学会長崎地方会合同地方会
祖川 倫太郎	佐賀大学における吸入指導について	佐賀 COPD Forum
祖川 倫太郎、前田 美由紀、久保陽平、本岡 千佳、江口 弘晃、木村 早希子、田崎 正信、成澤 寛	薬剤師による処方修正のアウトカム	第26回日本医療薬学会年会
曹愛琳、吉本怜子、合島怜央奈、張旌旗、城戸瑞穂	OVA 喘息モデルマウスにおける機械的アロディニア	第58回歯科基礎医学会学術大会
相原聡美、橋口真理子、大隈恵美、西山 哲、中尾佳史、横山正俊	卵巣がん患者における終末期についての話し合いと終末期医療の状況.	第21回日本緩和医療学会学術大会
相原聡美、山本徒子、西山 哲、大隈恵美、中尾佳史、横山正俊	医学科学生における遺伝性婦人科癌についての意識調査.	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会
相原聡美、山本徒子、大隈恵美、西山 哲、中尾佳史、横山正俊	医学科学生における遺伝性婦人科癌についての意識調査.	第54回日本癌治療学会学術集会
相原聡美、福田亜紗子、久富万智子、野口光代、西山 哲、中尾佳史、横山正俊	タキサン系薬剤によると考えられた顔面の皮膚症状についての検討.	第14回日本臨床腫瘍学会学術集会
草野脩平、有働和馬、東武昇平、野口満	ロボット支援下前立腺全摘除術における術後尿禁制についての解析.	第8回日本ロボット外科学会学術集会
草野脩平、藏田彩、有働和馬、東武昇平、野口満	腸管利用造瘻術の経験.	第13回九州小児泌尿器科研究会
増岡 淳、松島 俊夫、吉岡 史隆、緒方 敦之、高瀬 幸徳、中原 由紀子、下川 尚子、河島 雅到、阿部 竜也	椎骨動脈の関連した片側顔面痙攣の治療成績.	一般社団法人 日本脳神経外科学会 第75回学術総会
増岡 淳、河島雅到、下川尚子、中原由紀子、高瀬幸徳、緒方敦之、吉岡史隆、阿部竜也	椎骨動脈の関連した片側顔面痙攣の治療成績.	第18回日本脳神経減圧術学会
増岡 淳、吉岡史隆、緒方敦之、高瀬幸徳、中原由紀子、下川尚子、河島雅到、阿部竜也	内視鏡下経鼻手術における術前腰椎ドレナージの有用性.	第21回日本脳腫瘍の外科学会
増田 正憲、山地 康太郎、橋口 真理子、山崎 真希子、高瀬 ゆかり、甲斐 敬太、相島 慎一	胆管癌における periostin 発現の検討	第105回日本病理学会総会
村田 祐造、本田 裕子	GK ラット腎臓におけるグルコーストランスポーターの分布	第121回日本解剖学会総会全国学術集会
村田和久、都合垂記暢、太田啓介、中村桂一郎、江内田寛、平田 憲	FIB/SEM を用いたマウス強膜内の腺維芽細胞間ネットワークの観察	第120回日本眼科学会総会
大隈恵美、西山 哲、福田亜紗子、橋口真理子、中尾佳史、横山正俊	子宮頸癌早期再発症例と高い放射線感受性を示した長期無再発症例における neutrophil-to-lymphocyte ratio (NLR) と病理学的特徴の比較.	第68回日本産科婦人科学会学術講演会
大塚伸、平田早恵、山口彩絵、吉崎真衣、斧沢幸司、高島毅、岸知哉、宮園素明、池田裕次	シャント感染の後に感染性大動脈瘤破裂に至った維持血液透析患者の一例	第61回日本透析医学会学術集会・総会
大塚泰史、岡政史、大串栄彦、陣内久美子、松尾宗明、東武昇平、野口満	Anti - VUR 手術後に一過性偽性低アルドステロン症を合併した prune belly 症候群の一例.	第13回九州小児泌尿器研究会

大塚泰史, 在津正文, 陣内久美子, 大串栄彦, 岡政史, 佐藤忠司, 東武昇平, 野口満, 布井博幸, 松尾宗明	MERS を合併した急性巣状細菌性腎炎一症例におけるサイトカインの検討.	第 24 回日本逆流性腎症フォーラム
大塚泰史, 佐藤忠司, 飯田千晶, 岡政史, 陣内久美子, 大串栄彦, 田代克弥, 松尾宗明	ADCK4 遺伝子異常によるステロイド抵抗性ネフローゼ症候群の兄弟例.	第 51 回日本小児腎臓病学会学術集会
大塚泰史, 田代克弥, 陣内久美子, 大串栄彦, 佐藤忠司, 松尾宗明	LAMP 法を用いた Yersinia pseudotuberculosis 感染症の解析.	第 119 回日本小児科学会学術集会
大島侑子, 西山 哲, 橋口真理子, 福田亜紗子, 花島克幸, 大隈恵美, 中尾佳史, 横山正俊	卵巣小細胞癌の一例	第 73 回九州連合産科婦人科学会/第 67 回九州ブロック産婦人科医会
大島侑子, 西山 哲, 福田亜紗子, 花島克幸, 大隈恵美, 橋口真理子, 中橋弘顕, 津村圭介, 中園貴彦, 中尾佳史, 横山正俊	卵巣小細胞癌の一例	JSAWI2016 (第 17 回シンポジウム)
淡浪由希, 山崎政虎, 野中康徳, 実松麻衣, 福田誠, 宮園素明, 池田裕次	悪性胸膜中皮腫に合併した微小変化型ネフローゼ症候群の 1 例	第 46 回日本腎臓学会西部学術大会
淡浪由希, 松本圭一郎, 泉枝理子, 山口彩絵, 實松麻衣, 福田誠, 岸知哉, 宮園素明, 池田裕次	人工血管シャント感染症を発生した 21 例の検討	第 61 回日本透析医学会学術集会・総会
淡浪由希, 山崎政虎, 野中康徳, 實松麻衣, 福田誠, 宮園素明, 樋渡敦, 挽地裕, 池田裕次	鎖骨下静脈狭窄に対する経皮的血管拡張術施行時にステントが脱落し, 右室内へ迷入した 1 例	第 49 回九州人工透析研究会総会
池田貯, 久保洋, 古賀浩木, 姉川剛, 三好篤, 隅健次, 田中聡也, 北原賢二, 佐藤清治	一般演題 (ポスター) 胃: 鏡視下手術 5 (胃全摘) 腹腔鏡下胃全摘術における食道空腸機能的端々吻合の工夫~自動吻合器を用いた安全で確実な共通孔閉鎖手技~	第 71 回日本消化器外科学会総会
竹下枝里, 坂田資尚, 鶴岡ななえ, 松永圭司, 岩切龍一, 藤本一真, 草野元康	人間ドック受診者の上部消化管症状に対する性別, 年齢, ピロリ菌の関与—人間ドック受診者における F スケール問診票と内視鏡検査による評価	第 18 回日本神経消化器病学会
竹下枝里, 坂田資尚, 藤本一真	機能的消化器疾患の新展開, 基礎から臨床まで: 検診受診者における FD 様症状の特徴	第 102 回日本消化器病学会総会
竹下枝里, 松浦聡子, 白井慎平, 川久保洋晴, 山内康平, 鶴岡ななえ, 坂田資尚, 下田 良, 古賀靖大, 野村明成, 坂田祐之, 岩切龍一, 藤本一真, 岩下明徳	心タンポナーゼを伴った潰瘍性大腸炎の 1 例	第 107 回日本消化器病学会九州支部例会/第 101 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
竹内耕治, 久保陽平, 祖川倫太郎, 前田美由紀, 江本晶子, 木村早希子, 田崎正信, 成澤 寛	佐賀大学病院での病棟薬剤業務における腎機能低下患者への薬学的介入状況調査	医療薬学フォーラム 2016 第 24 回クリニカルファーマシーシンポジウム
中原 由紀子	自施設でのアバステン投与の検討.	脳腫瘍最新セミナー
中原 由紀子, 江橋 諒, 劉 軒, 若宮 富浩, 吉岡 史隆, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 下川 尚子, 前田 健二, 増岡 淳, 河島 雅到, 阿部 竜也	髄膜腫 WHO grade I の再発および異型髄膜腫 grade II について, 臨床および分子生物学的因子の検討.	一般社団法人 日本脳神経外科学会 第 75 回学術総会
中原 由紀子, 高口 素史, 伊藤 寛, 若宮 富浩, 森崎 郁子, 靱井 泰朋, 札幌 博貴, 藤木 稔, 阿部 竜也	低酸素状態における薬剤耐性遺伝子発現の検討.	第 17 回日本分子脳神経外科学会
中原 由紀子, 高口 素史, 伊藤 寛, 若宮 富浩, 森崎 郁子, 靱井 泰朋, 札幌 博貴, 藤木 稔, 阿部 竜也	低酸素状態における薬剤耐性遺伝子発現の検討.	第 75 回日本癌学会学術総会
中原 由紀子, 伊藤 寛, 飛田 修康, 江橋 諒, 劉 軒, 若宮 富浩, 吉岡 史隆, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 下川 尚子, 増岡 淳, 河島 雅到, 阿部 竜也	当科におけるレベテラセタムの使用経験.	佐賀てんかん診療連携会.
中原 由紀子, 若宮富浩, 伊藤寛, 高口素史, 下川尚子, 増岡淳, 河島雅到, 阿部竜也	悪性神経膠腫に対するペバシズマブ療法の効果と増悪所見についての検討.	第 21 回日本脳腫瘍の外科学会
中原 由紀子, 若宮富浩, 内橋和芳, 相島慎一, 増岡淳, 河島雅到, 阿部竜也	病理診断に苦慮した壁在結節を伴う嚢胞性腫瘍の一例.	第 34 回日本脳腫瘍病理学会

中山愛子、垣内俊彦、松尾宗明	タクロリムスで寛解維持できず、インフリキシマブにスイッチした難治性潰瘍性大腸炎の1例.	第43回日本小児栄養消化器肝臓学会
中山愛子、垣内俊彦、松尾宗明	治療に難渋した潰瘍性大腸炎の1例.	第75回佐賀小児科地方会・第199回日本小児科学会長崎地方会合同地方会
中山愛子、岩永学、松尾宗明	オクトレオチドを使用した先天性乳び胸の1例.	第52回佐賀周産期カンファレンス
中山愛子、平原恵子、前田寿幸、松尾宗明	ムンプス罹患後にふらつきを来した1例.	第119回日本小児科学会学術集会
中山賢人、小網博之、阪本雄一郎、櫻井良太、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、三池徹、永嶋太、岩村高志、井上聡	血液浄化を行わずに救命し得たパラコート中毒の1例	第44回日本救急医学会総会・学術集会（ポスター109：中毒6）
中村 光男、甲斐 敬太、高瀬 ゆかり、北村 捷、西 眞範、古賀 大介、溝端 理恵、古川 浩二郎、森田 茂樹、相島 慎一	小児に発生した心原発血管肉腫の細胞像と組織像	第55回 日本臨床細胞学会秋期大会
中村恵、泉枝理子、力武修一、徳田倫章、吉村達、室雅己、福田誠、宮園素明、池田裕次	妊娠後期に腎機能低下を認めた生体腎移植後患者の一例	第46回日本腎臓学会西部学術大会
中村恵、泉枝理子、力武修一、杉森宏、福田誠、宮園素明、池田裕次	当院における透析患者の脳血管障害	第49回九州人工透析研究会総会
中村晃子、藤崎大整、池田裕次、安芸雅史、中村晃二、藤崎雅史、金子新、成清武文、湊亮詠、宮園素明	デノスマブ投与による低Caに関して～維持透析患者2例の経験	第61回日本透析医学会学術集会・総会
中村淳、江川紀幸、岩崎寛智、上田純二、能城浩和	一般演題（ポスター）ヘルニア：鏡視下手術2 高齢者鼠径ヘルニア治療における TAPP の妥当性	第71回日本消化器外科学会総会
中村拓自、小野晋康、松尾宗明	視覚失認、尿閉で発症した急性辺縁系脳炎の13歳女児例.	第365回福岡小児神経研究会
中村拓自、森田駿、須山ゆかり、阿部淳、辻功介、松尾宗明	インフルエンザ感染を契機に辺縁系脳症を来した男児例.	第361回福岡小児神経研究会
中村朝美、中島千穂、小林直美、小宮一利、木村晋也、荒金尚子	血漿分子マーカーを用いた afatinib 耐性化機序と効果予測因子の検討	第57回日本肺癌学会学術集会
中村朝美、中島千穂、小林直美、梅口仁美、小宮一利、木村晋也、荒金尚子	第一世代 EGFR-TKI 獲得耐性例における afatinib 治療効果と血漿分子マーカー測定結果の検討	第77回日本呼吸器学会・日本結核病学会/日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 九州支部 夏季学術講演会
中島 千穂、安部友範、佐藤 明美、加藤潤一、末岡栄三朗、木村 晋也、荒金 尚子	高感度 EGFR 遺伝子変異検出系における DNA 自動抽出装置の有用性	日本臨床検査自動化学会第48回大会
中島 千穂、安部友範、佐藤 明美、加藤潤一、末岡栄三朗、木村 晋也、荒金 尚子	高感度 EGFR 遺伝子変異検出系における DNA 自動抽出装置の有用性	第57回日本肺癌学会学術集会
中島 千穂、佐藤 明美、木村 晋也、荒金 尚子	肺癌転移動物モデルを用いたリンパ節転移機構の検索	第75回日本癌学会学術総会
中島千穂、安部友範、木村晋也、荒金尚子	高感度 EGFR 遺伝子変異検出法における DNA 自動抽出法の有用性	第57回日本肺癌学会九州支部学術集会/第40回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会
中尾佳史、大隈恵美、相原聡美、西山 哲、福田亜紗子、橋口真理子、横山正俊	大学病院での集学的リンパ浮腫診療—これからの課題.	第58回日本婦人科腫瘍学会学術講演会
中尾佳史、福田亜紗子、西山 哲、橋口真理子、大隈恵美、野口光代、横山正俊	大学病院でのリンパ浮腫診療—これまで、そしてこれから.	第68回日本産科婦人科学会学術講演会
中尾佳史、福田亜紗子、西山 哲、大隈恵美、野口光代、相原聡美、橋口真理子、横山正俊	増える若年発症子宮頸癌の診断過程における問題点.	第54回日本癌治療学会学術集会
張旌旗、白鳥卓麻、久木田明子、山座孝義、古谷野潔、久木田敏夫	破骨細胞形成過程における細胞融合と細胞質分裂の形態学的解析	第58回歯科基礎医学会学術大会
朝長絵理子、永瀬浩太郎、木村裕美、井上卓也、成澤寛	セツキシマブ・パクリタキセル併用療法が有効であった難治性転移性有棘細胞癌の1例	第32回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会

長崎啓祐、東元健、相馬規子、今村勝、齋藤昭彦、副島英伸	DIS3L2 複合ヘテロ変異を同定した長期生存 Perlman 症候群の 1 例.	第 39 回日本小児遺伝学会学術集会
陳 文瀚、田中雄一郎、山本甲二、鶴岡ななえ、坂田資尚、下田 良、岩切龍一、藤本一真	関節炎で初発した若年クローン病の 1 例	第 108 回日本消化器病学会九州支部例会/第 102 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
鶴岡ななえ、坂田資尚、岩切龍一	抗血栓療法は憩室出血患者における再出血のリスクとはならない	第 91 回日本消化器内視鏡学会総会
鶴岡ななえ、松浦聡子、白井慎平、竹下枝里、川久保洋晴、山内康平、坂田資尚、下田 良、岩切龍一、藤本一真	機能性ディスペプシア診療ガイドラインを見直す：当院総合外来を初診した機能性ディスペプシアの現状	第 12 回日本消化管学会総会学術集会
鶴岡ななえ、白井慎平、芥川加代、坂田祐之、岩切龍一、藤本一真、水口昌伸	佐賀県における最近 4 年間の検診発見胃癌の特徴	第 24 回 日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016)
貞松宏典、高橋浩一郎、平川治樹、栗原有紀、田代宏樹、中島千穂、渡邊直美、小宮一利、田中将英、中村朝美、木村晋也、荒金尚子	IgG4 関連疾患の肺病変に関する解析	第 56 回日本呼吸器学会学術講演会
貞松宏典、田中将英、辻百々子、栗原有紀、平川治樹、田代宏樹、安部友範、中島千穂、小宮一利、中村朝美、高橋浩一郎、木村晋也、荒金尚子	血栓性微小血管障害症に合併した肺出血の 1 例	第 77 回日本呼吸器学会・日本結核病学会/日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 九州支部 夏季学術講演会
田代宏樹、高橋浩一郎、加藤剛、林真一郎、木村晋也、荒金尚子	単球由来 IL-33 は HDM による気道炎症に関与する	第 56 回日本呼吸器学会学術講演会
田代宏樹、高橋浩一郎、辻百々子、平川治樹、栗原有紀、安部友範、中島千穂、小宮一利、中村朝美、田中将英、木村晋也、荒金尚子	顕微鏡的多発血管炎に合併する気管支拡張症の予後解析	第 77 回日本呼吸器学会・日本結核病学会/日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 九州支部 夏季学術講演会
田代宏樹、高橋浩一郎、辻百々子、平川治樹、栗原有紀、安部友範、中島千穂、小宮一利、田中将英、中村朝美、荒金尚子	長期経過を観察できた Multicentric Castleman' s Disease の一例	第 78 回日本呼吸器学会日本結核病学会九州支部春季学術講演会
田代宏樹、高橋浩一郎、梅口仁美、平川治樹、栗原有紀、貞松宏典、中島千穂、小宮一利、田中将英、中村朝美、荒金尚子	大葉性肺炎を呈した肺クリプトコッカス症の 1 例	第 76 回日本呼吸器学会・日本結核病学会 九州支部 春季学術講演会
田代克弥	上腸間膜動脈の門脈穿破により心不全を来した Ehlers-Danlos 症候群の一例.	第 24 回佐賀心不全研究会
田代克弥	糖原病に続発した肺高血圧症の一例.	第 2 回九州肺高血圧症研究会
田代克弥、飯田千晶	上室性頻拍による循環不全を来した TCPC 術後症例.	第 29 回九州小児不整脈研究会
田代克弥、飯田千晶、熊本崇	当院における cyclosporin A 投与例のまとめ.	九州川崎病研究会
田中 賢一 柳田公彦 高良吉雄 中野 良 遠藤広貴、千布 裕	Mix Genotype の C 型慢性肝炎に対してレディバシビル (LDV) + ソフォスブビル (SOF) を投与した一例	第 107 回日本消化器病学会九州支部例会/第 101 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
田中 敦史、多胡 素子、尾山 純一、野出 孝一	降圧目標値未達成の高血圧患者に対する従来の ARB からアジルサルタンへの切替えは、良好な降圧と同時に健康関連 QOL スコアを改善する	第 5 回臨床高血圧フォーラム
田中 敦史、東 幸仁、富山 博史、山科 章、野出 孝一	血清尿酸値と血管機能の連関解析 FMD-J 研究 (B)	第 39 回日本高血圧学会総会
田中賢一	B 型肝炎の治療について	唐津松浦地区肝疾患研究会
田中敦史、尾山純一、野出孝一	職場検診における NT-proBNP の測定からみえてくる患者像と心血管リスク因子との関連	第 39 回日本高血圧学会総会
田中雄一郎、川久保洋晴、坂田資尚、岩切龍一、藤本一真	若年健康成人におけるピロリ菌感染と逆流性食道炎：背景因子と臨床症状の検討	第 18 回日本神経消化器病学会
田島大輔、平原恵子、前田寿幸、松尾宗明、岩永晃、飯田千晶、岡本伸彦、友納優子、辻功介	新生児期に異常眼球運動・髄液糖低下をきたすもグルコーストランスポーター-1 異常症ではなかった 3 例.	第 50 回 日本てんかん学会学術集会 (静岡)

渡部 宏、大隈恵美、福田亜紗子、花鳥克幸、西山 哲、中尾佳史、横山正俊	当科におけるマイクロ波子宮内膜アブレーション手術の施行経験	佐賀産婦第 214 回学術研修会
渡邊英孝、東元健、三宅紀子、前田寿幸、樋高秀憲、青木早織、八木ひとみ、西岡憲一、城圭一郎、松本直通、副島英伸	ソトス症候群とベックウィズ・ビーデマン症候群でオーバーラップする表現型の原因探索.	第 39 回日本小児遺伝学会学術集会
渡邊英孝、東元健、三宅紀子、前田寿幸、樋高秀憲、青木早織、八木ひとみ、西岡憲一、城圭一郎、森田純代、堀居拓郎、木村美香、畑田出穂、松本直通、副島英伸	NSD1 ハプロ不全は DNA メチル化インプリント異常と遺伝子発現異常を惹起する.	第 39 回日本分子生物学会年会
島ノ江 千里、原 めぐみ、市場正良、田中 恵太郎、松本明子	LC-MS/MS による尿中グルココルチコイド類の同時測定法の確立	第 86 回日本衛生学会学術総会
島ノ江 千里、原 めぐみ、西田 裕一郎、大塚康子、南里 妃名子、堀田 美加子、安方 淳、三好信行、山田陽介、Yun-Shan Li、河井一明、葛西 宏、桧垣靖樹、田中 恵太郎	長期的な自覚ストレスと DNA 酸化損傷 (尿中 8OHdG) との関連は抑うつの高さによって異なる : J-MICC study SAGA	第 26 回日本疫学会学術総会
島津倫太郎、倉富勇一郎	胃液・十二指腸液逆流による咽喉頭および食道の病理学的変化	第 28 回日本喉頭科学会総会・学術講演会
島津倫太郎、倉富勇一郎	胃液・十二指腸液逆流モデルにおける咽喉頭の病理学的変化の検討	第 40 回日本頭頸部癌学会
島津倫太郎、倉富勇一郎	胃食道逆流症 (GERD) と口腔疾患の関連性と検討-動物モデルを用いて-	第 29 回日本口腔・咽喉科学会総会ならびに学術講演会
島内啓太、白井慎平、竹下枝里、鶴岡ななえ、坂田資尚、下田 良、坂田祐之、岩切龍一、藤本一真	長時間の低アルブミン血症を契機に発見された Blind-loop 症候群の 1 例	第 107 回日本消化器病学会九州支部例会/第 101 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
島内浩太、野口 亮、古川浩二郎、木塚貴浩、迎 洋輔、野上英次郎、伊藤 学、麓 英征、柚木純二、田中厚寿、森田茂樹	大腿動静脈瘻根治術後に発生した外腸骨静脈の巨大慢性拡張性血腫の一手術例	第 107 回日本血管外科学会九州地方会
嶋崎絵里子、門司幹男、峯崎晃充、斎藤真貴子、鈴木久美子、佐藤慎太郎、島津倫太郎、倉富勇一郎	原発性甲状腺機能亢進症 30 例に対する手術症例の検討	第 26 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会
嶋崎絵里子、門司幹男、鈴木久美子、島津倫太郎、倉富勇一郎	当科における下咽頭扁平上皮癌の治療成績の検討	第 40 回日本頭頸部癌学会
東元健、八木ひとみ、副島英伸	DNA メチル化異常不一致を示す一卵性 2 絨毛膜 2 羊膜双胎の Beckwith-Wiedemann syndrome.	第 23 回遺伝性疾患に関する出生前診断研究会
東武昇平	間欠自己導尿導入の同意取得困難症例の背景因子の検討.	第 104 回日本泌尿器科学会総会
東武昇平	女性過活動膀胱患者の眞の姿を知って日常診療に取り組むために.	Female Patient's Insight 検討会
東武昇平、永瀬圭、高原光平、有働和馬、野口満	二分脊椎症例において膀胱形態異常を来す症例の背景因子は？.	第 23 回日本排尿機能学会
東武昇平、草野脩平、藏田彩、有働和馬、野口満	膀胱尿管移行部狭窄が術前診断できなかった両側腎盂尿管移行部狭窄症の一例.	第 13 回九州小児泌尿器研究会
藤井昌志、平木将紹、江川紀幸、河野博、井手貴雄、上田純二、能城浩和	一般演題 胆 3 重複胆嚢管を伴う胆嚢結石症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術	第 107 回日本消化器病学会九州支部例会第 101 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
藤田亜美、康欽、王翀、余婷、平尾峻、鈴木里佳、熊本栄一	構造異性体によるラット脊髄膠様質における TRP チャネルの活性化-カルバクロール、チモールおよびカルボンの作用.	第 93 回日本生理学会大会
藤田亜美、朱蘭、王翀、余婷、平尾峻、鈴木里佳、熊本栄一	TRPA1 活性化を介したシトラールによる成熟ラット脊髄膠様質ニューロンの自発性興奮性シナプス伝達の促進.	第 39 回日本神経科学大会
徳丸直郎、若月 優、宇野 隆、兼安祐子、楳本智子、播磨洋子、野田真永、新部 讓、島ノ江千里、戸板孝文	骨盤リンパ節転移を有する子宮頸癌術後放射線療法/化学放射線療法 : 全国調査	第 54 回日本癌治療学会学術集会

内海沙織, 野中康德, 金谷晶子, 福成健一, 池田裕次	当院における維持透析患者の感染症症例の検討	第 61 回日本透析医学会学術集会・総会
内田雄基, 森啓輔, 下平大治, 檀上敦, 重松正仁, 陣内重雄, 野口信宏, 山下佳雄	翼突上顎領域に骨内インプラントを埋入するための CT と解剖による計測:解剖体を用いた研究	第 46 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会/第 37 回公益社団法人日本口腔インプラント学会中部支部学術大会併催
内田雄基, 檀上敦, 重松正仁, 山下佳雄, 後藤昌昭	上顎骨から蝶形骨翼状突起領域に骨内インプラントを埋入する際に留意すべき解剖学的構造:解剖体による研究	公益社団法人日本口腔インプラント学会 第 33 回九州支部学術大会
内野美穂, 西山 哲, 大隈香奈, 福田亜紗子, 橋口真理子, 大隈恵美, 野口光代, 中尾佳史, 横山正俊	原発不明癌の術前診断の結果, 開腹手術で確定診断に至った結核性腹膜炎の一例.	第 68 回日本産科婦人科学会学術講演会
南里麻己	膀胱癌にとって脂肪は味方か敵か? (特別講演)	第 74 回佐賀県泌尿器科懇話会
楠田詞也, 佐々木和美, 高崎光浩, 中尾佳史, 横山正俊	佐賀県における子宮がん死亡率高値の原因分析.	地域がん登録全国協議会 第 25 回学術集会「テーマ:全国がん登録の保健・医療への貢献」
梅木俊晴, 小松愛子, 坂本佳子, 秋吉妙美, 秋吉重康, 琴岡憲彦, 古川浩二郎, 末岡榮三朗, 森田茂樹, 野出孝一	化膿性心膜心筋炎に伴う左心室瘤の術後に心エコー図で心破裂を診断しえた 1 例	一般社団法人日本心エコー図学会 第 27 回学術集会
白井慎平, 坂田資尚, 岩切龍一	薬剤性消化管障害の現状と対策:高齢者における薬剤起因性上部消化管出血の特徴	第 102 回日本消化器病学会総会
白井慎平, 坂田資尚, 岩切龍一, 藤本一眞, 水口昌伸	佐賀県における胃癌集団検診成績	第 55 回日本消化器がん検診学会総会
白井慎平, 松浦聡子, 竹下枝里, 川久保洋晴, 内田匡彦, 山内康平, 鶴岡ななえ, 坂田資尚, 岩切龍一, 藤本一眞	当院における上部消化管出血の非抗血栓療法患者と抗血栓療法患者の比較検討	第 12 回日本消化管学会総会学術集会
白井慎平, 鶴岡ななえ, 坂田資尚	潰瘍性大腸炎の白血球除去療法による寛解導入療法と粘膜評価	第 24 回 日本消化器関連学会週間 (JDDW 2016)
白鳥卓麻, 久木田明子, 上原範久, 久本由香里, 張旌旗, 山座孝義, 古谷野潔, 久木田敏夫	病的に活性化された破骨細胞:形成条件の検討と蛍光プローブを用いた骨吸収イメージング	第 58 回歯科基礎医学会学術大会
白鳥卓麻, 上原範久, 久本由香里, 久木田明子, 徐祥赫, 古谷野潔, 久木田敏夫	病的骨破壊の特異的成語を目指して:炎症性サイトカイン刺激で形成された破骨細胞は病的に活性化された破骨細胞か?	第 34 回日本骨代謝学会学術集会 第 3 回アジア太平洋骨代謝学会議
白木誠, 徐祥赫, 蒲原麻菜, 馬渡正明, 久木田明子	ストレス応答タンパク質 Nuclear protein 1/p8 の破骨細胞における新たな機能	第 34 回日本骨代謝学会学術集会・第 3 回アジア太平洋骨代謝学会議
飯田千晶, 田代克弥, 倉岡彩子	主肺動脈拡張による左肺動脈狭窄により急性右心不全を発症した Large ASD の 1 例.	第 52 回日本小児循環器学会総会・学術集会
樋高秀憲, 東元健, 青木早織, 渡邊英孝, 前田寿幸, 古賀靖大, 岩切龍一, 能城浩和, 藤本一眞, 副島英伸	大腸癌におけるインプリント DMR の包括的メチル化解析.	第 10 回日本エピジェネティクス研究会年会
尾形善康, 古賀大介, 西眞範, 久富万智子, 須山ゆかり, 松尾宗明	毛細血管拡張性肉芽腫より出血し外科的切除を行ったインヒビター陽性重症血友病 B の幼児例.	第 38 回日本血栓止血学会学術集会
尾形善康, 須山ゆかり, 米良智子, 市丸智浩, 松尾宗明	コルヒチンを使用してステロイド減量が可能となった TNF 受容体関連周期性症候群の一例.	第 26 回日本小児リウマチ学会総会・学術集会
尾形善康, 須山ゆかり, 米良智子, 市丸智浩, 松尾宗明	当科における家族性地中海熱以外の自己炎症性疾患へのコルヒチンの使用経験.	第 52 回九州リウマチ学会
富野広通, 溝端理恵, 岩永 学, 松尾宗明	性分化疾患の初期対応をした総排泄腔外反症の 1 例.	第 76 回佐賀小児科地方会
富野広通, 大塚泰史, 在津正文, 陣内久美子, 大串栄彦, 岡 政史, 佐藤忠司, 布井博幸, 松尾宗明	MERS を合併した急性巣状細菌性腎炎の 1 例におけるサイトカインの検討.	第 75 回佐賀小児科地方会・第 199 回日本小児科学会長崎地方合同地方会
富野広通, 田島大輔, 前田寿幸, 田代克弥, 松尾宗明	けいれんで発症した自己免疫性自律神経節障害の一例.	第 119 回日本小児科学会学術集会
富野広通, 田島大輔, 田代克弥, 前田寿幸, 松尾宗明, 小杉雅史, 中根俊成	けいれん, 発作性上室性頻脈で発症した自己免疫性自律神経節障害の 1 例.	第 80 回日本小児神経学会九州地方会

武下 剛, 中園 貴彦, 山口 健, 入江 裕之, 西山 哲, 橋口 真理子, 横山 正俊, 内橋 和芳, 甲斐 敬太	Chemical shift imagingにて脂肪が検出された卵巣セルトリ・ライディック細胞腫の1例	第75回日本医学放射線学会総会
副島英伸	Genomic imprinting: Beckwith-Wiedemann syndrome and related disorders ゲノムインプリンティング - Beckwith-Wiedemann 症候群と関連疾患 -	平成27年度熊本大学医学・生命科学セミナー
副島英伸	インプリンティング疾患の原因と臨床的特徴.	New Insights of Molecular Genetics on Growth Disorders.
副島英伸	ゲノムインプリンティング異常と関連疾患.	愛媛大学セミナー
副島英伸	ゲノムインプリンティング異常の原因と関連疾患.	TARA Life Science Center of Tsukuba Advanced Research Alliance TARA Seminar
福地 絢子, 江橋 諒, 高瀬 幸徳, 吉岡 史隆, 下川 尚子, 劉 軒, 若宮 富浩, 緒方 敦之, 増岡 淳, 河島 雅到, 阿部 竜也, 小宮山 雅樹	軟膜動脈静脈瘻破裂に対し経動脈的塞栓術を施行した1例.	第122回一般社団法人日本脳神経外科学会九州支部会
福地絢子, 今長谷尚史, 阪本雄一郎, 西純平, 太田美穂, 八幡真由子, 梅香満, 三池徹, 永嶋太, 岩村高志, 井上聡	複数の症候を合併した神経因性食思不振症の集学的治療に成功した1例	第44回日本救急医学会総会・学術集会 (学生・研修医セッション ポスター7)
福田亜紗子, 橋口真理子, 甲斐敬太, 西山 哲, 大隈恵美, 野口光代, 内山倫子, 中尾佳史, 相島慎一, 横山正俊	捺印細胞診を行った Atypical polypoid adenomyoma (APAM) の1例.	第32回日本臨床細胞学会九州連合会学会
福田亜紗子, 西山 哲, 橋口真理子, 大隈恵美, 野口光代, 内山倫子, 中尾佳史, 横山正俊	子宮頸部細胞診で判断しえた子宮頸部小細胞癌の2例.	第55回日本臨床細胞学会秋期大会
福田誠, 淡浪由希, 山崎政虎, 野中康徳, 寛松麻衣, 宮園素明, 池田裕次	当院における多発性嚢胞腎の実態 ICD-10 を用いた検討	第46回日本腎臓学会西部学術大会
福田誠, 淡浪由希, 泉枝理子, 山口彩絵, 松本圭一郎, 実松麻衣, 岸知哉, 宮園素明, 安西慶三, 池田裕次	33年間の糖尿病性腎症の透析導入症例の特徴	第59回日本腎臓学会学術総会
福田智子, 白武弥紗, 岡田直子, 大野明博, 坂田資尚, 鶴岡ななえ, 下田良, 岩切龍一	大腸内視鏡治療時の適切な機器の使用を目指して 高周波装置使用における有用な対極版の貼付部位に関する検討	第24回日本大腸検査学会九州支部会
平原恵子, 松尾宗明	神経線維腫症1型の中樞神経合併症について.	第58回日本小児神経学会学術集会
平原恵子, 前田寿幸, 松尾宗明	TRH療法を施行した Lennox-Gastaut 症候群の4例.	第50回 日本てんかん学会学術集会 (静岡)
平川治樹, 小宮一利, 栗原有紀, 中島千穂, 田中将英, 中村朝美, 高橋浩一郎, 木村晋也, 荒金尚子	再々生検にてT790M陽性を確認し得たEGFR遺伝子変異陽性肺癌の1例	第57回日本肺癌学会九州支部学術集会/第40回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会
平川治樹, 小宮一利, 貞松宏典, 中島千穂, 中村朝美, 木村晋也, 荒金尚子	導入化学療法後に急速に進行した縦隔原発混合型胚細胞腫瘍の1例	第56回日本肺癌学会九州支部学術集会/第39回日本呼吸器内視鏡学会九州支部総会
平田静香, 山内康平, 芥川剛至, 鶴岡ななえ, 坂田資尚, 下田 良, 岩切龍一, 藤本一真.	繰り返す小腸出血に対し、大動脈弁置換術により症状の改善を得た Heyde 症状群の1例	第107回日本消化器病学会九州支部例会/第101回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
平田早恵, 吉崎真衣, 松本圭一郎, 福田誠, 大塚伸, 高島毅, 宮園素明, 池田裕次	運動後に急性腎不全を繰り返した1例	第312回日本内科学会九州地方会
平田早恵, 吉崎真衣, 松本圭一郎, 福田誠, 大塚伸, 高島毅, 谷口啓輔, 宮園素明, 池田裕次	慢性腎不全の経過中に尿管癌による水腎症、急性腎盂腎炎を来した一例	第46回日本腎臓学会西部学術大会
平尾峻, 藤田亜美, 坂井愛子, 王翀, 余婷, 鈴木里佳, 熊本栄一	蛙坐骨神経の複合活動電位に及ぼす抗うつ薬の抑制作用.	第93回日本生理学会大会
平尾峻, 藤田亜美, 坂井愛子, 王翀, 余婷, 鈴木里佳, 熊本栄一	抗うつ薬による蛙坐骨神経の複合活動電位の抑制.	第38回日本疼痛学会
平尾峻, 藤田亜美, 坂井愛子, 王翀, 余婷, 鈴木里佳, 熊本栄一	様々な種類の抗うつ薬による蛙坐骨神経の複合活動電位の抑制.	第39回日本神経科学大会
平尾峻, 藤田亜美, 坂井愛子, 鈴木里佳, 馬郡信弥, 王翀, 熊本栄一	抗うつ薬は蛙坐骨神経の複合活動電位を抑制する.	第67回西日本生理学会

平木将紹、北川浩、與田幸恵、能城浩和	一般演題（ポスター）胃：鏡視下手術4（胃全摘）腹腔鏡下胃全摘術後の内ヘルニアの発症に対する検討と対策	第71回日本消化器外科学会総会
米倉直美、永瀬浩太郎、小川始主夏、木村裕美、井上卓也、成澤寛	左頬部に生じた紅色結節の1例	第68回日本皮膚科学会西部支部学術大会
米良智子、西 眞範、古賀大介、辻百々子、七條正英、尾形善康、森田駿、辻 功介、松尾宗明	思春期発症の全身型若年性特発性関節炎の1例.	第74回佐賀小児科地方会
別府 宏一郎、野下 祥太郎、窪津祥仁、吉岡 航、村山 賢一郎、秋山巧、高橋 宏和、安西 慶三、江口 有一郎	肝硬変患者において猫咬傷を契機に Pasteurella 腹膜炎を来した一例	第108回日本消化器病学会九州支部例会/第102回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
峯崎晃充、嶋崎絵里子、鈴木久美子、門司幹男、島津倫太郎、倉富勇一郎	当科における進行舌癌症例の検討	第40回日本頭頸部癌学会
北川浩、松倉史郎、中城博見、鶴安浩、湯ノ谷誠二	一般演題 大腸6 S 状結腸癌との鑑別に苦慮した魚骨潰瘍の一例	第107回日本消化器病学会九州支部例会第101回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
北島 陽一郎、高橋 宏和、窪津 祥仁、濱岡 和宏、小野 尚文、江口 尚久、江口 有一郎、安西 慶三	非代償性肝硬変患者への分岐鎖アミノ酸療法と骨格筋の関与	第24回日本消化器関連学会週間（JDDW）2016
北島 陽一郎、高橋 宏和、江口 有一郎	NAFLD、T2DM 合併 NAFLD への食事運動介入による筋の質と量の改善は慢性腎臓病の進行を抑制する	第52回日本肝臓学会総会
北島陽一郎 窪津祥仁 濱岡和宏 小野尚文 江口尚久 高橋宏和 安西慶三 江口有一郎	NAFLD、T2DM 合併 NAFLD への食事運動介入は肝筋腎連関で慢性腎臓病を抑制する	第24回肝病態生理研究会
北島陽一郎 高橋宏和 窪津祥仁 濱岡和宏 小野尚文 江口尚久 角田 圭雄 兵庫 秀幸 江口有一郎 安西慶三	NASH進展におけるサルコペニア肥満と筋脂肪化、腓β細胞機能低下との関係	第3回肝臓と糖尿病・代謝研究会
牧尾誠二郎、濱田洋平、浦上宗治、於保恵、草場耕二、青木洋介	血液培養陽性検体での菌種推定が困難であった市中敗血症の1例	第86回日本感染症学会西日本地方会学術集会/第59回日本感染症学会中日本地方会学術集会/第64回日本化学療法学会西日本支部総会
堀いくみ、河村理恵、中林一彦、家田大輔、大橋圭、根岸豊、服部文子、杉尾嘉嗣、涌井敬子、黒澤健司、秦健一郎、副島英伸、齋藤伸治	CTCF 遺伝子欠失を認めた2女児の臨床的および遺伝学的検討.	第39回日本小児遺伝学会学術集会
堀田千恵子、池田貯、松藤祥平、久保洋、古賀浩木、姉川剛、三好篤、隅健次、田中聡也、北原賢二、佐藤清治	専修医発表 大腸1 原発性虫垂重積症の一例	第107回日本消化器病学会九州支部例会第101回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
末岡榮三朗、中村秀明、柘植薫	Indolent ATL を対象とした総合的診療体制の構築	第3回日本 HTLV-1 学会学術集会
木村直也、東武昇平、草野脩平、永瀬圭、南里麻己、有働和馬、野口満	骨盤内腫瘍に対する腹腔鏡下腫瘍生検.	日本泌尿器科学会第81回佐賀地方会
木塚雅之、白井慎平、伊東陽一郎、坂田資尚、岩切龍一、藤本一真	ESD で治療しえた異所性胃腺原発早期胃癌の1例	第108回日本消化器病学会九州支部例会/第102回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
門司幹男、島津倫太郎、鈴木久美子、齋藤真貴子、倉富勇一郎	当科における声門癌の治療成績	第117回日本耳鼻咽喉科学会通常総会・学術講演会
野下 祥太郎、窪津 祥仁、吉岡航村山 賢一郎、秋山 巧、高橋 宏和、相島慎一江口有一郎、安西慶三	多発限局性結節性過形成を合併した再発肝細胞癌の一例	第108回日本消化器病学会九州支部例会/第102回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
野口光代、相原聡美、西山 哲、大隈恵美、橋口真理子、内山倫子、中尾佳史、横山正俊	プラチナ耐性再発卵巣がんに対するペバシズマブ+トポテカン併用療法.	第54回日本癌治療学会学術集会.
野口満、南里麻己、藏田彩、有働和馬、東武昇平	Managing OAB with underlying comorbidity in children	第25回日本小児泌尿器科学会総会・学術集会
野上英次郎、古川浩二郎、七條正英、木塚貴浩、古館 晃、高松正憲、柚木純二、田中厚寿、森田茂樹	Cleft による僧帽弁閉鎖不全症に対して外科治療を行った2例	第120回日本循環器学会九州地方会
野上英次郎、古川浩二郎、七條正英、木塚貴浩、古館 晃、高松正憲、柚木塚貴浩、古館 晃、高松正憲、柚木	オープンステントグラフトを併用した弓部大動脈置換術～自作及び企業製の早期、中期成績の比較～	第69回日本胸部外科学会定期学術集会

木純二, 田中厚寿, 森田茂樹		
野上英次郎, 柚木純二, 木塚貴浩, 迎 洋輔, 野口 亮, 伊藤 学, 麓 英征, 田中厚寿, 古川浩二郎, 森田茂樹	当科における胸部大動脈緊急疾患へのステントグラフト治療の早期および中期成績	第 46 回日本心臓血管外科学会学術総会
野上英次郎, 柚木純二, 木塚貴浩, 野口 亮, 麓 英征, 田中厚寿, 古川浩二郎, 森田茂樹	大動脈弁生体弁置換術後弓部瘤に心尖部アプローチで TEVAR を施行した 1 例	第 44 回日本血管外科学会学術総会
野中 小百合, 川人 学, 山田 クリス 孝介, 藤井 進, 福島 常浩, 末岡 榮三朗, 宮崎 耕治	自己疾病管理を目的とした PHR カードの発行とサービスの開始と評価 —佐賀 MIRCA—	第 36 回医療情報学連合大会 (第 17 回日本医療情報学会学術大会)
野中康徳, 淡波由希, 實松麻衣, 福田誠, 宮園素明, 池田裕次	カンジダ菌血症加療後に生じたカンジダ性脊椎炎の透析患者の一例	第 49 回九州人工透析研究会総会
野田岩男, 宮本比呂志, 古畑友基, 上野雅也, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明	次世代型抗菌性ハイドロキシアパタイトコーティング-銀イオンの溶出特性とバイオフィルム形成阻害効果に対する持続性評価-	日本防菌防黴学会第 43 回年次大会
野田岩男, 宮本比呂志, 上野雅也, 江頭秀一, 塚本正紹, 河野俊介, 園畑素樹, 馬渡正明	次世代型抗菌性ハイドロキシアパタイトコーティング-銀イオン溶出特性とバイオフィルム形成阻害効果の長期評価-	第 46 回日本人工関節学会
柳田公彦 田中賢一 高良吉迪 中野 良 遠藤広貴, 千布 裕	血液透析患者における C 型肝炎治療の経験	第 107 回日本消化器病学会九州支部例会/第 101 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会
有働和馬, 永瀬圭, 藏田彩, 南里麻己, 東武昇平, 野口満	ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術の手術時間延長に影響する因子の検討.	第 30 回日本泌尿器内視鏡学会
柚木純二, 挽地裕, 下村光洋, 坂本佳子, 野上英次郎, 井上洋平, 古川浩二郎, 野出孝一, 森田茂樹	TAVI における Corevalve の使用経験	第 120 回日本循環器学会九州地方会
李銀姫, 久木田明子, 久木由香里, 久木田敏夫	活発に機能する破骨細胞における Wilms' Tumor-1 (WT1) アンチセンス RNA の高発現と破骨細胞分化制御	日本解剖学会第 72 回九州支部学術集会
立川 温子, 若宮 富浩, 下川 尚子, 河島 雅到, 江橋 諒, 劉 軒, 吉岡史隆, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 中原由紀子, 増岡 淳, 阿部 竜也	妊娠 3 4 週に発症したくも膜下出血の 1 例.	第 123 回一般社団法人日本脳神経外科学会九州支部会.
劉 軒, 河島 雅到, 江橋 諒, 若宮 富浩, 吉岡 史隆, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 中原 由紀子, 下川 尚子, 増岡 淳, 阿部 竜也	出血発症した脳幹部海綿状血管腫に対して Anterior Transpetrosal Approach で摘出術を行った 1 例.	第 124 回一般社団法人日本脳神経外科学会九州支部会.
劉 軒, 江橋 諒, 若宮 富浩, 吉岡 史隆, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 中原 由紀子, 増岡 淳, 下川 尚子, 河島 雅到, 阿部 竜也	頭蓋頸椎移行部硬膜動静脈瘤の脳内出血例の臨床的特徴.	一般社団法人 日本脳神経外科学会 第 75 回学術総会
劉 軒, 江橋 諒, 若宮 富浩, 吉岡 史隆, 緒方 敦之, 高瀬 幸徳, 中原 由紀子, 増岡 淳, 下川 尚子, 河島 雅到, 阿部 竜也	脳幹部病変に対する外科的アプローチ.	第 48 回佐賀脳神経外科懇話会
龍 由希子, 甲斐 敬太, 檜崎 さやか, 中村 光男, 次富 久之, 久保田 寧, 木村 晋也, 末岡 榮三朗, 相島 慎一	腺癌と Mantle cell lymphoma を同時に胸水中に認めた一例	第 32 回日本臨床細胞学会九州連合会学会
林 久雄, 金井督之, 佐護直人, 山崎文朗, 中尾佳史, 横山正俊	赤色変性筋腫による急性腹症を疑った一例.	第 58 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会
鈴木智恵子, 鈴木敏江	皮膚清潔ケアを見直してみませんか?—看護学生によるスキンケア教室を通して—	日本小児看護学会第 26 回学術集会
脇山幸大, 北島吉彦, 田中智和, 金木正夫, 馬場耕一, 佐藤博文, 中村淳, 柳原五吉, 能城浩和	P-1223 HIF-1 α 阻害剤 YC-1+GI 併用療法は、ワールブルグ効果をターゲットとした胃癌の新規薬物療法となりうる	第 75 回日本癌学会学術総会

脇山幸大、北島吉彦、田中智和、金木正夫、馬場耕一、佐藤博文、奥山桂一郎、北川浩、中村淳、柳原五吉、能城浩和	Warburg 効果をターゲットとした胃癌に対する新規薬物療法~HIF-1 α 阻害剤YC-1+GI 療法の機序解析と臨床応用への可能性	第4回がんと代謝研究会 in 鹿児島
櫻井良太、永嶋太、梅香満、太田美穂、今長谷尚史、八幡真由子、小網博之、三池徹、岩村高志、井上聡、阪本雄一郎	明らかな胸腹部外傷の合併なく発症した横隔膜ヘルニアの一例	第44回日本救急医学会総会・学術集会（ポスター72：外傷一般3）
濱田 献、平川奈緒美、石川亜佐子、笹栗智子	治療に難渋した薬剤の使用過多による頭痛の1症例	第45回日本慢性疼痛学会
續啓史、有信洋二郎、宮脇恒太、高木綾子、大田俊一郎、植木尚子、大田友里、Siamak T、赤星光輝、新納宏昭、塚本浩、堀内孝彦、太田昭一郎、出原賢治、福井裕行、赤司浩一、藏田彩、有働和馬、東武昇平、野口満	苦参は好酸球造血及び遊走を阻害することで好酸球性気道炎症を抑制する	第89回日本薬理学会年会
藏田彩、一番ヶ瀬優佳、柿木寛明、有働和馬、東武昇平、野口満	尿管ステント留置中に尿管動脈瘻を来した1例.	第30回日本泌尿器内視鏡学会総会
藏田彩、高原光平、南里麻己、有働和馬、東武昇平、野口満	下部尿管腫瘍に対する尿管・膀胱部分切除術の試み.	第74回佐賀県泌尿器科懇話会
霧岡祥子、森 啓輔、合島怜央奈、下平大治、檀上 敦、山下佳雄	当科における口腔顔面痛患者に対する治療法の検討	佐賀痛みを考える会
山岡禎久、山本壮理、高橋英嗣	超音波を用いた超音波トランスデューサ指向性評価に関する検討	日本超音波医学会第89回学術集会基礎1シンポジウム 光と超音波の融合によるイメージングモダリティの新展開, 201605
Takahashi E	Imaging of oxygen in single cardiac myocyte reveals intracellular trafficking of energy	Ireland-Japan Joint Seminar: Membrane trafficking, cilia and oxygen sensing, 201610
高橋英嗣	がんの遠隔転移：がん細胞は酸素をもとめて遊走するか？	酸素ダイナミクスに関するセミナー, 201610
Takahashi E	Life with less oxygen: how mitochondria sustain membrane potential in metabolic reprogramming	UCC, School of Biochemistry and Cell Biology Seminar, 201704
藤原隆祐、大久保魁馬、霧野雄介、井上海大、山岡禎久、高橋英嗣	MDA-MB-231 細胞の遊走方向を決める細胞外因子	第21回酸素ダイナミクス研究会オーガナイズドセッション1 酸素ダイナミクスへの工学的アプローチ, 201709
Takahashi E.	Anoxic core in single cardiac myocyte: how the cell survives in hypoxia.	群馬大学理工学府分子科学部門大学院セミナー, 201711
花本猛士	含フッ素ビニルスルホニウム塩の合成と展開	有機合成化学講演会, 201706
半田 賢司	Hierarchical coagulation-fragmentation equations	研究集会「マルコフ過程とその周辺」、とくぎんトモニプラザ（徳島市）、201701
石渡洋一、石井啓文、南任真史、木田徹也	V203 ナノ結晶の不純物誘起金属絶縁体転移	第26回日本MRS年次大会, 201612
川喜田英孝	流れや膜を用いた粒子の分離	県立広島大学 特別講義, 2016
Tsugio Kitamura	Hypervalent Iodine-Mediated Fluorination: Catalytic and Stoichiometric Approaches	5th International Conference on Hypervalent Iodine Chemistry, 201607
坂口 幸一	印刷技術を利用した電子素子ものづくり	佐賀環境フォーラム, 201605
坂口 幸一	溶媒親和性炭素材料の合成と評価	2016 物理化学インターカレッジ, 201611
M. Tominaga,	Energy Conversion Systems Using Biocatalytic Fuel Cell	Invited Talk in the Research Quality Circle, Gandhigram Rural Institute - Deemed University, 201612
M. Tominaga	High Potential Oxygen Reduction at Laccase-Modified SWCNT Electrode for Enzyme Catalytic Fuel Cell	Abstracts of the First International Conference on Advanced Materials, (SCICON 16), Amrita Vishwa Vidyapeetham (Amrita University), 201612

M. Tominaga	Energy Conversion Systems with Biocatalytic Fuel Cells	Abstract Book of the 3rd International Seminar on Fundamental and Application of Chemical Engineering (ISFACHE 2016), Sheraton Surabaya Hotel& Towers, Surabaya, Indonesia (2016), 201611
M. Tominaga	Fast Direct Electron Transfer Reaction of Laccase at Biosurfactant-Modified Single-Walled Carbon Nanotubes	Abstracts of France-Japan Meeting on (bio)-functionalization of nanostructured carbon and (bio)-electrocatalytic applications, University of Grenoble Alpes, Grenoble Alpes, France, 201609
M. Tominaga	Mud Battery for Power Generation and Clean Up	International Guest Lecture of Chemical Engineering Department, Institute Teknologi Sepuluh Nopember Surabaya, Indonesia, 201605
富永昌人	単層カーボンナノチューブ界面の酵素触媒機能化	機能性有機・無機材料フォーラム-中嶋直敏先生御退職記念講演会-, 高分子学会九州支部 有機材料研究グループ研究会, 201703
富永昌人	電気化学測定から解ること~これまでの研究例を交えて~	工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀、佐賀大学, 201610
富永昌人	ラッカーゼとの電子移動反応速度に及ぼすナノカーボンのサイズ効果	第 65 回高分子討論会要旨集, 201609
富永昌人	生物電気化学からの展開—酵素パワー、泥の電池まで	新学術領域「分子ロボティクス」定例研究会講演会, 201607
竹下道範	光スイッチとしてのフォトクロミックシクロファン類の開発	化学関連支部合同九州大会, 201607
Shintaro Morisada,	Fabrication of Non-Close-Packed Colloidal Layers by Convective Self-Assembly Using Polyelectrolyte-Grafted Silica Particles	The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials (ISPCAM 2016), L01, Liaoning University, Shenyang, China, 201612
森貞真太郎	機能性高分子を用いた液相吸着剤の開発	第 27 回吸着シンポジウム: 吸着夏の学校, ホテルメイプルイン幕張, 千葉, 201708
K. Ohto	Preparation history of phosphonic acid type extraction reagents for rare earth metals	German-Japanese Symposium "Bridge Dresden-Japan ", 201605
K. Ohto	Precious metal separation with calixarene derivatives using microreactor system	4nd International conference on methods and materials for separation processes SEPARATION SCIENCE - THEORY AND PRACTICE 2016, 201609
K. Ohto	Size-discriminative coextraction of sodium and other metal ions with calix[4]arene derivatives	Daegu University Seminar, 201701
K. Ohto	Metal separation with macrocyclic compounds and application	Lecture at Superhoo Industries Company Ltd., 201611
大渡啓介	金属分離剤の分子設計のための構造効果と弱い相互作用に対する理解と応用	第 3 回「貴金属抽出分離研究会」, 201701
高椋利幸	イオン液体と分子性液体の混合状態と遷移金属イオンの錯形成平衡に対するその効果	第 29 回九州分析化学若手の会春の講演会, 福岡, 201605
高椋利幸	ヘキサフルオロイソプロパノールの溶媒和挙動と生体関連分子に対するその影響	研究会「分子を使った寄せ木細工」~自己組織化したソフトマテリアルが織りなす「かたち」と機能~, 松江, 201605
高椋利幸	量子ビームを用いたイオン液体の物性分析	第 54 回化学関連支部合同九州大会, 北九州, 201707

木村拓馬	最適化問題に関連する精度保証付き数値計算法について	第 28 回 RAMP シンポジウム, 201610
Tomo Takahashi	How can we probe inflation and the origin of density fluctuations?	JGRG26, Osaka City University, 201610
Tomo Takahashi	Dark matter and bounds on the reheating temperature	HPNP2017 (The 3rd International Workshop on "Higgs as a Probe of New Physics"), 201703
梅木辰也	CO2 化学吸収液の探索と分子間相互作用の解明	第 32 回緑陰セミナー, 201607
梅木辰也	CO2 化学吸収液の探索と反応機構解明	第 19 回連携大学院産学官交流セミナー, 201701
海野雅司	ラマン円偏光二色性分光を用いた色素タンパク質の構造解析	第四回 分子設計研究会, 201606
Unno, M	Raman Optical Activity of Photoreceptor Proteins under Pre-resonance and Resonance Conditions	Fifth International Conference on Vibrational Optical Activity, 201609
山岡禎久、山本壮里、高橋英嗣	光音響法を用いた超音波トランスデューサ指向性評価の検討	第 89 回日本超音波医学会学術集会シンポジウム「光と超音波融合によるイメージングモダリティの新展開」, 201605
山岡禎久	Improvement of imaging speed and contrast in two-photon photoacoustic microscopy (TP-PAM)	Biomedical Imaging and Sensing Conference 2016 (BISC' 16), 201605
山岡禎久	医療応用を目指した生体深部光音響イメージング技術	第 141 回微小光学研究会「メディカル・バイオフィotonics に革新をもたらす微小光学」, 201609
山岡禎久	生体深部観察のための光音響顕微鏡と非線形光学の融合	第 11 回 NIBB バイオイメージングフォーラム, 201702
山岡禎久	深部観察のための光音響顕微鏡 — 光と超音波の融合 —	埼玉大学『脳科学セミナー・ミニシンポジウム』, 201703
山岡禎久	生体光音響顕微鏡 — 高空間分解能化、高深達距離化への試み —	レーザー学会学術講演会 第 38 回年次大会, 201801
Takehiko Yamato	Advanced Pyrene-Based Luminescent Materials	特別講演会 西北大学材料科学院 (School of Chemistry and Materials, Northwest University, Xi'an, China), 201607
Takehiko Yamato	Calixarene Based Fluorescent Chemosensors	特別講演会 カーティン大学化学科 (Curtin University, Australia) 2016 年 11 月 17 日~18 日, 201611
Takehiko Yamato	Calixarene-based Fluorescent Chemosensors via Click Chemistr	The 7th Liaoning University-Saga University Joint Seminar (International Seminar, Liaoning University, (Shenyang, China), 2016 年 12 月 8-9 日, 201612
Takehiko Yamat	Advanced Pyrene-Based Luminescent Materials	特別講演会シンガポール国立大学化学科 (National University of Singapore) (Singapore) 2017 年 1 月 5 日, 201701
Takehiko Yamato	Brief Guide of Saga University, National University Corporation, Japan	特別講演会 マンダレー大学 (Mandalay University) Myanmar 2017 年 2 月 22 日-23 日, 201702
永尾晃治	食品の機能性について-佐賀の特産食材を中心に-	「食道楽さが」研修会, 201606
永尾晃治	コレステロール代謝と食事	第 118 回食用加工油脂技術研究会, 201609
永尾晃治、柳田晃良	脂質構造異性体とメタボリックシンドローム	第 71 回日本栄養・食糧学会大会シンポジウム, 201705
永尾晃治	メタボ予防における佐賀県産品の可能性	「さがフード&コスメラボ」キックオフセミナー, 201707
Mitsutomi M., Y. Nishiyama, S. Mitsuyuki. and K. Seki.	Characterization of an exo-chitobiohydrolase, a new exo-type chitosanase, from Gongronella butleri	11th Asia Pacific Chitin & Chitosan Symposium (India), 201609
大島一里	植物ウイルスの分子進化：起源そして農業史との関連性	福岡県保健環境研究所, 201612

光武 進	細胞膜脂質と食品機能	日本農芸化学会 2016 年度西日本支部会, 201609
権藤圭祐、小山田重蔵、北村二雄	トリメチルシリルアレーン類のアシルオキシ化反応	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
中森晴香、小山田重蔵、北村二雄	アルキンの臭素化反応による 3-プロモチオフェン誘導体の簡便合成	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
三宅あずさ、小山田重蔵、北村二雄	新規環状超原子価ヨウ素化合物の合成	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
江口伸夫、小山田重蔵、北村二雄	1,2-ビス(トリメチルシリル)ベンゼンの機能基変換	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
水野翔太、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるアルキン類の簡便フッ素化反応の開発	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
田中英彦、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるトリメチルシリル置換アントラセンの合成	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
山田 蓮、小山田重蔵、北村二雄	アルキンのヒドロアリアル化反応の新規触媒の開発	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
前田太成、小山田重蔵、北村二雄	二酸化炭素を原料とする環状カルボナート及びカルバメートの合成	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
山崎雄輝、小山田重蔵、北村二雄	かさ高い置換基をもつ超原子価ヨウ素化合物の合成と反応	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
光富大貴、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素ベンザイン発生剤とアジリジンの反応	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
江口伸夫、北村二雄、小山田重蔵	2,1,2-ビス(トリメチルシリル)ベンゼンの官能基変換	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
林田和也、小山田重蔵、北村二雄	ポリチオフェン及びオリゴチオフェンに関する研究	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
田中英彦、山田凜、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるトリメチルシリル置換アントラセンの合成	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
中森晴香、森田一弘、小山田重蔵、北村二雄	[1]ベンゾチエノ [3,2-b] [1]ベンゾチオフェン(BTBT)誘導体の新しい合成方法	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
三宅あずさ、牟田健祐、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素によるアルケンの分子内アミノフッ素化反応	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
光富大貴、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素ベンザイン発生剤とアジリジンの反応	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
山田 蓮、小山田重蔵、北村二雄	アルキンのヒドロアリアル化反応の新規触媒の開発	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
水野翔太、牟田健祐、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いたアルキン類の簡便フッ素化反応の開発	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
権藤圭祐、小山田重蔵、北村二雄	トリメチルシリルアレーン類の脱シリル化/アシルオキシ化反応の開発	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
山崎雄輝、小山田重蔵、北村二雄	嵩高い置換基をもつ超原子価ヨウ素化合物の合成と反応	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
榎田 祐也、矢原 大裕、吉田 拓磨、霧野 雄介、大久保 魁馬、馬場 嵐、山岡 禎久、高橋 英嗣	MDA-MB-231 細胞遊走の pH 依存性	第 55 回日本生体医工学会大会, 201604
山岡禎久、宇野友貴、山本壮里、原田義規、高松哲郎、高橋英嗣	2 光子光音響顕微鏡高速化のための光学系最適化	第 55 回日本生体医工学会大会, 201604
Takahashi E	Mitochondrial membrane potential in DMOG model of metabolic reprogramming.	ISOTT2016, 201607
Enokida Y, Tsuruno Y, Okubo K, Yamaoka Y, Takahashi E	Directional migration of MDA-MB-231 cells under O ₂ /pH gradients.	ISOTT2016, 201607
高橋英嗣	酸素を必要としないミトコンドリア呼吸の可能性	第 67 回西日本生理学会, 201610
霧野雄介、大久保魁馬、藤原隆祐、榎田祐也、高橋英嗣	MDA-MB-231 細胞は metabolic gradient 下で方向性に遊走する	第 14 回がん&ハイボキシア研究会, 201611
霧野雄介、大久保魁馬、藤原隆祐、榎田祐也、山岡禎久、高橋英嗣	Metabolic gradients 下の細胞遊走	第 20 回酸素ダイナミクス研究会, 201611

遠藤大輔, 吉田克己, 多々見純一, 高橋英嗣, 山岡禎久	セラミックス内部欠陥評価を目指した光音響イメージング技術の開発	レーザー学会学術講演会第37回年次大会 E207p104, 201701
山本壮里, 高橋英嗣, 山岡禎久	光音響イメージングにおける相互相関法を用いた光音響信号の選択的検出	レーザー学会学術講演会第37回年次大会 I408pVII102, 201701
大久保魁馬, 霧野雄介, 藤原隆祐, 榎田祐也, 山岡禎久, 高橋英嗣	培養細胞培地に形成される02勾配のイメージング	日本生体医工学会九州支部学術講演会 2A2, 201703
Tsuruno Y, Okubo K, Fujiwara T, Yamaoka Y, Takahashi E	An in vitro model for determining tumor cell migration under metabolic gradients.	ISOTT2017, 201708
Takahashi E, Inoue U	Dimethylaloxalylglycine-induced changes in mitochondria morphology and respiration	ISOTT2017, 201708
Yamaoka Y, Yamamoto A, Noutsuka Y, Endo D, Takahashi E	Generation of photoacoustic signals using femtosecond optical pulses for photoacoustic imaging	The 24th Congress of the International Commission for Optics (ICO-24), 201708
遠藤大輔, 山本壮里, 多々見純一, 高橋英嗣, 山岡禎久	光音響イメージングを用いた窒化ケイ素の表面欠陥評価	第78回応用物理学会秋季学術講演会, 201709
山本壮里, 高橋英嗣, 山岡禎久	波形の選択的検出による光音響イメージングの高感度化	第78回応用物理学会秋季学術講演会, 201709
能塚雄介, 山本壮里, 栗原 誠, 橋本信幸, 高橋英嗣, 山岡禎久	補償光学素子を用いた光音響顕微鏡の高空間分解能化	第78回応用物理学会秋季学術講演会, 201709
黒里郁仁, 石川卓也, 山田泰教, 花本猛士	2-CF2H-N-Ts アジリジンを用いたβ-CF2H-トリプタミン誘導体の簡便合成	第26回万有福岡シンポジウム, 201604
道城正和, 花本猛士	β-ブromo-β-(トリフルオロメチル)ビニルスルホニウム塩の合成と応用	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
中村祐輝, 花本猛士	官能基化されたβ-トリフルオロメチルオレフィンの簡便合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
道城正和, 花本猛士	含フッ素不飽和スルホニウム塩の合成と反応	第39回フッ素化学討論会, 201609
中村祐輝, 花本猛士	トリフルオロエチリデンマロン酸エステルの合成と反応	中村祐輝 ^M , 201609
廣瀧謙亮, 山口浩平, 花本猛士	2-CF3-N-Ns-アジリジンとインドールの熱による開環反応	第39回フッ素化学討論会, 201609
花本猛士	Regioselective ring-opening reactions of 2-difluoromethyl-N-Ts-aziridine	18th European Symposium on Fluorine Chemistry, 201608
中村祐輝, 花本猛士	β-(トリフルオロメチル)ビニル誘導体の簡便合成	第27回万有福岡シンポジウム, 201706
Kensuke Hirota, Kohei Yamaguchi, Akiko Irie, Yuki Nakamura, Takeshi Hanamoto	Ring-opening reaction of 2-trifluoromethyl-N-nosyl-aziridine under neutral conditions	The 10th Japanese-French Joint Seminar on Fluorine Chemistry, Ishikawa, Japan, September 27-29, 2017, 201709
安敏志, 稲垣祐次, 河江達也, 石井啓文, Yen-Fa Liao, 木田徹也, 南任真史, 石渡洋一	Co ドープ ZnO ナノ粒子とノンドープ ZnO ナノ粒子の混合体の磁性	第122回日本物理学会九州支部例会, 201612
牛島幸輝, 石井啓文, Yen-Fa Liao, Ku-Ding Tsuei, 今村真幸, 高橋和敏, 稲垣祐次, 河江達也, 木田徹也, 南任真史, 石渡洋一	NiS ナノ結晶の金属絶縁体転移	第122回日本物理学会九州支部例会, 201612
丸山徹, 今村真幸, 高橋和敏, 石井啓文, Yen-Fa Liao, Ku-Ding Tsuei, 稲垣祐次, 河江達也, 木田徹也, 南任真史, 石渡洋一	Fe3O4 ナノ結晶の不純物誘起金属絶縁体転移	第122回日本物理学会九州支部例会, 201612
川喜田英孝, 岩崎渉, 寺崎正	管内に充填したゲル粒子による糖の吸着	第18回連携大学院産学官交流セミナー, 産総研九州センター, 201601
川喜田英孝, 永田大貴, 森貞真太郎, 大渡啓介	磁性粒子に導入したデキストランによる水性二相抽出	分離技術会年会 2016, 2016
川喜田英孝	デキストランを孔内部に導入した膜によるコロイド粒子の分離	分離技術会年会 2016, 2016
梶原孝文, 森貞真太郎, 大渡啓介, 川喜田英孝	高分子溶液に分散したパラジウムの回収	分離技術会年会 2016, 2016

梶原孝文、森貞真太郎、大渡啓介、川喜田英孝	高分子溶液に分散したパラジウムの樹脂や膜を用いた連続回収	第53回 化学関連支部合同九州大会, 2016
川喜田英孝	佐賀大学で考えた研究教育	平成28年度 九州地区大学一高専若手研究者研究・教育セミナー, 2016
坂本寛宗、川喜田英孝、野口英行、森貞真太郎、大渡啓介	アミン化合物の酸化グラファイトへの吸着とそれを利用した膜の流束制御	化学工学会第48回秋季大会, 2016
川喜田英孝、田中東紀、永田大貴、森貞真太郎、大渡啓介	マグネタイト集積膜を用いたコロイド粒子のろ過	化学工学会第48回秋季大会, 2016
高岡祐士、森貞真太郎、大渡啓介、川喜田英孝	積層ゲル変形による流れと粒子ろ過	第16回産学連携フェア 若手研究者のためのポスターセッション発表募集, 2016
江崎翔平、高岡祐士、森貞真太郎、大渡啓介、川喜田英孝	ゲルの局所的変形を用いた粒子ろ過	第16回産学連携フェア 若手研究者のためのポスターセッション発表募集, 2016
川喜田英孝、梶原孝文、森貞真太郎、大渡啓介	高分子の沈殿を用いた高粘度高分子溶液に分散したパラジウムの回収	第35回溶媒抽出討論会, 2016
Takafumi Kajiwara, Shintaro Morisada, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita	Recovery of palladium in high-concentrated polymer solution by precipitation of water-soluble polymer	The 29th International Symposium on Chemical Engineering, 2016
中森晴香、小山田重蔵、北村二雄	アルキンの臭素化反応による3-プロモチオフェン誘導体の簡便合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
三宅あずさ、小山田重蔵、北村二雄	新規環状超原子価ヨウ素化合物の合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
江口伸夫、小山田重蔵、北村二雄	1,2-ビス(トリメチルシリル)ベンゼンの機能基変換	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
水野翔太、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるアルキン類の簡便フッ素化反応の開発	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
田中英彦、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるトリメチルシリル置換アントラセンの合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
山田 蓮、小山田重蔵、北村二雄	アルキンのヒドロアリール化反応の新規触媒の開発	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
前田大成、小山田重蔵、北村二雄	二酸化炭素を原料とする環状カルボナート及びカルバメートの合成	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
山崎雄輝、小山田重蔵、北村二雄	かさ高い置換基をもつ超原子価ヨウ素化合物の合成と反応	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
光富大貴、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素ベンザイン発生剤とアジリジンの反応	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
権藤圭祐、小山田重蔵、北村二雄	トリメチルシリルアレーン類のアシルオキシ化反応	第53回化学関連支部合同九州大会, 201607
水野翔太 ^M 、牟田健祐 ^M 、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるアルキン類の簡便フッ素化反応	第19回ヨウ素学会シンポジウム, 201609
三宅あずさ、牟田健祐、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素によるアルケンの分子内アミノフッ素化反応	第39回フッ素化学討論会, 201609
水野翔太 ^M 、牟田健祐 ^M 、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるアルキン類の簡便フッ素化反応	第39回フッ素化学討論会, 201609
三宅あずさ、牟田健祐、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素によるアルケンの分子内アミノフッ素化反応	第19回ヨウ素学会シンポジウム, 201609
権藤圭祐、北村二雄、小山田重蔵	トリメチルシリルアレーン類の脱シリル化/アシルオキシ化反応の開発	第6回CSJ化学フェスタ2016, 201611
江口伸夫、北村二雄、小山田重蔵	1,2-ビス(トリメチルシリル)ベンゼンの官能基変換	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
林田和也、小山田重蔵、北村二雄	ポリチオフェン及びオリゴチオフェンに関する研究	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
田中英彦、山田凜、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いるトリメチルシリル置換アントラセンの合成	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
中森晴香、森田一弘、小山田重蔵、北村二雄	[1]ベンゾチエノ[3,2-b][1]ベンゾチオフェン(BTBT)誘導体の新しい合成方法	2016ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611

三宅あずさ、牟田健祐、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素によるアルケンの分子内アミノフッ素化反応	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
光富大貴、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素ベンザイン発生剤と アジリジンの反応	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
山田 蓮、小山田重蔵、北村二雄	アルキンのヒドロアリール化反応の新規触媒の開発	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
水野翔太、牟田健祐、小山田重蔵、北村二雄	超原子価ヨウ素を用いたアルキン類の簡便フッ素化反応の開発	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
権藤圭祐、小山田重蔵、北村二雄	トリメチルシリルアレーン類の脱シリル化/アシルオキシ化反応の開発	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
山崎雄輝、小山田重蔵、北村二雄	嵩高い置換基をもつ超原子価ヨウ素化合物の合成と反応	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
北村二雄、山崎雄輝、小山田重蔵、松尾 司	立体的にかさ高い超原子価ヨウ素化合物の合成と反応	第 43 回有機典型元素化学討論会, 201612
Megumi Yoshitake, Yasumasa Ogata, Momoko Nishihashi, Ko Yoneda, Yasunori Yamada, Hiroshi Sakiyama, and Masayuki Koikawa	SYNTHESIS, STRUCTURES, AND MAGNETIC PROPERTIES OF TETRANUCLEAR COBALT AND NICKEL COMPLEXES WITH ONO-TRIDENTATE LIGANDS	第 15 回分子磁性国際会議 (ICMM2016), 201609
梅本 祐介・米田 宏・山田 泰教・鯉川 雅之	長鎖アルキル連結型配位子による多核金属錯体の合成と性質	錯体化学会第 66 回討論会, 201609
緒方 康真・吉武 恵・米田 宏・山田 泰教・鯉川 雅之	N-(2-ヒドロキシメチルフェニル)サリチリデンイミンによる Co-Ni ヘテロ金属多核錯体の構造と磁性	錯体化学会第 66 回討論会, 201609
大竹 亜紗美、内野 聖子、福田伸子、坂口 幸一	Synthesis and Evaluation of Graphene Derivatives by using Fluoro Alkyl Chain Silane Coupling Reagent	9th International Symposium on Organic Molecular Electronics (ISOME 2016), 201605
内野 聖子、白鳥 武、黒木 惟、梶山 孝太郎、城尾 実咲、大竹 亜紗美、滝澤 登、坂口 幸一	Synthesis and Electrical Evaluation of Hydrophilic Graphite Oxide via Atmospheric Pressure Plasma Process	9th International Symposium on Organic Molecular Electronics (ISOME 2016), 201605
内野 聖子、大竹 亜紗美、滝澤 登、坂口 幸一	過酸化水素を用いた酸化グラフェン合成法の検討	第 6 回酸化グラフェンシンポジウム, 201606
大竹 亜紗美、内野 聖子、福田伸子、坂口 幸一	フッ化アルキル付酸化グラフェンの撥水性および電気特性評価	第 6 回酸化グラフェンシンポジウム, 201606
牛島 政也、中野 安優美、園田 航大、滝澤 登、坂口 幸一	界面活性剤の鎖長変化による酸化グラフェンの相互作用の変化	第 6 回酸化グラフェンシンポジウム, 201606
平川 あい、島 靖卓、大竹 亜紗美、坂口 幸一	長鎖アルキルを持つ酸化グラフェン誘導体のエステル化反応による合成	第 6 回酸化グラフェンシンポジウム, 201606
内野 聖子、大竹 亜紗美、滝澤 登、坂口 幸一	Synthesis of Graphite Derivatives with Solvent Affinity using H ₂ O ₂	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEPE 2016), 201609
大竹 亜紗美、内野 聖子、坂口 幸一	Fabrication and Demonstration of Dispersibility Evaluation System for Graphene Oxide	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEPE 2016), 201609
牛島 政也、中野 安優美、河津誠二、園田 航大、滝澤 登、坂口 幸一	A change in the interaction of graphene oxide by chain length variation of the surfactant	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEPE 2016), 201609
平川 あい、島 靖卓、大竹 亜紗美、坂口 幸一	Synthesis of graphene derivatives with long alkyl chain by esterification	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEPE 2016), 201609
坂口 幸一、白鳥 武、黒木 惟、松尾 大樹、内野 聖子、大竹 亜紗美、滝澤 登	Synthesis of Graphite-like Dispersible Carbon Material by using Atmospheric Plasma Method	KJF International Conference on Organic Materials for Electronics and Photonics 2016 (KJF-ICOMEPE 2016), 201609
大竹 亜紗美、内野 聖子、福田伸子、坂口 幸一	フッ化アルキルを付加した導電酸化グラフェン膜の合成と評価	フッ素化学討論会, 201609

牛島 政也、中野 安優美、河津誠二、園田 航大、滝澤 登、坂口 幸一	Analysis of hydrophobic interaction of graphene oxide and surfactant by using a potentiometric titration	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201611
白鳥 武、内野 聖子、松尾 大樹、坂口 幸一	Synthesis and analysis of hydrophilicity carbon material by using Atmospheric Pressure Plasma	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201611
島 靖卓、平川 あい、大竹 亜紗美、坂口 幸一	Synthesis of GO derivative with long alkyl chain by esterification reaction on targeting OH groups in graphene oxide	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201611
平川 あい、島 靖卓、大竹 亜紗美、坂口 幸一	Synthesis of GO derivative by esterification reaction into graphene oxide for introducing some functional groups	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201611
大竹 亜紗美、内野 聖子、坂口 幸一	Fabrication and characterization of Dispersibility Evaluation System for Graphene Oxide	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201611
大竹 亜紗美、内野 聖子、福田 伸子、坂口 幸一	Fabrication of Conductive Graphene Oxide derivative films with Fluoro Alkyl Chain	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201611
大竹 亜紗美、内野 聖子、福田 伸子、坂口 幸一	フッ素化アルキル鎖付加による撥水導電性酸化グラフェン薄膜の評価	ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
島 靖卓、藤戸 昭典、大竹 亜紗美、坂口 幸一	シランカップリングによる有機溶媒に分散可能な GO 誘導体の合成	ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
牛島政也、中野安優美、園田航大、滝澤登、坂口幸一	電位差滴定法を用いたハロゲン分子を含む界面活性剤と酸化グラフェンの相互作用の検証	ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
園田航大、牛島政也、河津誠二、滝澤登、坂口幸一	ハロゲン含有界面活性剤を用いた異なる酸化法で作成した酸化グラフェンの表面構造解析	ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
大竹 亜紗美、内野 聖子、福田 伸子、坂口 幸一	アルキル付加グラフェン誘導体の合成と機能性の評価	2016 物理化学インターカレッジ, 201611
島 靖卓、大竹 亜紗美、平川 あい、坂口 幸一	GO 表面の OH 基へのエステル化反応を利用した有機溶媒親和性のある GO 誘導体の合成	2016 物理化学インターカレッジ, 201611
白鳥 武、内野 聖子、松尾 大樹、坂口 幸一	大気圧プラズマ法による親水性炭素材料の合成および分析	2016 物理化学インターカレッジ, 201611
牛島 政也、中野 安優美、園田 航大、滝澤 登、坂口 幸一	界面活性剤の鎖長変化により生じる酸化グラフェンとの相互作用変化の解析	2016 物理化学インターカレッジ, 201611
清永つかさ、黒木 惟、梶山 孝太郎、白鳥 武、内野 聖子、坂口 幸一	大気圧プラズマ法を用いて合成した親水酸化グラファイトの電気特性評価	2016 物理化学インターカレッジ, 201611
松尾大樹、内野聖子、白鳥武、梶山孝太郎、坂口幸一	原料粒子サイズの異なる親水性炭素材料の電気特性	2016 物理化学インターカレッジ, 201611
坂口 幸一、大竹 亜紗美	Synthesis and evaluation of various graphene like materials with solvent affinity by using plasma and chemical reaction	The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials, 201612
平川 あい、島 靖卓、大竹 亜紗美、坂口 幸一	Study on synthesis route for graphene oxide derivatives via esterification reaction	The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials, 201612
大竹 亜紗美、内野 聖子、坂口 幸一	レーザー光源分散性評価装置による GO の分散性評価	第 7 回酸化グラフェンシンポジウム, 201612
平川 あい、島 靖卓、大竹 亜紗美、坂口 幸一	エステル化反応を用いた酸化グラフェンへの官能基導入の検討	第 7 回酸化グラフェンシンポジウム, 201612
筒井源文、富永昌人	金属錯体をプローブとしたカーボン電極界面へのバイオサーファクタント分子吸着の解析	第 54 回化学関連支部合同九州大会, 201707
N. S. K. Gowthaman, M. Tominaga, S. Abraham John	Fabrication of Gold-Platinum Bimetallic Nanoparticles on the Jungle-Gym Structured Single-Walled Carbon Nanotubes	Abstract of the International Conference on Materials for Sustainable Future (ICMSF 2016), 201607

Raden Darmawan, Arief Widjaja, Sri Rachmania Juliastuti, Nuniek Hendriane, Chanifah Hidayat, Dessy Rosita Sari, Suwito, Shigeru Morimura, and Masato Tominaga	Study o Mud Utilization as an Alternative Electricity Source Using Microbial Fuel Cells	Abstracts of the 3rd International Seminar on Fundamental and Application of Chemical Engineering (ISFACHE 2016), Sheraton Surabaya Hotel & Towers, Surabaya, Indonesia (2016), 201611
鷹取拓弥, 仁科勇太, 富永昌人	高電流密度バイオカソード開発のための SWCNT/GO コンポジット電極の作製	第 77 回日本分析化学討論会, 201705
富永昌人, 鷹取拓弥, 筒井源文	コール酸修飾炭素界面上でのラッカーゼの電子移動反応ならびにその修飾に及ぼす炭素界面の影響	第 77 回日本分析化学討論会, 201705
音谷隼平, 富永昌人	「泥の電池」の発電に及ぼす外部抵抗の影響	第 54 回化学関連支部合同九州大会, 201707
鷹取拓弥, 仁科勇太, 富永昌人	酵素触媒型燃料電池のカソード開発を目指した GO コンポジット電極の開発	第 54 回化学関連支部合同九州大会, 201707
音谷隼平, 富永昌人	「泥の電池」の外部抵抗に誘導されるアノード電位と発電との相関	第 35 回九州分析化学若手の会夏季セミナー, 201707
筒井源文, 富永昌人	カーボン電極界面へのバイオサーファクタント分子吸着の解析	第 35 回九州分析化学若手の会夏季セミナー, 201707
富永昌人	「泥の電池」化による先導的環境保全システム	イノベーション・ジャパン 2017~大学見本市~ ショートプレゼン, 201708
M. Takeshita, T. Hirowatari, A. Takedomi	E/Z isomerization of a thermally bistable photochromic dithienylethene	International Symposium on Organic Photochromism 2016, 201611
Y. Suetsugu, R. Yamashita, M. Takeshita	Development of photochromic rotaxanes composed of a thiophenophane shuttle and an axis	International Symposium on Organic Photochromism 2016, 201611
K. Tokushige, M. Takeshita	Photoreversible supramolecular polymer with triple hydrogen bonding and diarylethene photoswitch	International Symposium on Organic Photochromism 2016, 201611
末次裕介, 山下力也, 竹下道範	フォトクロミックロタキサンの開発	化学関連支部合同九州大会, 201607
武富敦, 廣渡拓也, 竹下道範	熱不可逆な EZ 光異性化をおこなうジチエニルエテン化合物の開発	化学関連支部合同九州大会, 201607
Yusuke Suetsugu, Rikiya Yamashita, Michinori Takeshita	Development of photochromic rotaxanes composed of a thiophenophane shuttle and an axis	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201610
Keita Tokushige, Michinori Takeshita	Photoreversible supramolecular polymer with triple hydrogen bonding and diarylethene photoswitch	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201610
高倉将一, 山本勇, 東純平, 市川聡夫, 友清芳二, 田中鏝士, 真木一	層状コバルト酸化物の電子構造における構造不整合性の影響	第 10 回九州シンクロトロン光研究センター研究成果報告会, 201608
中庭翔, 柳瀬拓哉, 岡優希, 湯浅貴裕, 沼野壮, 山内一宏, 真木一, 鄭旭光	水酸塩化物 Co ₂ (OH) ₃ Cl/Co ₂ (OH) ₃ Cl の創製と評価	2016 年応用物理学九州支部学術講演会, 201612
Sho-ichi Takakura, Isamu Yamamoto, Junpei Azuma, Makoto Maki	Temperature dependent Fermi surface in misfit cobaltites studied by ARPES	The 1st Asian Applied Physics Conference, 201612
松尾一輝, 中島和貴, 高倉将一, 真木一	K _{0.3} MoO ₃ 単結晶の熱電能測定	第 122 回日本物理学会九州支部例会, 201612
中島和貴, 松尾一輝, 高倉将一, 真木一	熱電能でみる KTaO ₃ における不純物の影響	第 122 回日本物理学会九州支部例会プログラム, 201612
Miki Hayashi, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto, and Shintaro Morisada	Effect of the Substrate Hydrophilicity on Colloidal Layers Prepared by Convective Self-Assembly Process	The International Symposium on Preparative Chemistry of Advanced Materials (ISPCAM 2016), P03, Liaoning University, Shenyang, China, 201612
森貞真太郎, 堀口洋佑, 川喜田英孝, 大渡啓介	温度応答型界面活性マイクロゲルの開発	化学工学会第 85 年会, F304, 芝浦工業大学, 201703
森貞真太郎	高分子電解質修飾シリカ粒子を用いた非最密充填コロイド粒子膜の作製	国際粉体工業展東京 2016, 15, 東京ビッグサイト, 201612

林 実樹, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	高分子修飾シリカ粒子を用いた移流集積における粒子-基板間相互作用の影響	第 27 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会, 32, 休暇村志賀島, 201607
林 実樹, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	高分子電解質修飾シリカ粒子および疎水性基板を用いた非最密充填単粒子膜の作製	第 54 回化学関連支部合同九州大会, CE-1-022, 北九州国際会議場, 201707
林 実樹, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	高分子電解質修飾シリカ粒子の鎖長制御と非最密充填単粒子膜の作製	第 28 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会, 22, ホテル湯の児 海と夕やけ, 201707
大久保夏輝, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	非最密充填単粒子膜を用いたメゾレンズアレイの作製	第 28 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会, 24, ホテル湯の児 海と夕やけ, 201707
畑田日奈子, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	温度応答性を示す界面活性マイクロゲルの開発	第 28 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会, 25, ホテル湯の児 海と夕やけ, 201707
福田幸太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介, 森貞真太郎	トリアミノ型三脚状分子を修飾したシリカゲル吸着剤の開発	第 28 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会, 26, ホテル湯の児 海と夕やけ, 201707
Tokunaga Shota, Yushi Oishi and Takayuki Narita	A Study of alginate-gelatine Janus particles having enzyme activities	The11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Honami Takajo, Kazuya Furusawa, Yushi Oishi and Takayuki Narita	Band pattern formed through the gelation of collagen solution.	The11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Takahiro Honda, Hirokazu Takakura, Yushi Oishi, and Takayuki Narita	Preparation and characterization of the sugar-triggering beating capsule.	The11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Hiroki Yamada, Yushi Oishi, and Takayuki Narita	Novel desiccant cooling system using functional fabrics.	The11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Ryo Okazaki, Natsumi Nakashima, Yushi Oishi and Takayuki Narita	Membrane area and volume of DMPC/cholesterol liposomes deformed by pH changes.	The11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Shunsuke Nakamura, Shohei Onimaru Takayuki Narita and Yushi Oishi	A challenge to the light driven oscillator using light-heat conversion hydrogels.	The11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Akemi Kubo, Eri Tsukamoto, Toshiyuki Takamuku, Takayuki Narita, Masanao Era	Efficient preparation method of lead-based layered perovskite thin films and their optical measurements.	The11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Shohei Morita, Toshiyuki Takamuku, Takayuki Narita, Masanao Era, Yushi Oishi	Molecular aggregation behavior of alkylammonium monolayer on an aqueous solution of sodium bromide.	The11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Misaki Kondo ¹ , Takayuki Narita ¹ , Masayuki Tokita ² , Yushi Oishi ¹	Self-organized patterns obtained by gelation of polysaccharide solution.	The11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
光武 祐希・黒田裕介・成田貴行・大石祐司	AFM を用いた DMPC 系ベシクルの開裂機構の検討	平成 28 年度 物理化学インターカレッジセミナー, 201611
Misaki Kondo, Honami Takajo, Yushi Oishi and Takayuki Narita	A Novel Pattern Obtained through the Gelation of Collagen Solution	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Yuki Takazaki, Takahiro Honda, Hirokazu Takakura, Yushi Oishi, and Takayuki Narita	Chitosan Containing Self-Beating Capsule Triggered by Glucose Recognition	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Hiroki Yamada, Yushi Oishi, and Takayuki Narita	A New Desiccant Cooling System using Functional Fabrics	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Ryo Okazaki, Natsumi Nakashima, Yushi Oishi and Takayuki Narita	pH Induced Liposome Deformation Caused by the Membrane Aarea and Volume Change.	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Shunsuke Nakamura, Shohei Onimaru Takayuki Narita and Yushi Oishi	Light Driven Self-oscillation Gel using Hysteresis of Temperature Responsive Hydrogel	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Kiyotaka Fujise, Shota Tokunaga, Yushi Oishi, Takayuki Narita	Preparation of Alginate-Gelatine Janus Particles for Bio-Active Targeting	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Shohei Morita, Toshiyuki Takamuku, Takayuki Narita, Masanao Era, Yushi Oishi	Molecular aggregation behavior of alkyl amine monomolecular film on an aqueous solution of NaBr	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
山田 裕貴, 成田貴行, 大石祐司	脱着材を使用した冷却デバイスの検討	平成 28 年度 物理化学インターカレッジセミナー, 201611

岡崎涼, 中島夏実, 成田貴行, 大石祐司	π -A 曲線と共焦点顕微鏡観察による DMPC 系リポソームの形状評価	平成 28 年度 物理化学インターカレッジセミナー, 201611
近藤 美咲, 高上穂奈美, 成田 貴行, 大石 祐司	微小空間でのゲル化で生じるコラーゲンゲルの形態形成	平成 28 年度 物理化学インターカレッジセミナー, 201611
高崎夕希, 本田 貴浩, 大石 祐司, 成田 貴行	グルコース応答性自律振動カプセルの創製	平成 28 年度 物理化学インターカレッジセミナー, 201611
森田 祥平, 成田 貴行, 江良 正直, 大石 祐司	原子間力顕微鏡を用いた水面上アルキルアミン単分子膜の崩壊挙動の評価	平成 28 年度 物理化学インターカレッジセミナー, 201611
藤瀬 清貴, 徳永 翔太, 成田 貴行, 大石 祐司	バイオポリマーを用いた JANUS 型粒子の調製と応用	平成 28 年度 物理化学インターカレッジセミナー, 201611
中村 駿介, 成田貴行, 大石祐司	光駆動型自律振動ゲルシステムの構築	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201611
近藤美咲, 大石祐司, 成田貴行	アルギン酸カルシウムゲルの形態形成とポリマー濃度依存性	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201611
Shunsuke Nakamura, Takayuki Narita and Yushi Oishi	Self-Oscillating Hydrogel System Driven by Light Sause	The 11th SPSJ International Polymer Conference (IPC 2016), 201612
Misaki Kondo, Honami Takajo, Kazuya Furusawa, Yushi Oishi, Takayuki Narita	Novel pattern of Collagen Gel Through Iontropic Gelation	The 11th SPSJ International Polymer Conference (IPC 2016), 201612
Kiyotaka Fujise, Shota Tokunaga, Yushi Oishi, Takayuki Narita	Study of bio-active Janus particles consist of alginate-gelatine matrix.	The 11th SPSJ International Polymer Conference (IPC 2016), 201612
Yuki Takazaki, Takahiro Honda, Hirokazu Takakura, Yushi Oishi, and Takayuki Narita	Preparation of Bioactive Janus Particles Using Biopolymer Templates	The 11th SPSJ International Polymer Conference (IPC 2016), 201612
Kouichirou Tatebayashi, Takayuki Narita and Yushi oishi	Effect of self-seeding process on single crystal shape of polyethylene	The 11th SPSJ International Polymer Conference (IPC 2016), 201612
近藤 美咲, 高上穂奈美, 成田 貴行, 大石 祐司	アルギン酸ゲルに現れる巨視的パターン形成原理の解明	, 201610
高崎夕希, 本田 貴浩, 大石 祐司, 成田 貴行	グルコースを認知して拍動する機能性微粒子の創製	, 201610
光武 祐希・黒田裕介・成田貴行・大石祐司	A FMを用いたリン脂質ベシクル膜の形態観察	, 201610
Honami Takajo, Kazuya Furusawa, Yushi Oishi and Takayuki Narita	Patterns formed through the gelation of collagen solution	The11th Saga University-Daegu University Joint Seminar, 201610
Keisuke Ohto, Hiroshi Murakami, Hiromasa Murashima, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Jan Weigand, Karsten Gloe	Solvent extraction of trivalent rare earths with acidic organophosphorus trident molecules	Rare Earths 2016 in Sapporo, Japan, 201606
黒岩春乃, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	カリックス[4]アレーンモノホスホン酸誘導体によるアルカリ金属抽出挙動の検討	第 53 回化学関連支部合同大会, 201607
宮井翔太, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	クエン酸を母体とした抽出試薬による金属イオンの抽出挙動の検討	第 53 回化学関連支部合同大会, 201607
K. Ohto, B. B. Adhikari, H. Sadamatsu, S. Morisada, H. Kawakita, H. Endou	Gas adsorption property of calixarenes	The 8th ISNSC (International Symposium on Nano & Supramolecular Chemistry, 201607
黒岩春乃, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	カリックス[4]アレーン誘導体をもちいたアルカリ金属抽出における構造解析	第 33 回九州分析化学若手の会 夏季セミナー, 201607
宮井翔太, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 大渡啓介	クエン酸を母体としたアミド基・カルボキシル基混合型抽出試薬の開発および金属イオンの抽出挙動の検討	第 33 回九州分析化学若手の会 夏季セミナー, 201607
Y. Ueda, S. Morisada, H. Kawakita, K. Ohto P53	Extraction of platinum group metals with nitrogenous extractants and its extraction mechanism analysis	4nd International conference on methods and materials for separation processes SEPARATION SCIENCE - THEORY AND PRACTICE 2016, 201609
Y. Ueda, E. Mizuki, S. Morisada, H. Kawakita, F. Hennersdorf, M.	Extraction of Platinum Group Chlorometalates from HCl solution with Tripodal Extractants	Mitteldeutsches Anorganiker Nachwuchs Symposium (MANS-14),

Wenzel, J.J. Weigand, K. Ohto		201609
Y. Ueda, E. Mizuki, S. Morisada, H. Kawakita, F. Hennersdorf, M. Wenzel, J.J. Weigand, K. Ohto	Tripodal Extractants for Platinum Group Chlorometalates	Whler-Tagung, 201609
Yuki Ueda, Erina Mizuki, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Jan J. Weigand, Keisuke Ohto	Extraction of Platinum Group Metals with Tripodal Extractants	The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 201611
Ramachandra Rao Sathuluri, Yehezkiel S. Kurniawan, Wataru Iwasaki, Keisuke Ohto	Microreactor System for Precious Metal Ion Recovery with Calixarene Derivatives	The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 201610
K. Ohto	Functionality and application of calixarene compounds for metal extraction	The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 201610
Takenori Shimojo, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Phenylketone Functionalized p-tert-Octylcalix[4]arene as Ionophore for Silver Ion-selective Electrode	The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 201610
Yoga Priastomo, Keisuke Ohto, Hidetaka Kawakita, Shintaro Morishada	Preparation of Palladium-Resin based on Calix[4]arene for Solid-State Hydrogen Storage	The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 201610
Clemens Taube, Marco Wenzel, Keisuke Ohto, Jan J. Weigand	Salen-type ligands for rare earth metal extraction	The 11th Saga University - Daegu University Joint Seminar, 201611
大渡啓介, 上田祐生, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 近江健太郎, 藤田光晴	アミドおよびウレア型抽出試薬による塩酸媒体からの白金(IV)の抽出 - 工業的な観点における研究	第 35 回溶媒抽出討論会, 201611
上田祐生, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 近江健太郎, 藤田光晴, Jan J. Weigand, 大渡啓介	アミドおよびウレア型抽出試薬による塩酸媒体からの白金(IV)の抽出 - 抽出機構の分光学的解析	第 35 回溶媒抽出討論会, 201611
Takenori Shimojo, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Preparation of silver ion-selective electrodes containing calix[4]arene derivatives as an ionophores	The 29th International Symposium on Chemical Engineering (ISChE 2016), 201612
Yoga Priastomo, Shintaro Morisada, Hidetaka Kawakita, Keisuke Ohto	Preparation of resin based on calix[4]arene for palladium adsorption	The 7th Liaoning University- Saga University Joint Seminar, 201612
Y. S. Kurniawan, R. R. Sathuluri, K. Ohto, H. Kawakita, S. Morisada, W. Iwasaki, M. Miyazaki	Mutual extractive separation of precious metals with calixarene derivatives using microreactor system	第 19 回連携大学院産学官交流セミナー, 201701
上田祐生, 森貞真太郎, 川喜田英孝, 近江健太郎, 藤田光晴, Jan J. Weigand, 大渡啓介	アミドおよびウレア型抽出試薬による 4 価白金の抽出機構に関する分光学的解析	化学工学会 第 82 年会, 201703
時貞雄成, 兒玉浩明, 長田聰史	モノフルオロオレフィンに有する翻訳後修飾リジンミミックの合成研究	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
古川 旺, 平 順一, 兒玉 浩明, 長田 聰史	トリアゾール含有 peptide deformylase 阻害剤の合成と評価	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
兒玉 美瑛, 平 順一, 兒玉 浩明, 長田 聰史	Peptide deformylase に認識されるトリアゾール含有擬ペプチド性基質の探索	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
甲斐 涼太, 栗原 滉季, 長田 聰史, 兒玉 浩明	ホルミルペプチドヘテロ二量体の生物活性における架橋残基の効果	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
矢津田 祐介, 栗原 滉季, 兒玉 浩明, 長田 聰史	光架橋アミノ酸を含む FPR2 アンタゴニストの構造活性相関	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
渡邊 裕大, 長田 聰史, 兒玉 浩明	両性イオンをもつ環状テトラペプチドの合成とイオンチャネル活性	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
甲斐 涼太, 栗原 滉季, 片瀨友加里, 古賀脩一朗, 長田 聰史, Masood Jelokhani-Niaraki, 兒玉 浩明	Syntheses and biological activities of hetero dimeric formyl peptides cross-linked with amino acid residues	第 53 回ペプチド討論会, 201611
渡邊裕大, 川節あかね, 長田聰史, Masood Jelokhani-Niaraki, 兒玉浩明	Effect of hinge sequence on the ion channel activity of Aib-containing synthetic peptides	第 53 回ペプチド討論会, 201611
甲斐 涼太, 長田 聰史, 兒玉 浩明	Glu 残基で架橋したホルミルペプチドヘテロ二量体の合成と生物活性評価	H28 日本生化学会九州支部例会, 201605
渡邊 裕大, 長田 聰史, 兒玉 浩明	環状テトラペプチドの持つ官能基とイオン選択性	2016 年日本化学会中国四国支部大

		会, 201611
時貞雄成, 兒玉浩明, 長田聰史	モノフルオロオレフィンに有する翻訳後修飾リジンミミックの合成研究	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
成原明宏, 松坂慧, 兒玉浩明, 長田聰史	分子内アシル転位による In situ 活性化型 Psammaplin A-1 前駆体	2016 ハロゲン利用ミニシンポジウム, 201611
Yusei Tokisada, Hiroaki Kodama, Satoshi Osada	Synthetic studies of monofluoroalkene-based mimetics of post-translationally modified lysine	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201611
西郡大・山口明德・松高和秀・長田聡史・坂口幸一・福井寿雄・高森裕美子・園田泰正・兒玉浩明	多面的・総合的評価に向けたタブレット入試の検討～「佐賀大学版 CBT」の実現に向けて～	平成 28 年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会, 201606
本山武士, 武富紳也, 萩原世也	α 鉄中の水素拡散係数に及ぼす応力勾配の影響	第 19 回分子動力学シンポジウム, 201405
片山慧士, 丹羽郁帆, 武富紳也, 萩原世也	α 鉄のバリエルす障壁と表面エネルギーに及ぼす静水圧の影響に関する分子静力学解析	第 19 回分子動力学シンポジウム, 201405
萩原世也, 府本翔, 武富紳也, 只野裕一	弾塑性 SPH 法の検討	日本計算工学会計算工学講演会, 201406
白濱智大, 萩原世也, 武富紳也, 只野裕一, 田中智行	SPH 法を用いた構造弾塑性シミュレーション	第 27 回計算力学講演会, 201411
萩原世也, 富永陽介, 白濱智大, 武富紳也	有限要素法によるキャストブル耐火物の乾燥工程における三次元熱-圧力連成解析	耐火物技術協会第 28 回年次学術講演会, 201506
萩原世也, 白濱智大, 武富紳也, 只野裕一, 田中智行	SPH 法による弾塑性構成則の検討	日本計算工学会計算工学講演会, 201506
白濱智大, 萩原世也, 武富紳也, 只野裕一, 田中智行	SPH 法による弾塑性解析 2015 年 11 月	日本機械学会第 28 回計算力学講演会, 201511
S. Hagihara, S. Fumoto, T. Shirahama, S. Taketomi, Y. Tadano and S. Tanaka	Smoothed particle hydrodynamics method for elastic-plastic structure	International Conference on Computational Methods 2014 (ICCM2014), 201404
S. Hagihara, Y. Hayama, S. Taketomi and Y. Tadano	Meshfree method with restricting bubble radius for nodal relocation method	11th World Congress on Computational Mechanics (WCCMXI), 201407
Seiya Hagihara, Tomohiro Shirahama, Shinya Taketomi, Yuichi Tadano, Satoyuki Tanaka	Smoothed particle hydrodynamics method for fluid-structure interaction analysis - elastic-plastic analysis of structure -	1st Pan American Congress on Computational Mechanics, 201504
Seiya Hagihara, Yutaka Hayama, Shinya Taketomi, Yuichi Tadano	Calculation of Stress Intensity Factor Using Meshfree Method with Dynamic Bubble System	13th U.S. National Congress on Computational Mechanics, 201507
Seiya Hagihara, Tomohiro Shirahama, Shinya Taketomi, Yuichi Tadano, Satoyuki Tanaka	Elastic-plastic smoothed particle hydrodynamics method for fluid-structure interaction analysis	IV International Conference on Particle-Based Methods, Fundamentals and Applications, Particles 2015, 201509
武富紳也, 萩原世也	α 鉄中の $\{112\} \langle 111 \rangle$ 刃状転位の運動速度に及ぼす水素の影響に関する原子シミュレーション	日本鉄鋼協会第 172 回秋季講演大会, 201609
T. Takamuku, Y. Kawazu, H. Sakurai, H. Hoke, Y. Yamada, T. Umecky, K. Ozutsumi	Thermodynamics for Complex Formation of Transition Metal Ions in Imidazolium-based Ionic Liquid-Molecular Liquid Binary Solutions	EMLG/JMLG Annual Meeting 2016, Plataniás-Chania, Crete, Greece, 201609
櫻井裕之, 川頭祐太郎, 梅木辰也, 小堤和彦, 高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体-分子性液体混合溶液中における遷移金属イオンの錯形成に対するイオン液体アルキル鎖長依存性	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 小倉, 201607
藤 貴弘, 波戸本洋平, 戸根川順子, 堤 陽一, 梅木辰也, 高椋利幸	水溶液中のアミノ酸およびジペプチドの溶媒和に対するフッ化アルコール添加の効果	第 39 回フッ素化学討論会, 佐賀, 201609
高椋利幸, 堀川裕加, 徳島 高, 高橋 修, 保家宇宙	軟 X 線吸光および発光分光法で観測するイミダゾリウム系イオン液体の電子構造	第 39 回溶液化学シンポジウム, つくば, 201611
梅木辰也, 後藤瑛裕, 林 直樹 ^B , 高椋利幸	グアニジンを用いた Deep Eutectic Mixtures の CO ₂ 化学吸収	第 39 回溶液化学シンポジウム, つくば, 201611
藤 貴弘, 波戸本洋平, 戸根川順子, 堤 陽一, 梅木辰也, 高椋利幸	アルコール添加による水溶液中のアミノ酸およびジペプチドの溶媒和構造の変化	第 39 回溶液化学シンポジウム, つくば, 201611
櫻井裕之, 川頭祐太郎, 山田泰教, 梅木辰也, 小堤和彦, 高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体-分子性液体混合溶液中における CO ₂ , Ni ²⁺ の錯形成に対するイオン液体アルキル鎖長依存性	, 201611

渡辺日香里, 梅木辰也, 高椋利幸, 亀田恭男, 梅林泰宏	擬プロトン性イオン液体の構造と特異なプロトン伝導機構	第 48 回溶融塩化学討論会, 新潟, 201611
小川 輝, 川頭祐太郎, 櫻井裕之, 貞包浩一郎, 岩瀬裕希, 梅木辰也, 小堤和彦, 高椋利幸	C2mimTfSA-アルコール混合溶液中における Ni ²⁺ の錯形成平衡と熱力学	第 54 回化学関連支部合同九州大会, 北九州, 201707
河野雅大, 梅木辰也, 高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体 C4mimTfSA とシクロエーテルのミクロスコピックな混合状態	第 54 回化学関連支部合同九州大会, 北九州, 201707
原口知也, 宝蔵寺佑輔, 櫻井裕之, 貞包浩一郎, 岩瀬裕希, 梅木辰也, 高椋利幸	アルコール-水混合溶液中における Lysozyme の高次構造変化の観測	第 54 回化学関連支部合同九州大会, 北九州, 201707
櫻井裕之, 川頭祐太郎, 梅木辰也, 小堤和彦, 高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体-分子性液体混合溶液中における遷移金属イオンの錯形成に対するイオン液体アルキル鎖長依存性	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
藤貴弘, 波戸本洋平, 戸根川順子, 堤陽一, 梅木辰也, 高椋利幸	水溶液中のアミノ酸およびジペプチドの溶媒和に対するフッ化アルコール添加の効果	第 39 回フッ素化学討論会, 201609
藤貴弘, 波戸本洋平, 戸根川順子, 堤陽一, 梅木辰也, 高椋利幸	アルコール添加による水溶液中のアミノ酸およびジペプチドの溶媒和構造の変化	第 39 回溶液化学シンポジウム, 201611
櫻井裕之, 川頭祐太郎, 山田泰教, 梅木辰也, 小堤和彦, 高椋利幸	イミダゾリウム系イオン液体-分子性液体混合溶液中における Co ²⁺ , Ni ²⁺ の錯形成に対するイオン液体アルキル鎖長依存性	第 39 回溶液化学シンポジウム, 201611
梅木辰也, 後藤瑛裕, 林直樹, 高椋利幸	グアニジンを用いた Deep Eutectic Mixtures の CO ₂ 化学吸収	第 39 回溶液化学シンポジウム, 201611
渡辺日香里, 梅木辰也, 高椋利幸, 亀田恭男, 梅林泰宏	擬プロトン性イオン液体の構造と特異なプロトン伝導機構	第 48 回溶融塩化学討論会, 201611
藤澤知績, Ryan L. Leverenz, Cheryl A. Kerfeld, 海野雅司	ラマン光学活性に基づくオレンジカロテノイドタンパク質の活性部位における発色団の立体構造変化	第 43 回 生体分子科学討論会, 201606
原口 翔次郎, 新ヶ江 貴仁, 笠井 紀貴, 熊内 雅人, 藤澤 知績, 花本 猛士, Wouter D. Hoff, 海野 雅司	Photoactive Yellow Protein 発色団の面外方向への歪みに敏感な C-H 面外変角振動モードの帰属	九重分子科学セミナー2016, 201609
渡邊 亘平, 小副川 晋介, 広瀬 侑, 藤澤 知績, 池内 昌彦, 海野 雅司	紫外共鳴ラマン分光法によるシアノバクテリオクロム RcaE の光変換機構の解析	九重分子科学セミナー2016, 201609
Tomotsumi Fujisawa, Ryan L. Leverenz, Cheryl A. Kerfeld, Masashi Unno	Chromophore conformation in active site of orange carotenoid protein from Raman optical activity	Fifth International Conference on Vibrational Optical Activity, 201609
Takashi Nagai, Tatsuya Iwata, Shota Ito, Mineo Iseki, Masakatsu Watanabe, Masashi Unno, Shinya Kitagawa, Hideki Kandori	Analysis of a hydrogen bonding network of the BLUF domain using isotope-labeled samples	第 54 回日本生物物理学会年会, 201611
Tomotsumi Fujisawa, Masashi Unno, Ryan L. Leverenz, Cheryl A. Kerfeld	Chromophore conformation in active site of orange carotenoid protein from Raman optical activity spectroscopy	第 54 回日本生物物理学会年会, 201611
Kouhei Watanabe, Shinsuke Osoegawa, Yuu Hirose, Tomotsumi Fujisawa, Masahiko Ikeuchi, and Masashi Unno	Photoconversion Mechanism of Cyanobacteriochrome RcaE Studied by Ultraviolet Resonance Raman Spectroscopy	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201611
Masahiro Abe, Tomotsumi Fujisawa, Takashi Kikukawa, Masashi Unno	Low temperature Raman/ROA measurement of photoreceptor protein	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium, 201611
○渡邊 亘平, 小副川 晋介, 広瀬 侑, 藤澤 知績, 池内 昌彦, 海野 雅司	紫外共鳴ラマン分光法を用いたシアノバクテリオクロム RcaE の光変換機構の解明	日本化学会 第 97 春季年会 (2017), 201703
○渡邊 亘平, 小副川 晋介, 広瀬 侑, 藤澤 知績, 池内 昌彦, 海野 雅司	Assignment of Raman Optical Activity Spectra of Photoactive Yellow Protein by Isotopic Labeling	日本化学会 第 97 春季年会 (2017), 201703
FUJISAWA, Tomotsumi; LUNNO, Masashi	Searching for anharmonic low frequency mode in green fluorescent protein	日本化学会 第 97 春季年会 (2017), 201603
Mitsunori Yada, Tateaki Yamanoi ^M , Takashi Miura ^M , Toshio Torikai, Takanori Watari	Simple Template-Free Synthesis of Bi ₂ O ₃ Microflowers composed of microrods	AMEC-2016 The 10th Asian Meeting on troceramics, 201612

三浦高史, 藤木祐太, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳	リン酸チタ及びナトリウムノ粒子の合成と Na イオン電池特性 イオン電池特性 イオン電池特性	平成 28 年度九州支部秋季合同研究 発表会, 201611
渡邊大貴 ^M , 宮口貴史 ^M , 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳	Er ³⁺ と Yb ³⁺ をドープした をドープした CeO ₂ 中空粒子の 合成とアップコンバージョン発光特性	平成 28 年度九州支部秋季合同研究 発表会, 201611
榎藤未来, 藤木祐太, 矢田光徳, 井 上 侑子, 周致霆	液相法を用いたニッケル化合物の成と特性評価	平成 28 年度九州支部秋季合同研究 発表会, 201611
藤木祐太, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢田光徳	リン酸チタンナノ粒子の形態制御とリチウムイオン電池へ の応用	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
大坪由佳, 磯野健一, 矢田光徳	Li-Cu-Ni-Mn-O スピネル系正極材料の合成と評価	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
前田みさき, 鳥飼紀雄, 渡孝則, 矢 田光徳	チタンメッシュ表面上でのリン酸チタン薄膜の合成	第 53 回化学関連支部合同九州大会, 201607
山岡禎久, 宇野友貴, 山本壮里, 原 田義規, 高松哲郎, 高橋英嗣	2 光子光音響顕微鏡高速化のための光学系最適化	第 55 回日本生体医工学会大会, 201604
榎田裕也, 矢原大裕, 吉田琢磨, 鶴 野雄介, 大久保魁馬, 馬場嵐, 山岡 禎久, 高橋英嗣	MDA-MB-231 細胞遊走の pH 勾配依存性	第 55 回日本生体医工学会大会, 201604
榎田祐也, 霧野雄介, 大久保魁馬, 山岡禎久, 高橋英嗣	Directional migration of MDA-MB-231 cells under O ₂ /pH gradients	ISOTT 2016, 201607
南川丈夫, 小倉隆志, 中嶋善晶, 山 岡禎久, 美濃島薫, 安井武史	ファイバー光コム共振器型ひずみセンサーの開発	第 57 回光波センシング技術研究 会, 201606
南川丈夫, 小倉隆志, 増岡孝, 中嶋 善晶, 山岡禎久, 美濃島薫, 安井武史	ファイバー光コム共振器によるひずみセンシング	2015 年度精密工学会秋季大会, 201609
Takeo Minamikawa, Takashi Ogura, Takashi Masuoka, Eiji Hase, Yoshiaki Nakajima, Yoshihisa Yamaoka, Kaoru Minoshima, and Takeshi Yasui	Optical-frequency-comb based ultrasound sensor	Photonics West BiOS 2017, 201701
南川丈夫, 増岡孝, 小倉隆志, 中嶋 善晶, 山岡禎久, 美濃島薫, 安井武 史	光コムセンシングキャピティによる超音波計測	Optics and Photonics Japan 2016, 201610
霧野雄介, 大久保魁馬, 藤原隆祐, 榎田祐也, 山岡禎久, 高橋英嗣	Metabolic gradients 下の細胞遊走	第 20 回酸素ダイナミクス研究会, 201611
遠藤大輔, 吉田克己, 多々見 純一, 高橋英嗣, 山岡禎久	セラミックス内部欠陥評価を目指した光音響イメージング 技術 の開発	レーザー学会学術講演会第 37 回 年次大会, 201701
山本 壮里, 高橋 英嗣, 山岡 禎久	光音響イメージングにおける相互関法を用いた信号の選択 的検出	レーザー学会学術講演会第 37 回 年次大会, 201701
増岡孝, 小倉隆志, 南川丈夫, 中嶋 善晶, 山岡禎久, 美濃島薫, 安井武 史	光音響波検出のための RF 変換ファイバー光コムの開発	レーザー学会学術講演会第 37 回 年次大会, 201701
遠藤大輔, 山本壮里, 多々見純一, 高橋英嗣, 山岡禎久	光音響イメージングを用いた窒化ケイ素の表面欠陥評価	第 78 回応用物理学会 秋季学術講演 会, 201709
山本壮里, 高橋英嗣, 山岡禎久	波形の選択的検出による光音響イメージングの高感度化	第 78 回応用物理学会 秋季学術講演 会, 201709
能塚雄介, 山本壮里, 栗原誠, 橋本 信幸, 高橋英嗣, 山岡禎久	補償光学素子を用いた光音響顕微鏡の高空間分解能化	第 78 回応用物理学会 秋季学術講演 会, 201709
山岡禎久, 山本壮里, 能塚雄介, 遠 藤大輔, 高橋英嗣	Generation of photoacoustic signals using femtosecond optical pulses for photoacoustic imaging	ICO-24 (the 24th General Congress of International Commission for Optics), 201708
増岡孝, 小倉隆志, 南川丈夫, 中嶋 善晶, 山岡禎久, 美濃島薫, 安井武 史	ファイバー型光コム共振器を用いたマルチダイナミックレ ンジひずみセンシング	第 78 回応用物理学会秋季学術講演 会, 201709
大久保魁馬, 霧野雄介, 藤原隆祐, 井上海大, 山岡禎久, 高橋英嗣	Ru 錯体による培養細胞組織中の酸素濃度勾配イメージン グ法の検討	ME とバイオサイバネティクス研 究会 (2018.1), 201801
増岡 孝, 小倉 隆志, 南川 丈夫, 中 嶋 善晶, 山岡 禎久, 美濃島 薫, 安 井 武史	超音波センシング型ファイバー光コムの特性評価	Optics & Photonics Japan 2017, 201710

山岡禎久、木村優香、原田義規、高松哲郎、高橋英嗣	Fast focus-scanning head in two-photon photoacoustic microscopy with electrically-controlled liquid lens	SPIE Photonics West 2018, 201801
能塚雄介, 栗原誠, 橋本信幸, 原田義規, 高橋英嗣, 山岡禎久	補償光学素子を用いた光音響顕微鏡による組織標本観察	レーザー学会学術講演会第38回年次大会, 201801
藤原隆祐、大久保魁馬、霧野雄介、井上海大、山岡禎久、高橋英嗣	MDA-MB-231 細胞の遊走方向を決める細胞外因子	第21回酸素ダイナミクス研究会, 201709
Takeo Minamikawa, Takashi Masuoka, Ryo Oe, Yoshiaki Nakajima, Yoshihisa Yamaoka, Kaoru Minoshima, Takeshi Yasui	Multi-dynamic range compressional wave detection using optical-frequency-comb	SPIE Photonics West 2018, 201801
趙 江林・大和武彦	チアカリックス[4]アレーンを基盤とするヘテロダイトピックレセプターの合成と包接挙動	第14回ホスト・ゲスト化学シンポジウム 高知市 2016年6月4-5日, 201606
○坂口滉弥・大和武彦	ピレンを基盤とした新規青色発光材料の合成と光学特性の評価	第53回化学関連支部合同九州大会 北九州, 2016年7月2日, 201607
○木原理絵・大和武彦	ピレンを構成単位とするヘリセン型分子の合成と光学特性	第53回化学関連支部合同九州大会 北九州市, 2016年7月2日, 201607
○中嶋貴広・大和武彦	フルオレニル基を導入したピレン類の合成と光学特性	第53回化学関連支部合同九州大会 北九州市, 2016年7月2日, 201607
○一柳弥志・大和武彦	ピレンを構成要素とする青色発光物質の合成と評価	第53回化学関連支部合同九州大会 北九州市, 2016年7月2日, 201607
○Chuan-Zeng Wang, Takehiko Yamato	Regioselective substitution at the 1,3- and 5,9-positions of pyrene for the construction of small dipolar molecules	第53回化学関連支部合同九州大会 北九州市, 2016年7月2日, 201607
Chuan-Zeng Wang, Kouya Sakaguchi and ○Takehiko Yamato	Regio-selective Synthesis and Photophysical Properties of Asymmetrically Tetrasubstituted Pyrene Derivatives with Electron Donors and Acceptors	第27回基礎有機化学討論会 広島市 2016年9月1-3日, 201609
趙 江林・○大和武彦	アントラセン部位を持つチアカリックス[4]アレーン誘導体の光化学反応	第46回複素環化学討論会 金沢市 2016年9月26-28日, 201609
○Hisashi Ichiyangi, Koya Sakaguchi and Takehiko Yamato	Synthesis and fluorescence emission properties of novel pyrene-based blue light-emitting monomer	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar (International Seminar, Saga University (Saga), 2015年11月1日, 201611
○Nakashima Takahiro, Takehiko Yamato	Synthesis and photophysical properties of 1,3-diarylpyrenes	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar (International Seminar, Saga University (Saga), 2015年11月1日, 201611
○Noda Yuki and Takehiko Yamato	Synthesis and photophysical properties of extended π -conjugated giant molecules based pyrene	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar (International Seminar, Saga University (Saga), 2016年11月1日, 201611
○Chong Wu and Takehiko Yamato	Triazole-Modified Hexahomotrioxacalix[3]arene as Fluorescent Chemosensor for 2,4,6-trinitrophenol (TNP) Explosive Through CH Hydrogen Bonding Interaction	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar (International Seminar, Saga University (Saga), 2015年11月1日, 201611
○Chuan-Zeng Wang and Takehiko Yamato	Regioselective substitution at the 1,3- and 5,9-positions of pyrene for the construction of small dipolar molecules	The 11th Saga University-Daegu University Joint Seminar (International Seminar, Saga University (Saga), 2016年11月1日, 201611
○Akisumi Ageno, Jiang-Lin Zhao and Takehiko Yamato	A Rare and Exclusive Endoperoxide Photoproduct Derived from Thiocalix[4]arene Crown-shaped Derivative Bearing 9,10-Substituted Anthracene Moiety	The 7th Liaoning University-Saga University Joint Seminar (International Seminar, Liaoning University, (Shenyang, China), 2016年12月8-9日, 201612

石橋弘樹, 佐藤善紀, 伊藤卓哉, 張波	プラズマ溶射アルミナ被膜の摩擦摩耗特性に及ぼす pH の影響	, 201605
佐藤善紀, 秋吉元, 馬渡俊文, 張波	インパクトフレッティング試験による SUS304 ステンレス鋼の腐食摩耗に関する研究	日本機械学会 2016 年度年次大会, 201609
佐藤善紀, 中川雄太, 馬渡俊文, 張波	Na2S04 溶液中における SUS304 鋼のインパクトフレッティング摩耗特性	, 201610
Mwangi Jessee Njora, Yoshiki Sato, Bo Zhang	The performance of (Al, Ti)N — PVD coated and uncoated carbide tools in high speed finish turning of Inconel 718	, 201610
Mwangi Jessee Njora, Yoshiki Sato, Bo Zhang	Tool life and surface integrity in high speed turning of Inconel 718 alloy with PVD-TiAlN coated carbide tools	, 201612
坂本洋平, 馬渡俊文, 張波, 佐藤善紀, 大野信義	ライソオイルの高圧物性に関する研究	, 201609
中庭翔, 柳瀬拓哉, 岡優希, 湯浅貴裕, 沼野壮, 山内一宏, 真木一, 鄭旭光	水酸塩化物 Co2 (OH) 3Cl/Co2 (OD) 3Cl の創製と評価	応用物理学会九州支部講演会 2016 年 12 月 3 日(土) ~ 4 日(日) 対馬市交流センター, 201612
岡優希^M, 中庭翔^M, 柳瀬拓哉^M, 沼野壮^B, 湯浅貴裕^B, 山内一宏, 鄭旭光, 郭其新	新規強誘電特性を示す水酸塩化物 Co2 (OH) 3Cl/Co2 (OD) 3Cl における選択的サイト置換効果	応用物理学会九州支部講演会 2016 年 12 月 3 日(土) ~ 4 日(日) 対馬市交流センター, 201612
X. L. Xu, X. G. Zheng, I. Yamauchi, I. Watanabe	A novel approach to ferroelectrics study utilizing muon-spin-relaxation	SAP Kyushu Chapter Annual Meeting 2016 Int' l Session: The 1st Asian Applied Physics Conference, Tsushima Civic Center, Tsushima, Japan, Dec. 3-4, 2016, 201612
柳瀬拓哉, 中庭翔, 岡優希, 徐興亮, 鄭旭光, 松田直樹, 徐超男	水酸塩化物新奇強誘電体の薄膜化	第 19 回連携大学院産学官交流セミナー, 佐賀大学本庄キャンパス, 2017 年 1 月 18 日, 201701
ZHENG, Xu-Guang	Observation of critical slowing of quantum atomic H/D in hydroxyl salts. Co2 (OD) 3X/Co2 (OH) 3X [X=Cl, Br].	The 14th International Conference on Muon Spin Rotation, Relaxation and Resonance (μSR2017) Sunday 25 June 2017 – Friday 30 June 2017 Hokkaido University, 201706
(AIST) Dong Tu, (AIST, Kyushu University) Chao-Nan Xu, (AIST) Masayoshi Fujihala, (Saga University) Xu-Guang Zheng	Sensitive Piezoluminescence in the Multipiezo Material LiNbO3:Pr3+	日本セラミックス協会秋季講演会, 201709
鄭旭光, 山内一宏, 李相賢, 神山崇	粉末中性子回折とミュオンスピン回転による三角格子物質 CuODCl の磁気構造決定	日本物理学会 2017 年秋季大会 岩手大学, 201709
畑中悠花, 萱島知子, 筆本悠希, 柴田紗知, 上野純弥, 永尾晃治, 松原主典	ローズマリー成分カルノシン酸の摂取が拘束ストレス負荷マウスに与える影響	日本家政学会第 68 回全国大会, 201605
別府史章, 浅沼公晴, 河村芳徳, 永井利治, 吉永和明, 溝部帆洋, 小島浩一, 笠井聡, 永尾晃治, 久保篤史, 神田穰太, 後藤直宏	トランス脂肪酸異性体間の組織への蓄積と異化効率の違い	第 70 回日本栄養・食糧学会大会, 201605
城内文吾, 梅ヶ谷南, 白石彩, 森田有紀子, 甲斐俊一, 永尾晃治, 柳田晃良, 小川哲弘, 門岡幸男, 佐藤匡央	Lactobacillus gasseri SBT2055 摂取がラットのエネルギー代謝および糖代謝に及ぼす影響	第 70 回日本栄養・食糧学会大会, 201605
藤川彩美, 佐藤友哉, 浜島弘史, 柳田晃良, 光武進, 永尾晃治, 中山二郎, 北垣浩志	麴グルコシルセラミドの腸内細菌叢への影響	第 68 回日本生物工学会大会, 201609
酒谷真以, Ferdouse Jannatul, 阪本真由美, 浜島弘史, 柘植圭介, 西向めぐみ, 柳田晃良, 永尾晃治, 光武進, 北垣浩志	日本の伝統発酵食品に含まれている麴グルコシルセラミド含量の解析	日本農芸化学会 2017 年度大会, 201703
Nong Quynh Nga, 萱島知子, 畑中悠花, 柴田紗知, 上野純弥, 永尾晃治, 松原主典	拘束ストレス負荷マウスに対するカルノシン酸の抗ストレス効果の検討	日本家政学会第 69 回大会, 201705

N. Gotoh, S. Kagiono, K. Yoshinaga, H. Mizobe, T. Nagai, A. Yoshida, F. Beppu, K. Nagao	Characteristic of trans fatty acid isomers in liquid oil formed by heating.	The Asian conference on Oleo Science 2017, 201709
N. Gotoh, S. Kagiono, K. Yoshinaga, H. Mizobe, T. Nagai, A. Yoshida, F. Beppu, K. Nagao	Distribution of trans fatty acid isomers in meat, butter, and milk derived from ruminants provided in Japanese market.	The Asian conference on Oleo Science 2017, 201709
K. Yoshinaga, Y. Katoh, H. Mizobe, T. Nagai, A. Yoshida, F. Beppu, K. Nagao, N. Gotoh	Distribution of trans fatty acid isomers in processed foods provided in Japanese market.	The Asian conference on Oleo Science 2017, 201709
K. Nagao, K. Yoshinaga, T. Nagai, H. Mizobe, A. Yoshida, F. Beppu, N. Gotoh	Comparison of the effect of trans fatty acid isomers on apolipoprotein A1 and B secretion in HepG2 cells.	The Asian conference on Oleo Science 2017, 201709
吉田祥輝 ^M 、前田良枝 ^B 、森田祥平 ^B 、大石祐司、関 清彦、光富 勝、宗 伸明、上田敏久	芳香族アミノ酸残基を含む環状ジペプチドの生理活性評価	第53回化学関連支部合同九州大会、201607
関 清彦、下田祐実、末次 伊久磨、光富 勝	大腸菌における放線菌キトサナーゼの菌外分泌に関わる外膜タンパク質	第30回日本キッチン・キトサン学会大会(川越)、201608
光富 勝、池田恵莉、浜崎志帆、櫻井俊輔 [*] 、関 清彦、上田光宏	Ralstonia sp. A-471 由来 GH Family 23 キチナーゼの作用様式	第30回日本キッチン・キトサン学会大会(川越)、2016
一瀬大樹・関 清彦・光富 勝・宗 伸明・上田敏久	芳香族アミノ酸の抗真菌活性に対する側鎖構造の影響	日本農芸化学会2016年度西日本支部大会(長崎)、201609
南川朋花、坂口優紀、上田敏久、鎌田 海、宗 伸明	蛍光性無機ナノシート/酵素複合体を用いた過酸化水素並びにグルコース検出系の開発	第53回化学関連支部合同九州大会、201607
牟田典恵、廣瀬莉央、上田敏久、鎌田 海、宗 伸明	無機ナノシート/酵素/磁気ビーズ複合体によるコリン検出系の開発	第53回化学関連支部合同九州大会、201607
吉田祥輝、前田良枝、森田祥平、大石祐司、関 清彦、光富 勝、宗 伸明、上田敏久	芳香族アミノ酸残基を含む環状ジペプチドの生理活性評価	第53回化学関連支部合同九州大会、201607
南川朋花、坂口優紀、上田敏久、鎌田 海、宗 伸明	酵素を複合化した蛍光性無機ナノシートによるグルコースの検出	日本分析化学会第65年会、201609
湯井敏文、青野桃子、宇都卓也、関清彦、上田敏久	分子シミュレーション計算によるAc-AMP2の糖鎖基質認識の解析	日本応用糖質科学会平成28年度大会(第65年会)、201609
一瀬大樹、関 清彦、光富 勝、宗 伸明、上田敏久	抗真菌活性に対する芳香族アミノ酸の側鎖構造の影響	日本農芸化学会2016年度西日本支部大会(西日本支部第316回講演会)、201609
一瀬大樹、関 清彦、光富 勝、宗 伸明、上田敏久	芳香族アミノ酸誘導体の抗菌作用	平成29年度日本生化学会九州支部例会、201705
坂口優紀・山室麻由子・上田敏久・鎌田 海・宗 伸明	ユウロピウムをドーブした無機ナノシートと酵素の複合体による蛍光モードでのグルコース検出に関する検討	第54回化学関連支部合同九州大会、201707
山下舞美・上田敏久・鎌田 海・宗 伸明	無機ナノシート/酵素/磁気ビーズ複合体によるコリン検出系の開発と磁気ビーズの粒径が及ぼす影響の検討	第54回化学関連支部合同九州大会、201707
中島慶子・廣瀬莉央・山本菜由・上田敏久・宗 伸明	アクリジン標識 TEMPO を用いたビタミンC測定法の開発と応用	第54回化学関連支部合同九州大会、201707
一瀬大樹、関 清彦、光富 勝、宗 伸明、上田敏久	芳香族アミノ酸誘導体の抗菌作用	第54回化学関連支部合同九州大会、201707
赤瀬公亮・草場基章	野生 Setaria 属植物いもち病の発生開始時期とその気象条件	平成28年度日本植物病理学会大会、201603
田原佳代子・中馬いつみ・土佐幸雄・草場基章	日本産メヒシバいもち病原菌の分類学的位置づけに関する検討	平成28年度日本植物病理学会大会、201603
Shuhei Adachi・Tomoki Honma・Ryosuke Yasaka・Kazusato Ohshima・Makoto Tokuda	Seasonal occurrence of TuMV and potential aphid vectors in Kyushu, Japan	, 201606
高橋宏幸、中嶋正敏、小川愛海、根津修、八坂亮祐、大島一里、宇垣正志、鈴木匡	ラッカセイ矮化ウイルスPI系統は外被タンパク質がジベレリンの減少を介してラッカセイを矮化させる	日本植物病理学会本大会、201603
岡村輝太・八坂亮祐・大島一里	ノビルにおけるシャロット潜在ウイルスの初発生	日本植物病理学会九州部会、201611

八坂亮祐・大島一里	小アジアとその周辺諸国におけるカブモザイクウイルスの拡散時期	日本植物病理学会九州部会, 201611
八坂亮祐, 大島一里	カブモザイクウイルス侵入時期の年代推定: 長崎産の一分離株を例として	九州病害虫研究会, 201702
安達修平・尋木優平・吉田一貴・八坂亮祐・大島一里・徳田誠	野生宿主植物からダイコンへの TuMV の伝搬時期と広食性・狭食性アブラムシが果たす役割	九州病害虫研究会, 201702
八坂亮祐, 大島一里	カブモザイクウイルスの同義置換部位を用いた塩基置換速度および分岐年代の推定	, 201704
Ryosuke Yasaka・Savas Korkmaz・Alireza Golnaraghi・Nikolaos Katis・Simon Ho・Adrian Gibbs・Kazusato Ohshima	The time of emergence and dissemination of turnip mosaic virus	, 201707
辻田有紀・山本航平 2・平山裕美子・海老原淳・山田明義・今市涼子	シダ植物リュウビンタイとゼンマイの配偶体におけるケカビ垂門感染の探索	日本菌学会第 60 回大会 ポスター発表, 201609
Yuki Ogura-Tsujita, Gerhard Gebauer, Hui Xu, Yu Fukazawa, Hidetaka Umata, Kenshi Tetsuka, Masayuki Maki, Shiro Isshiki, Satoshi Yamashita, Nitaro Maekawa, Tomohisa Yukawa	A giant mycoheterotrophic orchid, <i>Erythrorchis altissima</i> , is associated with a wide range of wood-decaying fungi	9th International Conference on Mycorrhiza, 201707
	ラン科オニノヤガラにおける種子発芽時の菌根菌相	環境微生物系合同大会 2017, 201708
辻田有紀・G. Gebauer・手塚賢至・遊川知久	菌従属栄養植物タカツルランに栄養供給する菌を安定同位体比から探る	日本植物学会第 81 回大会, 201709
蘭光健人・山下由美・遊川知久・辻田有紀	無葉着生植物クモランにおける共生菌相解明と共生培養下での種子発芽	日本植物学会第 81 回大会, 201709
世古智一・金子修治・綱島健司・徳田 誠・小原慎司	飛ばないナミテントウの施設利用を促進し露地利用へと拡張する代替餌システムの開発	第 26 回天敵利用研究会徳島大会, 201608
吉岡裕哉・明石夏澄・木下智章・副島和則・安田雅俊・徳田 誠	九州北西部におけるヤマネの生息状況と活動の季節性	日本哺乳類学会 2016 年度大会, 201609
Tokuda, M.	The mechanism and adaptive significance of host manipulation by insects	XXV International Congress of Entomology, Orland, Florida, USA. Recent Advances in Entomology in Japan - Ecology and Reproductive biology (Satellite Symposium organized by Union of Japanese Societies for Insect Sciences), 201609
Mochioka, Y., Kinoshita, M., Ohashi, H. and Tokuda, M.	Oviposition site selection by <i>Arhopara bazalus</i> (Lepidoptera: Lycaenidae)	XXV International Congress of Entomology, Orland, Florida, USA., 201609
Adachi, S., Honma, T., Yasaka, R., Ohshima, K. and Tokuda, M.	Seasonal occurrence of TuMV and potential aphid vectors in Kyushu, Japan	XXV International Congress of Entomology, Orland, Florida, USA., 201609
Elsayed A. K., Ogata, K., Kaburagi, K., Yukawa, J. and Tokuda, M.	Taxonomic status of a gall midge (Diptera: Cecidomyiidae) associated with <i>Symplocos cochinchinensis</i> (Symplocaceae) in Japan: the first example of Rabdophaga on a host plant other than Salicaceae	XXV International Congress of Entomology, Orland, Florida, USA., 201609
Tokuda, M., Kai, S., Kumashiro, S., Suzuki, Y. and Adachi, S	Life history, host-use pattern and host manipulation by a gall-inducing psyllid <i>Stenopsylla nigricornis</i>	XXV International Congress of Entomology, Orland, Florida, USA., 201609
藤田将平・安達修平・Ayman K. Elsayed・口木文孝・白石祥子・徳田誠	コナカイガラムシ類の土着天敵フジコナタマバエの発生消長と野生寄主	第 92 回九州病害虫研究発表会, 201611
吉田一貴・松田浩輝・徳田 誠	人工飼料を用いたオリーブアナアキゾウムシの室内飼育法の開発	第 92 回九州病害虫研究発表会, 201611
大石寛貴・喜多章仁・野間口眞太郎・徳田 誠	佐賀平野のトンボ相: 2016 年の野外調査から見てきた傾向	日本昆虫学会九州支部第 64 回大会, 201611
手塚絢美・安達修平・喜多章仁・徳田 誠	塩生植物を寄主とするイソマツヒゲナガアブラムシの生活史と海水耐性 (予報)	日本昆虫学会九州支部第 64 回大会, 201611

尋木優平・藤田将平・安達修平・徳田 誠	ハバチ幼虫の大発生によるカシワの葉の消失が植物の形質と植食者群集に及ぼす影響	日本昆虫学会九州支部第 64 回大会, 201611
中林ゆい・望岡佑佳里・末松俊二・徳田 誠	アリ随伴性ムラサキシジミ幼虫に対する捕食寄生蜂 <i>Cotesia inducta</i> の寄生戦略	日本昆虫学会九州支部第 64 回大会, 201611
古川直希・安達修平・遠藤信幸・徳田 誠	ホソヘリカメムシは吸汁により寄主植物の生理状態を操作しているか	日本昆虫学会九州支部第 64 回大会, 201611
松田浩輝・白濱祥平・徳田 誠	オオイヌタデの被食防御形質二型は環境不均一性で維持されているか (予報)	日本昆虫学会九州支部第 64 回大会, 201611
友澤佑斗・Ayman K. Elsayed・原本すみれ・徳田 誠	カヤツリグサ科スゲ属を寄主とするタマバエの生活史と寄主範囲	日本昆虫学会九州支部第 64 回大会, 201611

外部資金

代表者氏名	補助金 (研究助成) 等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
青木茂久	科学技術振興機構	大学発新産業創出プログラム (START)	コラーゲンビトリゲルの形状加工技術を活用した医療機器および創薬支援ツールの開発	10,829
青木茂久	祐徳薬品工業株式会社	共同研究	コラーゲンビトリゲルを用いた人工皮膚開発	3,685
青木茂久	科学研究費助成事業	基盤研究 (C)	食道癌の広範囲内視鏡的粘膜層剥離術を可能とする高密度コラーゲン治療デバイスの開発 研究課題	1,820
合島怜央奈	科学研究費助成事業	平成 28 年度 研究活動 スタート支援	TRP チャネルを標的とした口腔癌に対する新規診断・治療法の探索	1,300
合島怜央奈	科学研究費助成事業	基盤研究 (B) (分担)	歯-歯肉付着上皮の封鎖を標的とした歯周病制御	100
合島怜央奈	科学研究費助成事業	挑戦的萌芽研究 (分担)	メカノセンサーを標的とした新たな口腔粘膜バリア薬開発	100
伊藤 学	科学研究費助成事業	基盤研究 (C)	新規組織工学による次世代型血管外科再生治療法の開発	1,690
伊藤 学	日本透析医学会研究助成事業		バイオ 3D プリンタを用いた次世代型透析用人工血管の開発	2,000
太田昭一郎	ノバルティスファーマ研究助成		喘息を特異的に検出する次世代ペリオスチン測定キットの開発	1,000
太田昭一郎	科学研究費補助金	基盤研究 (C) (代表)	ペリオスチンのシグナル伝達機構の解明によるアレルギー性炎症に対する治療基盤の構築	1,715
大塚泰史	アレクシオンファーマ受託研究費		造血幹細胞移植後血栓性微小血管症 (HSCT-TMA) における補体機序の解析	500
小川雅弘	科学研究費補助金	若手研究 (B) (代表)	ペリオスチンを基盤とした間質性肺炎における線維化機序の解明と新規治療薬の開発	1,560
小野伸之	平成 28 年度科学研究費補助金	基盤研究 (C)	新規多発血管炎性肉芽腫症モデルマウスの確立	1,000
垣内俊彦	未来へ向けた胃がん対策推進事業	佐賀県委託事業費		31,982
柿原奈保子	文部科学省科学研究費 (代表)	若手 (B)	精油を用いた看護技術のエビデンス確立 - 照射性潰瘍に対する治癒力促進のメカニズム -	260
柿原奈保子	文部科学省科学研究費 (分担)	基盤 (C)	母子分離による脳の形成不全に対する代理母の効果 - ラットを用いた形態機能学的解析 -	100
城戸瑞穂	花王株式会社		歯周組織の治癒及び再生機序に関する研究	2,106
城戸瑞穂	科学研究費助成事業	挑戦的萌芽研究	メカノセンサーを標的とした新たな口腔粘膜バリア薬開発	1,300
城戸瑞穂	科学研究費助成事業	基盤研究 (B)	歯-歯肉付着上皮を標的とした歯周病制御	7,100

城戸瑞穂	科学研究費補助金	基盤研究 C (分担)	メカノセンサー欠損によるエナメル質形成不全	100
城戸瑞穂	科学研究費補助金	基盤研究 C (分担)	メカノセンサー制御による象牙質・歯髄複合体形成機序の解明	100
城戸瑞穂	京都大学霊長類研究所	一般個人研究		88
熊本栄一	平成 28 年度科学研究費助成事業	学術研究助成基金助成金(基盤研究(C) (一般))	脊髄後角における痛み伝達のオレキシンによる制御機構のパッチクランプ法による解析.	600
倉田里穂	科学研究費助成事業	若手研究(B)	新規ベータヘット病感受性遺伝子 TRIM39R における IFN 制御機構の解明	1,430
小荒田秀一	平成 28 年度科学研究費補助金	基盤研究 (C)	全身性自己免疫疾患に対する新樹 B 細胞標的療法の開発	800
笹栗智子	科学研究費助成事業	基盤研究 (C)	慢性疼痛モデルに対するインターロイキン-27 投与の効果	2,470
島津倫太郎	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	胃酸逆流と気道疾患-動物モデル用いた検討-	1,000
島ノ江千里	科学研究費助成事業	基盤研究 (C)	生活習慣病のリスクを予防する精神ストレスマーカーの疫学的検討	260
鈴木智恵子	地(知)の拠点整備事業(大学 COC 事業)地域志向教育研究経費		看護学生による小児アトピー性皮膚炎予防のためにスキンケア教育	20
副島英伸	科学研究費助成事業	挑戦的萌芽研究	ヒストンメチル化異常症の標的遺伝子探索と病態解明に基づく創薬基盤の確立	1,040
副島英伸(分担)	AMED	難治性疾患実用化研究事業	エピジェネティック希少疾患の治療に向けた研究および原因未解明な希少疾患に対する解析技術展開研究	4,940
副島英伸(分担)	科学研究費助成事業	基盤研究 (C)	間葉性異形成胎盤の診断・管理指針作成に関する研究	500
副島英伸(分担)	厚生労働科学研究費補助金	成育医療研究開発費	「原因不明先天異常・産科異常の総合診断体系の構築」	2,000
副島英伸(分担)	厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等政策研究事業	国際標準に立脚した奇形症候群領域の診療指針に関する学際的・網羅的検討	1,000
多田芳史	平成 28 年度日本医療研究開発機構 (AMED) 研究費		突発性大腿骨頭壊死症の治療法確立と革新的予防法開発にむけた全国学祭研究	750
檀上 敦	科学研究費補助金	基盤研究 (C) (継続)	口腔癌の骨浸潤モデルにおけるカテプシン K 阻害剤の機能解析	1,440
南里康弘	科学研究費補助金	研究活動スタート支援(代表)	ペリオスチンのシグナル伝達機構の解明によるアレルギー性炎症に対する治療基盤の構築	1,430
西岡憲一	科学研究費助成事業	基盤研究 (C)	ポリコームサイレンシングを制御する新規タンパク質複合体の解析	1,500
西田裕一郎	科学研究費助成事業	挑戦萌芽(分担)	ケニア農村地域における女性高齢者ケアに関する人類学的研究	100
西田裕一郎	科学研究費助成事業	基盤研究 (C) (分担)	運動効果におけるリポ蛋白リパーゼの作用: ノックアウトウサギを用いた研究	65
西田裕一郎	科学研究費助成事業	基盤研究 (C)	運動誘発性オートファジーにおける運動中および運動後の脂質代謝亢進の役割	1,300
布村聡	科学研究費補助金	基盤研究 (C) (代表)	FcεRI 会合の競争的阻害によるマスト細胞の活性化制御	863
布村聡	科学研究費補助金	基盤研究 (C) (代表)	Periostin によるマスト細胞の活性化とその制御機構の解明	1,950
本田裕子	科学研究費補助金	基盤研究 C (分担)	ヘアセラチン K85 の機能解析-なぜ K85 の遺伝子変異は貧毛症を引き起こすのか	400

松尾宗明	日本医療研究開発機構 (AMED) 「ICT を活用した診療支援技術研究開発プロジェクト」 (分担)		注視点検出技術を活用した発達障がい診断システムの開発	3,500
松尾宗明	平成28年度科学研究費補助金 (代表)	基盤研究 (C)	血流ストレスと血管内皮から見たもやもや病の病態解析	1,200
松尾宗明	平成28年度科学研究費補助金 (分担)	基盤研究 (C)	生体適合性脂質担体を用いたニーマンピック病 C 型の治療法開発	100
松尾宗明	平成28年度厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等政策研究事業 (分担)	神経皮膚症候群に関する診療科横断的検討による科学的根拠に基づいた診療指針の確立	900
松尾宗明	平成28年度厚生労働科学研究費補助金	難治性疾患等政策研究事業 (分担)	早老症の実態把握と予後改善を目指す集学的研究	500
松本明子	科学研究費助成事業	若手研究 (B)	肥満・耐糖能異常を合併したアルコール性肝障害における ALDH2 遺伝子多型の影響	515
松本明子	大和証券ヘルス財団の研究助成	中高年の医学・医療、保健及び福祉・介護に関する調査研究	慢性炎症予防における生活習慣と遺伝的個性差の影響の検討	1,000
見市 (三田村) 文香	科学研究費	若手研究 (B)	赤痢アメーバ “シスト形成” の分子機構の解明	1,600
見市 (三田村) 文香	科学研究費	新学術領域研究 (研究領域提案型) 「脂質クオリティが解き明かす生命現象」、公募研究	腸管寄生原虫 “脂肪酸代謝” の特殊性の解明—寄生適応戦略について—	3,700
見市 (三田村) 文香	第11内藤記念女性研究者研究助成		新規抗赤痢アメーバ薬創世のための赤痢アメーバシスト形成分子機構の解明	2,000
見市 (三田村) 文香	大山健康財団第42回学術研究助成金		赤痢アメーバ “シスト形成” を標的とする新規薬剤の探索	1,000
見市 (三田村) 文香	武田科学振興財団「医学系研究奨励 (感染症)」		ミトコンドリア関連オルガネラと寄生適応—コレステロール硫酸による赤痢アメーバ “シスト形成制御” の全容解明—	2,000
見市 (三田村) 文香	平成28年度長崎大学熱帯医学研究拠点一般共同研究		赤痢アメーバにおけるコレステロール硫酸とシスト形成との関連性の証明	400
溝口 義人	MSD 株式会社研究事業		うつ病治療における抗うつ薬の選択に有用な生物学的指標の検討ならびに抗うつ薬作用機序解明	50
宮本比呂志	共同研究	京セラメディカル	フッ素イオン注入チタン表面の抗菌特性評価	488
宮本比呂志	共同研究	京セラメディカル	表面に損傷を受けた MPC ポリマー処理金属の抗菌特性評価	488
宮本比呂志	医療機器開発推進研究事業	日本医療研究開発機構 (AMED) 事業	細菌付着および感染抑制効果の評価 (流体環境下における細菌付着抑制効果の検討)	5,200
宮本比呂志	科学研究費補助金	基盤研究 (C) (分担)	アメーバ共培養法で検出したレジオネラの遺伝子型と棲息環境との関連性解析	50
迎 洋輔	科学研究費助成事業	若手研究 (B)	組織工学を用いた iPS 細胞由来心筋組織の神経細胞配合による心機能改善効果の検討	1,950
村田祐造	科学研究費補助金	基盤研究 B (分担)	ダメージ関連分子パターン受容体の神経障害性痛における役割	100
山下 佳雄	科学研究費補助金	新学術領域研究 MK2410800A (分担)	プラズマ・ナノマテリアル動態学の創成と安全安心医療科学の構築	500
吉田裕樹	科学研究費	基盤研究 (C)	IL-27 を産生する新規制御性 T 細胞の分化と生理的機能解析	1,500
河野 史	文部科学省科学研究費 (代表)	基盤 (C) (一般)	母子分離による脳の形成不全に対する代理母の効果—ラットを用いた形態機能学的解析	1,300
久保田 寧	科学研究費助成事業	基盤研究 (C)	細胞内コレステロールを標的とする白血球治療法の開発	1,400

久保田 寧	日本白血病研究基金	一般研究賞	細胞内コレステロールを標的として急性骨髄性白血病幹細胞根絶を目指す新規治療法の開発	500
久木田明子	科学研究費補助金	基盤研究(C) (分担)	新たなHMG関連タンパク質の骨吸収活性制御における役割	400
久木田明子	科学研究費補助金	基盤研究(C) (分担)	分泌型miRNAを介した骨転移癌細胞-骨代謝細胞間コミュニケーション	30
久木田明子	科学研究費補助金	基盤研究(C)	膜トラフィッキング制御分子による破骨細胞分化と骨吸	1,300
甲斐 敬太	科学研究費補助金	基盤研究 C	胆嚢癌におけるムチンコア蛋白およびCD1a蛋白発現の意義と免疫機構への影響	1,430
高橋宏和	化学研究費助成事業	研究活動スタート支援	運動惹起性アディポカインによる非アルコール性脂肪肝治療の探索	143
若宮 富浩	科学研究費助成事業	若手研究 (B)	グリオーマと脂肪酸代謝関連分子の関係について	1,950
小網博之、野口亮、阪本雄一郎	科研費	基盤 (C)	熱傷創部の植皮術に適した3次元培養皮膚作成における脂肪由来間葉系幹細胞の機能解析	1,400
中原 由紀子	科学研究費助成事業	基盤研究 (C) (一般)	癌の代謝とエピゲノム異常をつなぐDNA脱メチル化酵素 TET の神経膠腫における役割	2,210
中山 功一 ※実施メンバー 阪本雄一郎、山田クリス孝介、佐藤三郎、大島千佳	救急救命センターと連携する交通事故自動通報システムによる交通弱者の被害軽減			2,500
東元 健	科学研究費助成事業	基盤研究 (C)	Sotos 症候群の治療基盤確立のためのモデルマウス樹立と発症メカニズムの解明	1,560
東元 健	平成28年度群馬大学生体調節研究所共同利用・共同研究拠点共同研究	通常課題	間葉性異形成胎盤 (PMD) におけるゲノムインプリンティングの役割	300
板村英和	かなえ医薬振興財団	研究助成	MEK 阻害剤を用いた造血幹細胞移植における選択的免疫調整	1,000
大渡 啓介	日本学術振興会	基盤研究 (C)	金属錯体中の未脱水和水との水素結合まで考慮した抽出試薬の設計とイオン認識評価	1,300
大和 武彦	日本学術振興会	基盤研究 (C)	カリックスアレーンを基盤とするピコレベルでの生体機能物質識別蛍光センサーの開発	2,200
北村 二雄	日本学術振興会	基盤研究 (C)	フッ素化反応の原料転換を目指した新規フッ素化反応の開発	1,500
花本 猛士	日本学術振興会	基盤研究 (C)	フルオロメチル基とジフルオロメチル基を有する有機分子の合成研究	1,700
光武 雄一	日本学術振興会	基盤研究 (C)	高温面非定常冷却中のぬれ面形成とぬれ面先端境界位置挙動の解明	1,700
古藤田 信博	日本学術振興会	基盤研究 (C)	果樹類の花成タンパク質ネットワーク	2,000
永尾 晃治	日本学術振興会	基盤研究 (C)	メタボリック症候群発症時のコレステロール逆転送系低下機序の解明と食環境による制御	1,500
早川 洋一	日本学術振興会	挑戦的萌芽研究	昆虫のストレス耐性を決める遺伝子の同定	1,400
大島 一里	日本学術振興会	挑戦的萌芽研究	植物ウイルス病原体間の共進化機構の解明	1,500
鈴木 章弘	日本学術振興会	挑戦的萌芽研究	光伝送によって地上部から根へ到達した遠赤色が微生物共生を促進する可能性	1,800
海野 雅司	日本学術振興会	基盤研究 (C)	近赤外ラマン円偏光二色性分光法を用いて光受容タンパク質中間体の構造を明らかにする	1,000
高椋 利幸	日本学術振興会	基盤研究 (C)	軟X線分光法によるイオン液体中における金属錯体の構造と電子状態	500

鯉川 雅之	日本学術振興会	基盤研究 (C)	カプセル状分子集合体を形成する環状三核錯体を用いた新規磁性イオン液体の開発	900
兒玉 浩明	日本学術振興会	基盤研究 (C)	単量体と二量体の動的平衡状態にある GPCR が伝達する生物活性情報の特定	1,000
森貞 真太郎	日本学術振興会	基盤研究 (C)	高分子ブラシによる表面改質を利用した非最密充填コロイド粒子膜の創製とその構造制御	1,200
高橋 英嗣	日本学術振興会	基盤研究 (C)	がん細胞の酸素走性に関する研究	600
光武 進	日本学術振興会	基盤研究 (C)	消化管分泌細胞の細胞膜機能変化を介しインクレチン分泌量を変化させる食品成分の研究	1,100
徳田 誠	日本学術振興会	若手研究 (B)	植物と昆虫の形質多型に着目した生物における資源配分戦略の解明	1,000
長田 聡史	日本学術振興会	基盤研究 (C)	ペプチドデホルミラーゼによって活性化される生物種選択的 MetAP 阻害剤の創成	1,100
渡 孝則	日本学術振興会	基盤研究 (C)	赤外線を可視光へ変換するセラミック蛍光体の高変換メカニズムの解明	500
福田 伸二	日本学術振興会	基盤研究 (C)	次世代シーケンサーによるピワ連鎖地図の構築と果実形質等を選抜できるマーカーの獲得	1,100
辻田 有紀	日本学術振興会	若手研究 (B)	植物の菌根菌遷移への適応戦略とその進化過程の解明	1,500
早川 洋一	日本学術振興会	基盤研究 (A)	ストレス順応性獲得分子機構の解析	5,800
辻田 忠志	日本学術振興会	若手研究 (A)	環境転写因子 Nrf1 による基礎抗酸化力の底上げと加齢トレンド変換	11,900
武富 紳也	日本学術振興会	若手研究 (A)	水素脆化素過程モデルの構築とその応用	7,800
鈴木 章弘	日本学術振興会	基盤研究 (B)	ダイズ窒素固定関連遺伝子 SEN1 の多様性と収量性に与える影響	2,200
鄭 旭光	日本学術振興会	基盤研究 (B)	新奇量子原子効果に起因する新型マルチフェロ強誘電体の開発と機構解明	2,200
辻田 有紀 (分担)	日本学術振興会	基盤研究 (B)	*菌根菌の変化が植物の寄生性進化をもたらしたか?	180
徳田 誠 (分担)	日本学術振興会	基盤研究 (C)	*昆虫資源から見た伊豆・薩南諸島の進化・遺伝的重要性の検証と保全のための基盤研究	250
辻田 有紀 (分担)	日本学術振興会	基盤研究 (C)	*原始的織管束植物「シダ植物」の配偶体の異特性進化と菌共生	150
辻田 有紀 (分担)	日本学術振興会	挑戦的萌芽研究	*植物-菌共生系を使った菌従属栄養植物の保全技術の確立	200
徳田 誠 (分担)	日本学術振興会	基盤研究 (C)	*ヒメトビウカの生殖様式を操作する共生細菌 2 種と病原性ウイルスとの相互作用の解明	500
徳田 誠 (分担)	日本学術振興会	基盤研究 (C)	*発生が相次ぐ果樹害虫タマハエの分類学的・生態学的特性の解明と防除対策への応用	380
武富 紳也 (分担)	日本学術振興会	基盤研究 (C)	*水素環境における単純組成鋼中の格子欠陥挙動の統計熱力学的状態規定に基づく解析	300
石渡 洋一 (分担)	日本学術振興会	基盤研究 (B)	*半導体ナノ結晶の pn 接合による高度ガス認識界面の創出	300

(5)センター教職員による業績および外部資金

原著論文

著者名	題目	雑誌名,巻,号,頁
Niimi M, Yang D, Kitajima S, Ning B, Wang C, Li S, Liu E, Zhang J, Chen Y-E, Fan J	ApoE knockout rabbits: a novel model for the study of human hyperlipidemia.	Atherosclerosis 245: 187-193,2016.
松久葉一, 松尾 完, 西島和俊, 秋吉俊明, 森本正敏, 北嶋修司	ウサギ精子凍結保存における卵黄代替物として的大豆由来レシチン分別レシチンの有効性に関する検討	九州実験動物雑誌 32: 19-22,2016.
Srimawong P, Sawajiri M, Terato H, Maruyama K, Tanimoto K	Effects of carbon ion irradiation via periostin on breast cancer cell invasion of the microenvironment	J Radiol Radiat Therapy,4(1): 1060,2016.
Tshering Penjor, Takashi Mimura, Nobuhiro Kotoda, Ryoji Matsumoto, Atsushi J. Nagano, Mie N. Honjo, Hiroshi Kudoh, Masashi Yamamoto, Yukio Nagano	RAD-Seq analysis of typical and minor Citrus accessions, including Bhutanese varieties	Breeding Science, 66, 797-807
Sayaka Iizasa, Ei'ichi Iizasa, Sawako Matsuzaki, Hiroyuki Tanaka, Yutaka Kodama, Keiichi Watanabe, and Yukio Nagano	Arabidopsis LBP/BPI related-1 and-2 bind to LPS directly and regulate PR1 expression	Scientific reports, 6, 27527

一般講演

発表者	題目	学会（会議等）名
Okamoto S, Fukushima R, Ueda Y, Akiyoshi T, Yamaguchi A, Eguchi J, Yokoyama H	Clinical Significance of Introduction Y chromosome Microdeletion Screening in Assisted Reproductive Technology Clinics.	The 13th International Congress of Human Genetics.
Kitajima S, Nishijima K, Liu E, Maeda T, Matsuhisa F, Matsuo K, Akiyoshi T, Morimoto M, Fan J	Cryopreservation of rabbit sperm.	The 3rd Japan China Joint Rabbit Biotechnology Forum.
Nishida Y, Nishijima K, Mi-ichi F, Yamada Y, Tanaka H, Fan J, Kitajima S, Tanaka K	Skeletal muscle metabolites potentially involved in favorable energy metabolism in anti-obesity lipoprotein lipase transgenic rabbits.	International Conference on Obesity & Chronic Disease.
岡本純英, 秋吉俊明, 上田泰子, 南志穂, 松尾 完, 西垣みなみ, 金子亜絵理, 古川晋也, 福嶋 倫子, 山口敦巳	Trigger 直前の letrozole 屯服で estradiol 産生は直接抑制され OHSS が回避出来る	第 61 回日本生殖医学会
岡本純英, 松尾 完, 西垣みなみ, 南志穂, 池田 聡, 福嶋倫子, 上田泰子, 山口敦巳, 秋吉俊明	ART 臨床成績からみた多嚢胞性卵巣様形態 (PCOM) を呈する ART 調節卵巣刺激 high responder 症例の卵および胚の質についての検討	第 11 回日本生殖再生医学会
新見 学, 北嶋修司, 松久葉一, Ning B, Wang C, Yang D, Zhang J, Chen E - Y, 範 江林	新規高脂血症及び、動脈硬化性疾患モデル：アポ E 欠損ウサギの樹立	第 63 回日本実験動物学会

西垣みなみ, 秋吉俊明, 南 志穂, 松尾 完, 金子亜絵理, 古川晋也, 上田 泰子, 福嶋倫子, 山口 敦己, 岡本純英	妊娠率および流産率からみた移植用培養液の比較検討	第 19 回日本 IVF 学会
松久葉一, 秋吉俊明, 新見 学, 森本正敏, 範 江林, 北嶋修司	ウサギ胚凍結におけるデバイスおよび凍結液の比較検討	第 63 回日本実験動物学会
Wang C, Nishijima K, Kitajima S, Niimi M, Ning B, Fan J	Hepatic overexpression of endothelial lipase reduces plasma HDL levels in transgenic rabbits.	第 48 回日本動脈硬化学会
秋吉俊明, 松久葉一, 松尾 完, 森本正敏, 北嶋修司	若齢ウサギにおける過排卵処置および卵子回収の試み	第 4 回ウサギバイオサイエンス研究会
Nishida Y, Nishijima K, Mi ichi F, Yamada Y, Tanaka H, Fan J, Kitajima S, Tanaka K.	Muscle me tabolites potentially involved in enhanced insulin action in lipoprotein lipase transgenic rabbits.	第 4 回ウサギバイオサイエンス研究会
松尾 完, 松久葉一, 秋吉俊明, 森本正敏, 西島和俊, 北嶋修司	大豆レシチン由来各種構造物によるウサギ精子の凍結保存	第 4 回ウサギバイオサイエンス研究会
Terato H, Tokuyama Y, Mori K	Repair for clustered DNA damage induced by heavy ion beam irradiation.	The 10th 3R Symposium.
森加奈恵	デジタル PCR を用いた DNA 損傷分析法の確立	第 38 回生理学技術研究会
森加奈恵	放射線 DNA 損傷のデジタル PCR による分析	平成 27 年度実験・実習技術研究会 in 西京
森加奈恵, 徳山由佳	佐賀大学総合分析実験センターにおける LC-MS 装置の導入について	2016 年度名古屋大学機器・分析技術研究会
徳山由佳, 平山亮一, 寺東宏明	重粒子放射線により生じるクラスター DNA 損傷の修復動態と変異解析	日本放射線影響学会-第 59 回大会
徳山由佳, 工藤健一, 境 智弘, 伊藤博則, 猪原 哲, 寺東宏明	水中放電プラズマによる酸化 DNA 損傷と突然変異	日本環境変異原学会第 45 回大会
境智弘, 猪原 哲, 徳山由佳, 寺東宏明	水中キャビテーション・放電プラズマ併用型リアクタ による殺菌特性について	プラズマ/パルスパワー/放電合同研究会
吉田祐紀, 境 智弘, 猪原 哲, 寺東宏明	水中キャビテーション・放電プラズマ併用型リアクタ の水処理効果の改善について	プラズマ/パルスパワー/放電合同研究会
森加奈恵	デジタル PCR を用いた放射線 DNA 損傷分析	平成 27 年度佐賀大学技術研究会
徳山由佳	重粒子放射線により生じる DNA 変異解析	平成 27 年度佐賀大学技術研究会
栗山恵輔	佐賀大学総合分析実験センターの教育活動について (担当講義・実習の紹介)	第 34 回国立大学法人生命科学研究所機器施設協議会
Yuga Otsuka, Masasuke Ryuda	Bitter compounds inhibit feeding behavior in polyphagous insect pest, Spodoptera litura larva	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium
Yui Kawano, Masasuke Ryuda	Analysis of Anorexia gene which regulates feeding behavior via insulin signaling in Drosophila melanogaster	The 11th Saga University-Daegu University Joint Symposium
小野雄大, 龍田勝輔	キロシヨウジョウバエにおける味覚受容体のリガンド解析	日本農芸化学会西日本支部会大会
Jyun MIYAMOTO, Keisuke DZUSH, Hiroki KODAMA and Tohru MIYAJIMA	On the rice growth-promoting effect of dam sediment	18th IHSS conference (in Kanazawa) Sep. 11-16

兒玉宏樹、廣松将平、鳥井翼、中田弘太郎	滴定三次元蛍光測定によるフルボ酸標準試料の特性評価	日本腐植物質学会第32回講演会 (名古屋) 2017年3月16日
馬、右田麻由美、兒玉宏樹	鉄-腐植物質複合体の海水中における沈降、および拡散挙動	日本腐植物質学会第32回講演会 (名古屋) 2017年3月16日
溝口拓人、兒玉宏樹	正電荷色素をプローブとして用いた滴定分光法によるフルボ酸の結合特性の評価	日本腐植物質学会第32回講演会 (名古屋) 2017年3月16日

外部資金

代表者氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
北嶋修司	科学研究費補助金	基盤研究(B) (分担)	遺伝子変異ウサギモデルによる動脈硬化の発生におけるアポ蛋白CⅢの機能解析	1,000
徳山由佳	クリタ水・環境科学振興財団 2016年度国内助成		水中キャビテーション放電プラズマによる水浄化技術の確立	1,000
寺東宏明	放射線災害・医科学研究拠点共同研究		高感度 DNA 損傷分析による低線量・低線量率放射線生物影響の分子機構解明	500
永野幸生	科学研究費補助金	基盤研究(C)	次世代 DNA シークエンサーによるカンキツおよびその近縁植物の遺伝的分化過程の解析	1,300
兒玉宏樹	眞崎商店	共同研究	鉄理論による藻場育成プランテーションシステムの試作開発	800
兒玉宏樹	電力中央研究所	共同研究	有機物特性評価による地下水混合の評価法検討	1,500
永野幸生	公益財団法人 浦上食品・食文化振興財団		日本における山椒利用の体系化 - 遺伝的分類による食味特性・官能特性の特徴づけと食文化的考察	3,000

9. 外部評価委員による評価結果・意見

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書（平成28年度）に対する評価・検証

平成28年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書について

検証者 所属 福岡学院看護大学

氏名 森本正敏

検証日 平成30年1月29日

1. 評価手法（適切であった・改善すべき点があった）
意見・具体的改善点など

適切でした。

2. 評価基準（適切であった・改善すべき点があった）
意見・具体的改善点など

適切でした。

3. 評価の妥当性（妥当である・妥当でない点がある）
意見・具体的改善点など

妥当である。

その他

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書（平成28年度）に対する評価・検証

平成28年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書について

検証者 所属 九州工業大学機器分析センター

氏名 大坪文隆

検証日 平成30年1月22日

1. 評価手法（適切であった・改善すべき点があった）

意見・具体的改善点など

- ・各部門において、どの学部が強く係っているのかを示した方が各地区各部門の学部に対する支援体制が分かりやすくなると思います。
- ・研究業績においては、各論文がどの機器等を利用して成果が出されたかを、明示した方が各部門の寄与が分かりやすいと思います。

2. 評価基準（適切であった・改善すべき点があった）

意見・具体的改善点など

- ・研究業績においては、トップジャーナルに掲載された論文は、別に枠を設けて記載すると、どの部門が権威ある研究に係ったかが分かるようになると思います。
- ・外部資金の獲得件数において、H24、27と28を見ると、H27と28は業績に大きく反映されていることが分かります。一方、H24は著しく突出していますが、H27と28に比して業績への反映が小さいところが不明瞭であると感じます。（図4.5,6）

3. 評価の妥当性（妥当である・妥当でない点がある）

意見・具体的改善点など

- ・各機関において、資金面で苦慮している機関は少なくありませんが、予算の収支から、各部門の果たした役割を評価し、今後のセンター内の整備・予算配分を評価検討することを試みてはと思います。

その他

国立大学法人佐賀大学総合分析実験センター
自己点検評価報告書（平成28年度）に対する評価・検証

平成28年度佐賀大学総合分析実験センター自己点検評価報告書について

検証者 所属 山口大学大学院創成科学研究科

氏名 柳 由貴子
検証日 平成30年1月31日

1. 評価手法（適切であった・改善すべき点があった）
意見・具体的改善点など

適切であり、特に改善点等は認められない。

2. 評価基準（適切であった・改善すべき点があった）
意見・具体的改善点など

適切であり、特に改善点等は認められない。

3. 評価の妥当性（妥当である・妥当でない点がある）
意見・具体的改善点など

各領域・事項に対して適切な取り組みがなされている。また、課題に対しても適切な改善対策がなされている。さらに、利用実績・業績・外部資金獲得実績などから、活発な活動がなされていることがうかがわれる。したがって、評価は妥当であると考ええる。

その他

センター教職員の教育活動に関する事項において、実際の担当時間数などが不明ではあるので判断しかねるが、教員間における担当講義数の偏りが推察された。これについては各教員の担当分野・職階にも依存すると考えられるが、負担の公平性という観点から、可能ならば何らかの配慮が必要ではないかと考える。